

# 第 14 回川越市市民意識調査 報告書

令和 4 年 2 月  
川 越 市



# 川越市民憲章

先人の輝かしいあゆみにより、すばらしい歴史的遺産をもつ川越。わたくしたちは、このまちに生きることに誇りをもって、さらに住みよい魅力あふれるまちづくりをすすめていくことを誓い、ここに市民憲章を定めます。

- 1 郷土の伝統をたいせつにし、平和で文化の香りたかいまちにします。
- 1 自然を愛し、清潔な環境を保ち、美しいうらおいのあるまちにします。
- 1 きまりを守り、みんなで助けあう明るいまちにします。
- 1 働くことに生きがいと喜びを感じ、健康でしあわせなまちにします。
- 1 教養をふかめ、心ゆたかな市民として、活力にみちたまちにします。

市の木（かし）



市の花（山吹）



市の鳥（雁<sup>かり</sup>）





## はじめに

大正11年（1922年）に市制を施行した本市は、古き良き伝統と現代の新しさが調和した多彩な魅力を有するまちとして発展を続けてまいりました。都心から30km圏内に位置し、交通の利便性が高く、商業・工業・農業のバランスが取れた産業構造を有するまち川越。35万人都市でありながら豊かな自然環境や、魅力ある歴史的・文化的遺産に恵まれ、近年では、多くの観光客が訪れる観光都市としての認識も高まっております。



一方、少子高齢化やライフスタイルの変化に伴って、さまざまな課題が生じており、市政に対する意見や要望も複雑で多様化してきております。厳しい財政状況の中、これらの課題に対して的確に 대응していくためには、効率的かつ効果的な行財政運営に努めるとともに、市民の皆様の立場に立った市政運営を行うことが重要であると考えております。

私は、これまでも「タウンミーティング」や「市政懇談会」を開催して市民の皆様から直接御意見等を伺うとともに、「市民意見箱」を設置して市民の意識・意向の把握に努め、自由で開かれた風通しのよい市政の推進を図るよう努めてまいりました。

市民意識調査は、市民の皆様の市政全般にわたる意識や意向、要望等の実態を把握するために、3年毎に実施しております。調査結果につきましては、今後の市政運営に反映させるとともに、まちづくりのための貴重な資料として活用してまいります。

令和4年（2022年）は、市制施行100周年という節目の年でございます。今後、一層の市民参加を進め、市民の皆様の一人ひとりが「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」を実感していただけるようなまちづくりを進めてまいります。

結びに、調査に御協力いただきました多くの市民の皆様に、心から御礼を申し上げます。

令和4年2月

川越市長 川合善明



---

# 目次

---

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的.....	3
2 調査の内容.....	3
3 調査の設計.....	3
4 調査結果の表示方法.....	3
5 集計結果の有意性について.....	5
6 回収結果.....	6
7 回答者の属性.....	8
<b>II 調査票と回答</b> .....	<b>13</b>
<b>III 調査結果の分析</b> .....	<b>43</b>
<b>1 都市基盤・生活基盤について</b> .....	<b>45</b>
(1) 主に利用する最寄りの駅.....	45
(2) 最寄りの駅への手段.....	48
(3) 川越市の将来像.....	50
(4) 普段よく利用する移動手段.....	53
(5) 交通手段の利用状況・利用意向.....	55
(6) 川越シャトルを利用したことがない理由.....	58
(7) デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由.....	58
(8) 川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由.....	59
(9) 川越市の歴史的風致の向上.....	60
(10) 歴史的風致の向上した点.....	61
<b>2 産業・観光について</b> .....	<b>62</b>
(1) 川越市の観光への満足度.....	62
(2) 川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況.....	63
(3) 文化財の保護のため、行政が行うべき支援.....	68
(4) 観光振興のために必要な施策.....	69
(5) 買い物の状況.....	72
(6) 買い物で不便を感じていない理由.....	73
(7) 買い物で不便を感じている理由.....	74
(8) 商店街に望むこと.....	76

(9) 農業に期待すること .....	78
(10) 農業を身近に感じるか .....	80

### **3 教育・文化・スポーツについて ..... 82**

(1) 外国籍市民が増えることによる効果や影響 .....	82
(2) 興味のある文化・スポーツイベント .....	83
(3) 文化活動の頻度 .....	85
(4) 文化活動を行っていない理由 .....	87
(5) スポーツ・運動の実施頻度 .....	88
(6) 始めてからの期間 .....	90
(7) スポーツ・運動の実施場所 .....	91
(8) 望まれるスポーツ施設 .....	92
(9) 望まれるスポーツ教室 .....	93

### **4 保健・医療・福祉・子どもについて..... 94**

(1) 福祉への関心 .....	94
(2) 老後の生活への不安 .....	95
(3) 老後の過ごし方 .....	97
(4) 地域包括支援センターの認知状況 .....	99
(5) 健康への意識 .....	100
(6) 健康のための取組を行っていない理由 .....	101
(7) 塩分の摂取量への意識 .....	102
(8) かかりつけ医のいる家族の有無 .....	103
(9) かかりつけ医のいる家族の属性 .....	105
(10) かかりつけ歯科医の有無 .....	105
(11) 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況 .....	107
(12) 子宮頸がん検診、乳がん検診の受診状況 .....	111
(13) がん検診を受診していない理由 .....	114
(14) 児童虐待を減らすための効果的な方法 .....	116
(15) 児童虐待に関する国・県・市等の施策の認知状況 .....	117

### **5 環境について ..... 118**

(1) 川越市の環境への満足度 .....	118
(2) 環境に関する情報の入手先 .....	120
(3) 資源ごみの収集回数への認識 .....	123
(4) 収集回数を増やす品目 .....	124
(5) 収集回数を増やすための経費 .....	125

(6) 家庭ごみ収集の有料化 .....	126
(7) 地球温暖化対策への考え方 .....	127
(8) まちの緑化への活動内容 .....	128
(9) まちの緑化への施策 .....	132

## **6 地域社会と市民生活について ..... 135**

(1) 防災対策として必要な施策 .....	135
(2) 水・食料の備蓄量 .....	138
(3) 家族等との安否確認手段 .....	140
(4) 高齢者の交通事故防止に必要なこと .....	142
(5) 歩きながらスマートフォンを操作している人の状況 .....	143
(6) 歩きながらスマートフォンを操作している人を見かけた場所 .....	143
(7) 関心のある人権問題 .....	144
(8) 人権意識を高めていくために必要な取組 .....	147
(9) 市民活動への参加意向 .....	150
(10) 参加したい市民活動の分野 .....	151
(11) 市民活動に参加していない、参加したいと思わない理由 .....	152
(12) 自治会への加入状況 .....	153
(13) 自治会に加入していて良かった、加入したいと思う理由 .....	155
(14) 自治会に加入していない、参加したいと思わない理由 .....	156
(15) 自治会への加入を考えてもいい、参加したいと思える条件 .....	157
(16) 自治会に加入していないことで困っていること .....	158
(17) 市民センター・連絡所での手続きの認知状況 .....	159
(18) 住民票等の取得手続きで利用している施設 .....	160
(19) 川越駅西口連絡所、市民センターを利用しない理由 .....	161

## **7 市政全般について ..... 162**

(1) 「広報川越」の閲覧状況 .....	162
(2) 「広報川越」の情報量 .....	164
(3) 広報川越に掲載されている2次元コードの利用状況 .....	164
(4) 地域にある掲示板の閲覧状況 .....	165
(5) 掲示板の利用意向 .....	165
(6) 市の情報の入手方法 .....	166
(7) 市の情報提供に対する満足度 .....	168
(8) 今後、利用したいと思う情報提供の媒体 .....	170
(9) 必要な市の行政情報 .....	172
(10) 市民・行政が協働したまちづくりの実態 .....	174

(11) 地域の生活環境の満足度 .....	176
(12) 市職員へのイメージ .....	179
(13) 行財政改革と行政サービスのあり方 .....	182
(14) 行財政改革の推進のために必要な取組 .....	183
(15) よくなってきた市の施策／力を入れるべき市の施策 .....	184
(16) 川越市への定住意向 .....	192
(17) 住み続けたいと思う理由 .....	195
(18) 転居したいと思う理由 .....	197
(19) 川越市への愛着 .....	198
(20) 希望する市税納付方法 .....	200

## **8 市政運営に対する意見・まちづくりへの要望 ..... 201**

# I 調査の概要



## 1 調査の目的

この調査は、市民の行政に対する意向・要望・生活環境・重点施策・定住意識等の実情を的確に把握し、今後のまちづくりを進めていくための基礎資料とすることを目的としている。なお、この調査は昭和56年度以降14回目となっている。

## 2 調査の内容

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| (1) 都市基盤・生活基盤について    | (5) 環境について        |
| (2) 産業・観光について        | (6) 地域社会と市民生活について |
| (3) 教育・文化・スポーツについて   | (7) 市政全般について      |
| (4) 保健・医療・福祉・子どもについて |                   |

## 3 調査の設計

調査地域	川越市全域
調査対象	川越市在住の満18歳以上の男女
標本数	3,000人
抽出方法	川越市住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送配布－郵送回収法
調査期間	令和3年10月1日（調査票発送）～令和3年10月29日

## 4 調査結果の表示方法

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 平成30年に実施したアンケート調査との比較に際しては、前回調査と表現している。
- (5) 図表及び文章中では、選択肢を一部省略している場合がある。
- (6) 誤差を考慮し、nが20未満のものについてはコメントしていない。

(7) 標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、次の公式によって算出される。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差  
 N = 母集団数  
 n = 回収数 (比率算出の基数)  
 P = 回答の比率 (%)

今回の調査の実際の質問にあてはめてみると、「あなたは、最寄りの駅へ主にどのような手段で行きますか。」(問2)という質問に答えた人は1,496人であり、そのうち、44.2%の人が「徒歩」と答えた。それぞれの数値を公式に代入すると、次の誤差が算出される。

$$2 \sqrt{\frac{301,886 - 1,496}{301,886 - 1} \times \frac{0.442(1 - 0.442)}{1,496}} \approx 0.025$$

したがって、±2.5%が誤差の範囲となる。つまり、この回答に対する川越市民の真の値は41.7%~46.7%の間と考えられる。

**【今回の調査の標本誤差早見表】**

回答の比率	90% (または10%)	80% (または20%)	70% (または30%)	60% (または40%)	50%
標本誤差	±1.5%	±2.0%	±2.3%	±2.5%	±2.5%

**【各回答比率における標本誤差早見表】**

回答の比率 (P) 基数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,496	± 1.5%	± 2.0%	± 2.3%	± 2.5%	± 2.5%
1,000	± 1.9%	± 2.5%	± 2.8%	± 3.0%	± 3.1%
400	± 2.9%	± 3.9%	± 4.5%	± 4.8%	± 4.9%
200	± 4.2%	± 5.5%	± 6.3%	± 6.8%	± 6.9%
100	± 5.9%	± 7.8%	± 9.0%	± 9.6%	± 9.8%
50	± 8.3%	±11.1%	±12.7%	±13.6%	±13.9%

## 5 集計結果の有意性について

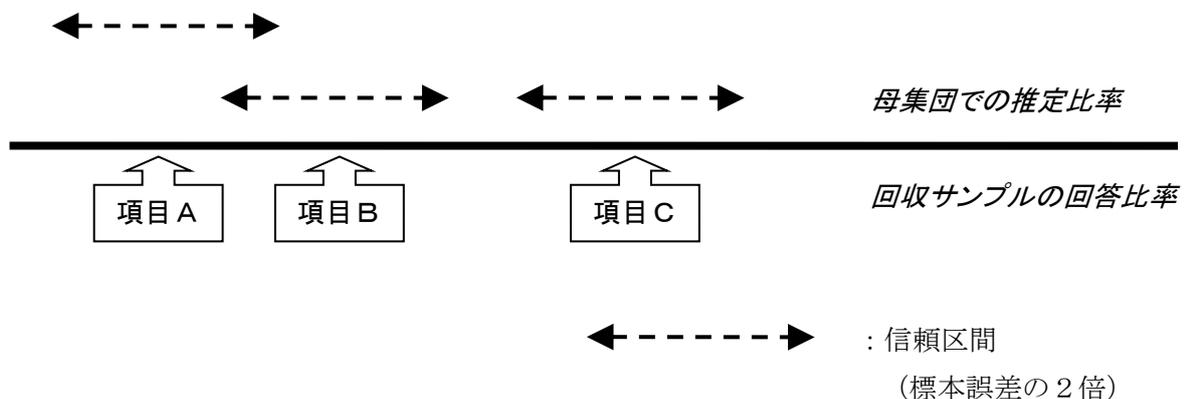
今回の調査は「標本調査」であり調査対象となる母集団への標本誤差が必ず生じる。そのため、どの程度までアンケート調査結果に基づく評価ができるのかという有意性が重要な問題となってくる。

今回調査では、有効サンプルが 1,496 票であり、回答比率がちょうど 50% の場合、標本誤差は  $\pm 2.5\%$  となる。したがって、アンケート調査結果で得た 50% という集計結果を、実際の母集団にあてはめるには標本誤差  $\pm 2.5\%$  の誤差が生じることになり、母集団の傾向として評価する際には、50% ではなく  $50 \pm 2.5\%$  ( $=47.5\% \sim 52.5\%$ ) という一定の幅を持った値（信頼区間）として取り扱う必要がある。その結果、その信頼区間に基づいて母集団の評価をする場合、少なくとも評価対象となる項目の回答比率の差が 5.0% ( $=$  標本誤差の 2 倍) 以上でなければ意味をなさない、つまり有意性を持たないことになる。（下図参照）

そのため、アンケート調査結果に有意性を持たせ、母集団へ効果的に反映させるためには、ある程度の回収サンプル数が必要とされており、例えば、100 票そこそこの場合、その調査結果の標本誤差は、回答比率 50% において  $\pm 9.8\%$  となり、信頼区間は 19.6% にも上ることになる。このような状況では評価どころではなく、アンケート調査自体が意味をなさない。こういった事態を招かないためにも、通常の標本調査においては、回収サンプル数が 1,000 票は必要と考えられる。

今回のアンケート調査の場合、回収サンプル数が 1,496 票であり、評価に当たっての前提条件はクリアされていることが分かる。ただし、標本誤差が生じるので、評価・分析にあたっては信頼区間（今回調査の場合は 5.0% 程度）未満の差異は切り捨てて考える必要がある。

### 【項目 B は項目 A よりも有意に高いといえない場合】



※この場合、項目 C については、項目 A、項目 B それぞれよりも有意に高いといえる。

## 6 回収結果

### (1) 市全体の回収

内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
市 全 体	301,886	100.0%	3,000	1,496	49.9%

### (2) 性別、性年齢別の回収結果

区 分 \ 内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
市 全 体	301,886	100.0%	3,000	1,496	49.9%
男 性	150,100	49.7%	1,500	593	39.5%
女 性	151,786	50.3%	1,500	874	58.3%
無 回 答	—	—	—	29	—

男 性	区 分 \ 内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
	全 体	150,100	100.0%	1,500	593	39.5%
	18・19歳	3,511	2.3%	38	4	10.5%
	20～29歳	19,640	13.1%	302	67	22.2%
	30～39歳	21,236	14.1%	280	85	30.4%
	40～49歳	28,294	18.9%	300	121	40.3%
	50～59歳	25,137	16.7%	223	95	42.6%
	60～69歳	19,070	12.7%	172	101	58.7%
	70歳以上	33,212	22.1%	185	118	63.8%
	無回答	—	—	—	2	—

女 性	区 分 \ 内 訳	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
	全 体	151,786	100.0%	1,500	874	58.3%
	18・19歳	3,306	2.2%	37	13	35.1%
	20～29歳	18,634	12.3%	306	109	35.6%
	30～39歳	19,161	12.6%	270	160	59.3%
	40～49歳	25,685	16.9%	269	171	63.6%
	50～59歳	23,403	15.4%	190	110	57.9%
	60～69歳	19,427	12.8%	182	137	75.3%
	70歳以上	42,170	27.8%	246	172	69.9%
	無回答	—	—	—	2	—

## (3) 地区別回収結果

内 訳 区 分	母集団数	構成比 (母集団)	標本数	有 効 回収数	回収率 (%)
本 庁 地 区	91,884	30.4%	735	316	43.0%
芳 野 地 区	4,617	1.5%	100	41	41.0%
古 谷 地 区	8,928	3.0%	133	58	43.6%
南古谷地区	20,610	6.8%	221	135	61.1%
高 階 地 区	46,167	15.3%	402	189	47.0%
福 原 地 区	17,617	5.8%	196	78	39.8%
大 東 地 区	29,830	9.9%	287	139	48.4%
霞ヶ関地区	27,087	9.0%	265	175	66.0%
川 鶴 地 区	4,988	1.7%	103	75	72.8%
霞ヶ関北地区	14,985	5.0%	169	48	28.4%
名 細 地 区	25,301	8.4%	249	100	40.2%
山 田 地 区	9,872	3.3%	140	77	55.0%
無 回 答	—	—	—	65	—
計	301,886	100.0%	3,000	1,496	49.9%

【地区別区分図】

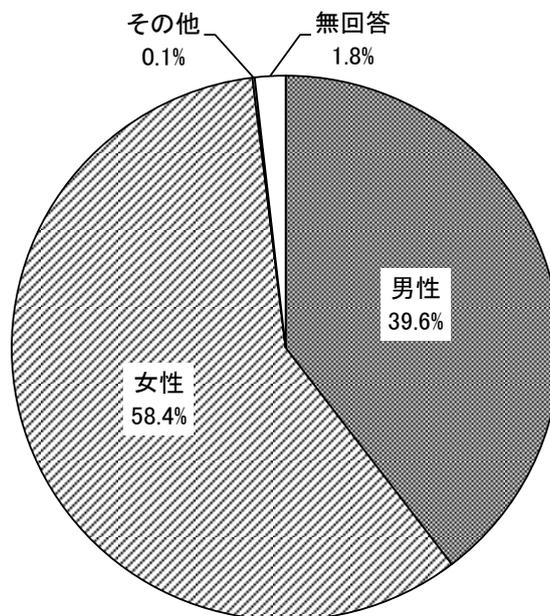


## 7 回答者の属性

### (1) 性別

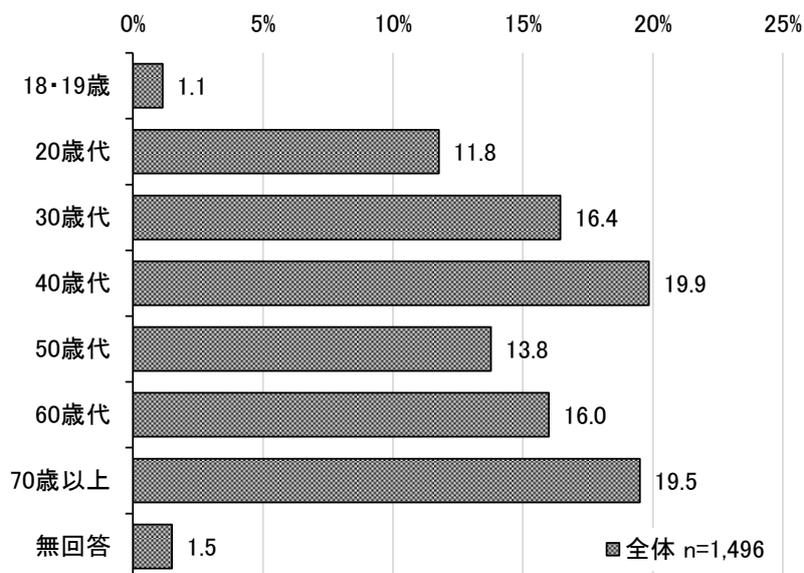
F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

全体 n=1,496



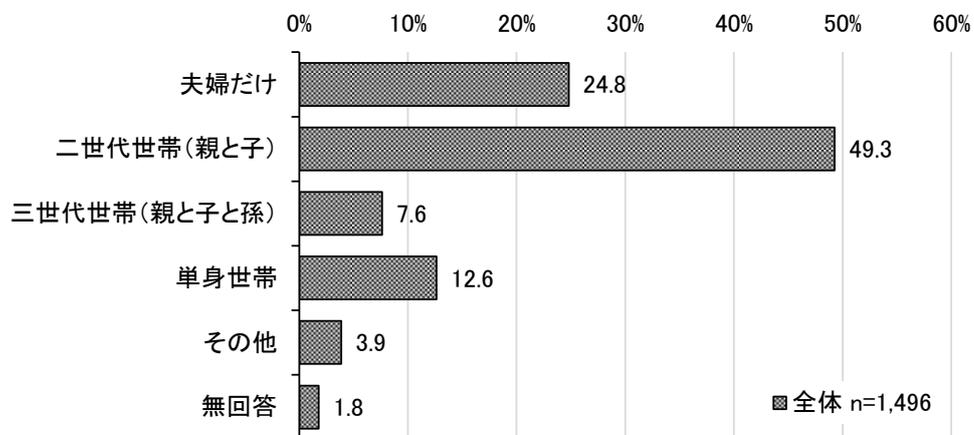
### (2) 年代

F 2 あなたの年齢はいくつですか。(1つのみ)



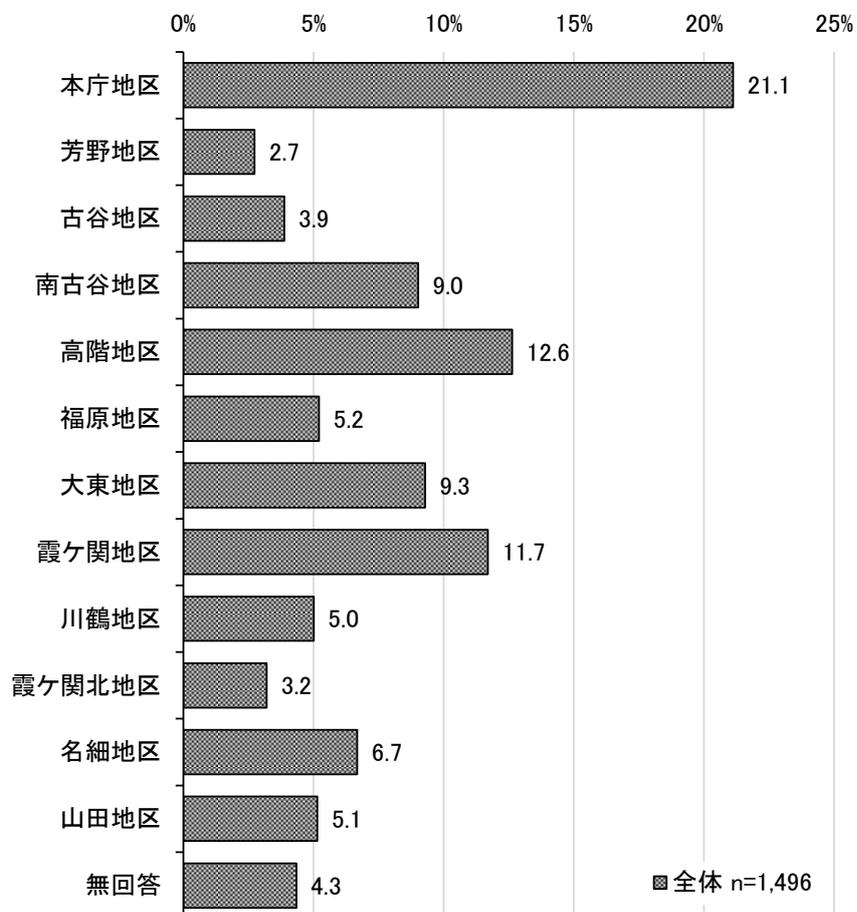
## (3) 家族構成

F3 あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか。(1つのみ)



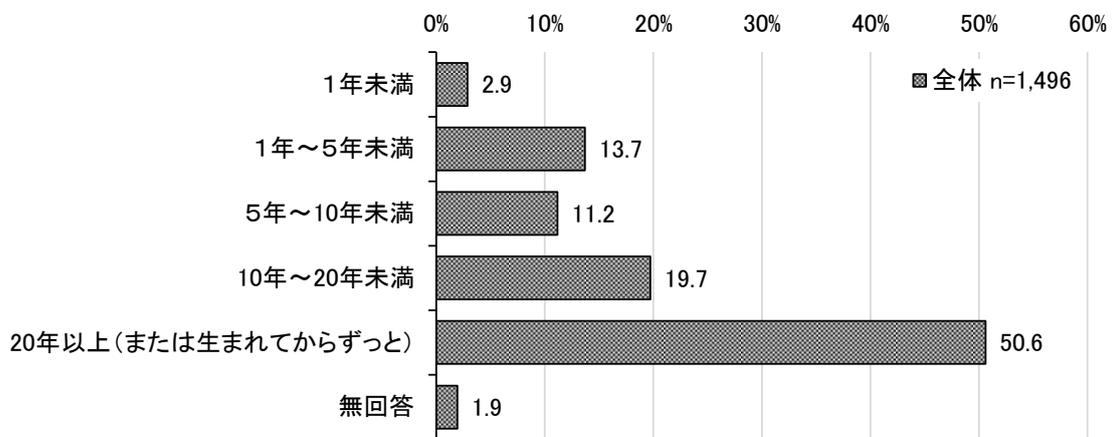
## (4) 居住地区

F4 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。(1つのみ)



(5) 居住年数

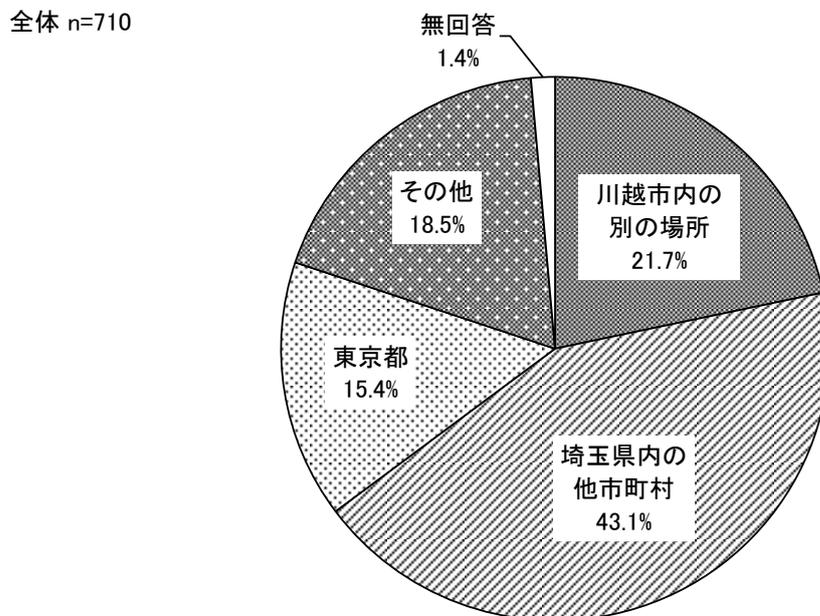
**F 5 あなたは、川越市の現在の場所に何年くらい住んでいらっしゃいますか。(1つのみ)**



(6) 前居住地

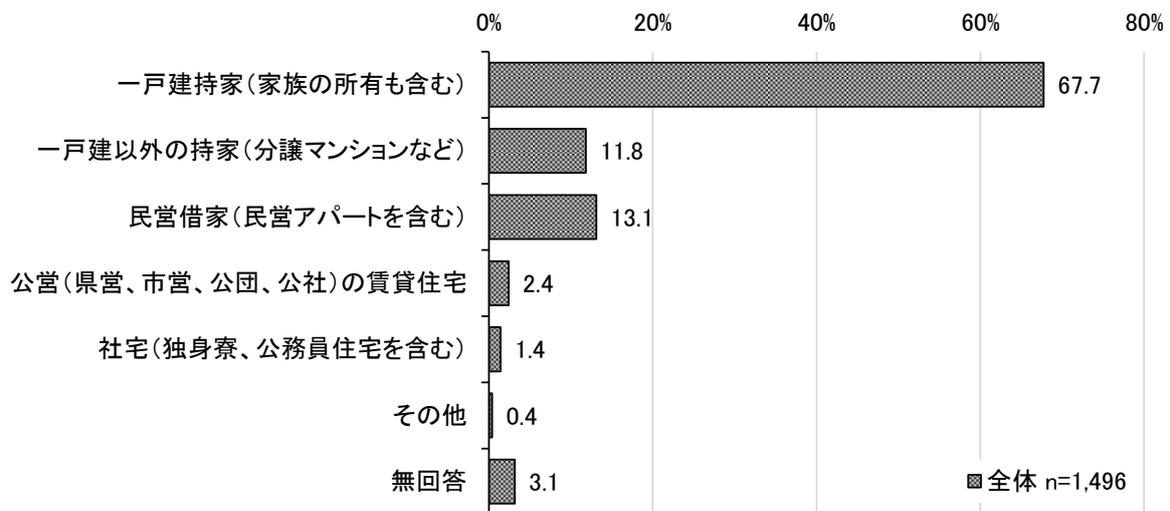
【F 5で「1年未満」「1年～5年未満」「5年～10年未満」「10年～20年未満」と回答した方におたずねします。】

**F 5 - 1 現在の場所に移る前はどこにお住みでしたか。(1つのみ)**

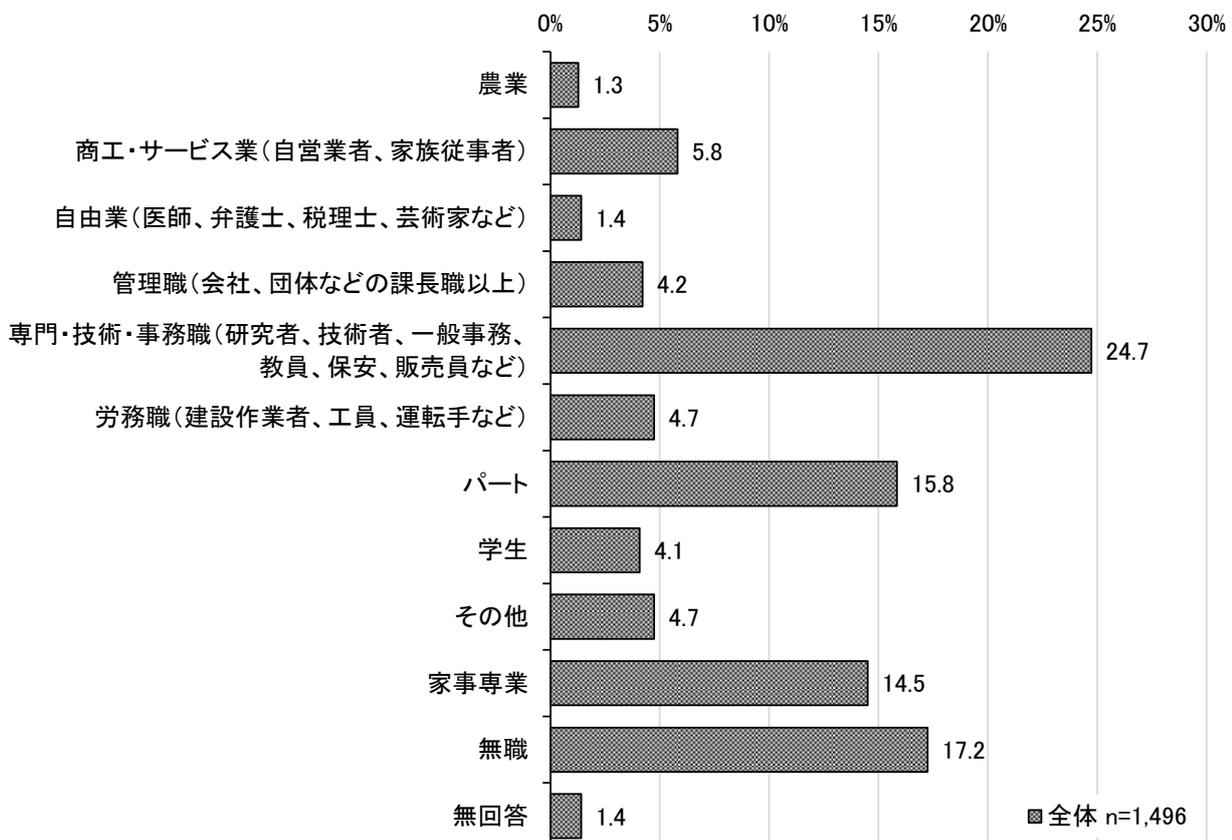


## (7) 住居形態

F 6 あなたの住宅の種類はどれですか。(1つのみ)



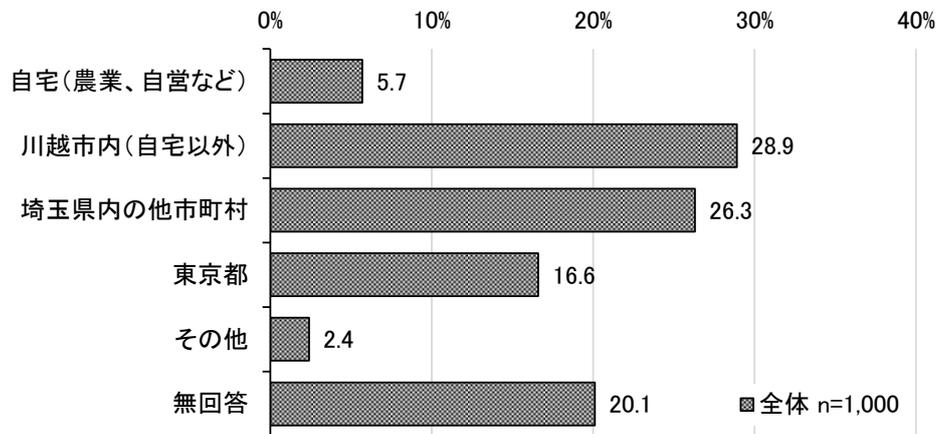
## (8) 職業

F 7 あなたのご職業は何ですか。(複数ある場合は、主となる職業を1つ選んでください)  
(1つのみ)

## (9) 通勤・通学先

【F7で「農業」から「その他」のいずれかを回答した方におたずねします。】

F7-1 あなたの通勤・通学先はどこですか。(複数ある場合は、主な場所を1つ選んでください)  
(1つのみ)



## Ⅱ 調査票と回答



# 川越市市民意識調査

## ～ ご協力のお願～

日頃皆様には、市政の発展のために深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。さて、市では10月上旬から10月下旬にかけて市民意識調査を行います。

この調査は、生活環境に関する意識、市政に対するご意見など市民生活の全般にわたり、皆様のご意見をお伺いし、それを今後の行政施策への資料とするために行うもので、今回の調査は昭和56年度以来14回目です。

この調査は、住民基本台帳に登録されている18歳以上の市民の中から、3,000人を無作為に選ばせていただき、お願いするものです。調査結果はコンピュータで統計的に処理しますので、ご回答いただきました皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答がいただけますようご協力をお願い申し上げます。

令和3年10月

川越市長 川合善明

### ご記入に際してのお願い

1. 対象となったご本人がお答えください。
2. ご記入は、黒のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
3. 回答は最初から1問ずつ、最後までお答えください。ただし、質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
4. 回答は、該当する答えに「 (レ点)」をつけてください。質問によっては、回答する数を「1つ」「いくつでも」などと指定しておりますので、その範囲内で回答をお願いします。
5. 「その他」に回答した場合、その具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
6. 市政全般に関する調査であることから、質問が多岐にわたっておりますので、時間がかかる場合は、休憩をはさみながらご回答ください。
7. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

**令和3年10月18日(月)**までにお近くの郵便ポストに投函してください。

※お名前やご住所の記入は必要ありません。

調査の内容、考え方、記入の仕方などについて、ご不明な点がございましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

### 川越市 市民部 広聴課 広聴担当

〒350-8601 川越市元町一丁目3番地1 (本庁舎3階)

TEL 049-224-5011 (直通)

FAX 049-222-5454

※各選択肢に続く数値は回答結果（％）を表している。

## 1. 都市基盤・生活基盤についてお伺いします。

問1 あなたが主に利用する最寄りの駅はどこですか。（1つのみ） n=1,496

JR川越線		東武東上線		西武新宿線	
<input type="checkbox"/> 南古谷	9.5	<input type="checkbox"/> 上福岡	4.1	<input type="checkbox"/> 本川越	3.0
<input type="checkbox"/> 川越	8.5	<input type="checkbox"/> 新河岸	10.6	<input type="checkbox"/> 南大塚	6.6
<input type="checkbox"/> 西川越	0.9	<input type="checkbox"/> 川越	15.6	<input type="checkbox"/> 新狭山	0.3
<input type="checkbox"/> 的場	2.5	<input type="checkbox"/> 川越市	6.0		
<input type="checkbox"/> 笠幡	2.5	<input type="checkbox"/> 霞ヶ関	10.3		
<input type="checkbox"/> 武蔵高萩	0.1	<input type="checkbox"/> 鶴ヶ島	8.9		
<input type="checkbox"/> その他の駅	0.7				
無回答	9.8				

問2 あなたは、最寄りの駅へ主にどのような手段で行きますか。（1つのみ） n=1,496

<input type="checkbox"/> 徒歩	44.2	<input type="checkbox"/> 自家用自動車	16.3
<input type="checkbox"/> バス	13.4	<input type="checkbox"/> その他	1.1
<input type="checkbox"/> 自転車又はオートバイ	21.6	無回答	3.4

問3 あなたは、川越市をどのようなまちにしたら良いと思いますか。

次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで） n=1,496

<input type="checkbox"/> 緑の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち	12.0
<input type="checkbox"/> ものづくりの盛んな工業のまち	1.3
<input type="checkbox"/> 活力あふれる商業のまち	7.8
<input type="checkbox"/> 農業を大切にするまち	5.5
<input type="checkbox"/> 歴史的遺産を活かした観光のまち	22.5
<input type="checkbox"/> スポーツの盛んな健康づくりのまち	2.9
<input type="checkbox"/> 子育てのしやすいまち	19.5
<input type="checkbox"/> 子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち	27.9
<input type="checkbox"/> 公園や広場など多いうるおいのあるまち	12.6
<input type="checkbox"/> 教育や文化の香り高い教養のまち	7.0
<input type="checkbox"/> 人と人とのつながりを感じる地域コミュニティ活動の活発なまち	10.6
<input type="checkbox"/> 交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち	32.8
<input type="checkbox"/> 県西部の中心都市	7.3
<input type="checkbox"/> 住環境の整備された住宅のまち	8.7
<input type="checkbox"/> 環境保全を推進する地球にやさしいまち	4.9
<input type="checkbox"/> 市民と行政がともに知恵と力を出し合う協働のまち	6.7
<input type="checkbox"/> その他	1.8
無回答	1.1

問4 あなたが普段よく利用する移動手段は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

(3つまで) n=1,496

<input type="checkbox"/> 徒歩 (杖やシルバーカー、車イスなどの利用も含む)	55.9	<input type="checkbox"/> 自動車 (運転)	63.7
<input type="checkbox"/> 自転車	39.5	<input type="checkbox"/> 自動車 (同乗)	25.3
<input type="checkbox"/> 路線バス	19.3	<input type="checkbox"/> 自動二輪車 (原付自転車含む)	3.6
<input type="checkbox"/> タクシー	4.3	<input type="checkbox"/> 自転車 (自己用)	15.2
<input type="checkbox"/> 川越シャトル	3.7	<input type="checkbox"/> 自転車 (シェアリング・レンタル)	0.3
<input type="checkbox"/> デマンド型交通かわまる	0.1	<input type="checkbox"/> その他	2.3
		無回答	0.3

問5 次の交通手段の利用状況や利用意向について、教えてください。

※①から③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ) n=1,496

交通手段	利用したことがある	利用したことはないが		知らない	無回答
		利用してみたい	利用するつもりはない		
①川越シャトル	23.3	28.8	32.8	13.2	1.9
②デマンド型交通かわまる	0.3	17.0	23.9	53.5	5.3
③川越市自転車シェアリング	2.2	28.1	37.0	27.1	5.5

- ➡ ①の項目で、「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方⇒ 問5-1へ  
 ➡ ②の項目で、「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方⇒ 問5-2へ  
 ➡ ③の項目で、「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方⇒ 問5-3へ

【問5の①で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

問5-1 川越シャトルを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも) n=921

<input type="checkbox"/> 自宅付近・目的地付近にバス停がない	28.6	<input type="checkbox"/> 他の移動手段があるため、必要性を感じない	64.3
<input type="checkbox"/> 運行便数が少ない	24.0	<input type="checkbox"/> その他	4.0
<input type="checkbox"/> 運賃 (利用料金) が高い	2.5	無回答	4.8

【問5の②で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

問5-2 デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも) n=611

<input type="checkbox"/> 自宅付近・目的地付近に乗降場がない	18.7	<input type="checkbox"/> 他の移動手段があるため、必要性を感じない	57.4
<input type="checkbox"/> 利用方法がわからない	27.0	<input type="checkbox"/> 予約をするのが面倒	14.4
<input type="checkbox"/> 運賃 (利用料金) が高い	4.7	<input type="checkbox"/> その他	4.1
		無回答	6.4

【問5の③で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

問5-3 川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも) n=975

<input type="checkbox"/> 自宅付近・目的地付近にステーション（駐輪場）がない	29.2
<input type="checkbox"/> 利用方法が難しい	7.7
<input type="checkbox"/> 利用料金が低い	2.8
<input type="checkbox"/> 自転車を持っている	48.5
<input type="checkbox"/> 使う機会がない	41.2
<input type="checkbox"/> その他	5.3
無回答	5.3

問6 あなたは、この10年間で川越市の歴史的風致（歴史的な建造物や歴史・伝統を反映した人々の活動等）が向上したと思いますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 向上した	} 問6-1へ	10.5	<input type="checkbox"/> 低下した	2.4
<input type="checkbox"/> ある程度向上した		15.8	<input type="checkbox"/> わからない	44.9
<input type="checkbox"/> 特に変わっていない		24.3	無回答	2.0

【問6で「向上した」「ある程度向上した」と回答した方におたずねします。】

問6-1 どのような点でそのように感じますか。(いくつでも) n=394

<input type="checkbox"/> 歴史的建造物の修理や復原による町並みの整備	48.2
<input type="checkbox"/> 歴史的建造物の様式に合わせた新築建物の増加	20.8
<input type="checkbox"/> 歴史的建造物を活用した店舗の増加	42.4
<input type="checkbox"/> 歴史的な地区での道路の美装化	26.9
<input type="checkbox"/> 歴史的な町並みを散策する観光客の増加	67.3
<input type="checkbox"/> 歴史的な町並みがマスメディアで紹介される頻度の増加	70.6
<input type="checkbox"/> 川越氷川祭の山車行事（川越まつり）の賑わい	24.4
<input type="checkbox"/> その他	1.8
無回答	0.3

## 2. 産業・観光についてお伺いします。

問7 あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 満足	12.8	<input type="checkbox"/> やや不満	7.6
<input type="checkbox"/> やや満足	34.7	<input type="checkbox"/> 不満	2.5
<input type="checkbox"/> ふつう	38.8	無回答	3.7

問8 市内には多くの観光スポットや伝統行事がありますが行ったこと(見たこと)がありますか。また、①から⑳の項目で次世代に残したいと思うもの(文化財)を3つ選んで回答欄に項目番号を記入してください。※①から㉑のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)  
※回答欄に項目番号を3つ記入してください。n=1,496

	行ったことがある	機会があれば行ってみたい	知っているが行ったことがない	知らない	無回答
①蔵造りの町並み	94.3	0.7	2.1	0.7	2.3
②菓子屋横丁	92.9	1.8	2.3	0.4	2.5
③川越まつり会館	52.1	10.0	23.1	10.0	4.7
④時の鐘	91.3	1.9	3.3	0.6	2.9
⑤川越市産業観光館小江戸蔵里	53.0	8.4	12.2	21.6	4.9
⑥旧山崎家別邸	20.4	18.0	23.3	31.8	6.5
⑦川越城本丸御殿	59.1	10.0	15.5	11.2	4.2
⑧市立博物館	49.5	12.6	21.3	11.4	5.2
⑨市立美術館	42.4	15.6	23.2	13.1	5.6
⑩川越氷川神社	87.0	3.5	4.7	1.3	3.5
⑪三芳野神社	34.0	10.6	15.4	33.4	6.6
⑫喜多院	86.0	3.3	5.2	2.3	3.2
⑬中院	49.1	10.2	11.6	24.0	5.1
⑭仙波東照宮	43.9	11.2	13.2	27.3	4.4
⑮蓮馨寺	65.7	6.1	9.2	14.8	4.1
⑯熊野神社	48.7	8.0	16.0	21.1	6.1
⑰川越水上公園	83.5	4.2	7.0	1.7	3.7
⑱伊佐沼	80.5	2.9	6.0	6.8	3.8
⑲川越まつり	84.3	4.9	5.3	1.7	3.7
⑳石原のささら獅子舞	2.9	13.9	14.2	61.7	7.2
㉑老袋の弓取式	1.7	12.6	12.4	66.6	6.8
㉒老袋の万作	0.9	11.8	9.6	70.5	7.2
㉓南大塚の餅つき踊り	2.9	10.9	11.1	68.8	6.4
㉔ほろ祭	2.7	9.4	7.0	73.1	7.7
㉕初大師(喜多院)	46.6	10.4	12.5	24.4	6.1
㉖小江戸川越花火大会	59.2	12.9	16.0	7.4	4.5
㉗春まつり(舟運)	16.6	19.1	22.3	35.5	6.6
㉘川越百万灯夏まつり	64.5	8.4	11.4	11.9	3.8
㉙縁むすび風鈴(氷川神社の夏の行事)	40.0	15.2	20.6	18.2	5.9

次世代に残したいと思うもの（文化財）		
①蔵造りの町並み	54.5	⑩熊野神社 0.9
②菓子屋横丁	17.3	⑪川越水上公園 4.5
③川越まつり会館	2.3	⑫伊佐沼 2.5
④時の鐘	34.6	⑬川越まつり 48.9
⑤川越市産業観光館小江戸蔵里	0.2	⑭石原のささら獅子舞 0.6
⑥旧山崎家別邸	1.5	⑮老袋の弓取式 0.2
⑦川越城本丸御殿	15.8	⑯老袋の万作 0.1
⑧市立博物館	2.2	⑰南大塚の餅つき踊り 0.4
⑨市立美術館	1.0	⑱ほろ祭 0.1
⑩川越氷川神社	18.5	⑲初大師（喜多院） 2.6
⑪三芳野神社	0.7	⑳小江戸川越花火大会 12.2
⑫喜多院	23.0	㉑春まつり（舟運） 1.5
⑬中院	2.0	㉒川越百万灯夏まつり 8.3
⑭仙波東照宮	2.7	㉓縁むすび風鈴（氷川神社の夏の行事） 4.7
⑮蓮馨寺	2.0	無回答 9.3

**問9 文化財の保護のため、行政が行うべき支援は何だと思えますか。（1つのみ） n=1,496**

<input type="checkbox"/> 文化財の修理・維持のための金銭的な支援	63.1
<input type="checkbox"/> インターネットやチラシなどを用いて文化財の情報を広く知らせる支援	26.7
<input type="checkbox"/> 文化財について研究を深め、報告書を出版するなどの学術的な支援	4.4
<input type="checkbox"/> 行政の支援は特に必要でない	2.7
無回答	3.1

**問10 あなたは、ますます観光客が多く訪れる街になるためにどのような施策が必要だと思えますか。次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで） n=1,496**

<input type="checkbox"/> 駐車場の整備	29.1	<input type="checkbox"/> 体験型観光の充実	7.8
<input type="checkbox"/> トイレの整備	18.2	<input type="checkbox"/> 交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善	42.3
<input type="checkbox"/> 観光スポットへのアクセスの向上	12.6	<input type="checkbox"/> 滞在時間の延長（宿泊施設の充実、夜間ライトアップの実施等）	6.7
<input type="checkbox"/> 来訪者に対する案内情報の発信	6.8	<input type="checkbox"/> 無料 Wi-Fi の整備	4.3
<input type="checkbox"/> 国内外への観光情報の発信	11.0	<input type="checkbox"/> 観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）	23.1
<input type="checkbox"/> 休憩施設の整備	8.4	<input type="checkbox"/> その他	3.7
<input type="checkbox"/> 観光施設のバリアフリー化	5.1	<input type="checkbox"/> わからない	1.7
<input type="checkbox"/> 乳幼児用の設備や施設の整備	3.9	無回答	0.7
<input type="checkbox"/> 観光スポットの整備	7.0		

**問 11 食料品等の日常の買い物で不便を感じていますか。(1つのみ) n=1,496**

<input type="checkbox"/> 不便を感じていない ⇒問 11-1へ	77.9
<input type="checkbox"/> 不便を感じているが、特に支障はない	18.4
<input type="checkbox"/> 不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある	2.2
無回答	1.5

} 問 11-2へ

【問 11 で「不便を感じていない」と回答した方におたずねします。】

**問 11-1 あなたが日常の買い物に不便を感じていない理由は何ですか。(いくつでも) n=1,166**

<input type="checkbox"/> 店が近くにある	77.7
<input type="checkbox"/> 公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある	51.5
<input type="checkbox"/> 宅配サービス・通信販売・移動販売等を利用している	14.6
<input type="checkbox"/> その他	1.0
無回答	0.9

【問 11 で「不便を感じているが、特に支障はない」「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」と回答した方におたずねします。】

**問 11-2 あなたが日常の買い物で不便を感じている理由は何ですか。(いくつでも) n=308**

<input type="checkbox"/> 店が近くにない	66.2	<input type="checkbox"/> 買い物を手伝ってくれる人(家族等)がいない	5.8
<input type="checkbox"/> 自転車などの交通手段がない	3.9	<input type="checkbox"/> 重いものが持てないため、一度に少量しか	
<input type="checkbox"/> 自動車やバイクなどの交通手段がない	7.8	買い物ができない	14.0
<input type="checkbox"/> バス・電車などの交通の便が悪い	27.6	<input type="checkbox"/> 近くに品揃えの良い店がない	41.2
<input type="checkbox"/> 身体上の理由でお店に行くことが困難	3.2	<input type="checkbox"/> 買い物ができる時間に店が開いていない	5.5
<input type="checkbox"/> 育児のため買い物に出かけにくい	9.7	<input type="checkbox"/> その他	7.5
<input type="checkbox"/> 介護のため買い物に出かけにくい	2.3	無回答	3.9

**問 12 商店街にどのようなことを望みますか。次の中から3つ以内で選んでください。**

(3つまで) n=1,496

<input type="checkbox"/> 魅力向上(店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など)	61.0
<input type="checkbox"/> イベントの開催(商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など)	24.9
<input type="checkbox"/> 地域住民へのサービスの充実(ポイント(スタンプ)カード、宅配サービス、地域通貨など)	31.1
<input type="checkbox"/> 観光客へのサービスの充実(インバウンド需要、多言語対応、無料Wi-Fiの整備など)	6.8
<input type="checkbox"/> キャッシュレス決済の充実	16.9
<input type="checkbox"/> 広告の充実(フェイスブック、ツイッターなどのSNSによる情報発信)	5.9
<input type="checkbox"/> 周辺設備の充実(駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など)	52.1
<input type="checkbox"/> 環境問題への貢献(観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など)	20.1
<input type="checkbox"/> コミュニティスペースの提供(空き店舗を活用した子育てサロン、リモートオフィススペースなど)	10.6
<input type="checkbox"/> その他	3.2
無回答	2.3

## 問 13 あなたが農業に期待することは何ですか。(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> 安全安心な農産物の提供	76.6	<input type="checkbox"/> 川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実	28.1
<input type="checkbox"/> 農産物直売機会の充実	47.0	<input type="checkbox"/> 川越産農産物の加工品を扱う商店等の充実	19.9
<input type="checkbox"/> 農業にふれあえる機会の充実	14.8	<input type="checkbox"/> 田園風景の保存	28.0
<input type="checkbox"/> 川越産農産物のブランド化	29.9	<input type="checkbox"/> その他	2.2
		無回答	1.9

## 問 14 農業を身近に感じますか。(地場農産物の購入や市民農園の利用、田園風景などを通じて、暮らしの中で農業を身近に感じますか) (1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 農業を身近に感じる	61.4	<input type="checkbox"/> 農業を身近に感じない	36.2
		無回答	2.4

## 3. 教育・文化・スポーツについてお伺いします。

## 問 15 あなたは、外国籍市民が増えることについて、どのような効果や影響があると思いますか。(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> まちに活気が生まれる	17.0	<input type="checkbox"/> 日本語が通じない場面が多くなる	22.5
<input type="checkbox"/> 地域に新たな文化や交流が生まれる	44.3	<input type="checkbox"/> ルールやマナーを守らない人が増える	56.1
<input type="checkbox"/> 外国籍市民や外国語に慣れる	16.9	<input type="checkbox"/> 治安が悪くなる	36.3
<input type="checkbox"/> 外国のことに関心を抱くようになる	32.2	<input type="checkbox"/> 特に変わらない	4.6
<input type="checkbox"/> 外国籍市民の知人・友人が増える	17.8	<input type="checkbox"/> その他	2.7
		無回答	0.9

## 問 16 あなたは、どのような文化・スポーツイベントに興味がありますか。次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで) n=1,496

<input type="checkbox"/> クラシックコンサートやオペラ鑑賞	20.7	<input type="checkbox"/> 知識や技能、教養を高めるための講座や教室	21.0
<input type="checkbox"/> 落語や歌舞伎などの古典芸能鑑賞	16.0	<input type="checkbox"/> 日頃の活動を発表できる市民参加の音楽祭・文化祭	9.4
<input type="checkbox"/> 文化人などの講演会	6.8	<input type="checkbox"/> 市民参加のスポーツ大会	10.7
<input type="checkbox"/> 著名な画家などの美術展	14.9	<input type="checkbox"/> 地域の伝統行事や祭り	36.2
<input type="checkbox"/> プロ選手などのスポーツ観戦	25.3	<input type="checkbox"/> その他	3.6
		無回答	3.7

## 問 17 あなたは、文化活動をどの程度行っていますか。(1つのみ) n=1,496

※「文化活動」とは、クラシック音楽、ポピュラー音楽、邦楽、民俗芸能、演芸、文芸、美術等における活動(文化財・歴史的遺産の保存・活用活動は含みません)を想定しています。

<input type="checkbox"/> 月数回以上	5.0	<input type="checkbox"/> 半年に1回程度	6.1
<input type="checkbox"/> 月1回程度	3.5	<input type="checkbox"/> 年に1回程度	8.8
<input type="checkbox"/> 1～3か月に1回程度	3.9	<input type="checkbox"/> ほとんど行っていない、または行っていない ⇒問 17-1へ	71.1
		無回答	1.6

【問 17 で「ほとんど行っていない、または行っていない」と回答した方におたずねします。】

問 17-1 文化活動をほとんど行っていない理由は何ですか。(1つのみ) n=1,063

<input type="checkbox"/> 興味がない	31.0	<input type="checkbox"/> 一緒に活動する仲間がない	5.3
<input type="checkbox"/> 時間がない	25.8	<input type="checkbox"/> いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない	13.3
<input type="checkbox"/> 近くに活動の場所がない	5.5	<input type="checkbox"/> 参加費、受講料、交通費などの費用がかかりすぎる	2.4
<input type="checkbox"/> 自分が参加できる催しがない	7.4	<input type="checkbox"/> その他	5.6
		無回答	3.8

問 18 あなたは、1回 30分以上のスポーツや運動をどの程度していますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> ほとんど毎日	} 問 18-1、 問 18-2へ	10.0	<input type="checkbox"/> 月に1～3日	7.4
<input type="checkbox"/> 週に3～5日		12.7	<input type="checkbox"/> ほとんどしていない	50.3
<input type="checkbox"/> 週に2日		9.8	無回答	1.1
<input type="checkbox"/> 週に1日		8.8		

【問 18 で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」「週に1日」と回答した方におたずねします。】

問 18-1 スポーツや運動を初めてからどの程度期間が経過していますか。(1つのみ) n=617

<input type="checkbox"/> 6か月未満	11.3	<input type="checkbox"/> 1年以上	73.6
<input type="checkbox"/> 6か月以上1年未満	8.9	<input type="checkbox"/> わからない	3.1
		無回答	3.1

【問 18 で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」「週に1日」と回答した方におたずねします。】

問 18-2 あなたは、スポーツや運動をどこで行っていますか。(いくつでも) n=617

<input type="checkbox"/> 小・中学校の施設	2.6	<input type="checkbox"/> 民間のスポーツ施設	21.9
<input type="checkbox"/> 高校・大学の施設	1.3	<input type="checkbox"/> 自宅周辺	59.3
<input type="checkbox"/> 公共の施設	18.0	<input type="checkbox"/> その他	11.8
		無回答	4.4

問 19 あなたは、今後、川越市内にどのようなスポーツ施設があると良いと思いますか。

(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> 多目的グラウンド	45.5	<input type="checkbox"/> 野球場	11.8	<input type="checkbox"/> 体育館	30.1
<input type="checkbox"/> テニスコート	10.8	<input type="checkbox"/> ソフトボール場	2.1	<input type="checkbox"/> その他	13.8
<input type="checkbox"/> 武道場	7.2	<input type="checkbox"/> サッカー場	9.9	無回答	9.4
<input type="checkbox"/> プール	30.8	<input type="checkbox"/> フットサル場	5.3		

問 20 あなたは、川越市にどのようなスポーツ教室の開催を望みますか。(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> 健康体操	33.9	<input type="checkbox"/> ヨガ	28.0	<input type="checkbox"/> 太極拳	12.1
<input type="checkbox"/> ダンス	15.0	<input type="checkbox"/> 陸上	5.9	<input type="checkbox"/> ウォーキング	25.7
<input type="checkbox"/> バスケットボール	6.6	<input type="checkbox"/> サッカー	8.4	<input type="checkbox"/> バレーボール	6.3
<input type="checkbox"/> 剣道	3.5	<input type="checkbox"/> 野球	8.8	<input type="checkbox"/> その他	14.6
<input type="checkbox"/> 柔道	3.1	<input type="checkbox"/> ドッジボール	2.4	無回答	10.6

## 4. 保健・医療・福祉・子どもについてお伺いします。

問 21 あなたは、福祉に関心がありますか。(1つのみ) n=1,496

※「福祉」とは、「生活困窮者・障害者・高齢者・子どもに関する福祉のほか、地域における身近な支え合い」などを想定しています。

<input type="checkbox"/> 関心がある	59.2	<input type="checkbox"/> どちらともいえない	33.8
<input type="checkbox"/> 関心がない	5.9	無回答	1.1

問 22 あなたは、老後の生活について不安を感じますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 住居のことで不安を感じる	4.6	<input type="checkbox"/> 家族などの人間関係のことで不安を感じる	5.5
<input type="checkbox"/> 健康のことで不安を感じる	25.9	<input type="checkbox"/> その他	1.6
<input type="checkbox"/> 収入のことで不安を感じる	39.3	<input type="checkbox"/> 特に不安は感じない	12.9
<input type="checkbox"/> いきがいのことで不安を感じる	5.1	無回答	5.1

問 23 あなたは、老後の過ごし方についてどのようにお考えですか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい	46.9	<input type="checkbox"/> 社会福祉のための奉仕活動や地域活動に参加したい	3.0
<input type="checkbox"/> 研究や学習・勉強に取り組みたい	2.1	<input type="checkbox"/> 健康の維持・増進に努めたい	22.3
<input type="checkbox"/> できるだけ働き続けたい	14.6	<input type="checkbox"/> 特に考えていない	8.8
		無回答	2.3

問 24 高齢者の身近な相談窓口である、「地域包括支援センター」を知っていますか。

(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 利用したことがある	7.6	<input type="checkbox"/> 知らない	49.3
<input type="checkbox"/> 知っているが、利用したことはない	41.5	無回答	1.7

問 25 あなたは、普段から健康に気を付けるよう意識していますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 健康のために積極的に行っている事がある	13.4	} 問 25-1へ
<input type="checkbox"/> 健康のために生活習慣には気を付けるようにしている	45.2	
<input type="checkbox"/> 病気にならないように気を付けているが、特に何かを行っているわけではない	31.3	
<input type="checkbox"/> 特に意識しておらず、具体的には何も行っていない	8.9	
無回答	1.3	

【問 25 で「病気にならないように気を付けているが、特に何かを行っているわけではない」「特に意識しておらず、具体的には何も行っていない」と回答した方におたずねします。】

問 25-1 健康のための取組を行っていない主な理由は何ですか。(1つのみ) n=601

<input type="checkbox"/> 何をどのように行ったらよいかわからない	17.6	<input type="checkbox"/> 施設や機会がない	3.7
<input type="checkbox"/> 忙しくて時間がない	25.8	<input type="checkbox"/> 健康上の理由からできない	1.3
<input type="checkbox"/> 経済的なゆとりがない	8.5	<input type="checkbox"/> 一緒にやる仲間がない	1.5
<input type="checkbox"/> 健康なので特に何もする必要はない	11.6	<input type="checkbox"/> 特に理由はない	25.6
		無回答	4.3

## 問 26 あなたは、塩分の摂取量について、気を付けていますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> いつも気を付けている	26.2	<input type="checkbox"/> あまり気を付けていない	23.7
<input type="checkbox"/> ときどき気を付けている	38.7	<input type="checkbox"/> ほとんど気を付けていない	10.4
		無回答	1.0

## 問 27 あなたやご家族の中で、病気になったときに決まって診察を受ける医師(かかりつけ医)がいる方はいますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> いる ⇒問 27-1 へ	62.0	<input type="checkbox"/> いない	36.5
		無回答	1.5

【問 27で「いる」と回答した方におたずねします。】

## 問 27-1 「かかりつけ医」がいる方は、どなたですか。(いくつでも) n=928

<input type="checkbox"/> 自分	68.9	<input type="checkbox"/> 配偶者	40.5	<input type="checkbox"/> その他	2.4
<input type="checkbox"/> 子ども	27.4	<input type="checkbox"/> 親	25.5	無回答	0.9

## 問 28 あなたは、かかりつけ歯科医がいますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> いる	66.0	<input type="checkbox"/> いない	32.5
		無回答	1.5

【すべての方におたずねします。】

## 問 29 あなたは過去1年間に次の検診を受けたことがありますか。

(治療や診断のための検査は除きます)

※①から③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ) n=1,496

	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答
①胃がん検診(バリウム検査または胃カメラ)	64.6	4.7	17.8	9.4	3.5
②肺がん検診(胸部エックス線撮影)	56.1	8.6	25.5	6.4	3.3
③大腸がん検診(便潜血検査)	62.1	7.6	19.7	7.3	3.3

## 【女性の方におたずねします。】

問 30 あなたは過去 2 年間に次の検診を受けたことがありますか。

※①、②のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ) n=874

	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答
①子宮頸がん検診(子宮頸部細胞診検査)	62.0	10.9	11.6	13.5	2.1
②乳がん検診(乳房エックス線検査(マンモグラフィ))	65.1	10.0	12.0	10.3	2.6

## 【問 29、問 30 でひとつでも「受けていない」と回答した方におたずねします。】

問 31 がん検診を受診しない理由は何ですか。(いくつでも) n=1,162

<input type="checkbox"/> 自分は健康だから関係ない	9.0	<input type="checkbox"/> 検診に出かけるのが面倒	18.7
<input type="checkbox"/> 受診方法がわからない	12.4	<input type="checkbox"/> 結果に不安がある	5.1
<input type="checkbox"/> 経費がかかる	19.3	<input type="checkbox"/> 症状があれば診察を受ける	34.5
<input type="checkbox"/> 受診したいが時間がない	18.2	<input type="checkbox"/> がん治療を受けている	1.9
		無回答	19.2

問 32 児童虐待を減らすためにはどのような方法が効果的だと思いますか。

次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,496

<input type="checkbox"/> 児童虐待に関することの普及・啓発	22.3	<input type="checkbox"/> 児童相談所等の権限の強化	43.6
<input type="checkbox"/> 子育て世代の相談体制やサービスの充実	46.4	<input type="checkbox"/> 市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化	57.4
<input type="checkbox"/> 虐待をしてしまう保護者への支援	30.6	<input type="checkbox"/> その他	3.2
<input type="checkbox"/> 地域住民の見守りなど協力体制の構築	29.4	<input type="checkbox"/> 効果的な方法はない	1.1
<input type="checkbox"/> 虐待を禁止するという条例の制定	14.4	<input type="checkbox"/> わからない	3.1
		無回答	1.6

問 33 児童虐待に関する国・県・市等の施策を知っていますか。(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> 児童虐待防止推進月間	10.2	<input type="checkbox"/> 埼玉県虐待通報ダイヤル	16.8
<input type="checkbox"/> 児童相談所虐待対応ダイヤル189	20.5	<input type="checkbox"/> 川越市児童虐待防止SOSセンター	19.1
<input type="checkbox"/> オレンジリボン運動	9.3	<input type="checkbox"/> 親と子どもの悩みごと相談@埼玉	7.4
<input type="checkbox"/> 埼玉県虐待禁止条例	7.7	<input type="checkbox"/> 知っているものはない	47.5
<input type="checkbox"/> 児童虐待防止サポーター	5.1	無回答	4.1

## 5. 環境についてお伺いします。

問 34 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。(1つのみ) n=1,496

※「環境」とは、地球温暖化、廃棄物問題、生物の多様性、都市のみどりまで幅広く捉えた環境を想定しています。

<input type="checkbox"/> 満足	5.0	<input type="checkbox"/> ふつう	62.1	<input type="checkbox"/> 不満	2.6
<input type="checkbox"/> やや満足	17.9	<input type="checkbox"/> やや不満	10.0	無回答	2.4

問 35 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。

次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,496

<input type="checkbox"/> テレビ	68.4	<input type="checkbox"/> 雑誌	3.7	<input type="checkbox"/> 市が発行する冊子	8.0
<input type="checkbox"/> ラジオ	7.6	<input type="checkbox"/> 広報川越	43.2	<input type="checkbox"/> 公民館などの講座	0.5
<input type="checkbox"/> 新聞	27.9	<input type="checkbox"/> インターネット	47.3	<input type="checkbox"/> その他	1.9
				無回答	2.1

【資源の循環的な利用を促進する取組として、資源ごみ収集についておたずねします。】

問 36 収集回数は適当だと思いますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 多い	0.4	<input type="checkbox"/> 少ない	23.3
<input type="checkbox"/> 適当	70.4	<input type="checkbox"/> わからない	4.8
		無回答	1.1

問 37 収集回数を更に増やすなら、品目は何が良いですか。(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> びん・缶	29.1	<input type="checkbox"/> 紙類	26.7
<input type="checkbox"/> ペットボトル	37.6	<input type="checkbox"/> その他プラスチック製容器包装	42.2
		無回答	11.0

問 38 収集回数を増やすため、経費が増えることについて、どのように思いますか。

(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> やむを得ない	36.1	<input type="checkbox"/> 負担増は避けるべき	48.9	<input type="checkbox"/> わからない	12.1
				無回答	2.9

問 39 ごみ処理費用負担の公平性の観点から、家庭ごみ収集を有料化することについて、どのように思いますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 賛成	2.7	<input type="checkbox"/> 反対	38.5
<input type="checkbox"/> どちらかという賛成	11.7	<input type="checkbox"/> わからない	7.6
<input type="checkbox"/> どちらかという反対	38.0	無回答	1.5

**問 40 川越市は、「小江戸かわごえ脱炭素宣言」を表明し、2050年脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策を推進します。**

**あなたは、地球温暖化対策について、どのように思いますか。(1つのみ) n=1,496**

<input type="checkbox"/> 地球温暖化対策は必要であり、自分でできることに取り組んでいる	43.0
<input type="checkbox"/> 地球温暖化対策は必要だが、何をしたら良いかわからない	47.5
<input type="checkbox"/> 地球温暖化対策に取り組む必要はない	1.9
<input type="checkbox"/> わからない	6.0
無回答	1.6

**問 41 あなたは、緑を増やすために、①現在どのようなことをしていますか。また、②今後どのようなことをしたいですか。※①、②のそれぞれに回答してください。**

**(それぞれいくつでも) n=1,496**

	庭や家のまわりで木や花を育てる	ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる	生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する	市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる	近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする	地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する	特に何も無い	無回答
①していること	52.5	30.7	8.6	4.9	0.7	0.8	33.0	3.9
②したいこと	17.4	16.8	9.0	13.0	10.1	11.0	30.4	20.5

**問 42 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。**

**次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,496**

<input type="checkbox"/> 公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい	70.9
<input type="checkbox"/> 樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい	39.4
<input type="checkbox"/> 緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい	24.3
<input type="checkbox"/> 市民農園の整備を推進してほしい	15.0
<input type="checkbox"/> 樹林の保全への市民参加のしくみをつくってほしい	12.5
<input type="checkbox"/> ボランティア活動などの広報をもっと充実させてほしい	12.1
<input type="checkbox"/> その他	3.9
無回答	3.7

## 6. 地域社会と市民生活についてお伺いします。

問 43 あなたは、防災対策として、どのような施策が必要だと思いますか。

次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,496

<input type="checkbox"/> 市民の防災意識を高めること	44.1
<input type="checkbox"/> 自主防災組織を育成すること	10.5
<input type="checkbox"/> 飲料水や食料などの生活物資を確保すること	50.4
<input type="checkbox"/> 下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること	52.1
<input type="checkbox"/> 農地の整備を推進し、水害対策を図ること(農業の多面的機能)	12.0
<input type="checkbox"/> 避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること	39.7
<input type="checkbox"/> 救急・医療体制を充実させること	42.8
<input type="checkbox"/> 消防車、防火水槽などの消防力を充実させること	6.9
<input type="checkbox"/> その他	1.3
無回答	1.1

問 44 東日本大震災以降、個人で3日以上の水や食料の備蓄が必要といわれていますが、あなたは何日分準備していますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 1日分準備している	15.9	<input type="checkbox"/> 3日以上準備している	30.9
<input type="checkbox"/> 2日分準備している	20.7	<input type="checkbox"/> 準備していない	31.2
		無回答	1.2

問 45 あなたは、災害が起きた際、家族等との安否確認手段を決めていますか。

(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> 予定避難場所を決めている	31.8	<input type="checkbox"/> その他	1.7
<input type="checkbox"/> 災害用伝言板サービスを利用することにしている	7.8	<input type="checkbox"/> 特に決めていない	58.0
<input type="checkbox"/> 災害用伝言ダイヤルを利用することにしている	8.9	無回答	1.6

問 46 あなたは、高齢者の交通事故防止に何が必要だと思いますか。(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> 高齢者を対象とした交通安全教室の実施	49.3
<input type="checkbox"/> 高齢者の事故に関する周知・啓発活動	50.9
<input type="checkbox"/> 運転適性相談等の自動車の運転に関する情報提供	49.3
<input type="checkbox"/> 反射材等の事故防止啓発品の配布	27.4
<input type="checkbox"/> その他	9.5
無回答	2.5

問 47 あなたは、市内で歩きながらスマートフォンを操作している人が、危険な状況になったことを、実際に見たことがありますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> よく見かける	} 問 47-1へ	20.1	<input type="checkbox"/> 見たことがない	32.1
<input type="checkbox"/> ときどき見かける		47.1	無回答	0.7

## 【問 47 「よく見かける」「ときどき見かける」と回答した方におたずねします。】

## 問 47-1 どこで見かけたことがありますか。(いくつでも) n=1,005

<input type="checkbox"/> 商業施設内	29.8	<input type="checkbox"/> 商店街 (クレアモール等)	32.5
<input type="checkbox"/> 駅構内	53.1	<input type="checkbox"/> 道路上	81.6
<input type="checkbox"/> 観光地 (一番街等)	23.8	<input type="checkbox"/> その他	1.6
		無回答	0.5

## 問 48 現在、日本の社会には基本的人権に関わる問題がいくつかありますが、あなたが関心のあることは何ですか。(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> 女性にかかる人権問題	38.2	<input type="checkbox"/> 犯罪被害者等にかかる人権問題	22.5
<input type="checkbox"/> 子どもにかかる人権問題	40.0	<input type="checkbox"/> アイヌの人々にかかる人権問題	5.0
<input type="checkbox"/> 高齢者にかかる人権問題	25.1	<input type="checkbox"/> インターネットによる人権侵害	50.1
<input type="checkbox"/> 障害のある人にかかる人権問題	39.9	<input type="checkbox"/> 北朝鮮当局による拉致問題	21.9
<input type="checkbox"/> 同和問題	5.1	<input type="checkbox"/> 災害時における人権への配慮	19.7
<input type="checkbox"/> 外国人にかかる人権問題	14.0	<input type="checkbox"/> 性的少数者にかかる人権問題	16.6
<input type="checkbox"/> HIV感染者、ハンセン病患者などにかかる人権問題	6.6	<input type="checkbox"/> その他	1.8
		<input type="checkbox"/> 特にない	8.4
		無回答	1.3

## 問 49 人権問題についての理解を深め、人権意識を上げていくためには、今後どのような取組が必要だとお考えですか。(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> 慣習や社会の仕組みを改善していく	53.2
<input type="checkbox"/> 家庭の中で取り組んでいく	30.3
<input type="checkbox"/> 学校教育の中で教えていく	64.4
<input type="checkbox"/> 市町村が啓発活動を積極的に行う	22.5
<input type="checkbox"/> 自治会など地域ぐるみでの取り組みを行う	14.8
<input type="checkbox"/> 企業や職場での啓発活動を行う	19.1
<input type="checkbox"/> 講演会・シンポジウムなどを開催する	8.0
<input type="checkbox"/> 人権に関する作文や絵画などのコンクールを行う	4.9
<input type="checkbox"/> 民間団体の力を活用する	9.4
<input type="checkbox"/> 人権意識は向上しており、取り組む必要はない	0.9
<input type="checkbox"/> 個人の意識の問題であり、介入する必要はない	3.6
<input type="checkbox"/> その他	1.5
<input type="checkbox"/> 取り組んでも変わらない	2.2
<input type="checkbox"/> わからない	7.6
無回答	1.2

## 問 50 あなたは、市民活動に参加したいと思いますか。(1つのみ) n=1,496

※「市民活動」とは、「営利を目的とせず、社会や地域の課題の解決に向けて自発的・自主的・継続的に行う活動(宗教活動や政治活動を主な目的とする活動は除く)」を想定しています。

<input type="checkbox"/> 現在、参加している ⇒問 50-1へ	4.2
<input type="checkbox"/> 今は参加していないが、今後機会があれば参加したい ⇒問 50-1、問 50-2へ	29.9
<input type="checkbox"/> 参加したいとは思わない ⇒問 50-2へ	32.9
<input type="checkbox"/> わからない	29.5
無回答	3.5

【問 50 で「現在、参加している」「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と回答した方におたずねします。】

## 問 50-1 あなたが参加している、または参加したいと思う市民活動の分野は何ですか。

次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=511

<input type="checkbox"/> 保健・医療の推進	15.9	<input type="checkbox"/> 男女共同参画の推進	2.2
<input type="checkbox"/> 見守り等の福祉活動	25.2	<input type="checkbox"/> 子育て支援・子どもの健全育成	25.6
<input type="checkbox"/> 生涯学習の推進	15.7	<input type="checkbox"/> 情報化社会の推進	3.9
<input type="checkbox"/> まちづくりの推進	14.7	<input type="checkbox"/> 科学技術の振興	2.5
<input type="checkbox"/> 文化・スポーツの振興	20.9	<input type="checkbox"/> 経済・観光の活性化	7.6
<input type="checkbox"/> 環境・美化活動	21.7	<input type="checkbox"/> 職業支援活動	5.3
<input type="checkbox"/> 防犯・交通安全活動	14.3	<input type="checkbox"/> 災害対策活動	11.0
<input type="checkbox"/> 人権・平和活動	5.7	<input type="checkbox"/> 市民活動の支援	5.7
<input type="checkbox"/> 国際交流の推進	10.2	<input type="checkbox"/> その他	2.2
		無回答	5.9

【問 50 で「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」「参加したいとは思わない」と回答した方におたずねします。】

## 問 50-2 参加していない、または参加したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも) n=940

<input type="checkbox"/> きっかけや機会がない	40.4	<input type="checkbox"/> お金がかかりそう	6.7
<input type="checkbox"/> 参加できる活動や団体の情報がない	20.0	<input type="checkbox"/> 新たな人間関係を築くのが億劫	16.6
<input type="checkbox"/> 活動する時間がない	44.3	<input type="checkbox"/> 長く住むつもりがない	1.8
<input type="checkbox"/> 興味の持てる、自分のできそうな活動がない	20.5	<input type="checkbox"/> 参加するメリットを感じない	12.7
<input type="checkbox"/> 活動するための知識や技術がない	18.7	<input type="checkbox"/> その他	5.0
		無回答	7.1

## 問 51 自治会への加入の有無について、教えてください。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 加入している	} 問 51-1へ	76.9
<input type="checkbox"/> 今は加入していないが、今後加入したい		1.4
<input type="checkbox"/> 今は加入していないが、以前加入していた	} 問 51-2、問 51-3、問 51-4へ	3.7
<input type="checkbox"/> 加入していない		16.2
無回答		1.9

【問 51 で「加入している」「今は加入していないが、今後加入したい」と回答した方におたずねします。】

問 51-1 あなたが自治会に加入していて良かった、または加入したいと思う理由は何ですか。

(いくつでも) n=1,171

<input type="checkbox"/> 地域の人との親交を深める事ができる	40.7
<input type="checkbox"/> 地域の情報を得ることができる	52.7
<input type="checkbox"/> 地域の活動に参加することができる	24.0
<input type="checkbox"/> 災害時に助け合える体制を築くことができる	31.0
<input type="checkbox"/> 子どもたちを地域で安心して育てることができる (防犯対策になる)	28.4
<input type="checkbox"/> 地域の要望を、自治会を通じて行政等に陳情することができる	17.4
<input type="checkbox"/> その他	13.0
無回答	3.2

【問 51 で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問 51-2 あなたが自治会に加入していない、または加入したいと思わない理由は何ですか。

(いくつでも) n=297

<input type="checkbox"/> 自治会のことがよくわからない	41.1	<input type="checkbox"/> 加入するメリットを感じない	31.0
<input type="checkbox"/> 活動に参加する時間がない	26.6	<input type="checkbox"/> 加入していても困らない	34.7
<input type="checkbox"/> 役員などの仕事の負担が大きい	22.6	<input type="checkbox"/> その他	10.8
<input type="checkbox"/> 会費の負担が大きい	13.1	無回答	6.7

【問 51 で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問 51-3 あなたが自治会への加入を考えてもいい、または加入したいと思える条件は何ですか。

(いくつでも) n=297

<input type="checkbox"/> 自治会・町内会の活動が明確である	25.6
<input type="checkbox"/> 自治会に加入する明確なメリットがある	41.8
<input type="checkbox"/> 役員や班長などの業務負担がない (もしくは少ない)	36.4
<input type="checkbox"/> 会費が無料 (もしくは安い)	30.0
<input type="checkbox"/> 活動や行事に気軽に参加できる	16.5
<input type="checkbox"/> 仕事や学業が忙しくなく活動に参加する時間がある	23.6
<input type="checkbox"/> その他	8.4
無回答	13.5

【問 51 で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問 51-4 自治会に加入していないことで、困っていることは何ですか。(いくつでも) n=297

<input type="checkbox"/> 地域の人とのつながりがない	10.8	<input type="checkbox"/> 回覧板が回らないため、地域の情報が得られない	8.1
<input type="checkbox"/> 地域の行事に参加できない	4.4	<input type="checkbox"/> その他	2.0
<input type="checkbox"/> 災害時に不安がある	8.4	<input type="checkbox"/> 困っていることはない	68.7
<input type="checkbox"/> ゴミ集積所を使わせてもらえない	1.3	無回答	9.1

問 52 住民票や戸籍などの証明書の取得、印鑑の登録、また住所変更（転入・転出など）や戸籍の届出（婚姻・出生など）は、市役所本庁舎以外にも、各市民センター（旧出張所）・川越駅西口連絡所（川越市民サービスステーション内）でも手続きができることをご存知ですか。  
（1つのみ）n=1,496

<input type="checkbox"/> 知っている	92.1	<input type="checkbox"/> 知らなかった	6.8
		無回答	1.1

問 53 住民票や戸籍などの証明書の取得やお手続きをする場合、どこを利用されますか。  
（1つのみ）n=1,496

<input type="checkbox"/> 市役所 ⇒問 53-1へ	25.9	<input type="checkbox"/> 市民センター	54.5
<input type="checkbox"/> 川越駅西口連絡所	17.9	無回答	1.7

【問 53 で「市役所」と回答した方におたずねします。】

問 53-1 川越駅西口連絡所、市民センターを利用しない理由は何ですか。（いくつでも）n=387

<input type="checkbox"/> 市役所が一番近い	55.8
<input type="checkbox"/> 市役所より手続きに時間がかかるため	3.1
<input type="checkbox"/> 手続きが一度で終わるか不安なため	20.4
<input type="checkbox"/> 地元の市民センター等では手続きをしたくない（知られたくない）ため	1.0
<input type="checkbox"/> その他	6.5
<input type="checkbox"/> 特になし	18.9
無回答	1.0

## 7. 市政全般についておたずねします。

問 54 あなたは、「広報川越」をご覧になりますか。（1つのみ）n=1,496

<input type="checkbox"/> よく読む	} 問 54-1、	31.7	<input type="checkbox"/> 読まない	15.5
<input type="checkbox"/> ところどころ読む		問 54-2へ	52.2	無回答

【問 54 で「よく読む」「ところどころ読む」と回答した方におたずねします。】

問 54-1 広報川越の情報量（文章量・ページ数）についてどのように思いますか。

（1つのみ）n=1,255

<input type="checkbox"/> 多い	3.9	<input type="checkbox"/> 少ない	4.1
<input type="checkbox"/> ちょうどいい	91.0	無回答	1.0

【問 54 で「よく読む」「ところどころ読む」と回答した方におたずねします。】

問 54-2 広報川越には、詳細情報を市のホームページで確認できるよう、2次元コードを掲載していますが、利用したことはありますか。（1つのみ）n=1,255

<input type="checkbox"/> よく利用している	0.8	<input type="checkbox"/> 利用したことがない	81.4
<input type="checkbox"/> たまに利用している	9.5	<input type="checkbox"/> 使い方がわからない	6.0
		無回答	2.4

## 【お住いの地域にある川越市掲示板についておたずねします。】

問 55 あなたは、情報を入手するため、掲示板をご覧になることがありますか。

(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> よく見る	1.8	<input type="checkbox"/> ほとんど見ない	37.7
<input type="checkbox"/> とくどき見る	17.1	<input type="checkbox"/> 全く見ない	42.0
		無回答	1.4

問 56 あなたは、今後、掲示板を利用しようと思えますか。(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 思う	20.1	<input type="checkbox"/> 現在利用しておらず、今後も利用しない	47.5
<input type="checkbox"/> 思わない	30.0	無回答	2.3

問 57 あなたは、市の情報をどのような方法で取得していますか。(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> 市のホームページ	49.8	<input type="checkbox"/> 広報川越	75.0
<input type="checkbox"/> 市のツイッター・フェイスブック・LINE	8.2	<input type="checkbox"/> コミュニティFM「ラジオ川越」	0.7
<input type="checkbox"/> メール配信サービス	6.2	<input type="checkbox"/> その他	4.6
		無回答	2.4

問 58 あなたは、市の行政に関する情報提供について、分かりやすく提供されていると思えますか。

(1つのみ) n=1,496

※「情報提供」とは、「広報川越」や市のホームページなどによるお知らせや情報公開制度による公文書の公開などを想定しています。

<input type="checkbox"/> 分かりやすく提供されている	10.8	<input type="checkbox"/> あまり分かりやすく提供されていない	15.8
<input type="checkbox"/> おおむね、分かりやすく提供されている	65.3	<input type="checkbox"/> 分かりやすく提供されていない	4.9
		無回答	3.1

問 59 市が情報を提供している方法のうち、あなたが今後利用したいと思う方法は何ですか。

(いくつでも) n=1,496

<input type="checkbox"/> 市のホームページ	57.5
<input type="checkbox"/> 広報川越 (毎月1回発行)	68.4
<input type="checkbox"/> 公共施設での掲示や配付物	11.9
<input type="checkbox"/> メール配信サービス	9.2
<input type="checkbox"/> 市のSNS (川越市公式ツイッター、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント)	15.7
<input type="checkbox"/> 市の公式ユーチューブチャンネル (川越市チャンネル)	4.5
<input type="checkbox"/> 自治会回覧板	32.6
<input type="checkbox"/> 川越市掲示板	6.3
無回答	2.7

## 問 60 あなたが今必要としている市からの情報は何か。

次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,496

<input type="checkbox"/> 医療や健康づくりに関する情報	47.0	<input type="checkbox"/> 市の施策・計画に関する情報	14.0
<input type="checkbox"/> 福祉サービスに関する情報	22.3	<input type="checkbox"/> 地域のお祭りやレクリエーションの場の情報	12.3
<input type="checkbox"/> スポーツ施設と利用方法の情報	9.0	<input type="checkbox"/> 市民のボランティア・サークル活動の情報	4.2
<input type="checkbox"/> 文化施設や催し物の情報	15.8	<input type="checkbox"/> マイナンバーの情報	6.4
<input type="checkbox"/> 生涯学習講座に関する情報	6.2	<input type="checkbox"/> 子育て(支援)に関する情報	15.5
<input type="checkbox"/> 災害時の対応の情報	36.0	<input type="checkbox"/> その他	1.5
<input type="checkbox"/> 交通渋滞や道路工事等の情報	10.6	<input type="checkbox"/> 特になし	7.0
<input type="checkbox"/> ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報	30.7	無回答	1.7

## 問 61 あなたは、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じていますか。

(1つのみ) n=1,496

<input type="checkbox"/> 市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている	4.1
<input type="checkbox"/> ある程度、市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている	37.2
<input type="checkbox"/> 市民と行政で一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない	47.4
<input type="checkbox"/> 市民と行政で一緒にまちづくりを行っていない	7.2
無回答	4.2

## 問 62 あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。

※①から⑰のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ) n=1,496

		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
保 健	①ごみの回収	43.6	42.6	10.4	2.1	1.3
	②排水のはけぐあい	32.8	38.9	17.6	8.1	2.6
	③予防接種・定期健康診断	30.0	48.3	14.6	3.5	3.5
	④休日や夜間の急病の時の安心さ	13.8	46.7	28.1	7.8	3.6
安 全	⑤子どもが外で遊ぶときの安全性	9.7	43.4	32.6	9.3	4.9
	⑥高齢者の外出や散歩の安全性	9.1	43.2	36.0	8.0	3.7
	⑦自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性	11.5	44.3	32.0	9.2	2.9
	⑧夜道の明るさ(防犯灯)	8.6	30.5	39.2	19.5	2.1
	⑨まわりの道路の安全性	5.9	29.1	43.2	18.8	2.9
利 便	⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ	40.2	38.4	14.0	5.1	2.3
	⑪通勤・通学時の便利さ	26.1	40.4	20.4	9.6	3.5
	⑫公園・広場等の利用のしやすさ	15.7	42.6	26.9	11.6	3.3
	⑬公民館・集会場等の利用のしやすさ	14.2	47.7	26.2	8.0	4.0
快 適	⑭ばい煙・排気ガスからの快適さ	18.3	47.3	25.2	5.8	3.3
	⑮工場・車等の振動、騒音からの快適さ	19.0	45.2	25.1	7.7	3.1
	⑯周囲のにおいの状態からの快適さ	23.2	48.9	18.6	6.4	2.8
	⑰プライバシーの保持	22.1	57.9	14.2	2.9	2.9

問 63 市役所職員のイメージについてどう思いますか。それぞれのイメージについて評価してください。

※①から⑦のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ) n=1,496

	良い	どちらかといえば 良い	どちらかといえば 悪い	悪い	無回答
①親切	26.8	58.8	9.9	2.1	2.5
②能率的	16.8	55.8	19.8	4.3	3.2
③積極的	14.1	52.5	25.1	4.9	3.4
④サービス心	15.9	54.3	21.4	4.8	3.6
⑤身だしなみ	28.5	63.3	4.5	0.7	3.1
⑥態度	24.3	59.6	10.2	3.2	2.7
⑦言葉づかい	27.4	63.0	5.5	1.5	2.6

問 64 持続可能な行財政運営を行うため、行財政改革と行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。(1つのみ) n=1,496

【参考】川越市の財政状況について

本市は県内の自治体と比べて経常的な経費の割合が高く、将来の備えである財政調整基金残高(市の貯金にあたるもの)が十分ではありません。少子高齢化の進行や新型コロナウイルス感染症の影響などにより支出の増や収入の減が見込まれる中、このままでは行政サービスの水準を維持することが難しくなると予測されます。

<input type="checkbox"/> 行財政改革の範囲は最小限に留め、現状のサービス水準の維持を優先してほしい	21.3
<input type="checkbox"/> 行財政改革を計画的に進め、現状でサービス水準の高い部分の見直しはやむを得ない	24.3
<input type="checkbox"/> 行財政改革を積極的に進め、限られた財源の範囲内でのサービスを提供すべきだ	25.5
<input type="checkbox"/> よくわからない	23.9
<input type="checkbox"/> その他	2.2
無回答	2.8

問 65 川越市が行財政改革を推進する上で、あなたが重点的に取り組む必要があると思うものは何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで) n=1,496

【歳出削減】		【歳入確保】	
<input type="checkbox"/> 事務事業の選択と集中	17.7	<input type="checkbox"/> 税収確保のための徴収体制の強化	12.4
<input type="checkbox"/> 外郭団体や特別会計等の経営の見直し	26.3	<input type="checkbox"/> ふるさと納税(寄附金)の拡充	37.2
<input type="checkbox"/> 大規模公共事業の抑制	18.1	<input type="checkbox"/> 公共施設の使用料等の引上げ	7.5
<input type="checkbox"/> 公共施設の集約化や複合化、廃止	14.1	【その他】	
<input type="checkbox"/> 公共施設や窓口業務などの民間委託化	16.4	<input type="checkbox"/> その他	3.8
<input type="checkbox"/> 行政サービスの見直しや効率化による職員数の抑制	28.3	無回答	6.5
<input type="checkbox"/> デジタル技術の活用などによる業務効率化	39.8		

問 66 市政全般について、「よくなってきた施策」、また、「力を入れるべき施策」をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。n=1,496

項目	よくなってきた施策	力を入れるべき施策
1. 市民参加の行政	1.9	2.3
2. 市の行政に対する情報提供	6.8	3.0
3. 行財政改革の推進	1.1	5.6
4. 市税等の債権回収	0.5	3.1
5. インターネットを活用した行政サービス	18.1	10.0
6. 保育所・幼稚園・認定こども園	9.2	8.4
7. 子育て支援の充実	7.2	16.8
8. 社会福祉	3.5	10.6
9. 保健・医療	5.5	13.4
10. 文化・スポーツ活動の振興	3.3	3.6
11. 社会教育の充実	0.5	1.6
12. 歴史的環境の保全	14.9	2.7
13. 学校教育の内容・施設・環境の整備	6.0	12.0
14. 中心市街地の基盤整備と活性化	14.4	2.7
15. 周辺地域の基盤整備と活性化	2.6	7.6
16. 土地利用（用途地域の見直しなど）	1.7	6.5
17. 道路、交通網の整備	9.7	20.3
18. 水道事業	2.2	1.5
19. 下水道整備	3.2	7.9
20. 公園・緑地の整備	8.7	11.4
21. 住宅	3.5	1.5
22. 就労の支援	1.5	8.3
23. 農業振興	0.9	3.2
24. 商工業振興	2.5	1.8
25. 観光による地域振興	24.4	5.1
26. 地球温暖化対策の推進	0.8	8.3
27. 環境衛生	2.1	3.4
28. 自然環境の保全	1.9	5.9
29. 河川・水路の改良整備	8.2	13.8
30. コミュニティの育成	1.1	1.3
31. 男女共同参画	0.4	1.0
32. 交通安全	2.6	9.1
33. 防犯	3.4	13.5
34. 防災体制の充実	2.1	11.6
35. 消防・救急体制の整備	3.2	6.4
36. 消費者対策	0.5	2.0
37. 葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実	21.9	1.2
38. 特にない	11.4	4.3
無回答	13.6	8.3

**問 67 あなたは、これからもずっと川越市に住み続けたいと思いますか。それともよそに移りたいと思いますか。(1つのみ) n=1,496**

<input type="checkbox"/> 住み続けたい	} 問 67-1へ	51.1
<input type="checkbox"/> どちらかというに住み続けたい		36.4
<input type="checkbox"/> どちらかという和市外に転出したい	} 問 67-2へ	7.6
<input type="checkbox"/> 市外に転出したい		2.7
無回答		2.3

**【問 67で「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と回答した方におたずねします。】**

**問 67-1 川越市に住み続けたいというのは、特にどのような理由からですか。**

**次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで) n=1,308**

<input type="checkbox"/> 自然環境がよい	15.2	<input type="checkbox"/> 教育・文化環境がよい	1.8
<input type="checkbox"/> 生活環境がよい	31.9	<input type="checkbox"/> 自分の家(土地)だから	48.0
<input type="checkbox"/> 鉄道・公共交通の便がよい	21.9	<input type="checkbox"/> 住みなれて愛着があるから	38.6
<input type="checkbox"/> 商売や勤務の関係で	6.4	<input type="checkbox"/> その他	1.5
<input type="checkbox"/> 地域の人間関係がよい	6.3	<input type="checkbox"/> わからない	1.1
		無回答	1.4

**【問 67で「どちらかという和市外に転出したい」「市外に転出したい」と回答した方におたずねします。】**

**問 67-2 市外へ移りたいというのは、特にどのような理由からですか。**

**次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで) n=154**

<input type="checkbox"/> 自然環境がよくない	9.1	<input type="checkbox"/> 教育・文化環境がよくない	8.4
<input type="checkbox"/> 生活環境がよくない	18.2	<input type="checkbox"/> 住宅の関係で	15.6
<input type="checkbox"/> 鉄道・公共交通の便がよくない	28.6	<input type="checkbox"/> 勤務地が遠いため	14.9
<input type="checkbox"/> 商売や勤務の関係で	9.7	<input type="checkbox"/> その他	29.9
<input type="checkbox"/> 地域の人間関係がよくない	5.2	<input type="checkbox"/> わからない	2.6
		無回答	1.3

**問 68 あなたは、川越市に愛着をお持ちですか。(1つのみ) n=1,496**

<input type="checkbox"/> 持っている	41.4	<input type="checkbox"/> 持っていない	3.0
<input type="checkbox"/> どちらかというを持っている	39.4	<input type="checkbox"/> わからない	6.8
<input type="checkbox"/> どちらかという持っていない	6.8	無回答	2.5

問 69 あなたが市税（国民健康保険税を含む）を納める方法として希望するのは次のどれですか。  
次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで） n=1,496

<input type="checkbox"/> 金融機関 及び ゆうちょ銀行・郵便局の窓口	32.0
<input type="checkbox"/> 市役所収税課・各市民センターの窓口	8.3
<input type="checkbox"/> 口座振替	41.2
<input type="checkbox"/> コンビニエンス・ストア	42.4
<input type="checkbox"/> スマートフォンアプリ決済による納付	13.7
<input type="checkbox"/> インターネット（パソコン・スマートフォン等を使用）を利用したクレジットカードによる納付	20.5
<input type="checkbox"/> その他	1.5
無回答	1.9

## 8. あなた自身のことについておたずねします。

F 1 あなたの性別を教えてください。（1つのみ） n=1,496

<input type="checkbox"/> 男性	39.6	<input type="checkbox"/> その他	0.1
<input type="checkbox"/> 女性	58.4	無回答	1.8

F 2 あなたの年齢はいくつですか。（1つのみ） n=1,496

<input type="checkbox"/> 18・19 歳	1.1	<input type="checkbox"/> 40～49 歳	19.9	<input type="checkbox"/> 65～69 歳	8.4
<input type="checkbox"/> 20～29 歳	11.8	<input type="checkbox"/> 50～59 歳	13.8	<input type="checkbox"/> 70～74 歳	12.6
<input type="checkbox"/> 30～39 歳	16.4	<input type="checkbox"/> 60～64 歳	7.6	<input type="checkbox"/> 75 歳以上	6.9
				無回答	1.5

F 3 あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか。（1つのみ） n=1,496

<input type="checkbox"/> 夫婦だけ	24.8	<input type="checkbox"/> 単身世帯	12.6
<input type="checkbox"/> 二世帯世帯（親と子）	49.3	<input type="checkbox"/> その他	3.9
<input type="checkbox"/> 三世帯世帯（親と子と孫）	7.6	無回答	1.8

F 4 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。（1つのみ） n=1,496

<input type="checkbox"/> 本庁地区	21.1	<input type="checkbox"/> 高階地区	12.6	<input type="checkbox"/> 川鶴地区	5.0
<input type="checkbox"/> 芳野地区	2.7	<input type="checkbox"/> 福原地区	5.2	<input type="checkbox"/> 霞ヶ関北地区	3.2
<input type="checkbox"/> 古谷地区	3.9	<input type="checkbox"/> 大東地区	9.3	<input type="checkbox"/> 名細地区	6.7
<input type="checkbox"/> 南古谷地区	9.0	<input type="checkbox"/> 霞ヶ関地区	11.7	<input type="checkbox"/> 山田地区	5.1
				無回答	4.3

**F 5 あなたは、川越市の現在の場所に何年くらい住んでいらっしゃいますか。(1つのみ) n=1,496**

<input type="checkbox"/> 1年未満	} F 5 - 1 へ	2.9
<input type="checkbox"/> 1年～5年未満		13.7
<input type="checkbox"/> 5年～10年未満		11.2
<input type="checkbox"/> 10年～20年未満		19.7
<input type="checkbox"/> 20年以上(または生まれてからずっと)		50.6
無回答		1.9

【F 5で「1年未満」「1年～5年未満」「5年～10年未満」「10年～20年未満」と回答した方におたずねします。】

**F 5 - 1 現在の場所に移る前はどこにお住みでしたか。(1つのみ) n=710**

<input type="checkbox"/> 川越市内の別の場所	21.7	<input type="checkbox"/> 東京都	15.4
<input type="checkbox"/> 埼玉県内の他市町村	43.1	<input type="checkbox"/> その他	18.5
		無回答	1.4

**F 6 あなたの住宅の種類はどれですか。(1つのみ) n=1,496**

<input type="checkbox"/> 一戸建持家(家族の所有も含む)	67.7
<input type="checkbox"/> 一戸建以外の持家(分譲マンションなど)	11.8
<input type="checkbox"/> 民営借家(民営アパートを含む)	13.1
<input type="checkbox"/> 公営(県営、市営、公団、公社)の賃貸住宅	2.4
<input type="checkbox"/> 社宅(独身寮、公務員住宅を含む)	1.4
<input type="checkbox"/> その他	0.4
無回答	3.1

**F 7 あなたのご職業は何ですか。(複数ある場合は、主となる職業を1つ選んでください)  
(1つのみ) n=1,496**

<input type="checkbox"/> 農業	} F 7 - 1 へ	1.3
<input type="checkbox"/> 商工・サービス業(自営業者、家族従事者)		5.8
<input type="checkbox"/> 自由業(医師、弁護士、税理士、芸術家など)		1.4
<input type="checkbox"/> 管理職(会社、団体などの課長職以上)		4.2
<input type="checkbox"/> 専門・技術・事務職(研究者、技術者、一般事務、教員、保安、販売員など)		24.7
<input type="checkbox"/> 労務職(建設作業員、工員、運転手など)		4.7
<input type="checkbox"/> パート		15.8
<input type="checkbox"/> 学生		4.1
<input type="checkbox"/> その他		4.7
<input type="checkbox"/> 家事専業		14.5
<input type="checkbox"/> 無職	17.2	
無回答	1.4	

【F7で「農業」から「その他」のいずれかを回答した方におたずねします。】

F7-1 あなたの通勤・通学先はどこですか。(複数ある場合は、主な場所を1つ選んでください)

(1つのみ) n=1,000

<input type="checkbox"/> 自宅（農業、自営など）	5.7	<input type="checkbox"/> 東京都	16.6
<input type="checkbox"/> 川越市内（自宅以外）	28.9	<input type="checkbox"/> その他	2.4
<input type="checkbox"/> 埼玉県内の他市町村	26.3	無回答	20.1

最後に、市に対するご意見やこれからのまちづくりについてのご希望がありましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**お忙しいところ、ご協力をいただきありがとうございました。**

記入漏れがないか、もう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

**10月18日（月）まで**にお近くの郵便ポストに投函してください。



## Ⅲ 調査結果の分析



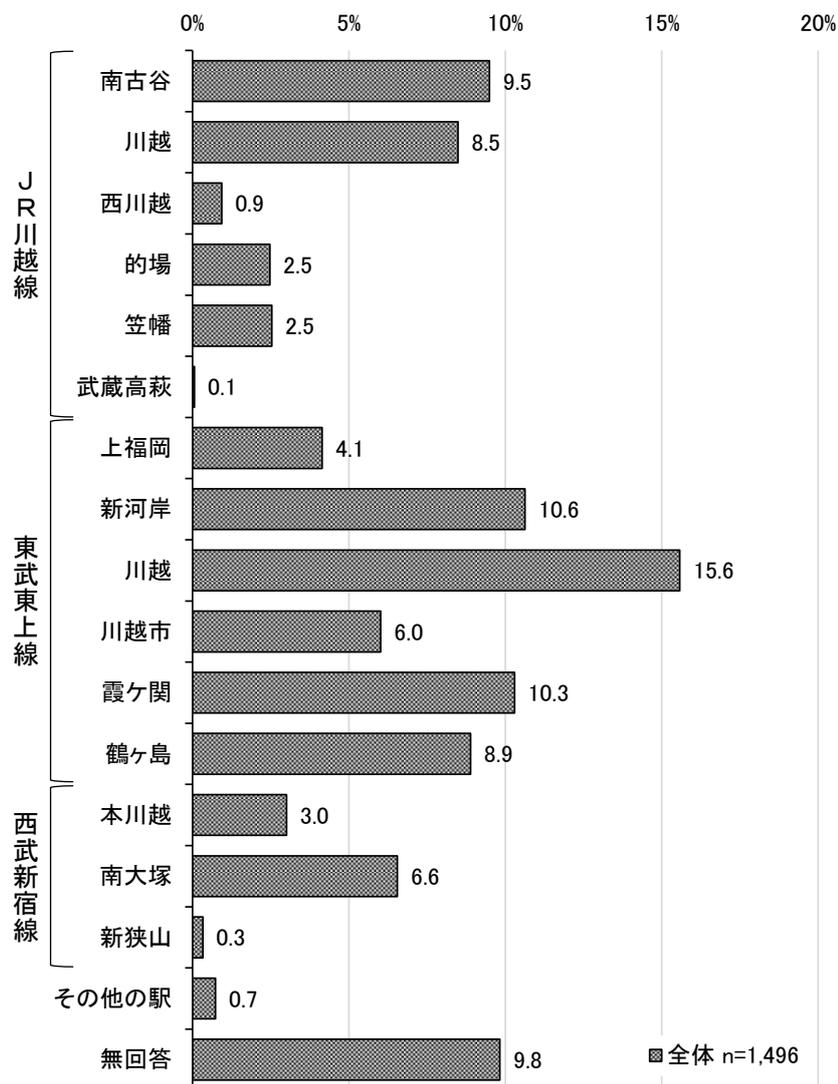
# 1 都市基盤・生活基盤について

## (1) 主に利用する最寄りの駅

◇東武東上線「川越」が15.6%

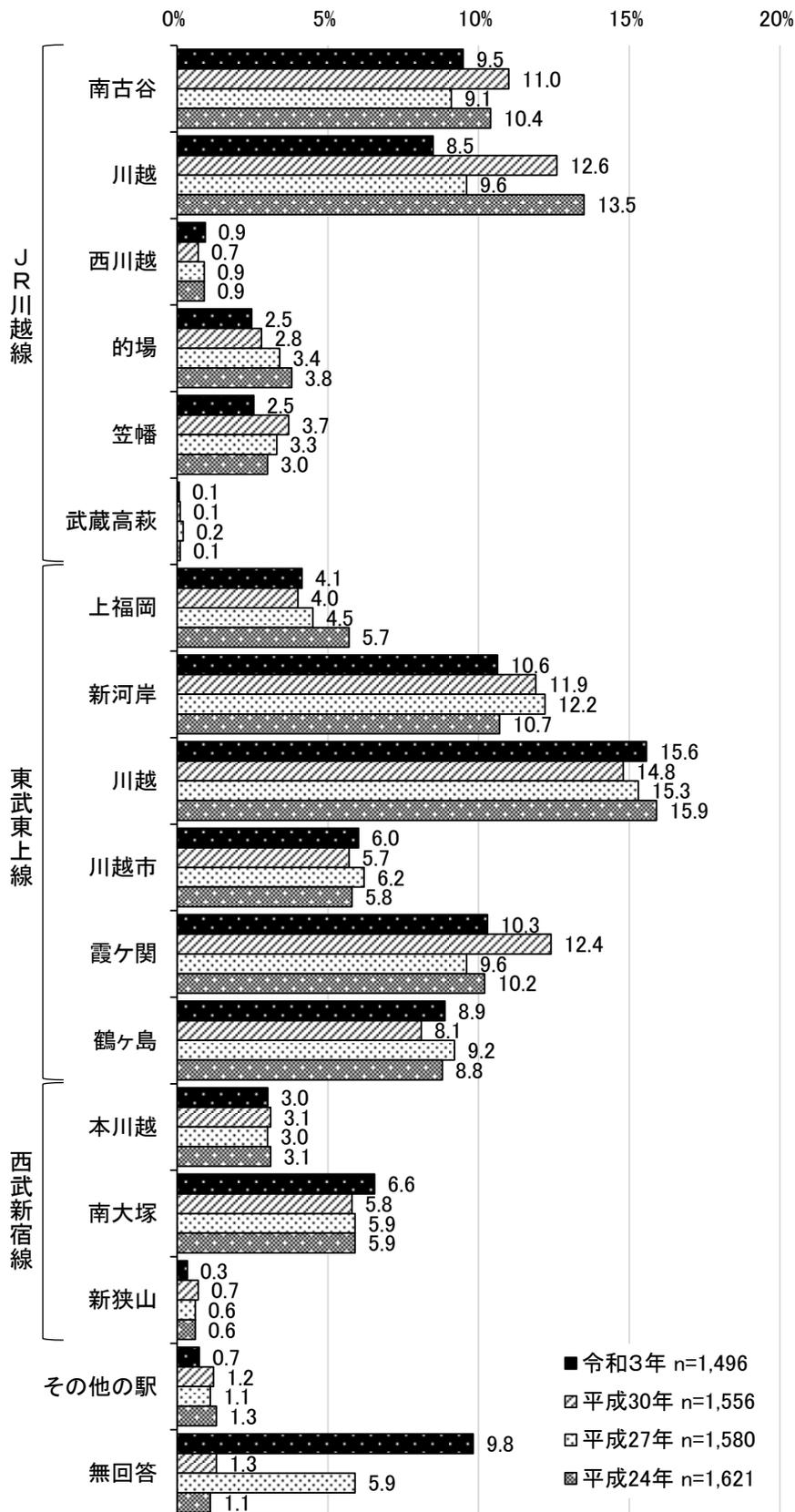
### 問1 あなたが主に利用する最寄りの駅はどこですか。(1つのみ)

主に利用する最寄り駅については、東武東上線「川越」が15.6%で最も高く、次いで東武東上線「新河岸」が10.6%、東武東上線「霞ヶ関」が10.3%、JR川越線「南古谷」が9.5%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、東武東上線「川越」は前回調査より0.8ポイント増加している。



## ■居住地区別（上位5位）

居住地区別に上位5位の項目をみると、東武東上線の利用率の高さがうかがえる結果となっており、『本庁地区』、『芳野地区』、『福原地区』、『山田地区』では「川越（東武東上線）」、『高階地区』では「新河岸」、『霞ヶ関地区』、『霞ヶ関北地区』では「霞ヶ関」、『川鶴地区』、『名細地区』では「鶴ヶ島」がそれぞれ1位となっている。

また、JR川越線をみると、『古谷地区』、『南古谷地区』で「南古谷」が、西武新宿線をみると『大東地区』で「南大塚」が1位となっている。

属性 \ 順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,496	川越(東武東上線) 15.6%	新河岸 10.6%	霞ヶ関 10.3%	南古谷 9.5%	鶴ヶ島 8.9%
【居住地区別】					
本庁地区 n=316	川越(東武東上線) 35.1%	川越市 20.6%	川越(JR川越線) 18.0%	本川越 7.6%	西川越 2.8%
芳野地区 n=41	川越(東武東上線) 36.6%	南古谷 22.0%	川越(JR川越線) 14.6%	本川越 9.8%	川越市 4.9%
古谷地区 n=58	南古谷 51.7%	川越(東武東上線) 17.2%	川越(JR川越線) 10.3%	上福岡／本川越 1.7%	
南古谷地区 n=135	南古谷 71.9%	新河岸 5.2%	上福岡 4.4%	川越(東武東上線) 3.7%	川越(JR川越線) 2.2%
高階地区 n=189	新河岸 66.7%	上福岡 24.3%	川越(JR川越線)／川越(東武東上線) 1.6%		南古谷 0.5%
福原地区 n=78	川越(東武東上線) 26.9%	新河岸 23.1%	川越(JR川越線) 16.7%	南大塚 9.0%	上福岡 3.8%
大東地区 n=139	南大塚 60.4%	川越(東武東上線) 20.9%	川越(JR川越線) 5.8%	新狭山 2.9%	西川越 1.4%
霞ヶ関地区 n=175	霞ヶ関 41.1%	笠幡 20.6%	的場 15.4%	鶴ヶ島 6.9%	川越(JR川越線) 1.7%
川鶴地区 n=75	鶴ヶ島 78.7%	霞ヶ関 5.3%	笠幡／川越市 2.7%		南大塚 1.3%
霞ヶ関北地区 n=48	霞ヶ関 68.8%	的場 16.7%	鶴ヶ島 8.3%	川越(東武東上線) 2.1%	同率で11項目 (※)下記参照 0.0%
名細地区 n=100	鶴ヶ島 56.0%	霞ヶ関 35.0%	川越市 2.2%	川越(JR川越線)／的場 1.0%	
山田地区 n=77	川越(東武東上線) 35.1%	川越(JR川越線) 20.8%	川越市 13.0%	本川越 11.7%	霞ヶ関 5.2%

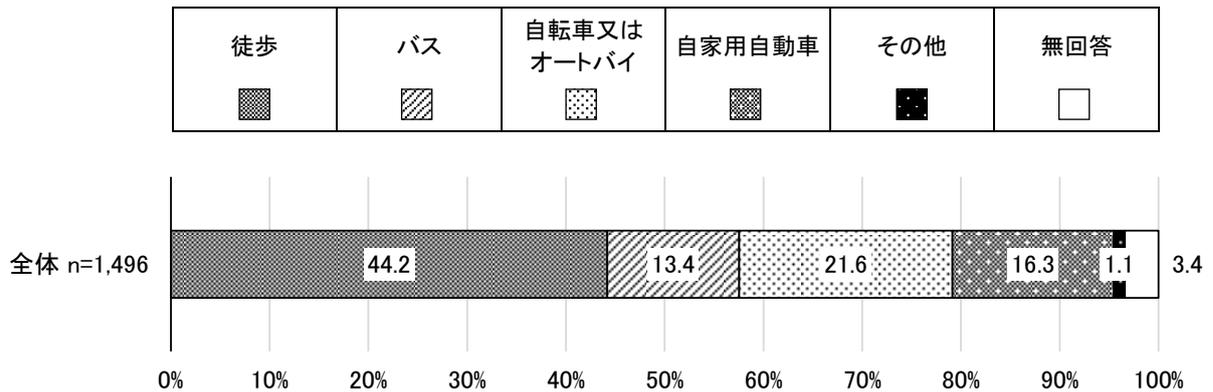
※霞ヶ関北地区の同率5位の11項目は、「南古谷／川越(JR川越線)／西川越／笠幡／武蔵高萩／上福岡／新河岸／川越市／本川越／南大塚／新狭山」となっている。

## (2) 最寄りの駅への手段

◇「徒歩」が44.2%

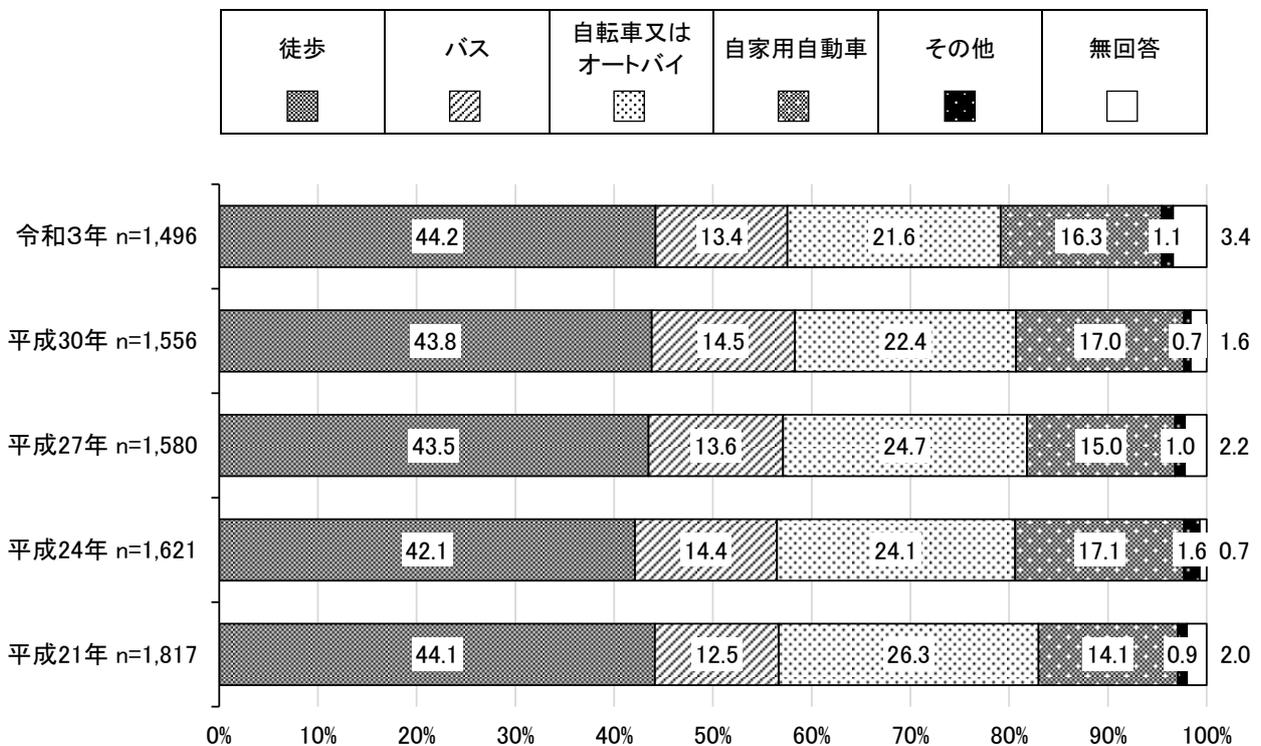
### 問2 あなたは、最寄りの駅へ主にどのような手段で行きますか。(1つのみ)

最寄りの駅への手段については、「徒歩」が44.2%で最も高く、次いで「自転車又はオートバイ」が21.6%、「自家用自動車」が16.3%、「バス」が13.4%となっている。



#### ■時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



## ■居住地区別

居住地区別でみると、「徒歩」では、『高階地区』が63.0%で最も高く、次いで『霞ヶ関北地区』が62.5%、『霞ヶ関地区』が56.6%となっている。

「バス」では、『山田地区』が48.1%で最も高く、次いで『川鶴地区』が40.0%、『福原地区』が34.6%となっている。

「自家用自動車」では、『芳野地区』が63.4%で最も高く、次いで『古谷地区』が36.2%、『山田地区』が32.5%となっている。

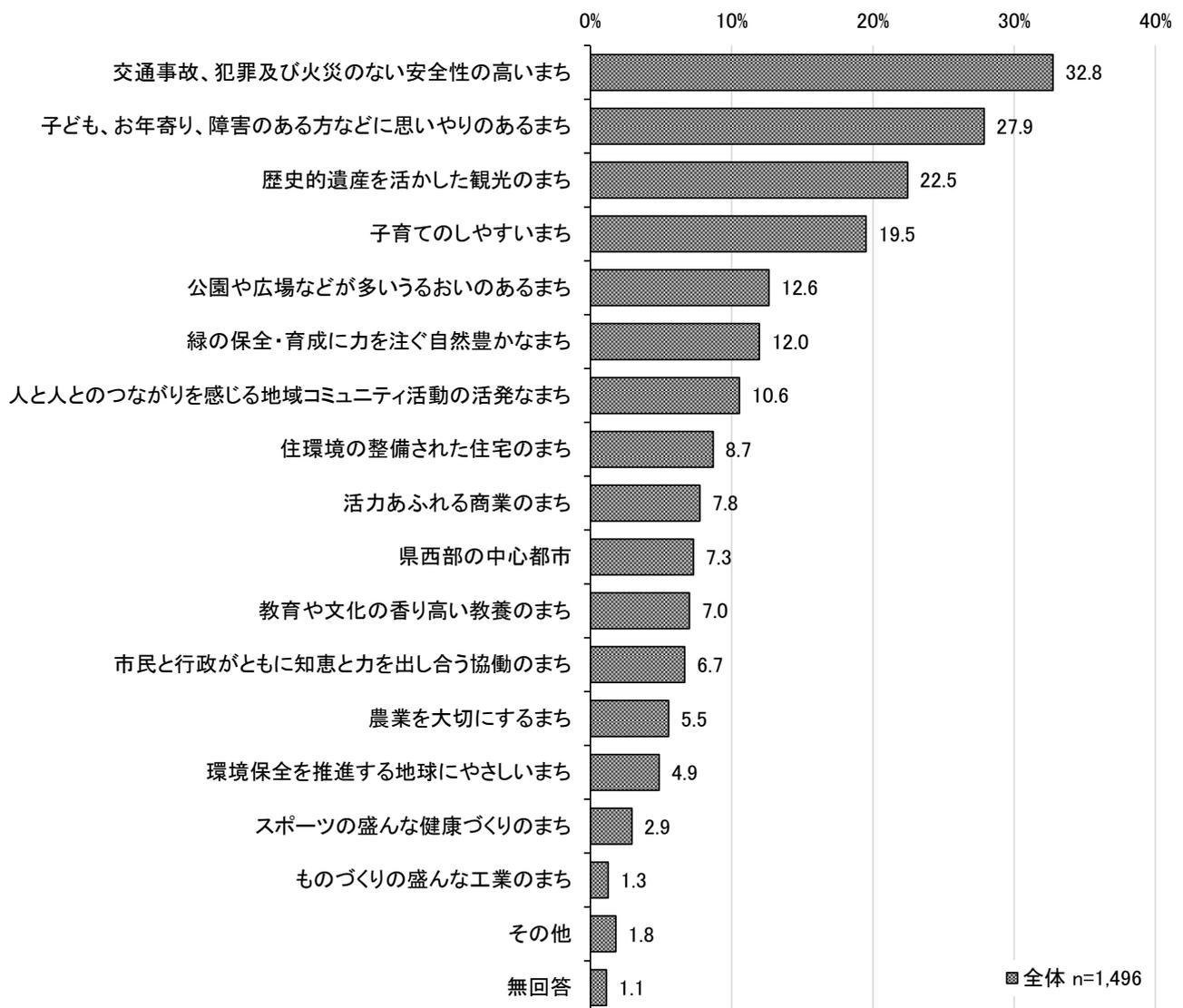
	徒歩	バス	自転車又は オートバイ	自家用 自動車	その他	無回答
単位：%						
全体 n=1,496	44.2	13.4	21.6	16.3	1.1	3.4
【居住地区別】						
本庁地区 n=316	56.3	13.0	22.2	5.1	1.6	1.9
芳野地区 n=41	2.4	22.0	7.3	63.4	0.0	4.9
古谷地区 n=58	6.9	29.3	19.0	36.2	1.7	6.9
南古谷地区 n=135	45.2	6.7	21.5	23.0	0.7	3.0
高階地区 n=189	63.0	0.0	29.1	4.2	0.0	3.7
福原地区 n=78	7.7	34.6	24.4	28.2	0.0	5.1
大東地区 n=139	44.6	8.6	28.1	15.1	0.7	2.9
霞ヶ関地区 n=175	56.6	5.1	24.6	11.4	1.1	1.1
川鶴地区 n=75	17.3	40.0	13.3	22.7	1.3	5.3
霞ヶ関北地区 n=48	62.5	6.3	20.8	8.3	0.0	2.1
名細地区 n=100	51.0	0.0	17.0	25.0	4.0	3.0
山田地区 n=77	2.6	48.1	13.0	32.5	1.3	2.6

### (3) 川越市の将来像

◇「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」が32.8%

**問3 あなたは、川越市をどのようなまちにしたら良いと思いますか。  
次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで)**

川越市をどのようなまちにしたら良いと思うかについては、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」が32.8%で最も高く、次いで「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」が27.9%、「歴史的遺産を活かした観光のまち」が22.5%、「子育てのしやすいまち」が19.5%となっている。

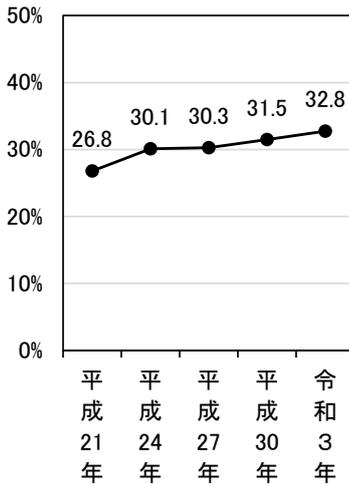


■時系列での比較（上位6項目）

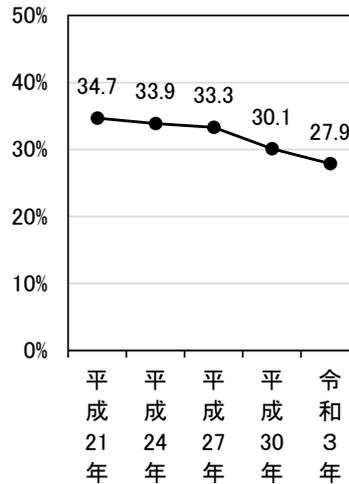
上位6項目を時系列でみると、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」、「子育てのしやすいまち」は増加傾向である一方、「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」は減少傾向となっている。

また、「歴史的遺産を活かした観光のまち」は平成30年まで増加傾向であったものの、令和3年には減少傾向に転じている。

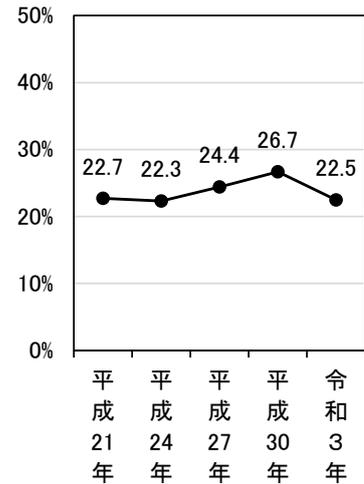
交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち



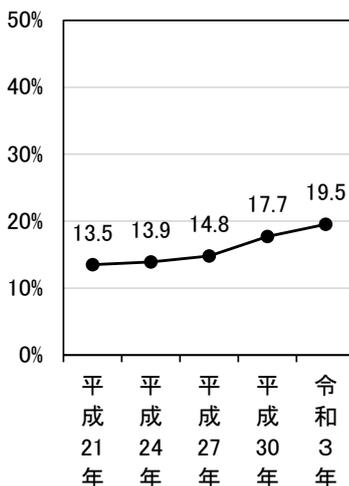
子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち



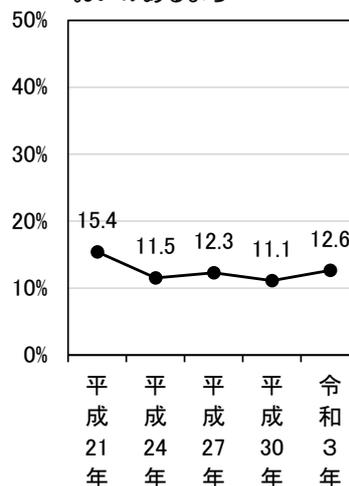
歴史的遺産を活かした観光のまち



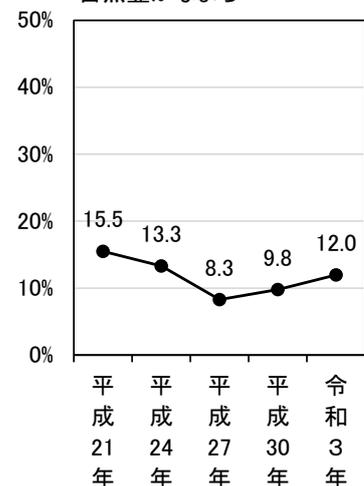
子育てのしやすいまち



公園や広場などが多い  
おいしいまち



緑の保全・育成に力を注ぐ  
自然豊かなまち



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち」は男性20歳代で4割半ばと高くなっている。「子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち」は、女性は年代が高くなるほど増加傾向となり、女性70歳以上で5割となっている。「子育てのしやすいまち」は、男性、女性ともに30歳代が最も高くなっている。

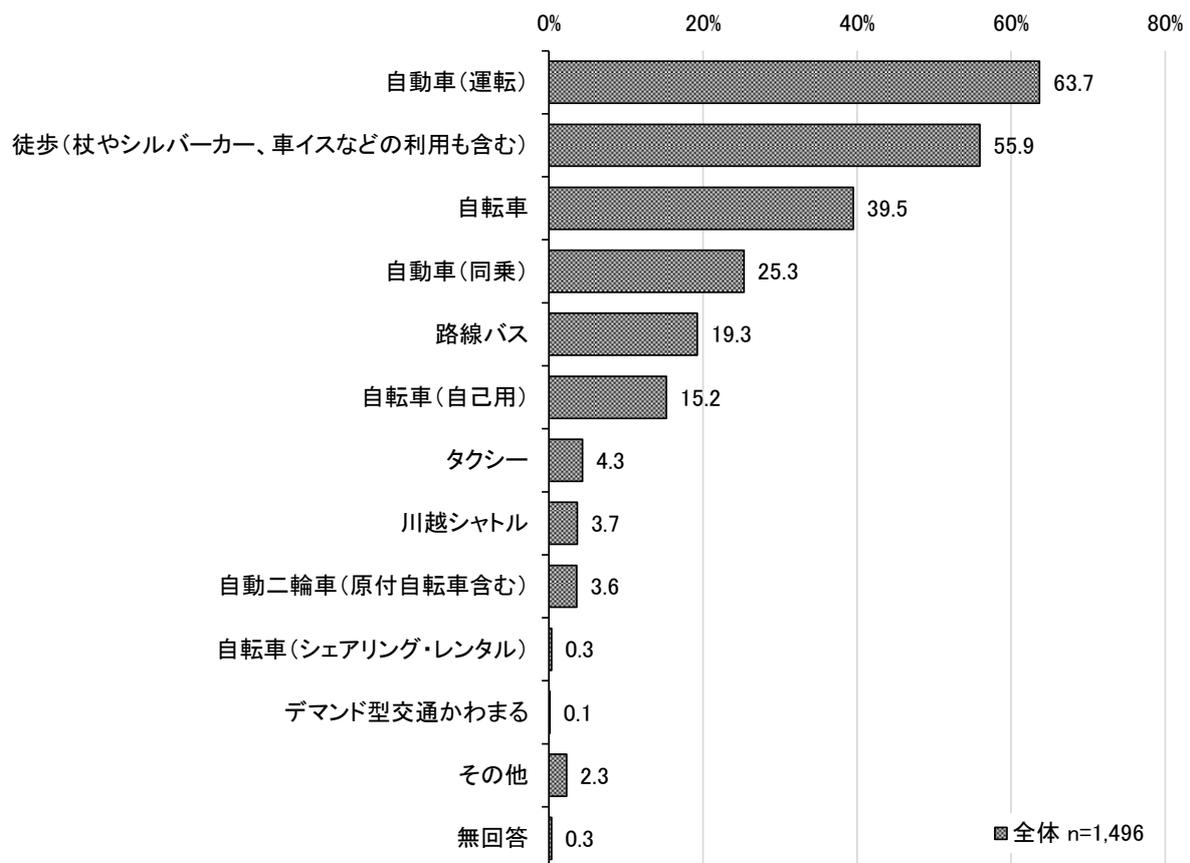
	交通事故、犯罪及び火災のない安全性の高いまち	子ども、お年寄り、障害のある方などに思いやりのあるまち	歴史的遺産を活かした観光のまち	子育てのしやすいまち	公園や広場などが多いうるおいのあるまち	緑の保全・育成に力を注ぐ自然豊かなまち
単位：%						
全体 n=1,496	32.8	27.9	22.5	19.5	12.6	12.0
【性別・年代別】						
男性 n=593	31.7	22.6	24.1	15.3	12.3	11.1
男性_18・19歳 n=4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
男性_20歳代 n=67	44.8	11.9	32.8	16.4	11.9	10.4
男性_30歳代 n=85	23.5	17.6	22.4	38.8	11.8	7.1
男性_40歳代 n=121	32.2	25.6	24.8	24.0	12.4	8.3
男性_50歳代 n=95	33.7	21.1	15.8	6.3	8.4	10.5
男性_60歳代 n=101	39.6	21.8	27.7	5.0	15.8	14.9
男性_70歳以上 n=118	21.2	31.4	23.7	5.9	13.6	15.3
女性 n=874	33.5	31.4	21.5	22.5	12.4	12.7
女性_18・19歳 n=13	23.1	7.7	38.5	15.4	15.4	46.2
女性_20歳代 n=109	36.7	22.0	22.9	30.3	12.8	10.1
女性_30歳代 n=160	33.8	15.6	24.4	54.4	13.1	8.1
女性_40歳代 n=171	36.3	26.3	21.6	24.0	14.0	12.3
女性_50歳代 n=110	36.4	33.6	27.3	10.0	9.1	10.9
女性_60歳代 n=137	28.5	40.9	21.9	9.5	13.9	14.6
女性_70歳以上 n=172	32.0	50.0	12.2	5.8	10.5	16.3

#### (4) 普段よく利用する移動手段

◇「自動車（運転）」が63.7%

**問4 あなたが普段よく利用する移動手段は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。（3つまで）**

普段よく利用する移動手段については、「自動車（運転）」が63.7%で最も高く、次いで「徒歩（杖やシルバーカー、車イスなどの利用も含む）」が55.9%、「自転車」が39.5%、「自動車（同乗）」が25.3%となっている。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「自動車（運転）」は男性70歳以上で8割近くである一方、女性70歳以上では4割となっている。「路線バス」は、男性、女性ともに70歳以上が最も高くなっている。

	自動車 (運転)	徒歩(杖やシルバーカー、 車イスなどの 利用も含む)	自転車	自動車 (同乗)	路線バス	自転車 (自己用)
単位: %						
全体 n=1,496	63.7	55.9	39.5	25.3	19.3	15.2
【性別・年代別】						
男性 n=593	75.5	57.3	39.1	14.3	17.7	16.7
男性_18・19歳 n=4	25.0	75.0	75.0	75.0	25.0	25.0
男性_20歳代 n=67	50.7	59.7	44.8	25.4	16.4	13.4
男性_30歳代 n=85	74.1	54.1	42.4	17.6	10.6	16.5
男性_40歳代 n=121	81.8	55.4	33.1	13.2	7.4	14.9
男性_50歳代 n=95	77.9	56.8	26.3	11.6	22.1	13.7
男性_60歳代 n=101	83.2	57.4	44.6	9.9	18.8	14.9
男性_70歳以上 n=118	78.0	59.3	44.1	11.0	29.7	23.7
女性 n=874	55.7	55.0	39.2	32.8	20.4	14.3
女性_18・19歳 n=13	15.4	69.2	76.9	46.2	23.1	15.4
女性_20歳代 n=109	42.2	68.8	45.0	41.3	19.3	7.3
女性_30歳代 n=160	60.6	55.6	36.9	35.0	15.0	9.4
女性_40歳代 n=171	72.5	47.4	37.4	26.3	18.1	12.9
女性_50歳代 n=110	65.5	54.5	32.7	26.4	15.5	20.0
女性_60歳代 n=137	56.2	57.7	33.6	35.0	26.3	15.3
女性_70歳以上 n=172	40.1	50.6	44.8	33.7	26.7	20.3

### (5) 交通手段の利用状況・利用意向

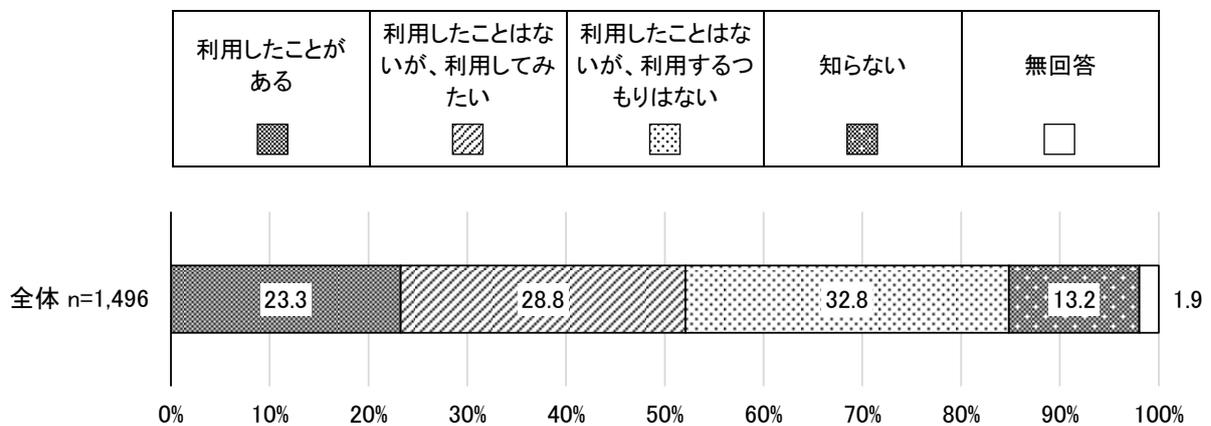
- ◇川越シャトル：「利用したことがある」が23.3%
- ◇デマンド型交通かわまる：「利用したことがある」が0.3%
- ◇川越市自転車シェアリング：「利用したことがある」が2.2%

#### 問5 次の交通手段の利用状況や利用意向について、教えてください。

※①から③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

#### ①川越シャトル

川越シャトルの利用状況等については、「利用したことはないが、利用するつもりはない」が32.8%で最も高く、次いで「利用したことはないが、利用してみたい」が28.8%、「利用したことがある」が23.3%、「知らない」が13.2%となっている。



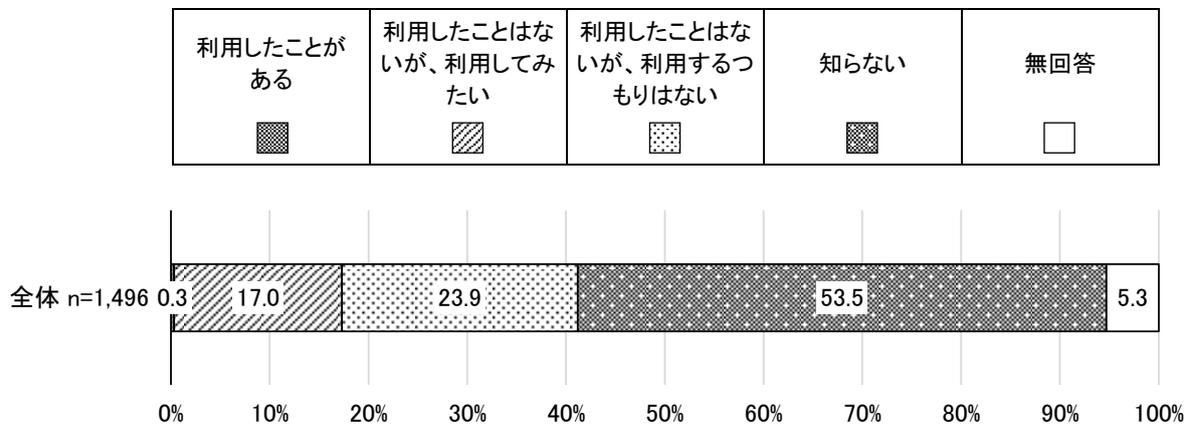
#### ■居住地区別

居住地区別で見ると、「利用したことがある」では、『大東地区』が33.8%で最も高く、次いで『高階地区』が32.8%、『古谷地区』が27.6%となっている。

単位: %	利用したことがある	利用したことはないが、利用してみたい	利用したことはないが、利用するつもりはない	知らない	無回答
全体 n=1,496	23.3	28.8	32.8	13.2	1.9
【居住地区別】					
本庁地区 n=316	25.0	30.1	32.6	11.1	1.3
芳野地区 n=41	12.2	26.8	48.8	12.2	0.0
古谷地区 n=58	27.6	27.6	29.3	10.3	5.2
南古谷地区 n=135	18.5	25.2	38.5	17.0	0.7
高階地区 n=189	32.8	22.8	32.8	10.6	1.1
福原地区 n=78	11.5	35.9	37.2	14.1	1.3
大東地区 n=139	33.8	29.5	24.5	10.1	2.2
霞ヶ関地区 n=175	14.9	29.1	36.6	18.3	1.1
川鶴地区 n=75	20.0	36.0	22.7	18.7	2.7
霞ヶ関北地区 n=48	22.9	31.3	29.2	12.5	4.2
名細地区 n=100	27.0	27.0	30.0	12.0	4.0
山田地区 n=77	14.3	28.6	46.8	9.1	1.3

### ②デマンド型交通かわまる

デマンド型交通かわまるの利用状況等については、「知らない」が53.5%で最も高く、次いで「利用したことはないが、利用してみたい」が23.9%、「利用したことはないが、利用するつもりはない」が17.0%、「利用したことがある」が0.3%となっている。



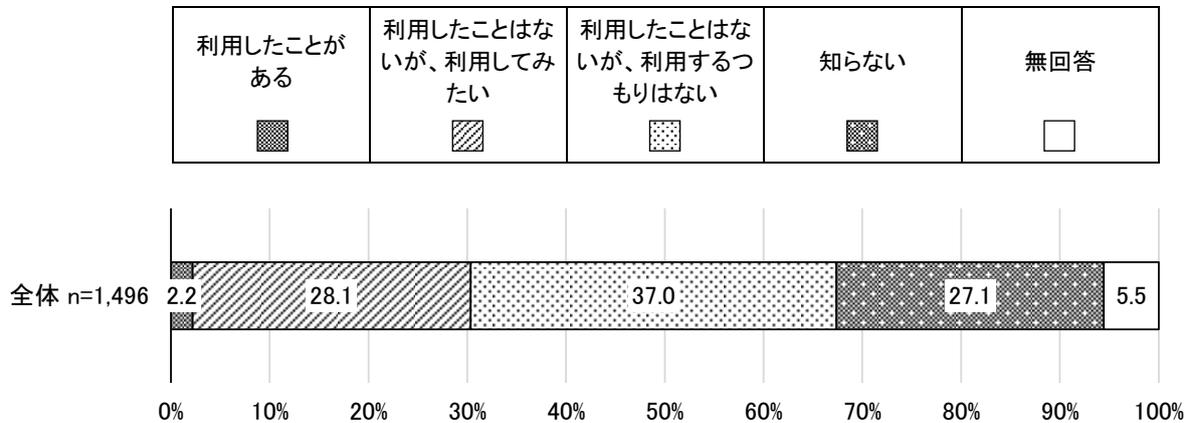
### ■居住地区別

居住地区別でみると、「知らない」では、『本庁地区』が63.6%で最も高く、次いで『川鶴地区』が58.7%、『福原地区』が53.8%となっている。

単位: %	利用したことがある	利用したことはないが、利用してみたい	利用したことはないが、利用するつもりはない	知らない	無回答
全体 n=1,496	0.3	17.0	23.9	53.5	5.3
【居住地区別】					
本庁地区 n=316	0.3	11.7	21.5	63.6	2.8
芳野地区 n=41	0.0	19.5	26.8	51.2	2.4
古谷地区 n=58	0.0	17.2	29.3	43.1	10.3
南古谷地区 n=135	0.7	20.0	21.5	52.6	5.2
高階地区 n=189	0.0	19.0	24.3	53.4	3.2
福原地区 n=78	0.0	20.5	21.8	53.8	3.8
大東地区 n=139	0.0	19.4	28.1	44.6	7.9
霞ヶ関地区 n=175	0.6	16.6	26.9	49.1	6.9
川鶴地区 n=75	1.3	14.7	20.0	58.7	5.3
霞ヶ関北地区 n=48	0.0	25.0	22.9	47.9	4.2
名細地区 n=100	1.0	21.0	26.0	47.0	5.0
山田地区 n=77	0.0	16.9	32.5	40.3	10.4

### ③川越市自転車シェアリング

川越市自転車シェアリングの利用状況等については、「利用したことはないが、利用するつもりはない」が37.0%で最も高く、次いで「利用したことはないが、利用してみたい」が28.1%、「知らない」が27.1%、「利用したことがある」が2.2%となっている。



#### ■居住地区別

居住地区別でみると、「知らない」では、『川鶴地区』が48.0%で最も高く、次いで『福原地区』が38.5%、『霞ヶ関地区』が36.6%となっている。

単位: %	利用したことがある	利用したことはないが、利用してみたい	利用したことはないが、利用するつもりはない	知らない	無回答
全体 n=1,496	2.2	28.1	37.0	27.1	5.5
【居住地区別】					
本庁地区 n=316	4.4	32.0	45.3	15.8	2.5
芳野地区 n=41	0.0	34.1	48.8	14.6	2.4
古谷地区 n=58	5.2	31.0	27.6	17.2	19.0
南古谷地区 n=135	0.7	27.4	38.5	29.6	3.7
高階地区 n=189	2.6	29.6	34.9	29.6	3.2
福原地区 n=78	2.6	23.1	33.3	38.5	2.6
大東地区 n=139	2.2	28.8	39.6	20.9	8.6
霞ヶ関地区 n=175	1.1	25.1	30.3	36.6	6.9
川鶴地区 n=75	0.0	17.3	29.3	48.0	5.3
霞ヶ関北地区 n=48	0.0	29.2	33.3	31.3	6.3
名細地区 n=100	1.0	25.0	35.0	32.0	7.0
山田地区 n=77	1.3	35.1	39.0	14.3	10.4

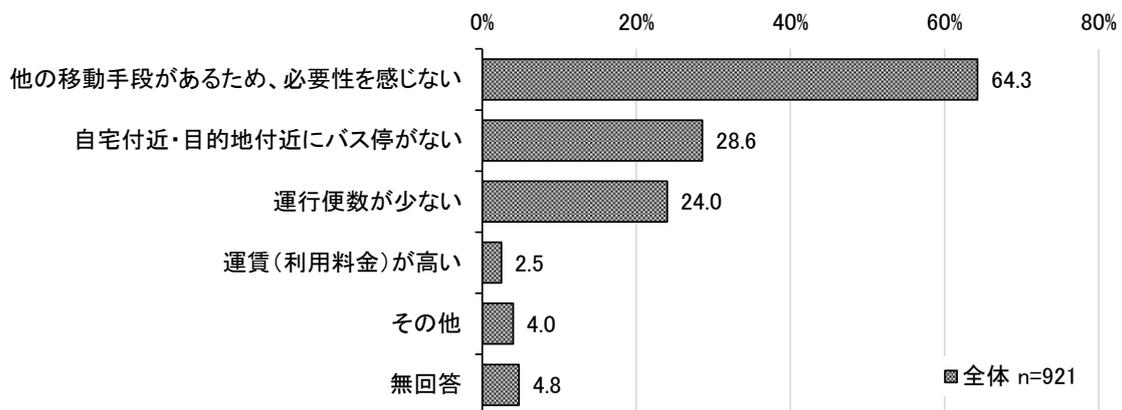
## (6) 川越シャトルを利用したことがない理由

◇「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が64.3%

【問5の①で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

### 問5-1 川越シャトルを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

川越シャトルを利用したことがない理由については、「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が64.3%で最も高く、次いで「自宅付近・目的地付近にバス停がない」が28.6%、「運行便数が少ない」が24.0%、「運賃(利用料金)が高い」が2.5%となっている。



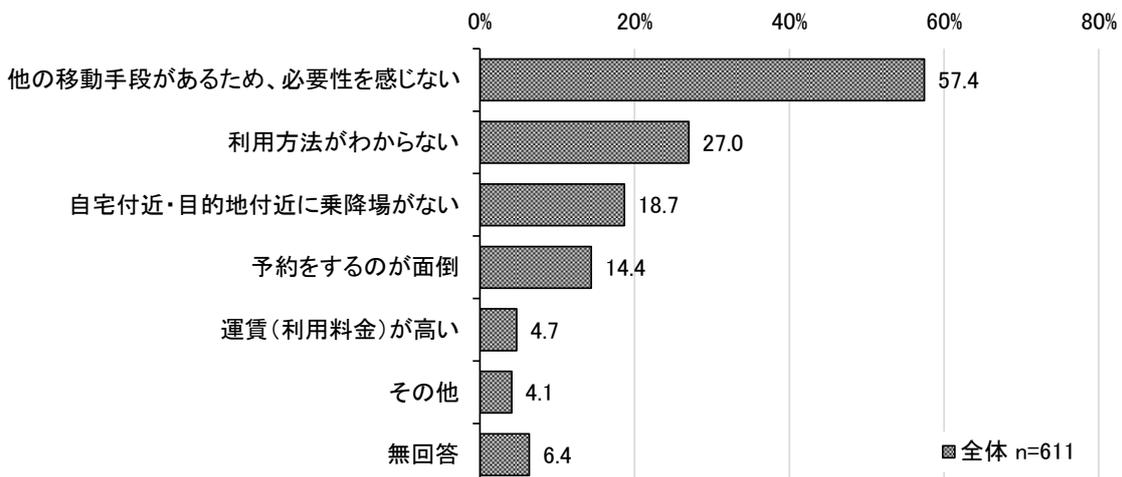
## (7) デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由

◇「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が57.4%

【問5の②で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

### 問5-2 デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

デマンド型交通かわまるを利用したことがない理由については、「他の移動手段があるため、必要性を感じない」が57.4%で最も高く、次いで「利用方法がわからない」が27.0%、「自宅付近・目的地付近に乗降場がない」が18.7%、「予約をするのが面倒」が14.4%となっている。



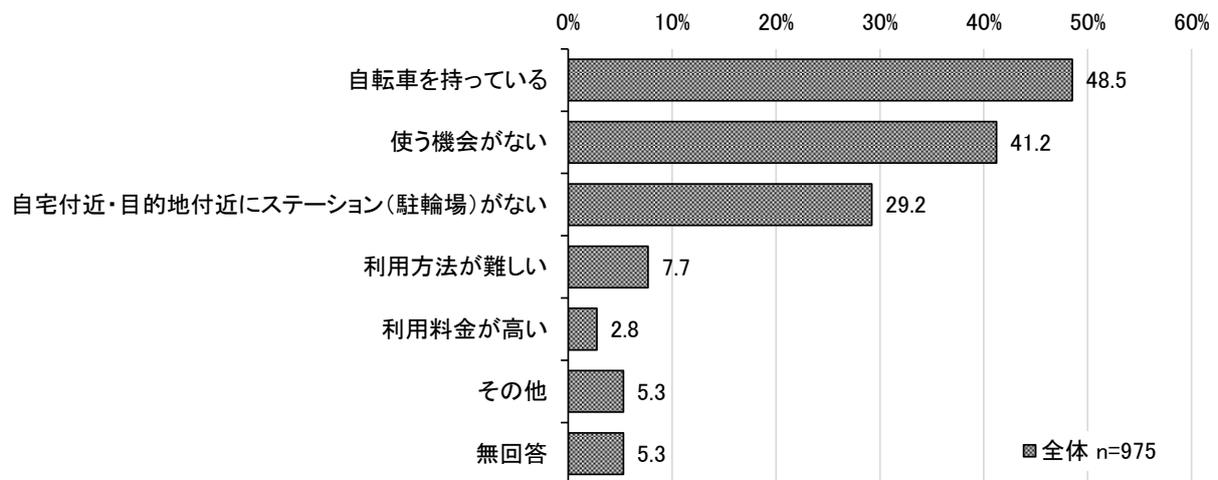
## (8) 川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由

◇「自転車を持っている」が48.5%

【問5の③で「利用してみたい」「利用するつもりはない」と回答した方におたずねします。】

### 問5-3 川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由は何ですか。(いくつでも)

川越市自転車シェアリングを利用したことがない理由については、「自転車を持っている」が48.5%で最も高く、次いで「使う機会がない」が41.2%、「自宅付近・目的地付近にステーション(駐輪場)がない」が29.2%、「利用方法が難しい」が7.7%となっている。

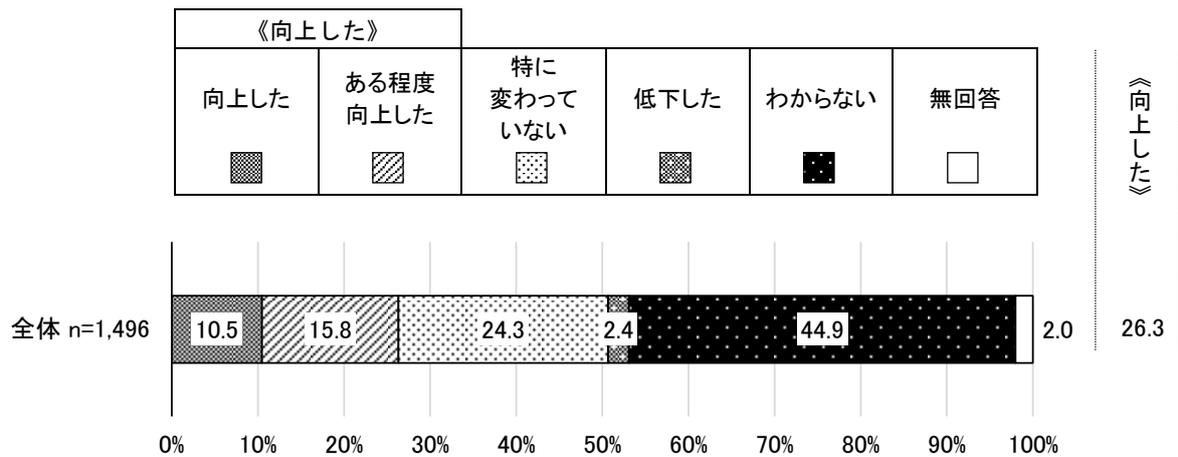


### (9) 川越市の歴史的風致の向上

◇ 《向上した》が26.3%

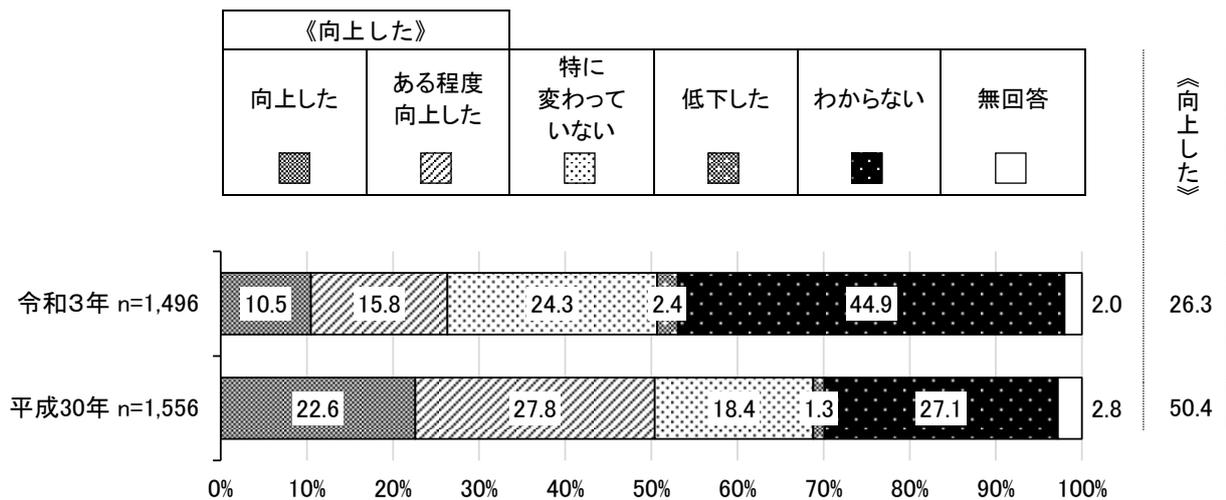
**問6 あなたは、この10年間で川越市の歴史的風致（歴史的な建造物や歴史・伝統を反映した人々の活動等）が向上したと思いますか。（1つのみ）**

この10年間で川越市の歴史的風致が向上したと思うかについては、「向上した」、「ある程度向上した」の合計値《向上した》が26.3%となっている。一方で、「特に変わっていない」は24.3%、「低下した」は2.4%となっている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《向上した》は前回調査より24.1ポイント減少している。



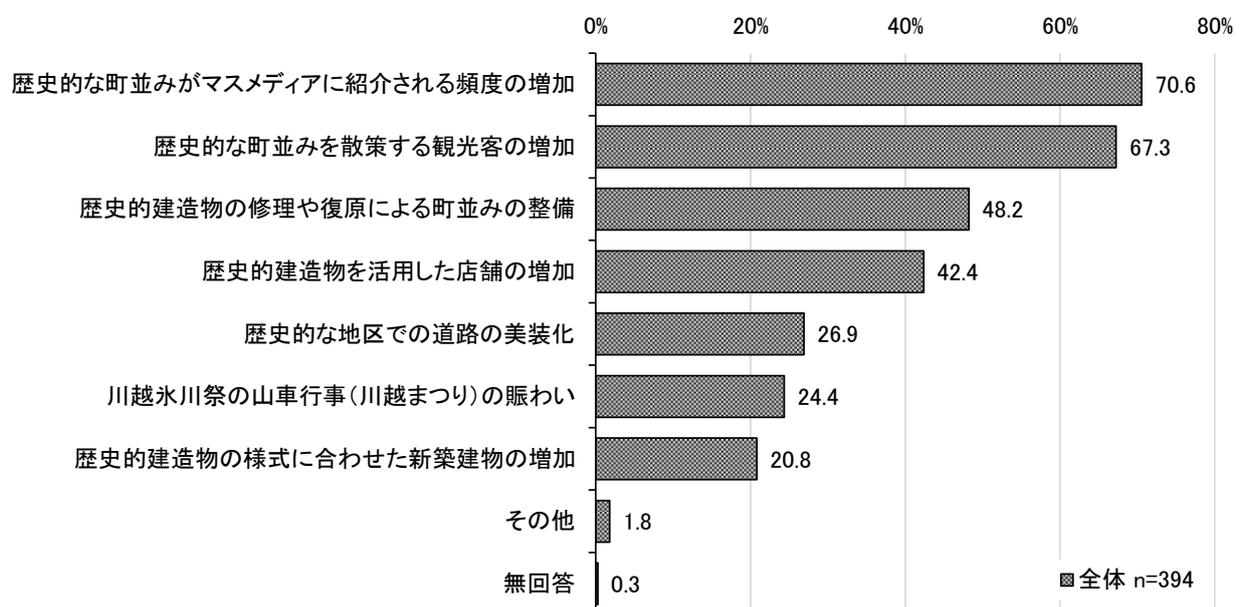
## (10) 歴史的風致の向上した点

◇「歴史的な町並みがマスメディアで紹介される頻度の増加」が70.6%

【問6で「向上した」「ある程度向上した」と回答した方におたずねします。】

### 問6-1 どのような点でそのように感じますか。(いくつでも)

向上したと感じる点については、「歴史的な町並みがマスメディアで紹介される頻度の増加」が70.6%で最も高く、次いで「歴史的な町並みを散策する観光客の増加」が67.3%、「歴史的建造物の修理や復原による町並みの整備」が48.2%、「歴史的建造物を活用した店舗の増加」が42.4%となっている。



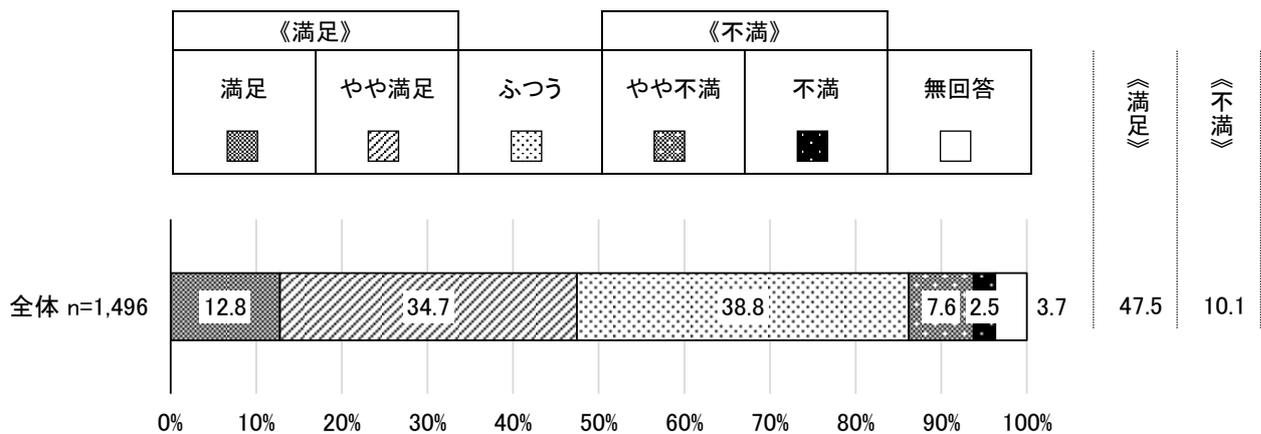
## 2 産業・観光について

### (1) 川越市の観光への満足度

◇ 《満足》が47.5%

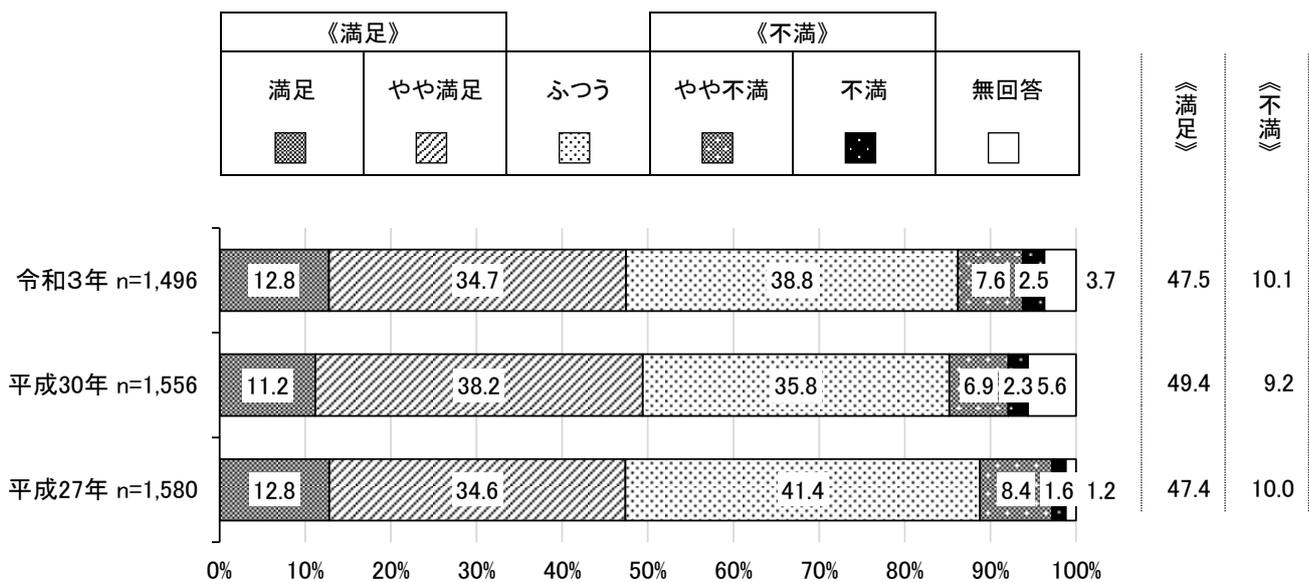
#### 問7 あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか。(1つのみ)

川越市の観光への満足度については、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》が47.5%である一方、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は10.1%と、《満足》が37.4ポイント上回っている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《満足》は前回調査より1.9ポイント減少し、《不満》は0.9ポイント増加している。



## (2) 川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況

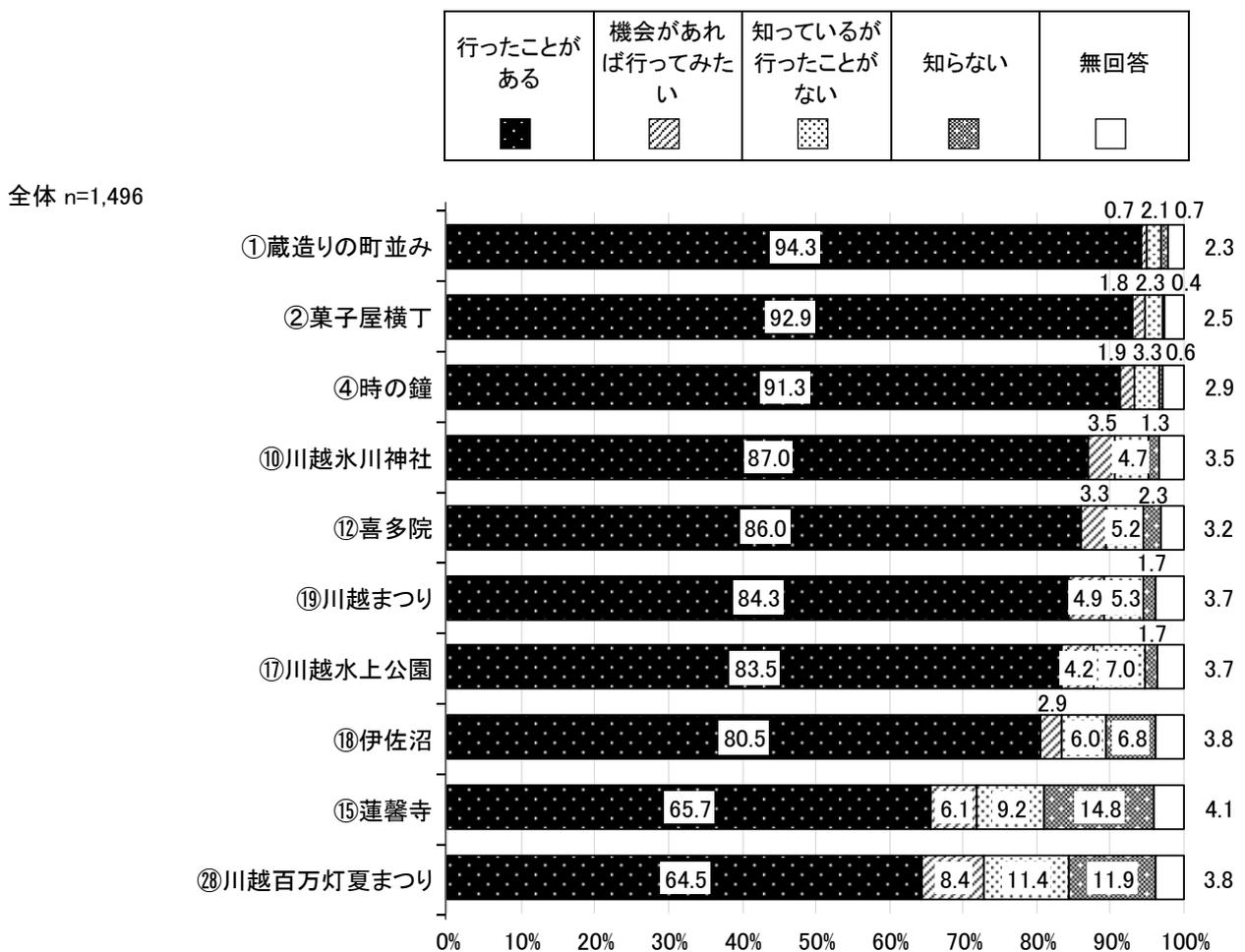
◇「行ったことがある」は“①蔵造りの町並み”が94.3%

**問8 市内には多くの観光スポットや伝統行事がありますが行ったこと（見たこと）がありますか。また、①から⑳の項目で次世代に残したいと思うもの（文化財）を3つ選んで回答欄に項目番号を記入してください。**

※①から⑳のそれぞれに回答してください。（それぞれ1つのみ）

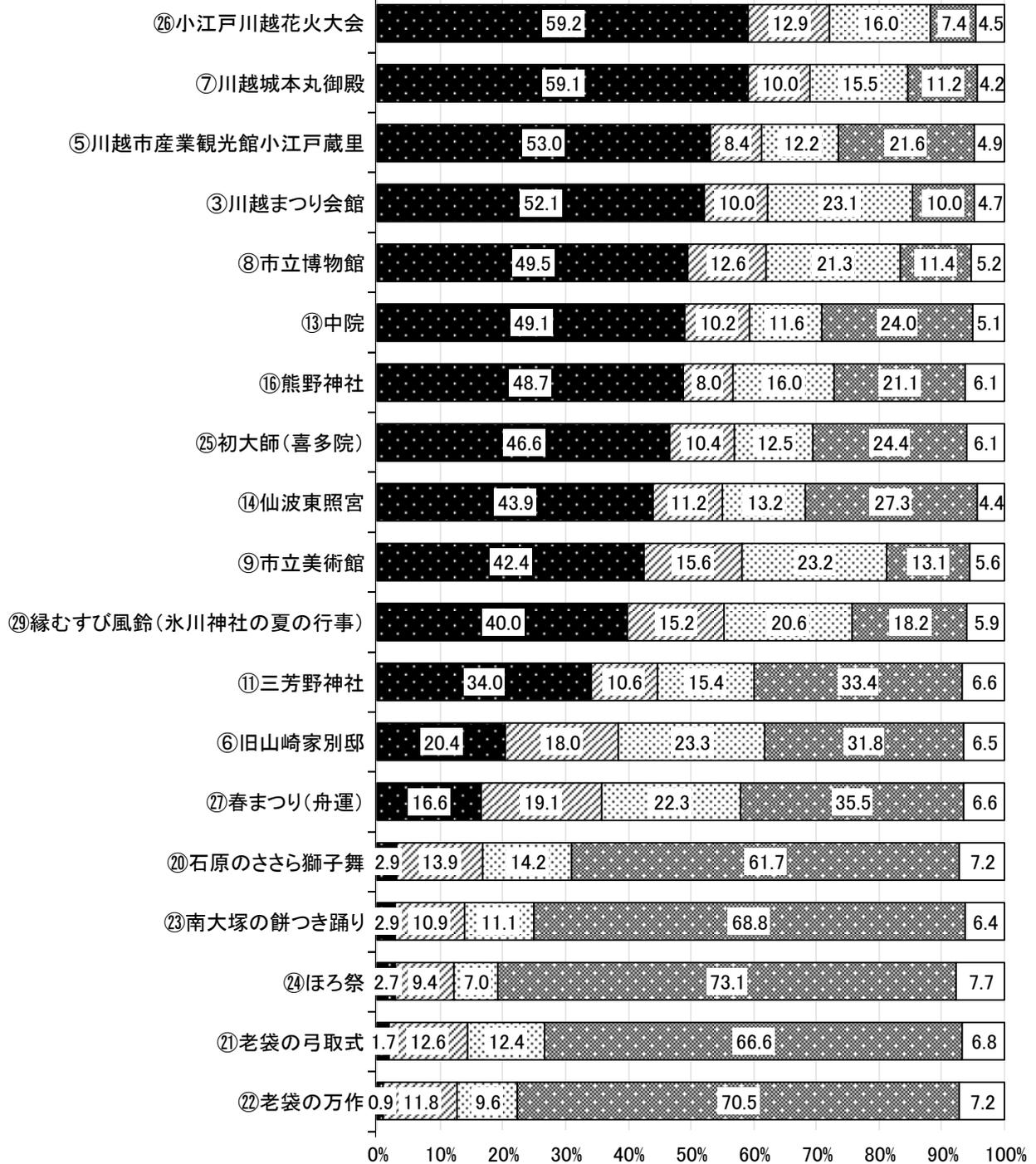
川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況について、「行ったことがある」では、『①蔵造りの町並み』が94.3%で最も高く、次いで『②菓子屋横丁』が92.9%、『④時の鐘』が91.3%、『⑩川越氷川神社』が87.0%となっている。なお、3項目で9割以上、14項目で5割以上となっている。

「機会があれば行ってみたい」では、『⑰春まつり（舟運）』が19.1%で最も高くなっている。また、「知っているが行ったことがない」では、『⑥旧山崎家別邸』が23.3%で最も高くなっている。一方で、「知らない」では、『④ほろ祭』が73.1%で最も高く、次いで『②老袋の万作』が70.5%、『③南大塚の餅つき踊り』が68.8%、『②老袋の弓取式』が66.6%となっている。





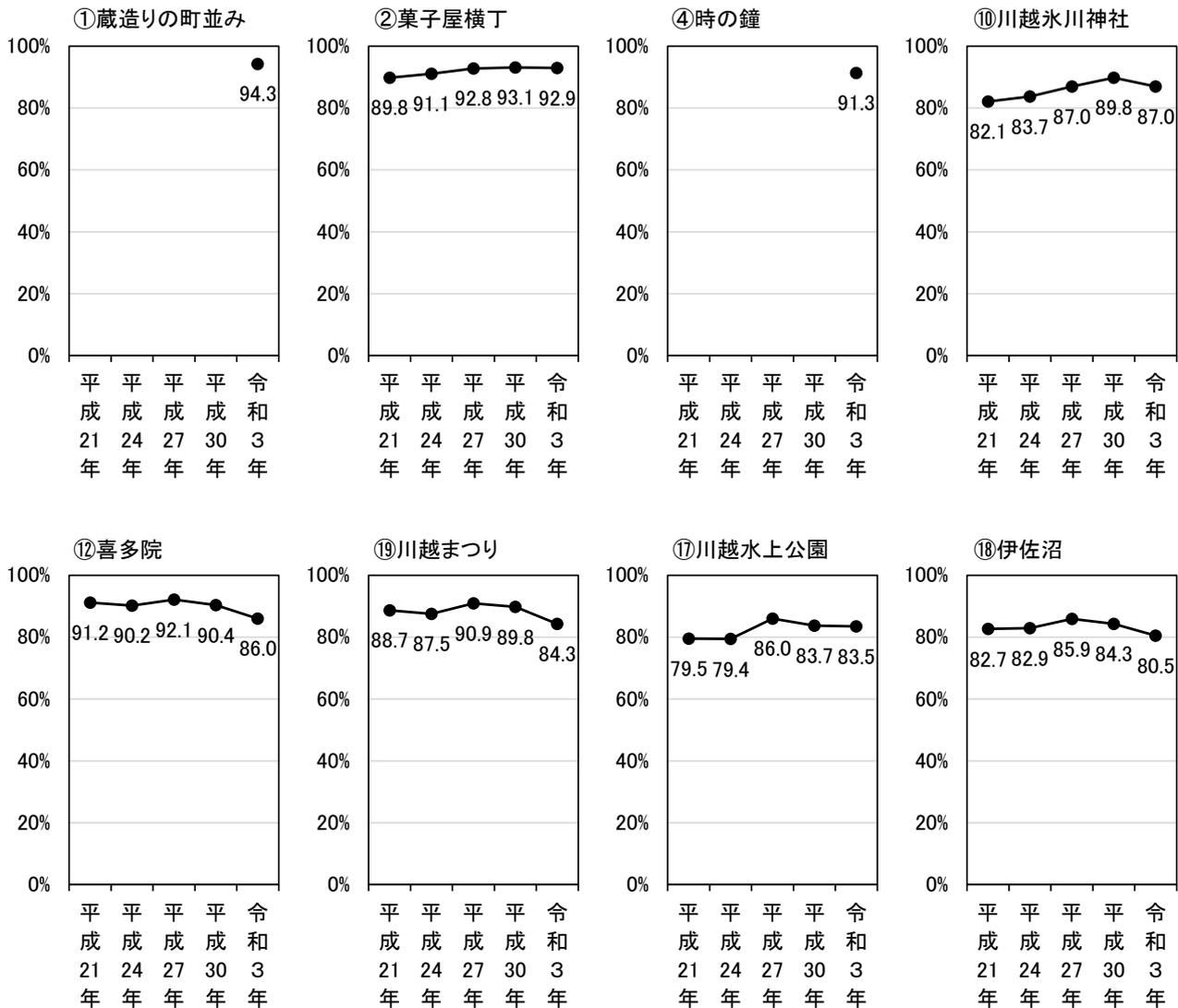
全体 n=1,496



■時系列での比較（「行ったことがある」上位8項目）

「行ったことがある」の上位8項目を時系列でみると、平成27年以降、『⑫喜多院』、『⑬川越まつり』、『⑭川越水上公園』、『⑮伊佐沼』は減少傾向となっている。

また、『⑩川越氷川神社』は平成30年まで増加傾向であったものの、令和3年には減少傾向に転じている。



※「①蔵造りの町並み」、「④時の鐘」は、令和3年より個別の選択肢へと変更した。

■性別・年代別（「行ったことがある」上位10項目）

「行ったことがある」の上位10項目を性別・年代別で見ると、『①蔵造りの町並み』はすべての年代で9割台となっている。

	① 蔵造りの町並み	② 菓子屋横丁	④ 時の鐘	⑩ 川越氷川神社	⑫ 喜多院
単位：%					
全体 n=1,496	94.3	92.9	91.3	87.0	86.0

【性別・年代別】

男性 n=593	94.4	91.2	89.5	85.5	86.5
男性_18・19歳 n=4	100.0	100.0	100.0	100.0	75.0
男性_20歳代 n=67	95.5	92.5	85.1	80.6	83.6
男性_30歳代 n=85	95.3	92.9	94.1	82.4	76.5
男性_40歳代 n=121	93.4	90.9	88.4	86.0	86.0
男性_50歳代 n=95	95.8	90.5	94.7	84.2	92.6
男性_60歳代 n=101	93.1	86.1	86.1	86.1	88.1
男性_70歳以上 n=118	94.1	94.1	88.1	89.8	89.8

女性 n=874	94.4	94.4	92.8	88.1	85.9
女性_18・19歳 n=13	92.3	92.3	92.3	92.3	84.6
女性_20歳代 n=109	91.7	93.6	91.7	84.4	73.4
女性_30歳代 n=160	96.9	95.0	92.5	89.4	80.0
女性_40歳代 n=171	96.5	95.9	94.7	89.5	91.2
女性_50歳代 n=110	94.5	94.5	94.5	85.5	88.2
女性_60歳代 n=137	93.4	95.6	92.0	89.1	89.1
女性_70歳以上 n=172	93.0	92.4	91.9	89.5	90.1

	⑱ 川越まつり	⑰ 川越水上公園	⑱ 伊佐沼	⑮ 蓮馨寺	⑳ 川越百万灯夏まつり
単位：%					
全体 n=1,496	84.3	83.5	80.5	65.7	64.5

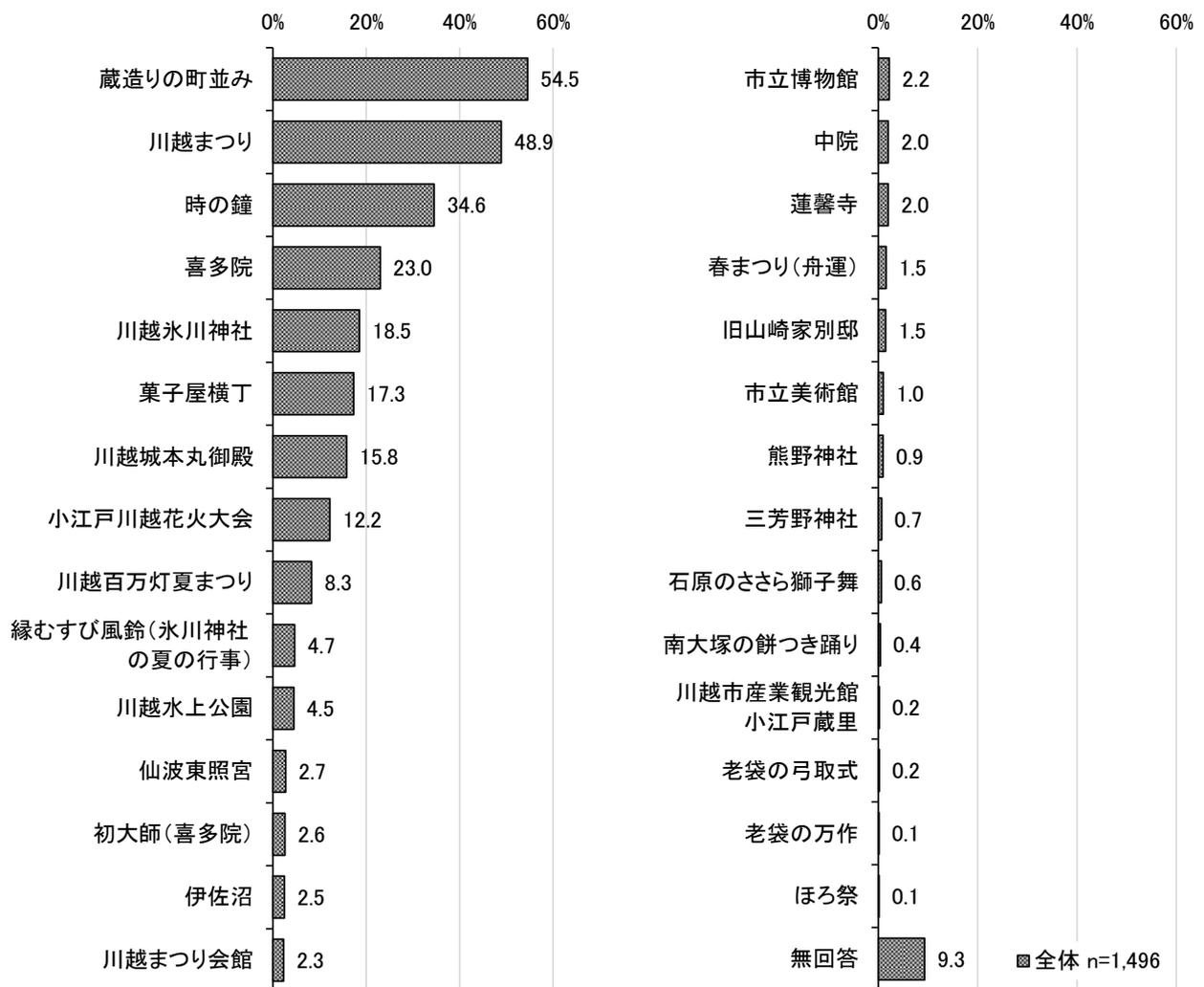
【性別・年代別】

男性 n=593	86.2	83.1	79.4	63.7	58.9
男性_18・19歳 n=4	100.0	100.0	100.0	100.0	75.0
男性_20歳代 n=67	85.1	82.1	61.2	52.2	53.7
男性_30歳代 n=85	88.2	84.7	77.6	44.7	60.0
男性_40歳代 n=121	82.6	84.3	86.8	57.0	62.0
男性_50歳代 n=95	85.3	85.3	84.2	72.6	62.1
男性_60歳代 n=101	87.1	79.2	75.2	68.3	54.5
男性_70歳以上 n=118	88.1	83.1	82.2	78.0	59.3

女性 n=874	83.4	84.0	81.4	67.4	68.5
女性_18・19歳 n=13	92.3	92.3	92.3	76.9	84.6
女性_20歳代 n=109	75.2	77.1	68.8	53.2	62.4
女性_30歳代 n=160	78.8	82.5	73.1	51.3	60.6
女性_40歳代 n=171	88.9	92.4	91.2	70.8	74.9
女性_50歳代 n=110	80.0	80.9	82.7	67.3	68.2
女性_60歳代 n=137	86.1	86.1	80.3	73.0	70.8
女性_70歳以上 n=172	86.6	81.4	86.0	83.1	71.5

■ 次世代に残したいと思う文化財

次世代に残したいと思う文化財については、「蔵造りの町並み」が54.5%で最も高く、次いで「川越まつり」が48.9%、「時の鐘」が34.6%、「喜多院」が23.0%となっている。

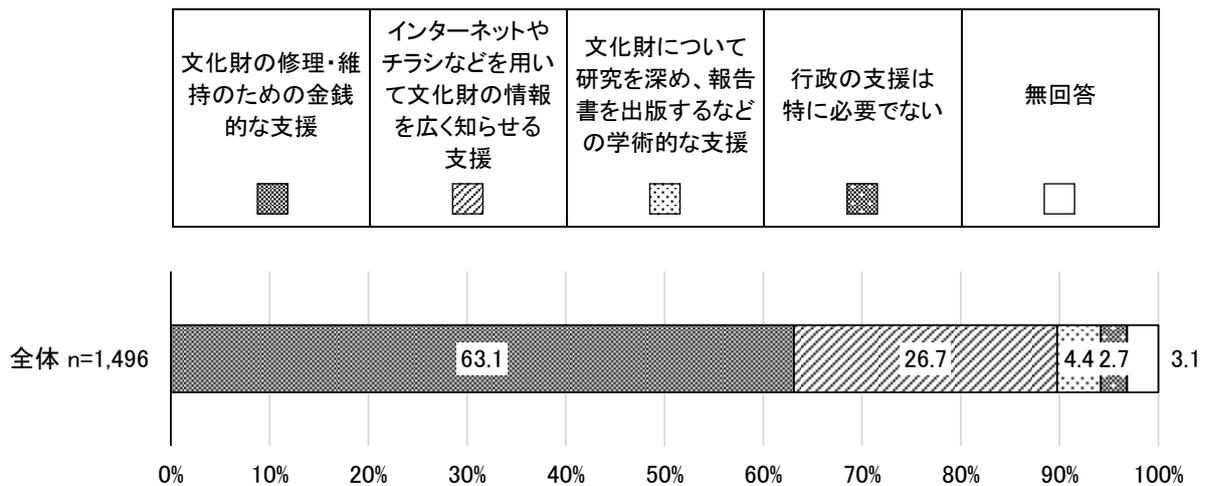


### (3) 文化財の保護のため、行政が行うべき支援

◇「文化財の修理・維持のための金銭的な支援」が63.1%

#### 問9 文化財の保護のため、行政が行うべき支援は何だと思えますか。(1つのみ)

文化財の保護のため、行政が行うべき支援については、「文化財の修理・維持のための金銭的な支援」が63.1%で最も高く、次いで「インターネットやチラシなどを用いて文化財の情報を広く知らせる支援」が26.7%、「文化財について研究を深め、報告書を出版するなどの学術的な支援」が4.4%、「行政の支援は特に必要でない」が2.7%となっている。

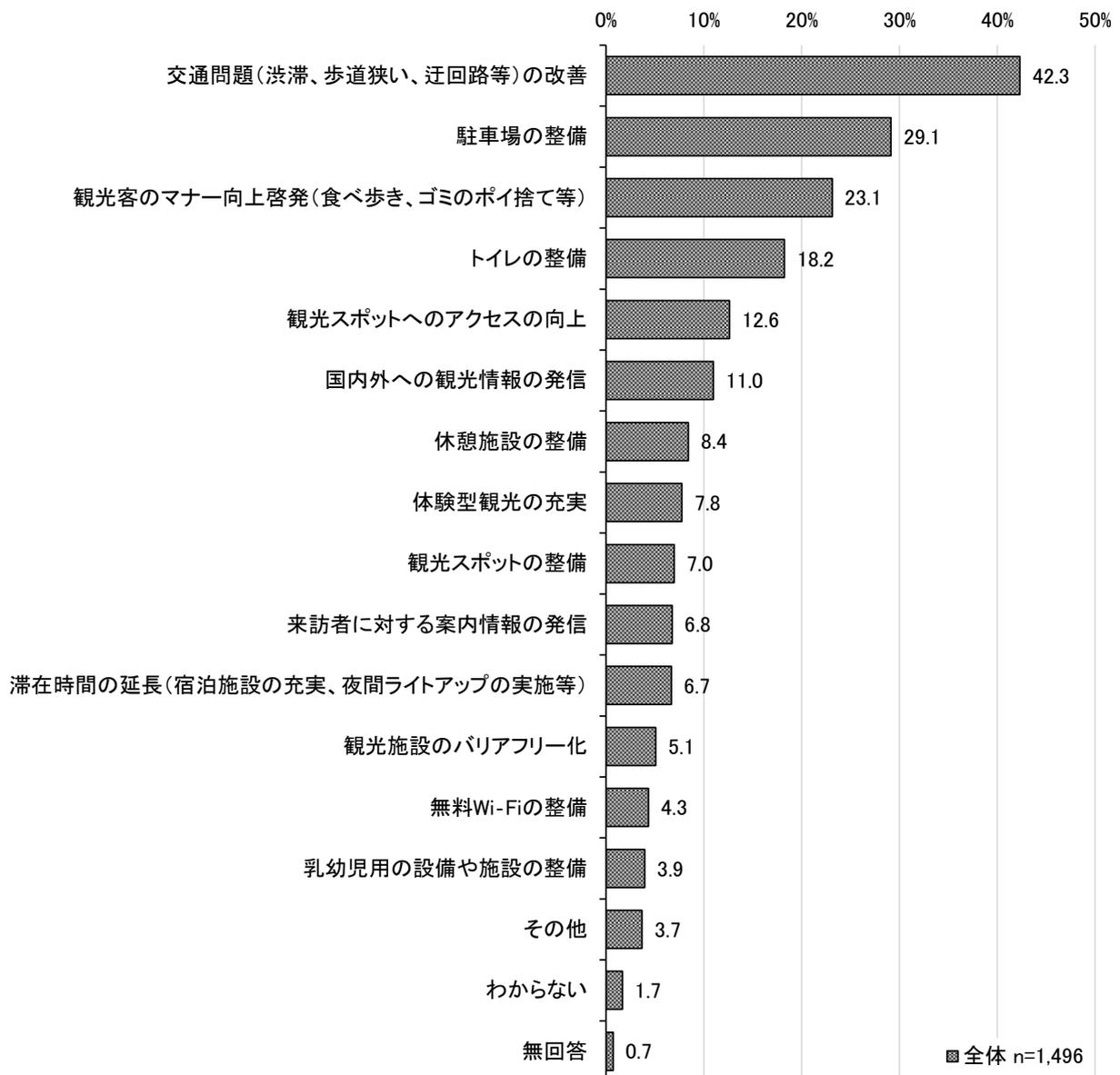


#### (4) 観光振興のために必要な施策

◇「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」が42.3%

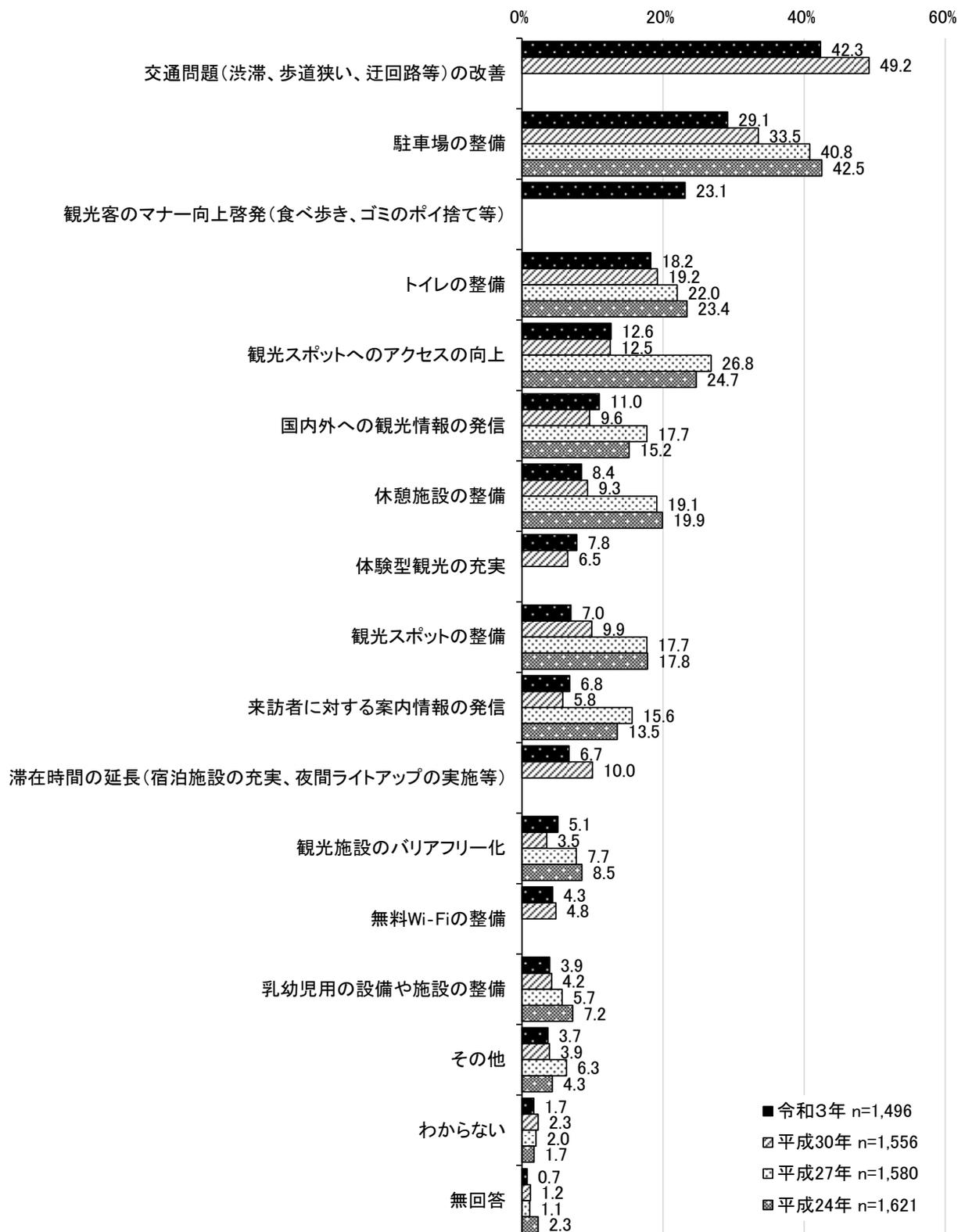
**問 10 あなたは、ますます観光客が多く訪れる街になるためにどのような施策が必要だと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで）**

観光振興のために必要だと思う施策については、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」が42.3%で最も高く、次いで「駐車場の整備」が29.1%、「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」が23.1%、「トイレの整備」が18.2%となっている。



■時系列での比較

平成 24 年と比較できる項目をみると、すべての項目で令和 3 年の割合が下回る結果となっている。  
 また、特に減少傾向がみられる項目としては、「駐車場の整備」で 13.4 ポイント、「観光スポットへのアクセスの向上」で 12.1 ポイント、「休憩施設の整備」で 11.5 ポイントの減少となっている。



※「交通問題(渋滞、歩道狭い、迂回路等)の改善」、「体験型観光の充実」、「滞在時間の延長(宿泊施設の充実、夜間ライトアップの実施等)」、「無料 Wi-Fi の整備」は、平成 30 年から追加された選択肢。  
 ※「観光客のマナー向上啓発(食べ歩き、ゴミのポイ捨て等)」は、令和3年から追加された選択肢。

### ■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」は男性40歳代で5割を超えて高くなっている。「駐車場の整備」は男性60歳代で4割近くと高くなっている。「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」は女性50歳代で3割半ばと高くなっている。

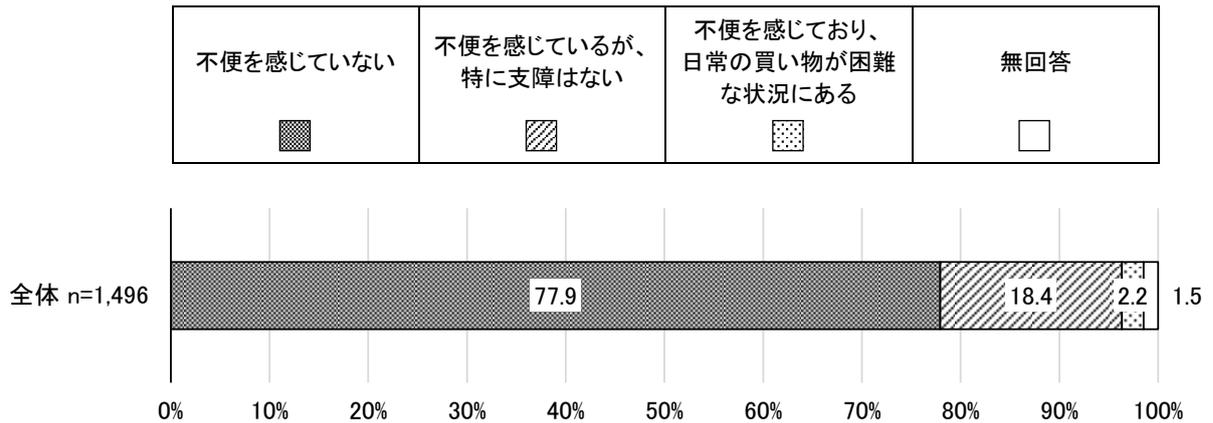
	交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善	駐車場の整備	観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）	トイレの整備	観光スポットへのアクセスの向上	国内外への観光情報の発信
単位：%						
全体 n=1,496	42.3	29.1	23.1	18.2	12.6	11.0
【性別・年代別】						
男性 n=593	43.7	31.2	19.2	17.2	15.0	12.6
男性 18・19歳 n=4	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
男性 20歳代 n=67	44.8	28.4	20.9	14.9	16.4	13.4
男性 30歳代 n=85	48.2	22.4	11.8	17.6	20.0	9.4
男性 40歳代 n=121	52.1	33.1	17.4	16.5	9.9	7.4
男性 50歳代 n=95	34.7	31.6	20.0	13.7	13.7	15.8
男性 60歳代 n=101	42.6	37.6	20.8	16.8	16.8	11.9
男性 70歳以上 n=118	39.8	31.4	23.7	22.0	14.4	18.6
女性 n=874	41.3	27.8	25.5	18.5	11.0	10.1
女性 18・19歳 n=13	23.1	0.0	38.5	23.1	7.7	23.1
女性 20歳代 n=109	40.4	29.4	19.3	23.9	5.5	4.6
女性 30歳代 n=160	41.3	27.5	16.9	16.3	13.1	10.6
女性 40歳代 n=171	43.9	26.9	21.1	17.5	13.5	7.6
女性 50歳代 n=110	44.5	27.3	35.5	11.8	11.8	10.9
女性 60歳代 n=137	44.5	28.5	28.5	19.0	9.5	11.7
女性 70歳以上 n=172	36.0	30.2	32.6	22.1	11.0	12.2

## (5) 買い物の状況

◇「不便を感じていない」が77.9%

### 問 11 食料品等の日常の買い物で不便を感じていますか。(1つのみ)

買い物の状況については、「不便を感じていない」が77.9%で最も高く、次いで「不便を感じているが、特に支障はない」が18.4%、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」が2.2%となっている。



### ■居住地区別

居住地区別でみると、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」では、『古谷地区』が10.3%で最も高く、次いで『山田地区』が5.2%、『芳野地区』が4.9%となっている。

単位: %	不便を感じていない	不便を感じているが、特に支障はない	不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある	無回答
全体 n=1,496	77.9	18.4	2.2	1.5
【居住地区別】				
本庁地区 n=316	91.8	6.3	1.3	0.6
芳野地区 n=41	51.2	41.5	4.9	2.4
古谷地区 n=58	51.7	32.8	10.3	5.2
南古谷地区 n=135	79.3	17.0	2.2	1.5
高階地区 n=189	79.4	18.0	2.1	0.5
福原地区 n=78	69.2	28.2	0.0	2.6
大東地区 n=139	74.8	22.3	0.7	2.2
霞ヶ関地区 n=175	80.6	17.1	2.3	0.0
川鶴地区 n=75	77.3	18.7	0.0	4.0
霞ヶ関北地区 n=48	89.6	8.3	0.0	2.1
名細地区 n=100	68.0	29.0	3.0	0.0
山田地区 n=77	71.4	20.8	5.2	2.6

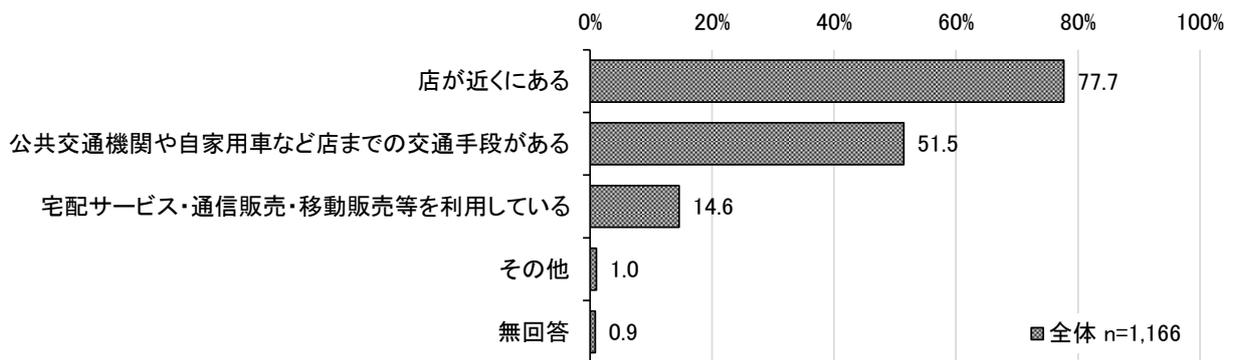
## (6) 買い物で不便を感じていない理由

◇「店が近くにある」が77.7%

【問 11 で「不便を感じていない」と回答した方におたずねします。】

### 問 11-1 あなたが日常の買い物に不便を感じていない理由は何ですか。(いくつでも)

日常の買い物に不便を感じていない理由については、「店が近くにある」が77.7%で最も高く、次いで「公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある」が51.5%、「宅配サービス・通信販売・移動販売等を利用している」が14.6%となっている。



### ■居住地区別

居住地区別でみると、「店が近くにある」では、『霞ヶ関北地区』が93.0%で最も高く、次いで『本庁地区』が90.7%、『川鶴地区』が86.2%となっている。

単位: %	店が近くにある	公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある	宅配サービス・通信販売・移動販売等を利用している	その他	無回答
全体 n=1,166	77.7	51.5	14.6	1.0	0.9
【居住地区別】					
本庁地区 n=290	90.7	38.6	12.4	0.3	0.3
芳野地区 n=21	28.6	76.2	14.3	0.0	9.5
古谷地区 n=30	46.7	56.7	20.0	0.0	6.7
南古谷地区 n=107	79.4	48.6	14.0	0.0	0.0
高階地区 n=150	75.3	50.0	12.0	1.3	2.0
福原地区 n=54	70.4	70.4	16.7	0.0	0.0
大東地区 n=104	73.1	53.8	11.5	1.0	0.0
霞ヶ関地区 n=141	76.6	62.4	12.8	1.4	0.0
川鶴地区 n=58	86.2	60.3	31.0	3.4	0.0
霞ヶ関北地区 n=43	93.0	37.2	11.6	0.0	0.0
名細地区 n=68	52.9	66.2	20.6	4.4	0.0
山田地区 n=55	69.1	63.6	14.5	1.8	0.0

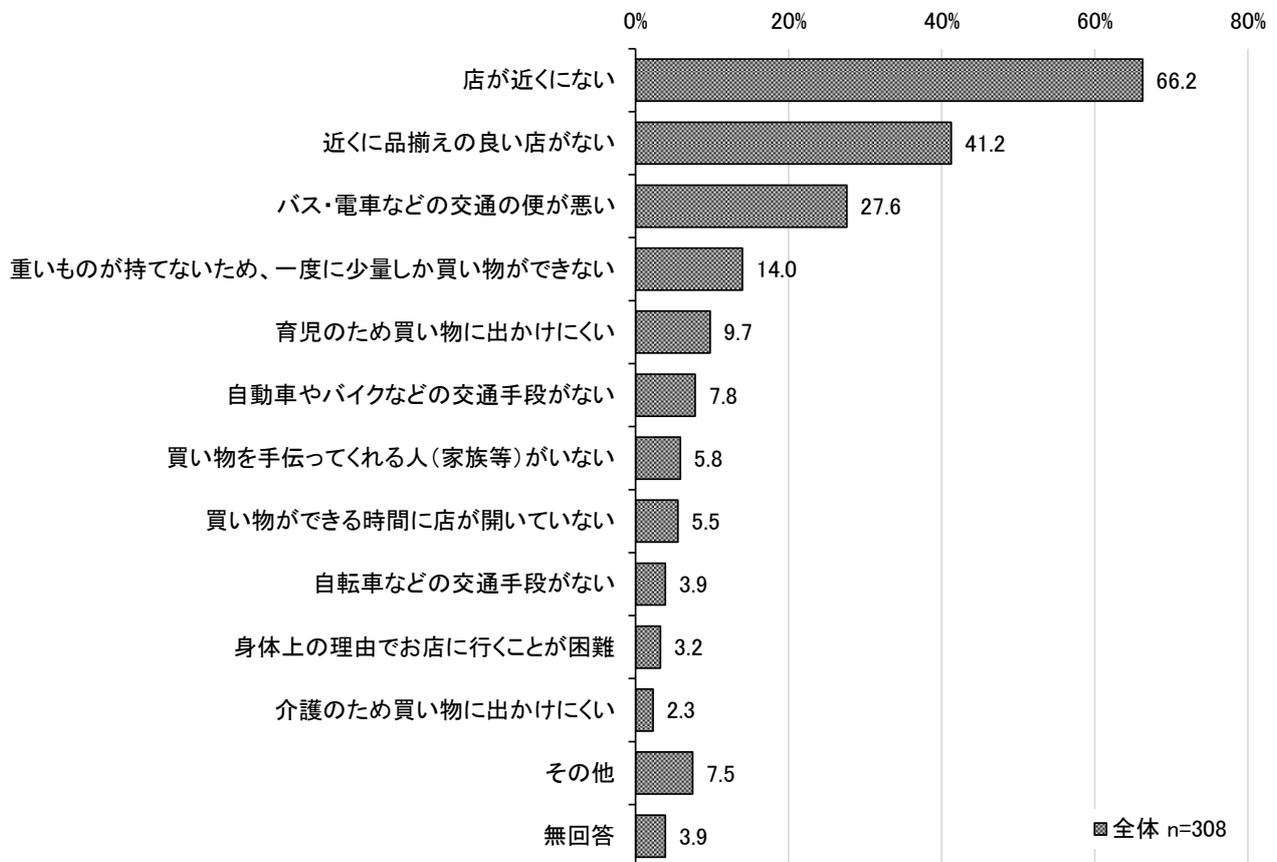
## (7) 買い物で不便を感じている理由

◇「店が近くにない」が66.2%

【問 11 で「不便を感じているが、特に支障はない」「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」と回答した方におたずねします。】

### 問 11-2 あなたが日常の買い物で不便を感じている理由は何ですか。(いくつでも)

日常の買い物で不便を感じている理由については、「店が近くにない」が66.2%で最も高く、次いで「近くに品揃えの良い店がない」が41.2%、「バス・電車などの交通の便が悪い」が27.6%、「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」が14.0%となっている。



## ■居住地区別（上位6項目）

上位6項目を居住地区別で見ると、「店が近くにない」では、『名細地区』が84.4%で最も高く、次いで『古谷地区』が76.0%、『福原地区』が72.7%となっている。

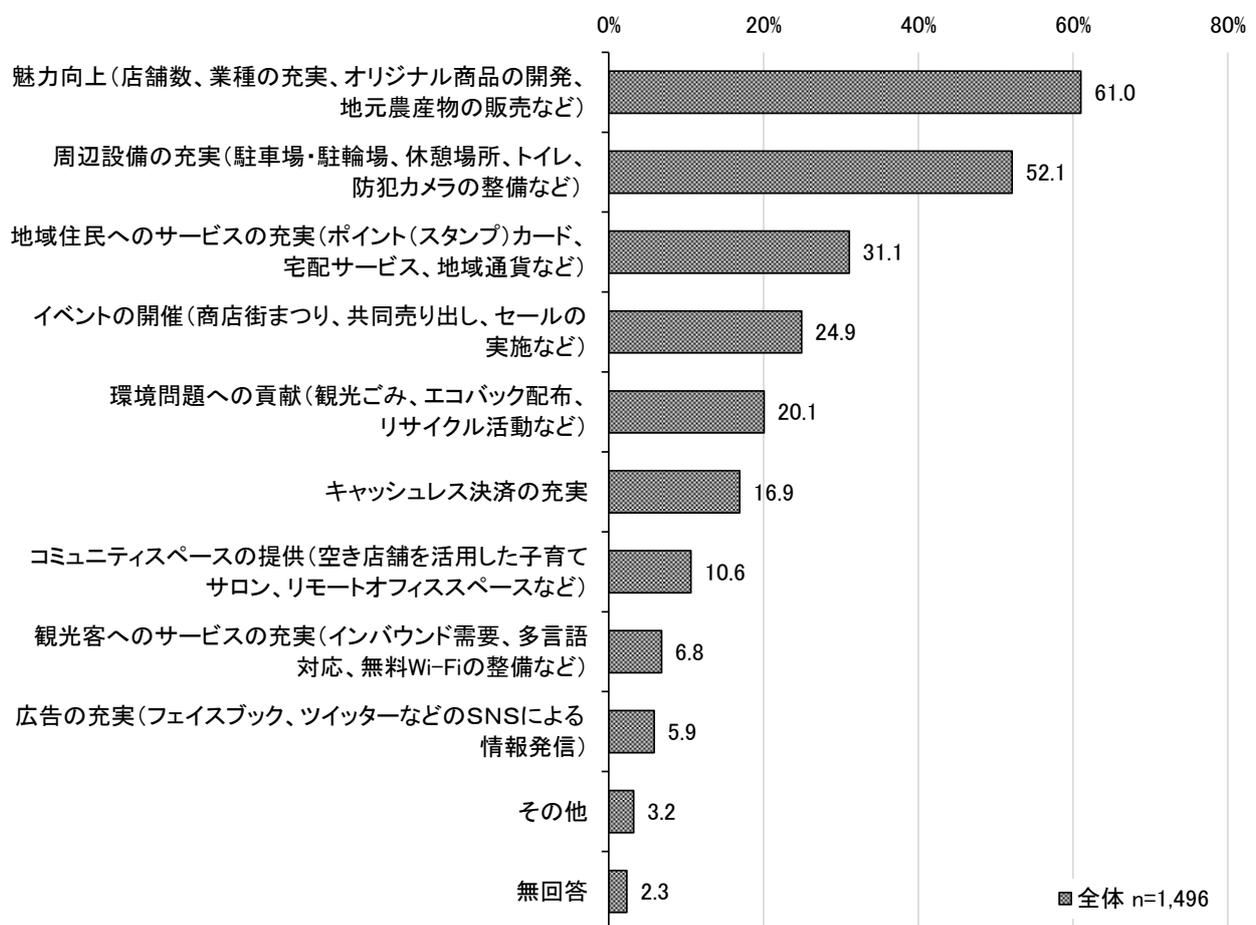
単位：%	店が近くにない	近くに品揃えの良い店がない	バス・電車などの交通の便が悪い	重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない	育児のため買い物に出かけにくい	自動車やバイクなどの交通手段がない
全体 n=308	66.2	41.2	27.6	14.0	9.7	7.8
【居住地区別】						
本庁地区 n=24	45.8	41.7	25.0	20.8	8.3	16.7
芳野地区 n=19	94.7	36.8	47.4	0.0	10.5	5.3
古谷地区 n=25	76.0	40.0	32.0	16.0	4.0	8.0
南古谷地区 n=26	57.7	30.8	23.1	11.5	3.8	11.5
高階地区 n=38	65.8	50.0	15.8	15.8	18.4	13.2
福原地区 n=22	72.7	31.8	36.4	18.2	9.1	0.0
大東地区 n=32	65.6	46.9	31.3	18.8	9.4	3.1
霞ヶ関地区 n=34	52.9	38.2	17.6	20.6	8.8	5.9
川鶴地区 n=14	57.1	42.9	42.9	7.1	0.0	14.3
霞ヶ関北地区 n=4	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0
名細地区 n=32	84.4	43.8	25.0	3.1	9.4	0.0
山田地区 n=20	65.0	30.0	35.0	5.0	25.0	10.0

## (8) 商店街に望むこと

◇「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」が61.0%

### 問 12 商店街にどのようなことを望みますか。次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)

商店街に望むことについては、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」が61.0%で最も高く、次いで「周辺設備の充実（駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など）」が52.1%、「地域住民へのサービスの充実（ポイント（スタンプ）カード、宅配サービス、地域通貨など）」が31.1%、「イベントの開催（商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など）」が24.9%となっている。



### ■年代別（上位6項目）

上位6項目を年代別で見ると、「環境問題への貢献（観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など）」は年代が高くなるほど増加傾向である一方で、「キャッシュレス決済の充実」は年代が低くなるほど増加傾向となっている。

単位：%	魅力向上(店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など)	周辺設備の充実(駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など)	地域住民へのサービスの充実(ポイント(スタンプ)カード、宅配サービス、地域通貨など)	イベントの開催(商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など)	環境問題への貢献(観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など)	キャッシュレス決済の充実
全体 n=1,496	61.0	52.1	31.1	24.9	20.1	16.9
【年代別】						
18・19歳 n=17	64.7	64.7	35.3	29.4	23.5	11.8
20歳代 n=176	61.9	47.7	27.3	31.8	14.8	26.1
30歳代 n=246	58.9	51.6	32.9	29.3	15.9	26.8
40歳代 n=297	63.6	49.2	30.3	27.6	16.8	21.9
50歳代 n=206	59.7	46.1	34.0	21.4	24.3	12.1
60歳代 n=240	60.8	60.0	35.4	17.9	23.3	12.5
70歳以上 n=291	61.9	56.7	27.8	22.0	24.4	5.5

### ■居住地区別（上位6項目）

上位6項目を居住地区別で見ると、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」では、『川鶴地区』が68.0%で最も高く、次いで『霞ヶ関地区』が66.9%、『高階地区』が66.1%となっている。

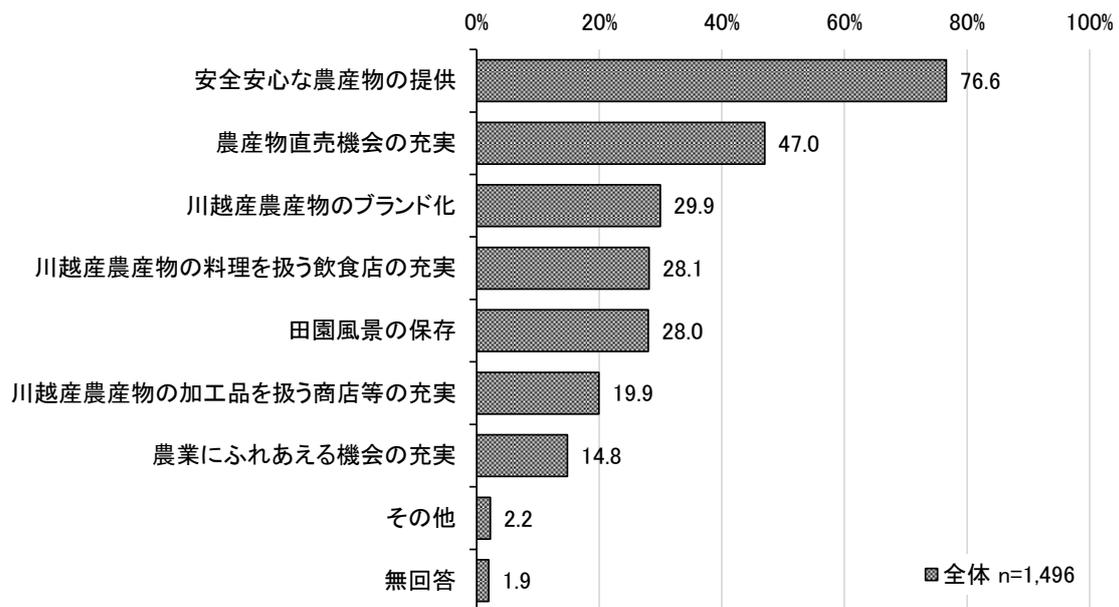
単位：%	魅力向上(店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など)	周辺設備の充実(駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など)	地域住民へのサービスの充実(ポイント(スタンプ)カード、宅配サービス、地域通貨など)	イベントの開催(商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など)	環境問題への貢献(観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など)	キャッシュレス決済の充実
全体 n=1,496	61.0	52.1	31.1	24.9	20.1	16.9
【居住地区別】						
本庁地区 n=316	65.2	51.9	35.1	21.2	26.3	13.6
芳野地区 n=41	46.3	53.7	29.3	19.5	31.7	19.5
古谷地区 n=58	55.2	62.1	24.1	17.2	22.4	13.8
南古谷地区 n=135	60.0	48.1	36.3	31.9	16.3	22.2
高階地区 n=189	66.1	48.1	27.5	24.9	21.7	22.2
福原地区 n=78	57.7	74.4	26.9	21.8	19.2	15.4
大東地区 n=139	61.9	56.1	25.9	25.9	15.1	18.7
霞ヶ関地区 n=175	66.9	52.0	26.9	27.4	16.6	16.6
川鶴地区 n=75	68.0	48.0	40.0	28.0	10.7	14.7
霞ヶ関北地区 n=48	56.3	41.7	27.1	25.0	16.7	14.6
名細地区 n=100	66.0	53.0	32.0	22.0	17.0	17.0
山田地区 n=77	41.6	57.1	46.8	27.3	20.8	11.7

## (9) 農業に期待すること

◇「安全安心な農産物の提供」が76.6%

### 問 13 あなたが農業に期待することは何ですか。(いくつでも)

農業に期待することについては、「安全安心な農産物の提供」が76.6%で最も高く、次いで「農産物直売機会の充実」が47.0%、「川越産農産物のブランド化」が29.9%、「川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実」が28.1%となっている。



### ■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「安全安心な農産物の提供」はすべての年代で女性が男性の割合を上回っている。「農産物直売機会の充実」は、女性は年代が高くなるほど増加傾向となり、女性の50歳代から70歳以上は6割近くと高くなっている。「川越産農産物のブランド化」は男性30歳代が4割を超えて高くなっている。

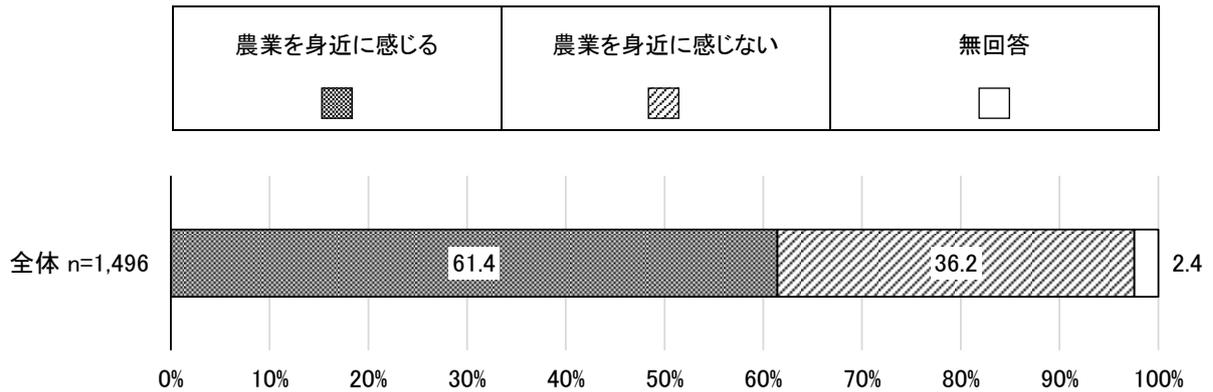
	安全安心な農産物の提供	農産物直売機会の充実	川越産農産物のブランド化	川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実	田園風景の保存	川越産農産物の加工品を扱う商店等の充実
単位：%						
全体 n=1,496	76.6	47.0	29.9	28.1	28.0	19.9
【性別・年代別】						
男性 n=593	69.3	40.8	35.1	30.0	28.0	21.9
男性 18・19歳 n=4	75.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0
男性 20歳代 n=67	70.1	23.9	34.3	28.4	35.8	17.9
男性 30歳代 n=85	67.1	42.4	42.4	38.8	28.2	17.6
男性 40歳代 n=121	57.0	29.8	37.2	32.2	22.3	24.8
男性 50歳代 n=95	72.6	53.7	40.0	32.6	25.3	22.1
男性 60歳代 n=101	75.2	42.6	32.7	28.7	25.7	20.8
男性 70歳以上 n=118	74.6	49.2	25.4	22.0	33.1	25.4
女性 n=874	82.0	50.6	26.8	27.2	27.8	18.8
女性 18・19歳 n=13	92.3	23.1	30.8	30.8	38.5	38.5
女性 20歳代 n=109	77.1	32.1	32.1	30.3	26.6	17.4
女性 30歳代 n=160	78.8	47.5	28.1	30.6	25.6	15.6
女性 40歳代 n=171	87.1	50.9	26.3	35.1	24.6	22.8
女性 50歳代 n=110	83.6	57.3	30.0	33.6	25.5	21.8
女性 60歳代 n=137	82.5	57.7	28.5	13.9	30.7	16.8
女性 70歳以上 n=172	81.4	57.6	18.6	20.3	32.6	16.3

### (10) 農業を身近に感じるか

◇「農業を身近に感じる」が61.4%

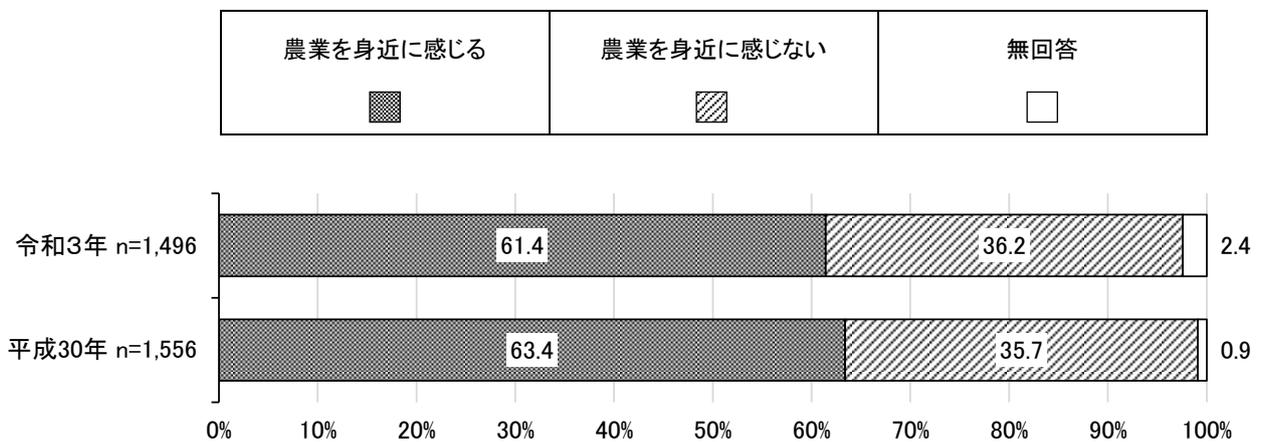
**問 14 農業を身近に感じますか。(地場農産物の購入や市民農園の利用、田園風景などを通じて、暮らしの中で農業を身近に感じますか) (1つのみ)**

農業を身近に感じているかについては、「農業を身近に感じる」が61.4%、「農業を身近に感じない」が36.2%と、「農業を身近に感じる」が25.2ポイント上回っている。



#### ■時系列での比較

時系列でみると、「農業を身近に感じる」は前回調査より2.0ポイント減少している。



## ■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「農業を身近に感じる」は女性 70 歳以上で約 7 割と高くなっている。一方で、「農業を身近に感じない」は男性 20 歳代で 5 割近くと高くなっている。

	農業を身近に 感じる	農業を身近に 感じない	無回答
単位: %			
全体 n=1,496	61.4	36.2	2.4
【性別・年代別】			
男性 n=593	60.9	37.3	1.9
男性_18・19歳 n=4	50.0	50.0	0.0
男性_20歳代 n=67	52.2	47.8	0.0
男性_30歳代 n=85	61.2	38.8	0.0
男性_40歳代 n=121	55.4	43.0	1.7
男性_50歳代 n=95	60.0	37.9	2.1
男性_60歳代 n=101	65.3	32.7	2.0
男性_70歳以上 n=118	68.6	27.1	4.2
女性 n=874	62.0	35.5	2.5
女性_18・19歳 n=13	30.8	69.2	0.0
女性_20歳代 n=109	55.0	43.1	1.8
女性_30歳代 n=160	56.9	41.3	1.9
女性_40歳代 n=171	66.7	32.2	1.2
女性_50歳代 n=110	59.1	38.2	2.7
女性_60歳代 n=137	62.8	34.3	2.9
女性_70歳以上 n=172	70.9	24.4	4.7

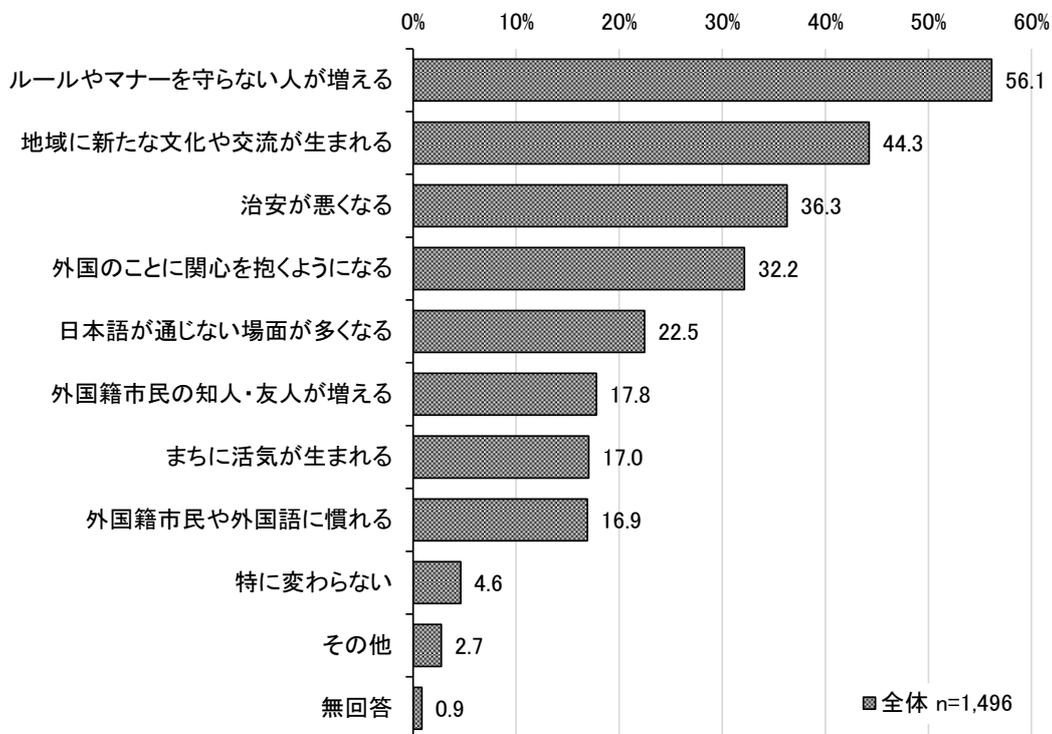
### 3 教育・文化・スポーツについて

#### (1) 外国籍市民が増えることによる効果や影響

◇「ルールやマナーを守らない人が増える」が56.1%

**問 15 あなたは、外国籍市民が増えることについて、どのような効果や影響があると思いますか。  
(いくつでも)**

外国籍市民が増えることによる効果や影響については、「ルールやマナーを守らない人が増える」が56.1%で最も高く、次いで「地域に新たな文化や交流が生まれる」が44.3%、「治安が悪くなる」が36.3%、「外国のことに関心を抱くようになる」が32.2%となっている。

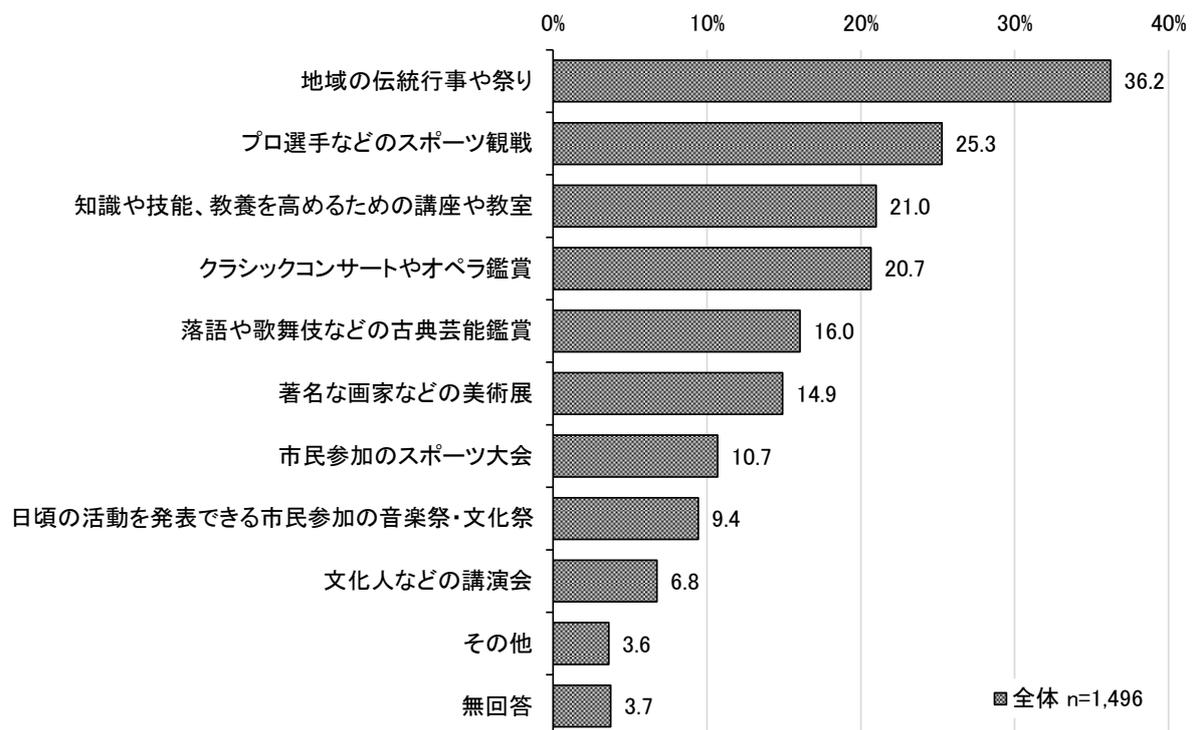


## (2) 興味のある文化・スポーツイベント

◇「地域の伝統行事や祭り」が36.2%

**問 16 あなたは、どのような文化・スポーツイベントに興味がありますか。  
次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで)**

興味のある文化・スポーツイベントについては、「地域の伝統行事や祭り」が36.2%で最も高く、次いで「プロ選手などのスポーツ観戦」が25.3%、「知識や技能、教養を高めるための講座や教室」が21.0%、「クラシックコンサートやオペラ鑑賞」が20.7%となっている。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「地域の伝統行事や祭り」は男性20歳代、男性40歳代で4割半ばと高くなっている。「プロ選手などのスポーツ観戦」は男性40歳代で4割を超えて高くなっている。「知識や技能、教養を高めるための講座や教室」は女性40歳代で3割を超えて高くなっている。

単位: %	地域の伝統行事や祭り	プロ選手などのスポーツ観戦	知識や技能、教養を高めるための講座や教室	クラシックコンサートやオペラ鑑賞	落語や歌舞伎などの古典芸能鑑賞	著名な画家などの美術展
全体 n=1,496	36.2	25.3	21.0	20.7	16.0	14.9
【性別・年代別】						
男性 n=593	39.8	33.4	17.2	15.9	13.8	12.3
男性_18・19歳 n=4	25.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0
男性_20歳代 n=67	46.3	31.3	16.4	16.4	16.4	11.9
男性_30歳代 n=85	42.4	32.9	17.6	20.0	9.4	12.9
男性_40歳代 n=121	45.5	42.1	11.6	11.6	7.4	9.1
男性_50歳代 n=95	32.6	38.9	16.8	18.9	14.7	12.6
男性_60歳代 n=101	34.7	29.7	21.8	11.9	12.9	16.8
男性_70歳以上 n=118	39.8	23.7	20.3	16.9	21.2	11.9
女性 n=874	34.0	20.3	23.7	23.6	17.4	16.9
女性_18・19歳 n=13	38.5	30.8	15.4	23.1	7.7	23.1
女性_20歳代 n=109	42.2	23.9	14.7	23.9	11.0	14.7
女性_30歳代 n=160	40.6	19.4	25.6	21.3	11.3	16.9
女性_40歳代 n=171	39.2	28.1	31.6	26.9	11.1	12.9
女性_50歳代 n=110	24.5	18.2	26.4	21.8	23.6	13.6
女性_60歳代 n=137	27.0	17.5	26.3	21.2	24.8	23.4
女性_70歳以上 n=172	29.1	14.0	16.3	25.6	24.4	19.2

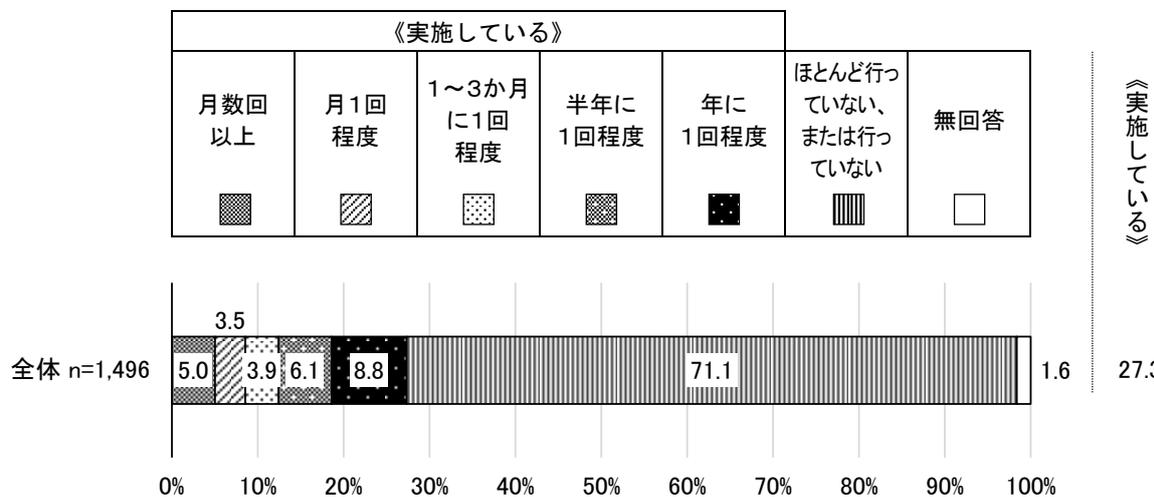
### (3) 文化活動の頻度

◇ 《実施している》が27.3%

問 17 あなたは、文化活動をどの程度行っていますか。(1つのみ)

※「文化活動」とは、クラシック音楽、ポピュラー音楽、邦楽、民俗芸能、演芸、文芸、美術等における活動（文化財・歴史的遺産の保存・活用活動は含みません）を想定しています。

文化活動の頻度については、「月数回以上」、「月1回程度」、「1～3か月に1回程度」、「半年に1回程度」、「年に1回程度」の合計値《実施している》が27.3%となっている。一方で、「ほとんど行っていない、または行っていない」が71.1%となっている。



■性別・年代別

性別・年代別でみると、《実施している》は女性 60 歳代、女性 70 歳以上で 3 割半ばと高くなっている。一方で、「ほとんど行っていない、または行っていない」は男性 40 歳代で 8 割半ばと高くなっている。

単位: %	《実施している》					ほとんど行っていない、または行っていない	無回答	《実施している》合計値
	月数回以上	月1回程度	1~3か月に1回程度	半年に1回程度	年に1回程度			
全体 n=1,496	5.0	3.5	3.9	6.1	8.8	71.1	1.6	27.3
【性別・年代別】								
男性 n=593	3.7	3.0	2.9	5.1	8.3	75.5	1.5	23.0
男性_18・19歳 n=4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
男性_20歳代 n=67	4.5	4.5	3.0	1.5	10.4	76.1	0.0	23.9
男性_30歳代 n=85	2.4	7.1	7.1	5.9	5.9	70.6	1.2	28.4
男性_40歳代 n=121	4.1	1.7	0.8	5.0	3.3	84.3	0.8	14.9
男性_50歳代 n=95	1.1	2.1	1.1	4.2	15.8	75.8	0.0	24.3
男性_60歳代 n=101	2.0	1.0	4.0	6.9	6.9	78.2	1.0	20.8
男性_70歳以上 n=118	7.6	3.4	2.5	5.9	9.3	66.1	5.1	28.7
女性 n=874	5.9	3.8	4.6	7.1	9.3	68.1	1.3	30.7
女性_18・19歳 n=13	15.4	0.0	15.4	0.0	7.7	61.5	0.0	38.5
女性_20歳代 n=109	7.3	6.4	2.8	8.3	9.2	66.1	0.0	34.0
女性_30歳代 n=160	3.8	3.8	4.4	5.6	5.0	76.9	0.6	22.6
女性_40歳代 n=171	4.1	2.3	2.9	6.4	12.3	71.3	0.6	28.0
女性_50歳代 n=110	3.6	3.6	4.5	4.5	9.1	73.6	0.9	25.3
女性_60歳代 n=137	9.5	2.9	5.8	6.6	11.7	62.8	0.7	36.5
女性_70歳以上 n=172	6.4	4.7	5.8	11.0	8.7	59.3	4.1	36.6

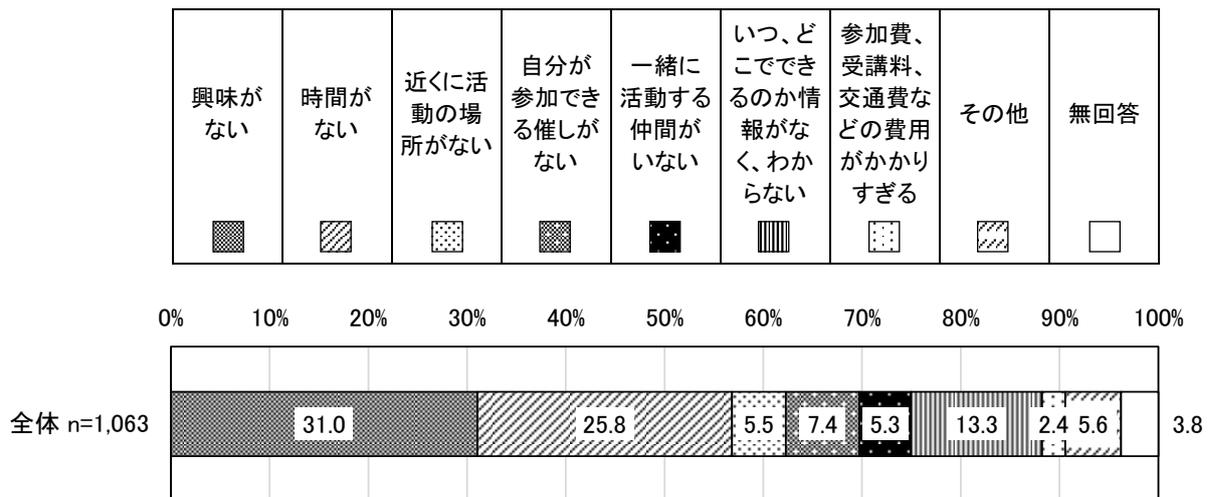
### (4) 文化活動を行っていない理由

◇「興味がない」が31.0%

【問 17 で「ほとんど行っていない、または行っていない」と回答した方におたずねします。】

#### 問 17-1 文化活動をほとんど行っていない理由は何ですか。(1つのみ)

文化活動を行っていない理由については、「興味がない」が31.0%で最も高く、次いで「時間がな  
い」が25.8%、「いつ、どこでできるのか情報がなく、わからない」が13.3%、「自分が参加できる  
催しがない」が7.4%となっている。

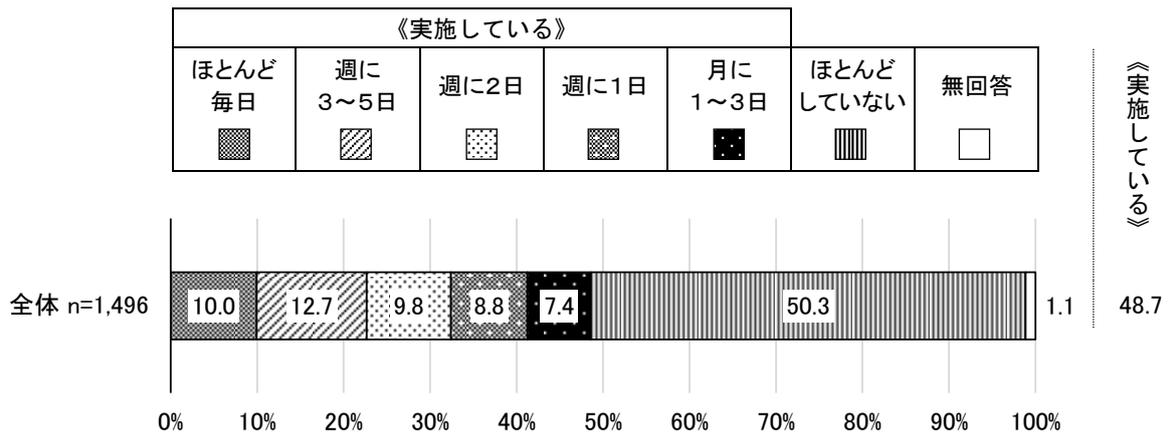


### (5) スポーツ・運動の実施頻度

◇ 《実施している》が48.7%

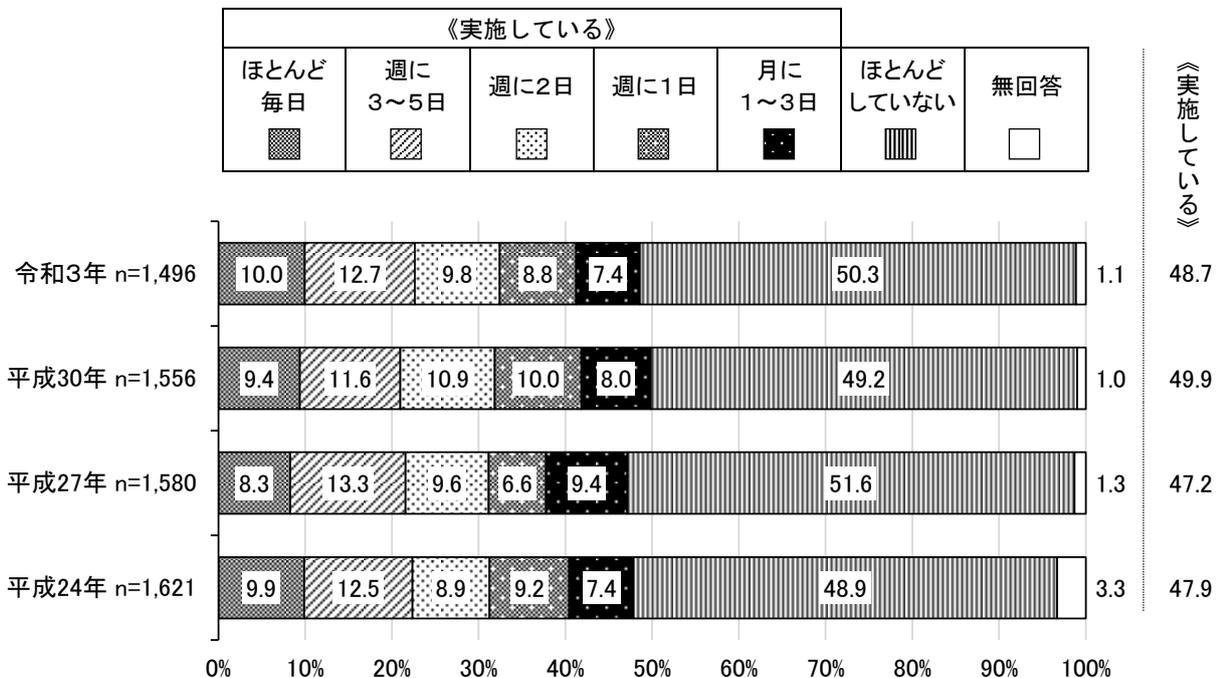
#### 問 18 あなたは、1回30分以上のスポーツや運動をどの程度していますか。(1つのみ)

スポーツ・運動の実施頻度については、「ほとんど毎日」、「週に3～5日」、「週に2日」、「週に1日」、「月に1～3日」の合計値《実施している》が48.7%となっている。一方で、「ほとんどしていない」は50.3%となっている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《実施している》は前回調査より1.2ポイント減少している。



## ■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「実施している」は男性70歳以上、女性70歳以上で6割台と高くなっている。一方で、「ほとんどしていない」は女性30歳代、女性40歳代で6割台と高くなっている。

単位:%	《実施している》						ほとんどしていない	無回答	《実施している》 合計値
	ほとんど毎日	週に3~5日	週に2日	週に1日	月に1~3日				
全体 n=1,496	10.0	12.7	9.8	8.8	7.4	50.3	1.1	48.7	
【性別・年代別】									
男性 n=593	10.1	15.2	10.8	9.3	8.8	44.9	1.0	54.2	
男性_18・19歳 n=4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
男性_20歳代 n=67	6.0	11.9	7.5	11.9	14.9	47.8	0.0	52.2	
男性_30歳代 n=85	7.1	7.1	8.2	14.1	8.2	55.3	0.0	44.7	
男性_40歳代 n=121	9.1	14.9	10.7	7.4	9.9	47.1	0.8	52.0	
男性_50歳代 n=95	6.3	10.5	13.7	12.6	6.3	50.5	0.0	49.4	
男性_60歳代 n=101	12.9	16.8	12.9	5.9	6.9	44.6	0.0	55.4	
男性_70歳以上 n=118	16.1	24.6	10.2	6.8	7.6	31.4	3.4	65.3	
女性 n=874	9.5	11.2	9.3	8.5	6.5	54.0	1.0	45.0	
女性_18・19歳 n=13	7.7	7.7	0.0	15.4	15.4	53.8	0.0	46.2	
女性_20歳代 n=109	3.7	10.1	6.4	11.0	11.0	57.8	0.0	42.2	
女性_30歳代 n=160	7.5	5.6	7.5	6.9	5.6	66.9	0.0	33.1	
女性_40歳代 n=171	7.6	5.3	7.0	8.2	6.4	64.9	0.6	34.5	
女性_50歳代 n=110	5.5	11.8	8.2	9.1	7.3	58.2	0.0	41.9	
女性_60歳代 n=137	12.4	16.1	11.7	7.3	7.3	43.1	2.2	54.8	
女性_70歳以上 n=172	17.4	19.2	14.5	8.1	2.9	34.9	2.9	62.1	

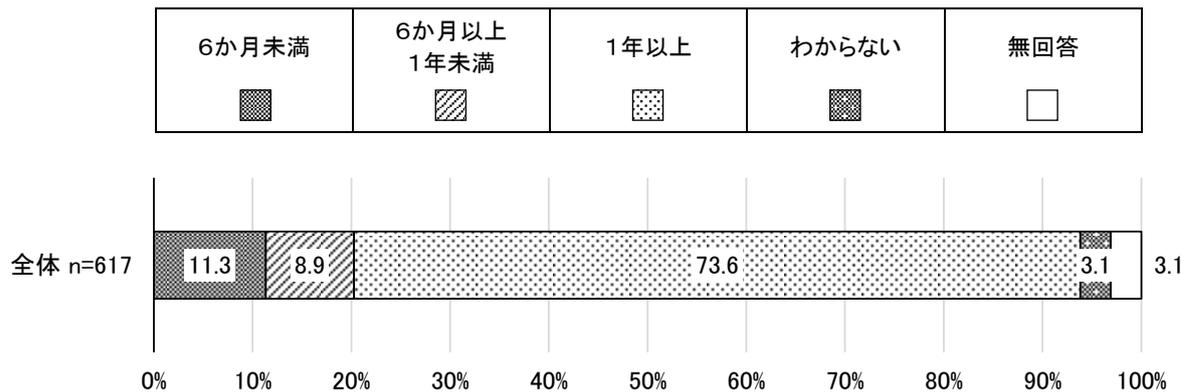
## (6) 始めてからの期間

◇「1年以上」が73.6%

【問 18 で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」「週に1日」と回答した方におたずねします。】

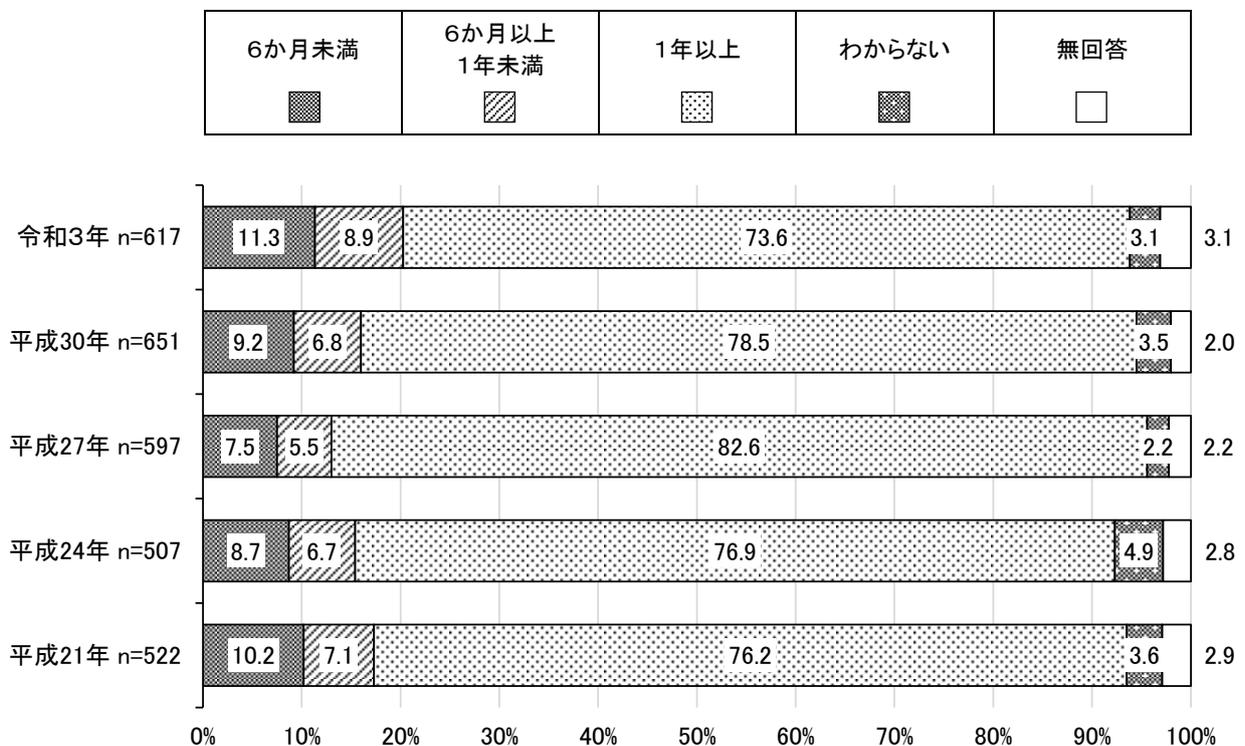
### 問 18-1 スポーツや運動を始めてからどの程度期間が経過していますか。(1つのみ)

始めてからの期間については、「1年以上」が73.6%で最も高く、次いで「6か月未満」が11.3%、「6か月以上1年未満」が8.9%となっている。



### ■時系列での比較

時系列でみると、「1年以上」は前回調査より4.9ポイント減少している。



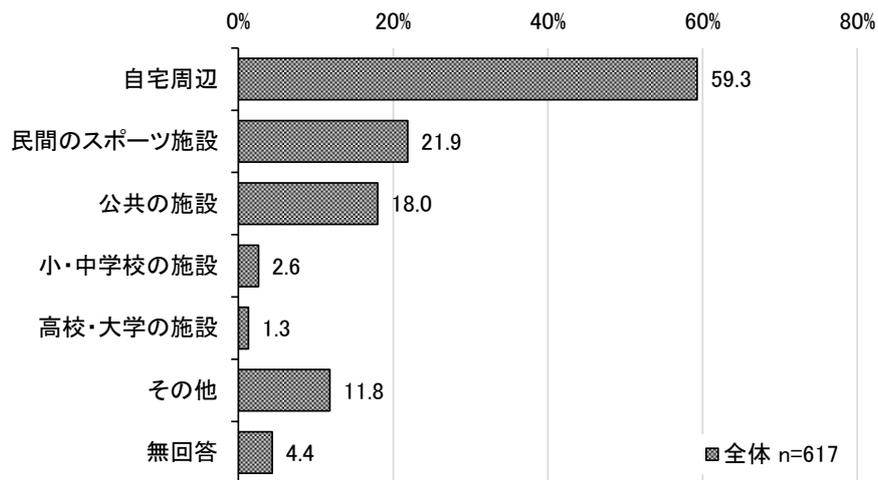
## (7) スポーツ・運動の実施場所

◇「自宅周辺」が59.3%

【問 18 で「ほとんど毎日」「週に3～5日」「週に2日」「週に1日」と回答した方におたずねします。】

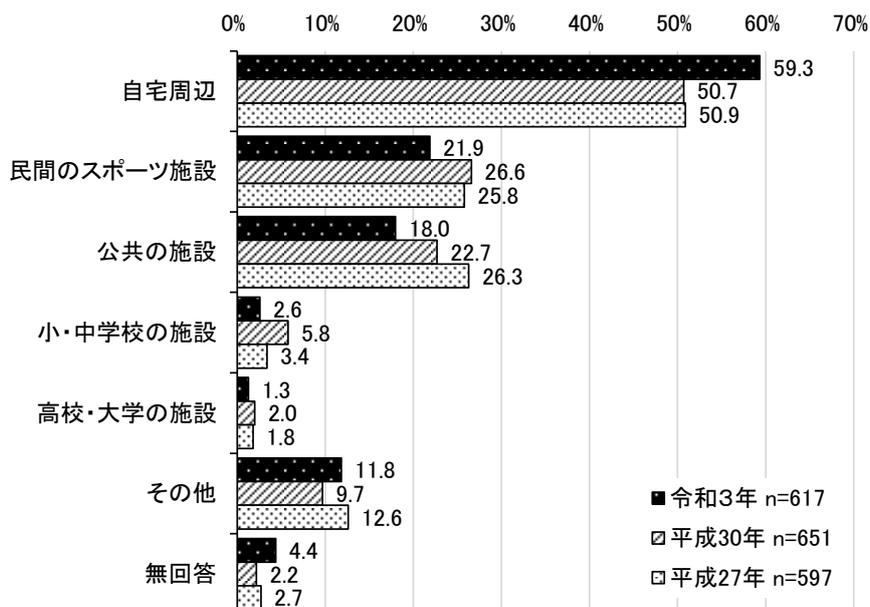
### 問 18-2 あなたは、スポーツや運動をどこで行っていますか。(いくつでも)

スポーツ・運動の実施場所については、「自宅周辺」が59.3%で最も高く、次いで「民間のスポーツ施設」が21.9%、「公共の施設」が18.0%、「小・中学校の施設」が2.6%となっている。



### ■ 時系列での比較

時系列でみると、前回調査より「自宅周辺」が8.6ポイント増加している。

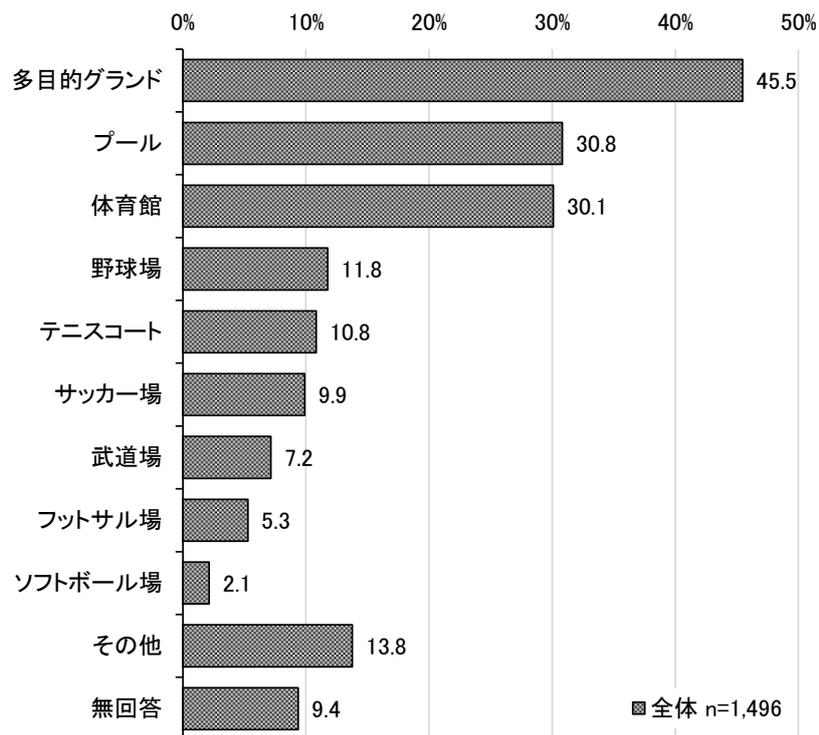


## (8) 望まれるスポーツ施設

◇「多目的グラウンド」が45.5%

**問 19 あなたは、今後、川越市内にどのようなスポーツ施設があると良いと思いますか。  
(いくつでも)**

望まれるスポーツ施設については、「多目的グラウンド」が45.5%で最も高く、次いで「プール」が30.8%、「体育館」が30.1%、「野球場」が11.8%となっている。

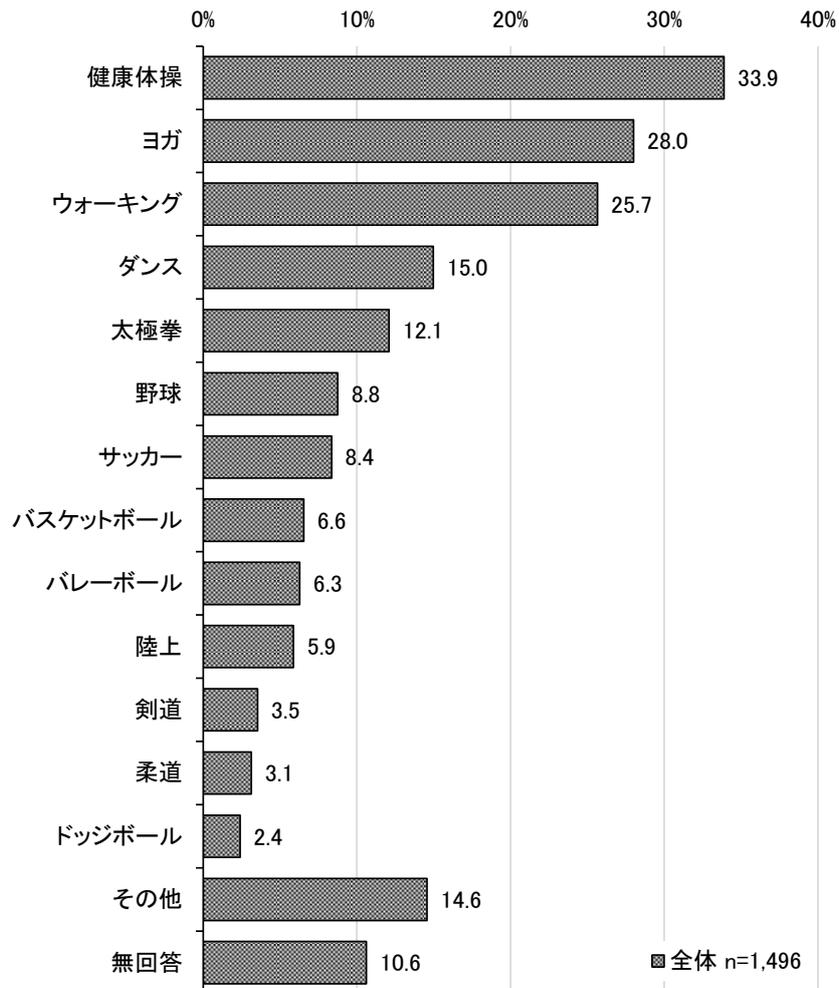


## (9) 望まれるスポーツ教室

◇「健康体操」が33.9%

## 問 20 あなたは、川越市にどのようなスポーツ教室の開催を望みますか。(いくつでも)

望まれるスポーツ教室については、「健康体操」が33.9%で最も高く、次いで「ヨガ」が28.0%、「ウォーキング」が25.7%、「ダンス」が15.0%となっている。



## 4 保健・医療・福祉・子どもについて

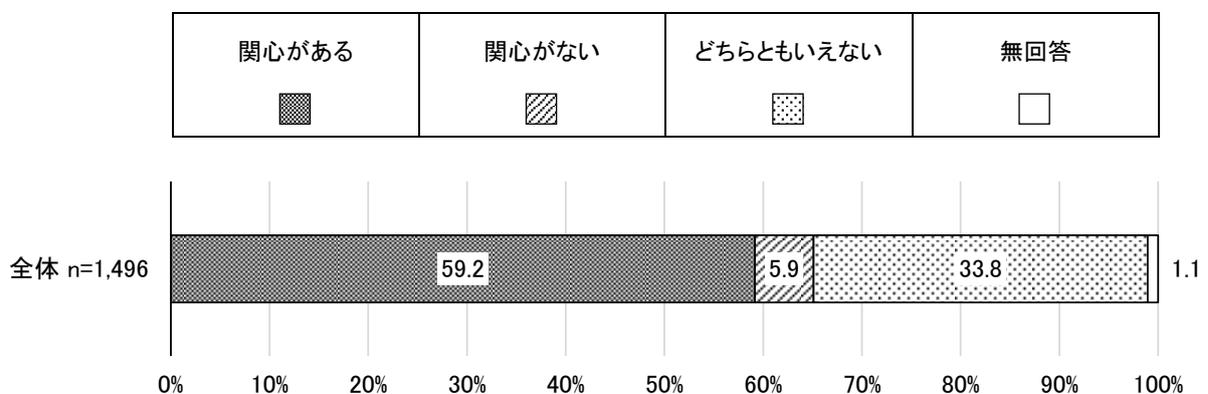
### (1) 福祉への関心

◇「関心がある」が59.2%

**問 21 あなたは、福祉に関心がありますか。(1つのみ)**

※「福祉」とは、「生活困窮者・障害者・高齢者・子どもに関する福祉のほか、地域における身近な支え合い」などを想定しています。

福祉への関心については、「関心がある」が59.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が33.8%、「関心がない」が5.9%となっている。



#### ■年代別

年代別でみると、「関心がある」は70歳以上で7割を超えて高くなっている。一方で、「関心がない」は20歳代で1割を超えて高くなっている。

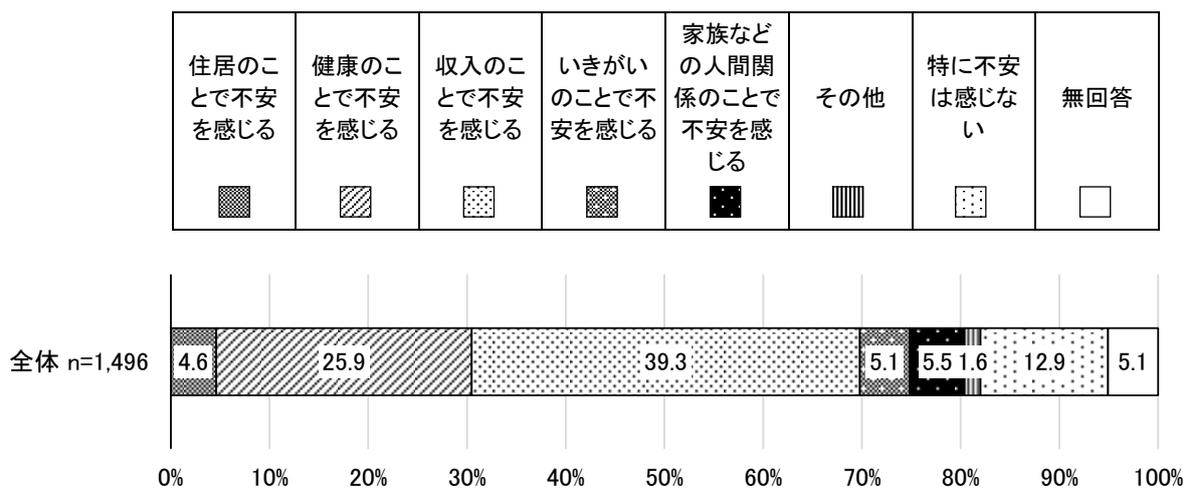
	関心がある	関心がない	どちらともいえない	無回答
単位: %				
全体 n=1,496	59.2	5.9	33.8	1.1
【年代別】				
18・19歳 n=17	35.3	17.6	47.1	0.0
20歳代 n=176	47.7	12.5	39.8	0.0
30歳代 n=246	59.8	7.7	32.1	0.4
40歳代 n=297	54.2	6.4	39.1	0.3
50歳代 n=206	58.7	5.3	35.9	0.0
60歳代 n=240	60.0	3.3	34.2	2.5
70歳以上 n=291	71.1	1.4	25.4	2.1

## (2) 老後の生活への不安

◇「収入のことで不安を感じる」が39.3%

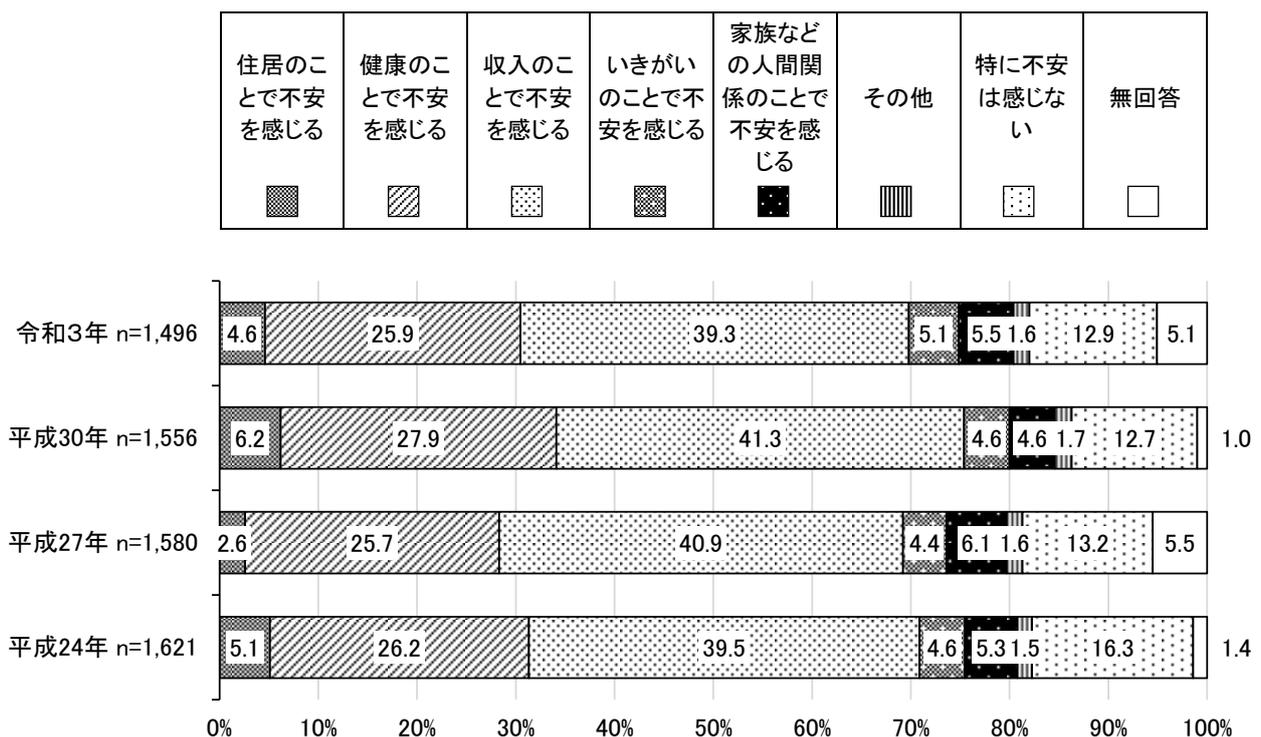
### 問 22 あなたは、老後の生活について不安を感じますか。(1つのみ)

老後の生活への不安については、「収入のことで不安を感じる」が39.3%で最も高く、次いで「健康のことで不安を感じる」が25.9%、「家族などの人間関係のことで不安を感じる」が5.5%、「いきがいのことで不安を感じる」が5.1%となっている。なお、「特に不安は感じない」は12.9%となっている。



### ■時系列での比較

時系列でみると、「収入のことで不安を感じる」は前回調査より2.0ポイント減少している。



■年代別

年代別でみると、「健康のことで不安を感じる」は、年代が高くなるほど増加傾向となり、70歳以上で4割を超えて高くなっている。「収入のことで不安を感じる」は30歳代、40歳代で5割を超えて高くなっている。

単位：%	住居のことで不安を感じる	健康のことで不安を感じる	収入のことで不安を感じる	いきがいのことで不安を感じる	家族などの人間関係のことで不安を感じる	その他	特に不安は感じない	無回答
全体 n=1,496	4.6	25.9	39.3	5.1	5.5	1.6	12.9	5.1
【年代別】								
18・19歳 n=17	0.0	11.8	52.9	0.0	0.0	0.0	23.5	11.8
20歳代 n=176	1.7	9.1	49.4	5.1	7.4	4.5	18.2	4.5
30歳代 n=246	5.7	15.4	53.7	2.0	4.9	2.8	10.6	4.9
40歳代 n=297	7.7	19.2	51.2	2.4	5.4	1.0	8.4	4.7
50歳代 n=206	5.8	25.7	42.2	6.8	6.8	1.0	9.2	2.4
60歳代 n=240	3.8	38.3	25.4	7.9	6.3	0.4	12.5	5.4
70歳以上 n=291	2.7	42.3	19.2	7.6	4.1	1.0	17.9	5.2

■家族構成別

家族構成別でみると、「健康のことで不安を感じる」は、夫婦だけで3割半ばと高くなっている。「収入のことで不安を感じる」は二世世代世帯（親と子）で4割半ばと高くなっている。

単位：%	住居のことで不安を感じる	健康のことで不安を感じる	収入のことで不安を感じる	いきがいのことで不安を感じる	家族などの人間関係のことで不安を感じる	その他	特に不安は感じない	無回答
全体 n=1,496	4.6	25.9	39.3	5.1	5.5	1.6	12.9	5.1
【家族構成別】								
夫婦だけ n=371	3.5	35.6	29.4	5.4	4.9	1.3	14.8	5.1
二世世代世帯（親と子） n=737	4.1	21.7	45.9	4.5	6.1	1.6	12.3	3.8
三世世代世帯（親と子と孫） n=114	1.8	25.4	36.0	4.4	9.6	1.8	14.9	6.1
単身世帯 n=189	10.6	23.3	37.6	7.9	2.6	2.6	10.1	5.3
その他 n=58	6.9	24.1	41.4	5.2	5.2	0.0	10.3	6.9

■住居形態別

住居形態別でみると、「収入のことで不安を感じる」は民営借家で5割を超えて高くなっている。

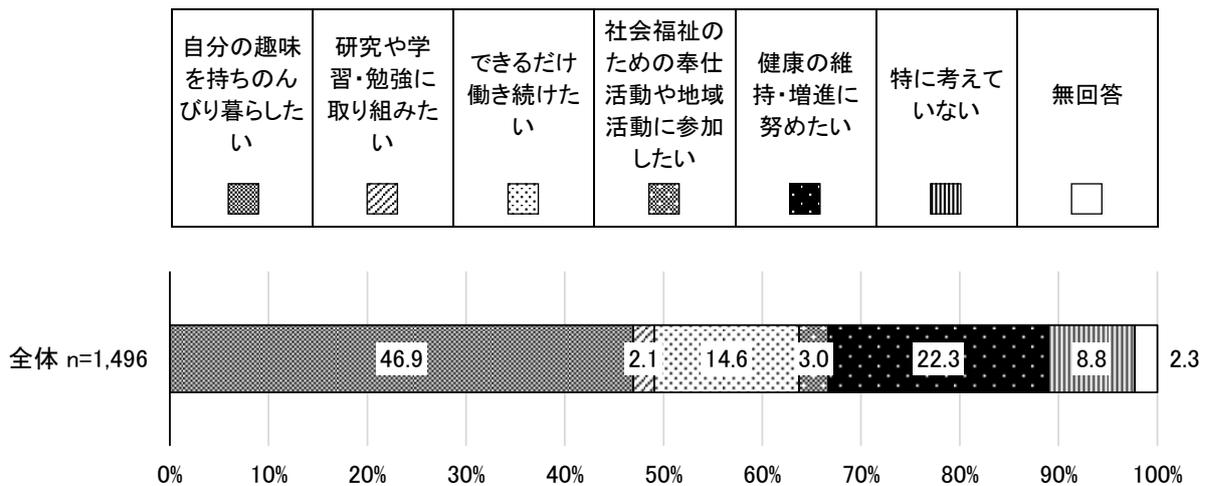
単位：%	住居のことで不安を感じる	健康のことで不安を感じる	収入のことで不安を感じる	いきがいのことで不安を感じる	家族などの人間関係のことで不安を感じる	その他	特に不安は感じない	無回答
全体 n=1,496	4.6	25.9	39.3	5.1	5.5	1.6	12.9	5.1
【住居形態別】								
一戸建持家 n=1,013	2.9	28.7	37.5	5.1	5.7	1.3	14.2	4.5
一戸建以外の持家 n=177	2.3	27.1	37.9	6.8	5.1	1.7	10.7	8.5
民営借家 n=196	12.2	10.2	53.6	3.6	5.1	3.6	9.2	2.6
公営の賃貸住宅 n=36	16.7	19.4	47.2	2.8	5.6	0.0	8.3	0.0
社宅 n=21	14.3	28.6	23.8	4.8	9.5	0.0	14.3	4.8
その他 n=6	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

### (3) 老後の過ごし方

◇「自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい」が46.9%

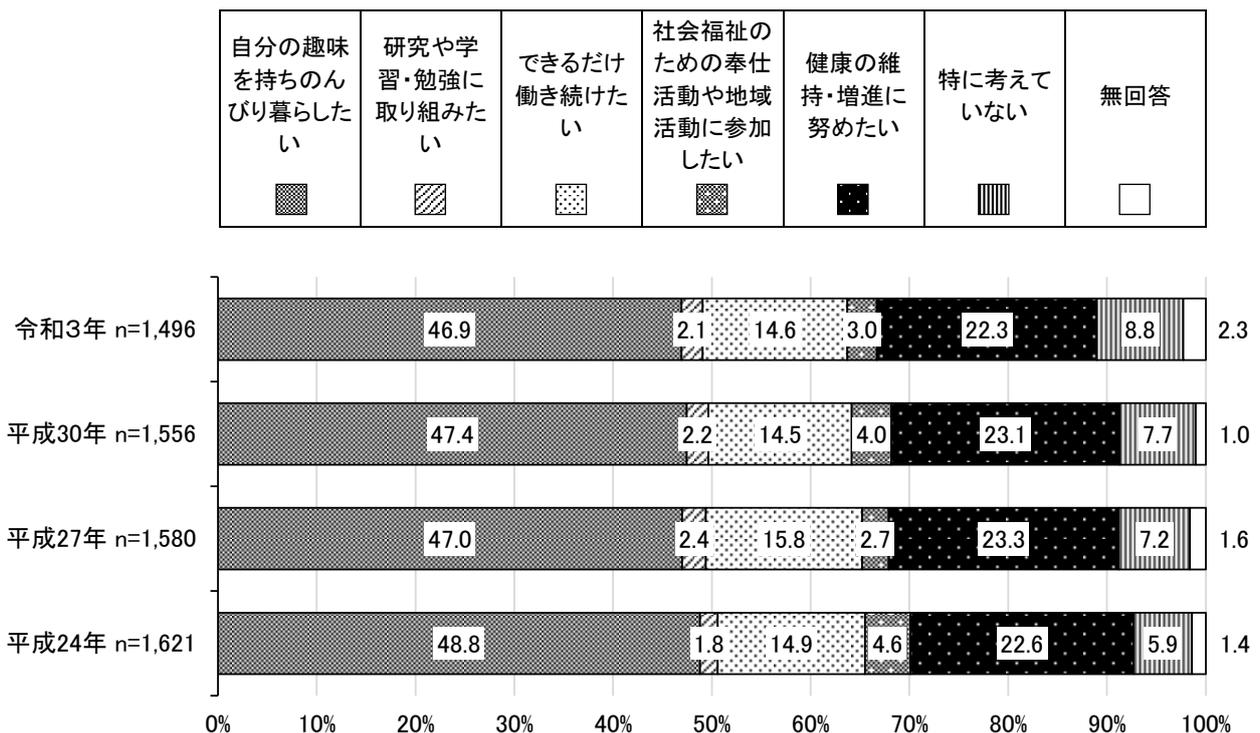
#### 問 23 あなたは、老後の過ごし方についてどのようにお考えですか。(1つのみ)

老後の過ごし方については、「自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい」が46.9%で最も高く、次いで「健康の維持・増進に努めたい」が22.3%、「できるだけ働き続けたい」が14.6%、「社会福祉のための奉仕活動や地域活動に参加したい」が3.0%となっている。なお、「特に考えていない」は8.8%となっている。



#### ■時系列での比較

時系列でみると、過去の調査結果と大きな差はみられない。



■年代別

年代別でみると、「自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい」は年代が低くなるほど増加傾向である一方で、「健康の維持・増進に努めたい」は年代が高くなるほど増加傾向となっている。

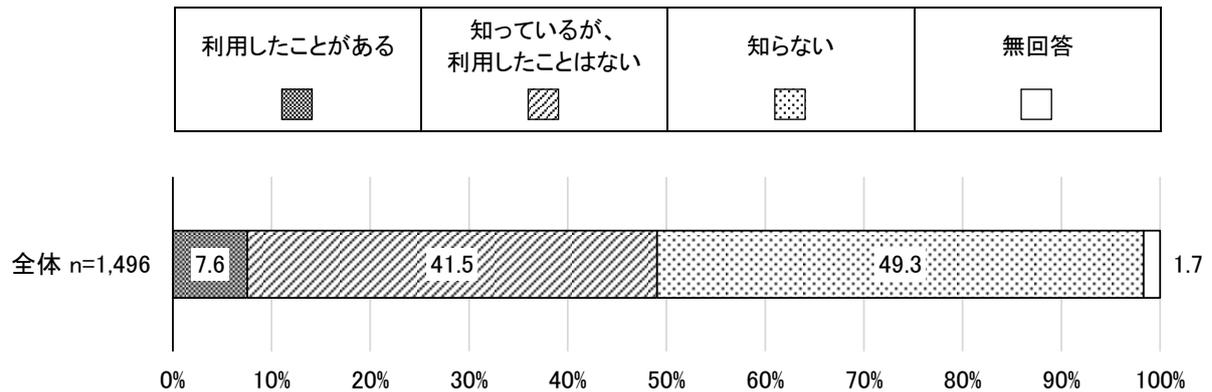
	自分の趣味を持ちのんびり暮らしたい	研究や学習・勉強に取り組みたい	できるだけ働き続けたい	社会福祉のための奉仕活動や地域活動に参加したい	健康の維持・増進に努めたい	特に考えていない	無回答
単位：%							
全体 n=1,496	46.9	2.1	14.6	3.0	22.3	8.8	2.3
【年代別】							
18・19歳 n=17	58.8	0.0	17.6	0.0	0.0	23.5	0.0
20歳代 n=176	61.4	1.7	8.5	1.1	6.8	18.2	2.3
30歳代 n=246	56.1	2.0	11.8	2.0	13.8	10.2	4.1
40歳代 n=297	53.5	0.7	15.5	2.7	17.8	7.1	2.7
50歳代 n=206	43.2	2.9	21.4	2.9	21.4	6.8	1.5
60歳代 n=240	40.0	2.9	15.8	3.8	29.2	7.1	1.3
70歳以上 n=291	31.3	2.7	13.7	5.2	40.9	5.5	0.7

### (4) 地域包括支援センターの認知状況

◇「知らない」が49.3%

#### 問 24 高齢者の身近な相談窓口である、「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つのみ)

地域包括支援センターの認知状況については、「知らない」が49.3%で最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が41.5%、「利用したことがある」が7.6%となっている。



#### ■年代別

年代別でみると、「利用したことがある」は50歳代から70歳以上で1割台となっている。一方で、「知らない」は20歳代で7割近くと高くなっている。

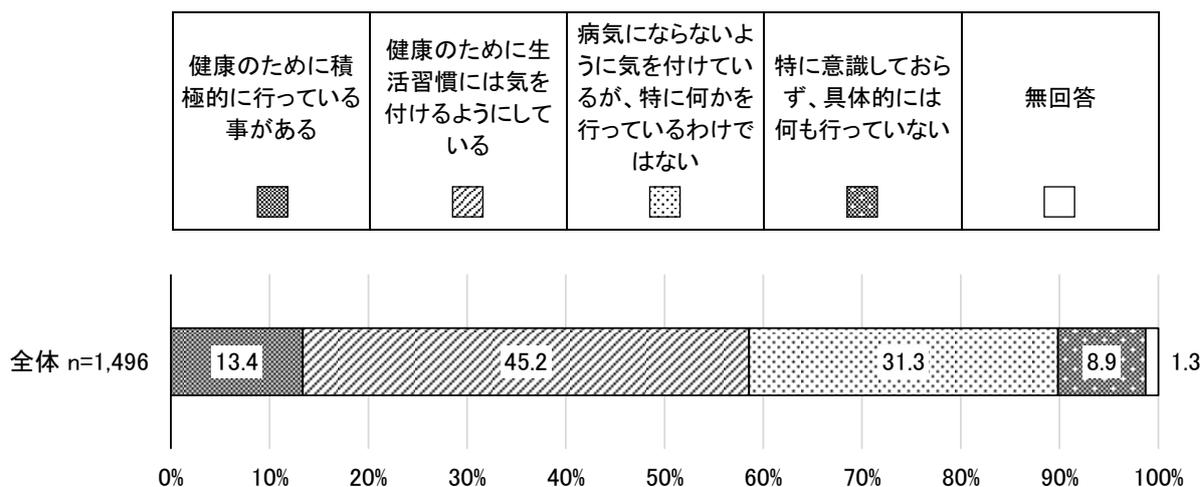
	利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない	無回答
単位: %				
全体 n=1,496	7.6	41.5	49.3	1.7
【年代別】				
18・19歳 n=17	0.0	35.3	64.7	0.0
20歳代 n=176	1.7	29.0	68.8	0.6
30歳代 n=246	2.4	38.2	58.1	1.2
40歳代 n=297	4.0	38.7	55.9	1.3
50歳代 n=206	14.6	39.3	45.6	0.5
60歳代 n=240	10.8	48.8	38.3	2.1
70歳以上 n=291	12.4	51.2	33.3	3.1

### (5) 健康への意識

◇「健康のために生活習慣には気を付けるようにしている」が45.2%

**問 25 あなたは、普段から健康に気を付けるよう意識していますか。(1つのみ)**

健康への意識については、「健康のために生活習慣には気を付けるようにしている」が45.2%で最も高く、次いで「病気にならないように気を付けているが、特に何かを行っているわけではない」が31.3%、「健康のために積極的に行っている事がある」が13.4%、「特に意識しておらず、具体的には何も行っていない」が8.9%となっている。



#### ■年代別

年代別でみると、「健康のために積極的に行っている事がある」は50歳代、70歳以上で2割と高くなっている。一方で、「特に意識しておらず、具体的には何も行っていない」は20歳代で約2割と高くなっている。

	健康のために積極的に行っている事がある	健康のために生活習慣には気を付けるようにしている	病気にならないように気を付けているが、特に何かを行っているわけではない	特に意識しておらず、具体的には何も行っていない	無回答
単位: %					
全体 n=1,496	13.4	45.2	31.3	8.9	1.3
【年代別】					
18・19歳 n=17	5.9	23.5	47.1	23.5	0.0
20歳代 n=176	9.7	38.6	31.8	19.3	0.6
30歳代 n=246	7.3	44.3	37.0	10.2	1.2
40歳代 n=297	8.4	45.1	36.4	9.4	0.7
50歳代 n=206	19.9	36.4	35.9	7.3	0.5
60歳代 n=240	15.0	51.3	27.1	4.6	2.1
70歳以上 n=291	19.9	52.9	19.9	5.2	2.1

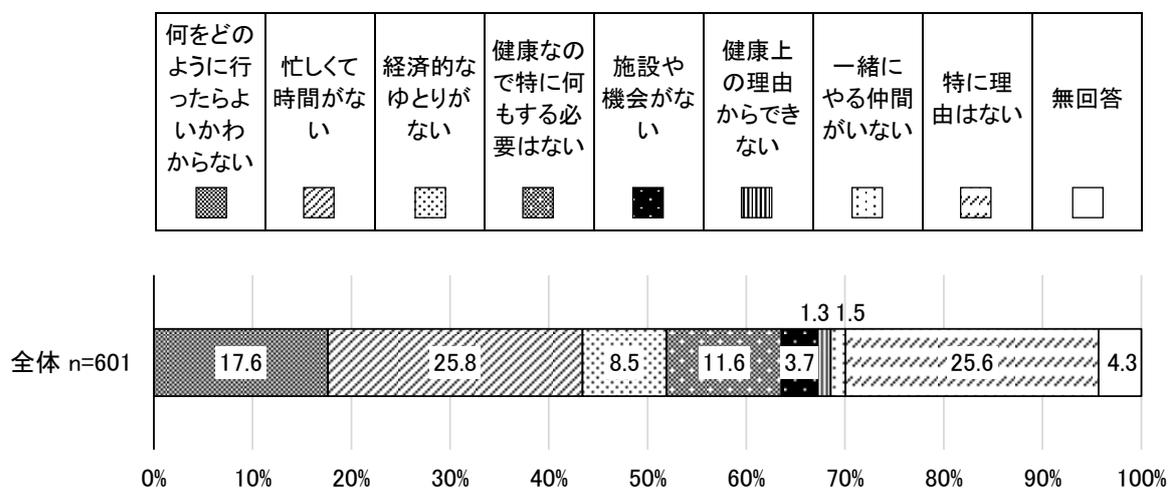
## (6) 健康のための取組を行っていない理由

◇「忙しくて時間がない」が25.8%

【問 25 で「病気にならないように気を付けているが、特に何かを行っているわけではない」「特に意識しておらず、具体的には何も行っていない」と回答した方におたずねします。】

### 問 25-1 健康のための取組を行っていない主な理由は何ですか。(1つのみ)

健康のための取組を行っていない理由については、「忙しくて時間がない」が25.8%で最も高く、次いで「何をどのように行ったらよいかわからない」が17.6%、「健康なので特に何もする必要はない」が11.6%、「経済的なゆとりがない」が8.5%となっている。なお、「特に理由はない」は25.6%となっている。

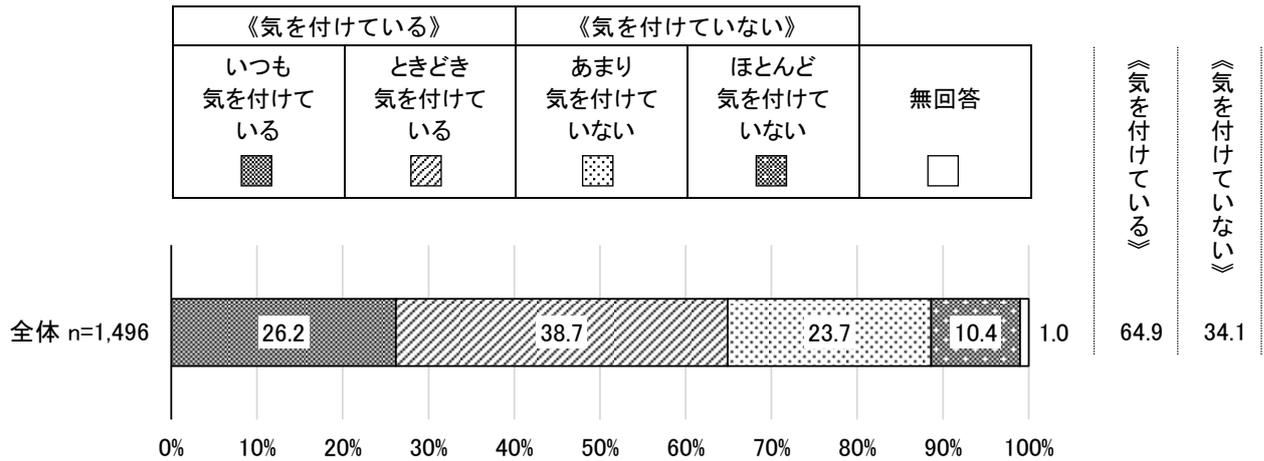


### (7) 塩分の摂取量への意識

◇ 《気を付けている》が64.9%

**問 26 あなたは、塩分の摂取量について、気を付けていますか。(1つのみ)**

塩分の摂取量への意識については、「いつも気を付けている」、「ときどき気を付けている」の合計値《気を付けている》が64.9%である一方、「あまり気を付けていない」、「ほとんど気を付けていない」の合計値《気を付けていない》は34.1%と、《気を付けている》が30.8ポイント上回っている。



#### ■年代別

年代別でみると、《気を付けている》は年代が高くなるほど増加傾向となり、70歳以上で8割半ばと高くなっている。一方で、《気を付けていない》は20歳代で6割近くと高くなっている。

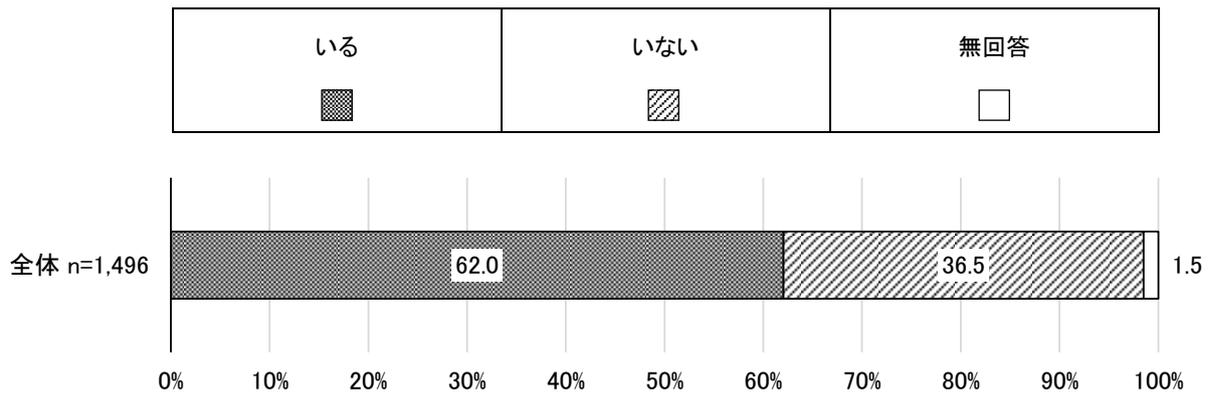
単位: %	《気を付けている》		《気を付けていない》		無回答	《気を付けている》 合計値	《気を付けていない》 合計値
	いつも気を付けている	ときどき気を付けている	あまり気を付けていない	ほとんど気を付けていない			
全体 n=1,496	26.2	38.7	23.7	10.4	1.0	64.9	34.1
<b>【年代別】</b>							
18・19歳 n=17	0.0	41.2	17.6	41.2	0.0	41.2	58.8
20歳代 n=176	15.9	25.6	30.7	26.7	1.1	41.5	57.4
30歳代 n=246	11.8	43.9	31.3	12.6	0.4	55.7	43.9
40歳代 n=297	18.5	41.8	27.6	11.4	0.7	60.3	39.0
50歳代 n=206	30.1	36.4	24.8	8.3	0.5	66.5	33.1
60歳代 n=240	35.0	38.8	20.0	5.0	1.3	73.8	25.0
70歳以上 n=291	43.6	40.5	12.0	2.1	1.7	84.1	14.1

### (8) かかりつけ医のいる家族の有無

◇ 「いる」が62.0%

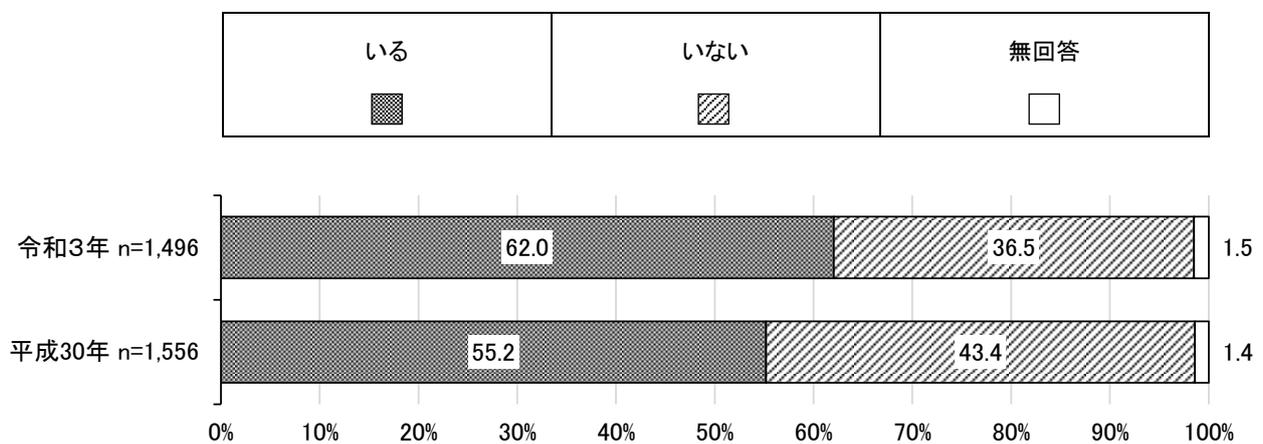
**問 27 あなたやご家族の中で、病気になったときに決まって診察を受ける医師（かかりつけ医）がいる方はいますか。（1つのみ）**

かかりつけ医のいる家族の有無については、「いる」が62.0%、「いない」が36.5%と、「いる」が25.5ポイント上回っている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、「いる」は前回調査より6.8ポイント増加している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「いる」は女性 70 歳以上で 8 割半ばと高くなっている。一方で、「いない」は男性 20 歳代、男性 40 歳代で 5 割半ばと高くなっている。

	いる	いない	無回答
単位: %			
全体 n=1,496	62.0	36.5	1.5
【性別・年代別】			
男性 n=593	56.3	42.5	1.2
男性_18・19歳 n=4	50.0	50.0	0.0
男性_20歳代 n=67	44.8	55.2	0.0
男性_30歳代 n=85	49.4	49.4	1.2
男性_40歳代 n=121	43.0	56.2	0.8
男性_50歳代 n=95	57.9	42.1	0.0
男性_60歳代 n=101	65.3	32.7	2.0
男性_70歳以上 n=118	72.9	24.6	2.5
女性 n=874	66.0	32.6	1.4
女性_18・19歳 n=13	38.5	61.5	0.0
女性_20歳代 n=109	47.7	49.5	2.8
女性_30歳代 n=160	57.5	42.5	0.0
女性_40歳代 n=171	64.9	33.3	1.8
女性_50歳代 n=110	68.2	31.8	0.0
女性_60歳代 n=137	70.1	28.5	1.5
女性_70歳以上 n=172	84.3	13.4	2.3

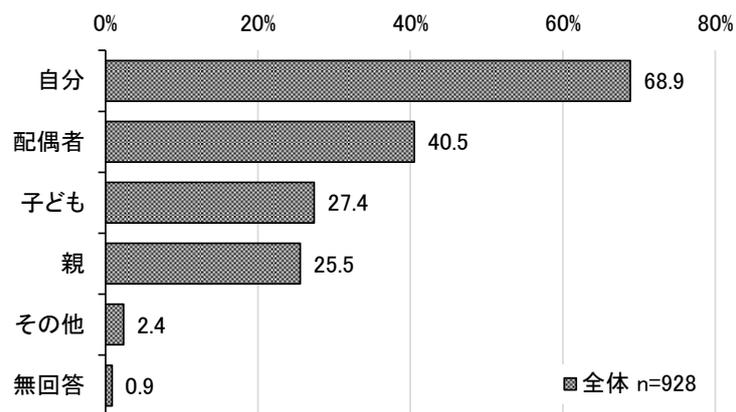
### (9) かかりつけ医のいる家族の属性

◇「自分」が68.9%

【問 27 で「いる」と回答した方におたずねします。】

#### 問 27-1 「かかりつけ医」がいる方は、どなたですか。(いくつでも)

かかりつけ医のいる家族の属性については、「自分」が68.9%で最も高く、次いで「配偶者」が40.5%、「子ども」が27.4%、「親」が25.5%となっている。

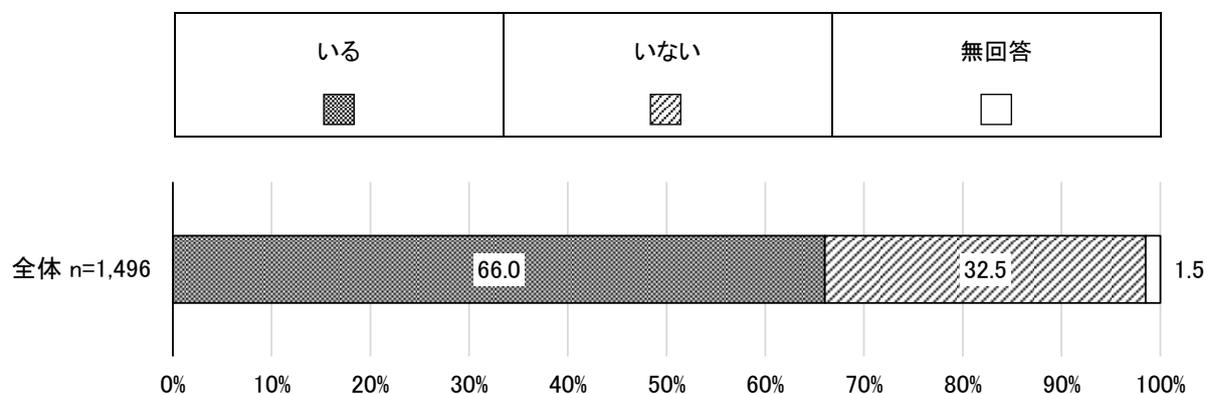


### (10) かかりつけ歯科医の有無

◇「いる」が66.0%

#### 問 28 あなたは、かかりつけ歯科医がいますか。(1つのみ)

かかりつけ歯科医の有無については、「いる」が66.0%、「いない」が32.5%と、「いる」が33.5ポイント上回っている。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「いる」は女性 70 歳以上で約 8 割と高くなっている。一方で、「いない」は男性 20 歳代で 6 割と高くなっている。

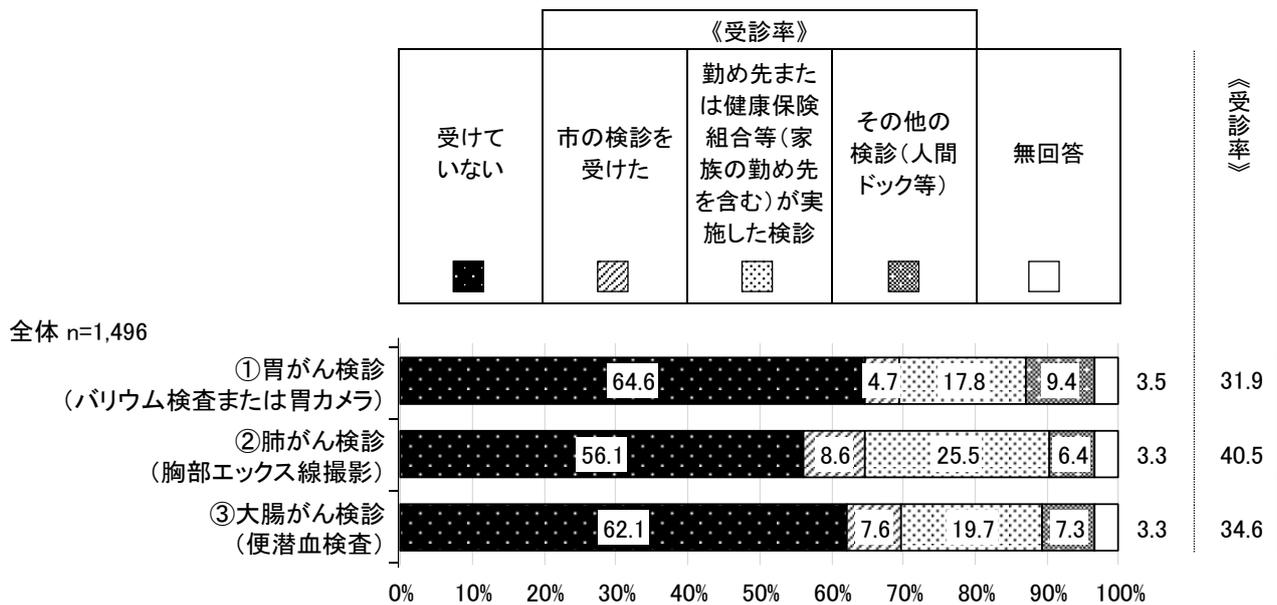
	いる	いない	無回答
単位: %			
全体 n=1,496	66.0	32.5	1.5
【性別・年代別】			
男性 n=593	59.5	39.3	1.2
男性_18・19歳 n=4	25.0	75.0	0.0
男性_20歳代 n=67	38.8	59.7	1.5
男性_30歳代 n=85	49.4	48.2	2.4
男性_40歳代 n=121	47.1	52.9	0.0
男性_50歳代 n=95	61.1	38.9	0.0
男性_60歳代 n=101	73.3	25.7	1.0
男性_70歳以上 n=118	78.8	18.6	2.5
女性 n=874	70.3	28.3	1.5
女性_18・19歳 n=13	46.2	53.8	0.0
女性_20歳代 n=109	52.3	45.9	1.8
女性_30歳代 n=160	66.9	32.5	0.6
女性_40歳代 n=171	66.7	31.0	2.3
女性_50歳代 n=110	73.6	26.4	0.0
女性_60歳代 n=137	78.8	19.0	2.2
女性_70歳以上 n=172	80.8	17.4	1.7

(11) 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況

◇①胃がん検診受診率：31.9%、②肺がん検診受診率：40.5%、③大腸がん検診受診率：34.6%

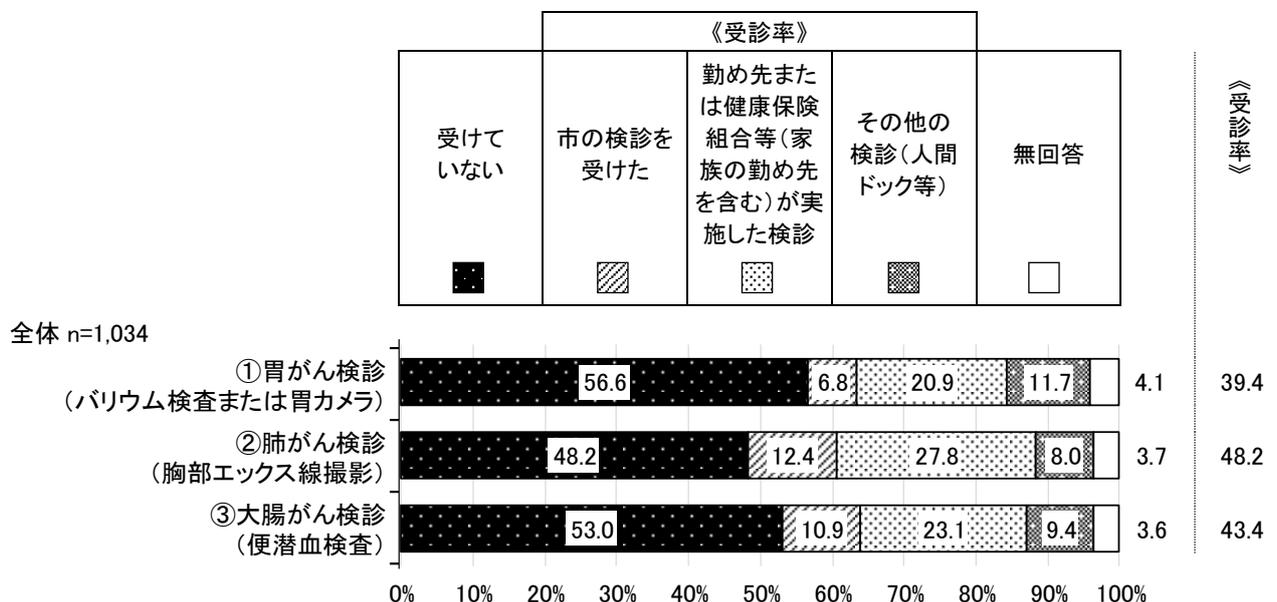
問 29 あなたは過去1年間に次の検診を受けたことがありますか。(治療や診断のための検査は除きます) ※①から③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況について、「市の検診を受けた」、「勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診」、「その他の検診(人間ドック等)」の合計値《受診率》は、『②肺がん検診(胸部エックス線撮影)』が40.5%で最も高く、次いで『③大腸がん検診(便潜血検査)』が34.6%、『①胃がん検診(バリウム検査または胃カメラ)』が31.9%となっている。



■胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況(40歳以上の方)

40歳以上の《受診率》をみると、『②肺がん検診(胸部エックス線撮影)』が48.2%で最も高くなっている。



■性別・年代別 ①胃がん検診（バリウム検査または胃カメラ）の受診状況

性別・年代別でみると、《受診率》は男性 40 歳代、男性 50 歳代で 5 割台と高くなっている。一方で、「受けていない」は男性 20 歳代、女性 20 歳代で 9 割台と高くなっている。

単位: %	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=1,496	64.6	4.7	17.8	9.4	3.5	31.9
【性別・年代別】						
男性 n=593	57.0	4.6	24.3	10.1	4.0	39.0
男性 18・19歳 n=4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 20歳代 n=67	95.5	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5
男性 30歳代 n=85	70.6	0.0	22.4	4.7	2.4	27.1
男性 40歳代 n=121	44.6	2.5	46.3	6.6	0.0	55.4
男性 50歳代 n=95	44.2	0.0	37.9	14.7	3.2	52.6
男性 60歳代 n=101	46.5	8.9	20.8	17.8	5.9	47.5
男性 70歳以上 n=118	56.8	12.7	6.8	13.6	10.2	33.1
女性 n=874	70.3	4.9	13.4	8.7	2.7	27.0
女性 18・19歳 n=13	92.3	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7
女性 20歳代 n=109	97.2	0.0	0.9	0.0	1.8	0.9
女性 30歳代 n=160	78.1	0.0	14.4	6.3	1.3	20.7
女性 40歳代 n=171	62.0	1.8	27.5	5.3	3.5	34.6
女性 50歳代 n=110	66.4	3.6	13.6	14.5	1.8	31.7
女性 60歳代 n=137	63.5	8.8	12.4	13.1	2.2	34.3
女性 70歳以上 n=172	59.9	14.0	8.1	12.8	5.2	34.9

■性別・年代別 ②肺がん検診（胸部エックス線撮影）の受診状況

性別・年代別でみると、《受診率》は男性の40歳代から60歳代で6割と高くなっている。一方で、「受けていない」は男性20歳代で約8割、女性20歳代で8割と高くなっている。

単位：%	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=1,496	56.1	8.6	25.5	6.4	3.3	40.5
【性別・年代別】						
男性 n=593	47.2	8.8	33.1	7.9	3.0	49.8
男性 18・19歳 n=4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 20歳代 n=67	79.1	0.0	20.9	0.0	0.0	20.9
男性 30歳代 n=85	63.5	0.0	31.8	3.5	1.2	35.3
男性 40歳代 n=121	39.7	3.3	52.9	4.1	0.0	60.3
男性 50歳代 n=95	38.9	1.1	48.4	10.5	1.1	60.0
男性 60歳代 n=101	35.6	18.8	28.7	12.9	4.0	60.4
男性 70歳以上 n=118	40.7	23.7	12.7	13.6	9.3	50.0
女性 n=874	62.4	8.7	20.5	5.4	3.1	34.6
女性 18・19歳 n=13	76.9	0.0	7.7	15.4	0.0	23.1
女性 20歳代 n=109	79.8	0.0	15.6	0.9	3.7	16.5
女性 30歳代 n=160	76.9	0.0	19.4	3.1	0.6	22.5
女性 40歳代 n=171	59.6	1.8	33.3	3.5	1.8	38.6
女性 50歳代 n=110	55.5	4.5	30.9	8.2	0.9	43.6
女性 60歳代 n=137	54.0	18.2	19.0	6.6	2.2	43.8
女性 70歳以上 n=172	50.6	25.0	7.6	8.7	8.1	41.3

■性別・年代別 ③大腸がん検診（便潜血検査）の受診状況

性別・年代別でみると、《受診率》は男性 50 歳代、男性 60 歳代で 5 割半ばと高くなっている。一方で、「受けていない」は男性 20 歳代、女性 20 歳代で 9 割を超えて高くなっている。

単位: %	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=1,496	62.1	7.6	19.7	7.3	3.3	34.6
【性別・年代別】						
男性 n=593	55.0	6.7	26.5	9.3	2.5	42.5
男性 18・19歳 n=4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 20歳代 n=67	92.5	0.0	7.5	0.0	0.0	7.5
男性 30歳代 n=85	68.2	0.0	27.1	2.4	2.4	29.5
男性 40歳代 n=121	49.6	2.5	42.1	5.8	0.0	50.4
男性 50歳代 n=95	43.2	1.1	43.2	11.6	1.1	55.9
男性 60歳代 n=101	41.6	12.9	24.8	16.8	4.0	54.5
男性 70歳以上 n=118	50.0	18.6	9.3	15.3	6.8	43.2
女性 n=874	67.5	8.5	14.8	5.9	3.3	29.2
女性 18・19歳 n=13	92.3	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7
女性 20歳代 n=109	91.7	0.0	4.6	0.0	3.7	4.6
女性 30歳代 n=160	84.4	0.0	10.6	4.4	0.6	15.0
女性 40歳代 n=171	62.0	1.8	29.2	4.1	2.9	35.1
女性 50歳代 n=110	64.5	3.6	21.8	8.2	1.8	33.6
女性 60歳代 n=137	59.9	16.1	12.4	8.8	2.9	37.3
女性 70歳以上 n=172	48.3	26.2	9.3	9.3	7.0	44.8

(12) 子宮頸がん検診、乳がん検診の受診状況

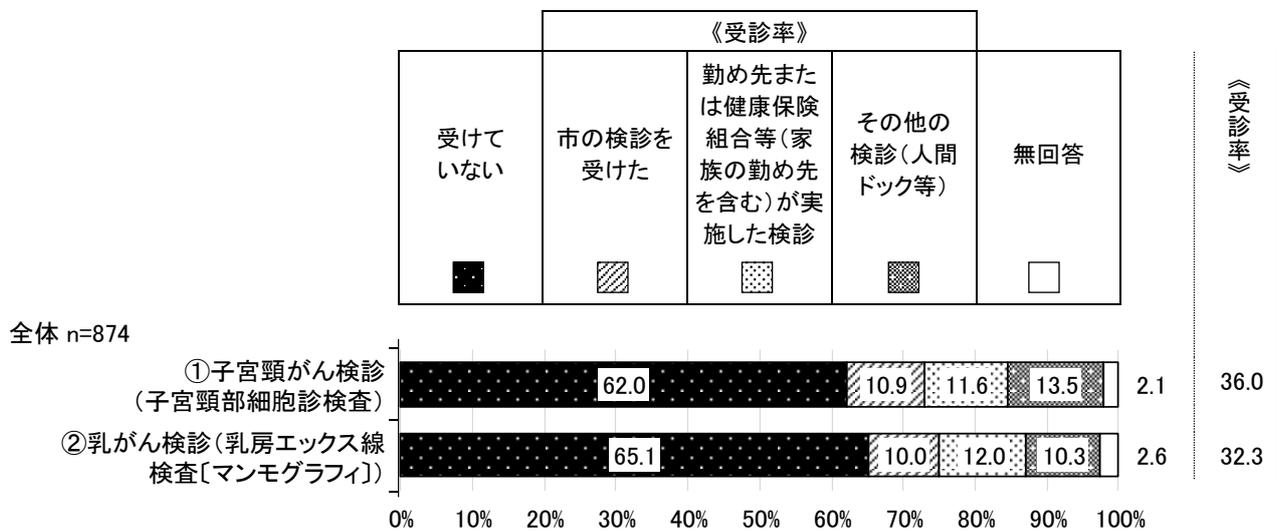
◇①子宮頸がん検診受診率：36.0%、②乳がん検診受診率：32.3%

【女性の方におたずねします。】

問 30 あなたは過去2年間に次の検診を受けたことがありますか。

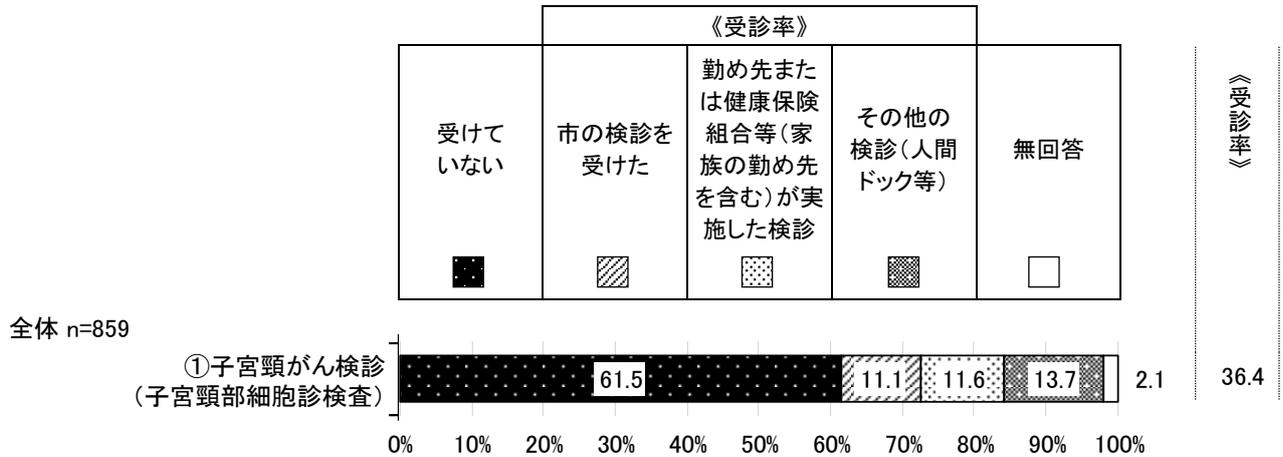
※①、②のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

子宮頸がん検診、乳がん検診の受診状況について、「市の検診を受けた」、「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診」、「その他の検診（人間ドック等）」の合計値《受診率》は、『①子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）』が36.0%、『②乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）』が32.3%となっている。



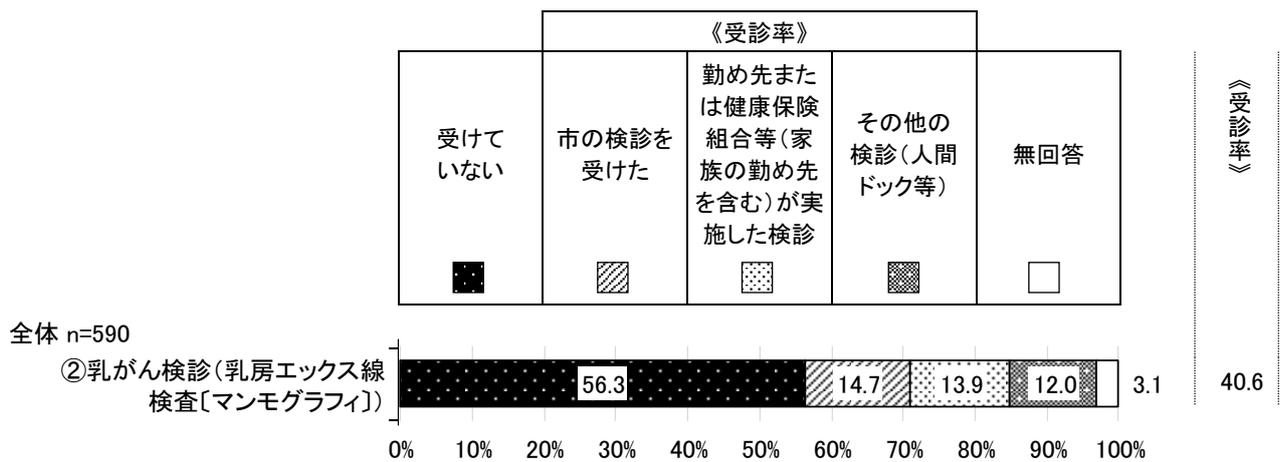
■ ①子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）の受診状況（女性 20 歳以上の方）

女性 20 歳以上の《受診率》は 36.4%となっている。



■ ②乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）の受診状況（女性 40 歳以上の方）

女性 40 歳以上の《受診率》は 40.6%となっている。



■年代別 ①子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）の受診状況

年代別でみると、《受診率》は女性 40 歳代で 5 割と高くなっている。一方で、「受けていない」は女性 20 歳代、女性 70 歳以上で 7 割半ばと高くなっている。

単位: %	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=874	62.0	10.9	11.6	13.5	2.1	36.0
【年代別】						
18・19歳 n=13	92.3	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7
20歳代 n=109	76.1	11.0	3.7	8.3	0.9	23.0
30歳代 n=160	53.8	9.4	11.9	24.4	0.6	45.7
40歳代 n=171	47.4	9.4	24.6	15.8	2.9	49.8
50歳代 n=110	53.6	10.0	18.2	17.3	0.9	45.5
60歳代 n=137	65.7	16.1	7.3	10.2	0.7	33.6
70歳以上 n=172	75.0	11.0	2.9	5.8	5.2	19.7

■年代別 ②乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）の受診状況

年代別でみると、《受診率》は女性 40 歳代で 5 割半ばと高くなっている。一方で、「受けていない」は女性 20 歳代で約 9 割と高くなっている。

単位: %	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=874	65.1	10.0	12.0	10.3	2.6	32.3
【年代別】						
18・19歳 n=13	92.3	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7
20歳代 n=109	90.8	0.0	4.6	2.8	1.8	7.4
30歳代 n=160	78.1	0.0	10.6	10.0	1.3	20.6
40歳代 n=171	42.1	15.2	25.7	14.0	2.9	54.9
50歳代 n=110	52.7	11.8	19.1	14.5	1.8	45.4
60歳代 n=137	59.1	18.2	8.0	13.1	1.5	39.3
70歳以上 n=172	70.3	13.4	3.5	7.6	5.2	24.5

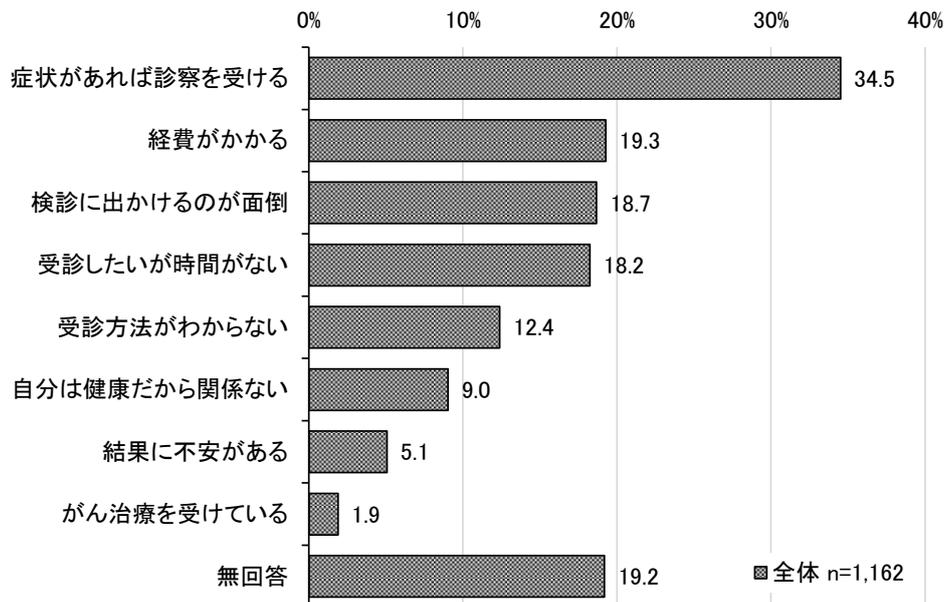
### (13) がん検診を受診していない理由

◇「症状があれば診察を受ける」が34.5%

【問 29、問 30 でひとつでも「受けていない」と回答した方におたずねします。】

#### 問 31 がん検診を受診しない理由は何ですか。(いくつでも)

がん検診を受診していない理由については、「症状があれば診察を受ける」が34.5%で最も高く、次いで「経費がかかる」が19.3%、「検診に出かけるのが面倒」が18.7%、「受診したいが時間がない」が18.2%となっている。



## ■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「症状があれば診察を受ける」は女性70歳以上で6割近くと高くなっている。「経費がかかる」は男性30歳代、女性20歳代、女性30歳代で3割台と高くなっている。「検診に出かけるのが面倒」は、男性、女性ともに50歳代が最も高くなっている。

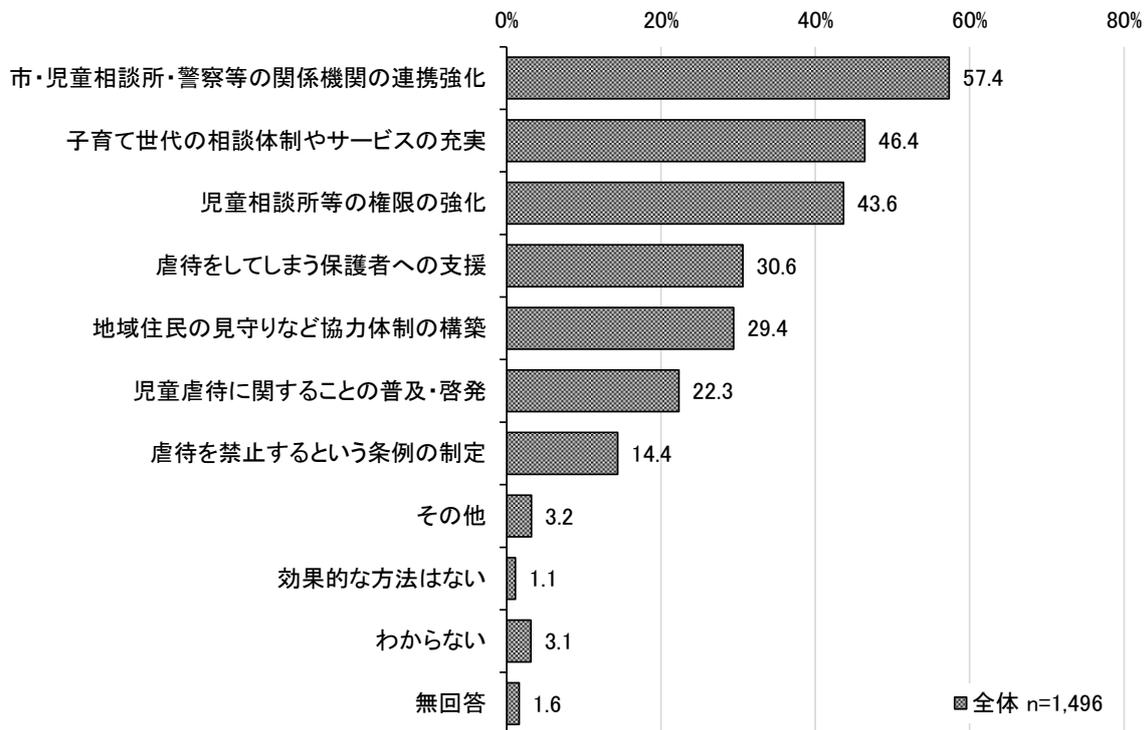
	症状があれば診察を受ける	経費がかかる	検診に出かけるのが面倒	受診したいが時間がない	受診方法がわからない	自分は健康だから関係ない
単位：%						
全体 n=1,162	34.5	19.3	18.7	18.2	12.4	9.0
【性別・年代別】						
男性 n=386	32.6	19.9	17.9	14.5	10.6	11.4
男性_18・19歳 n=4	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	50.0
男性_20歳代 n=65	26.2	18.5	12.3	13.8	15.4	27.7
男性_30歳代 n=67	29.9	31.3	13.4	17.9	16.4	9.0
男性_40歳代 n=69	30.4	21.7	21.7	20.3	10.1	10.1
男性_50歳代 n=51	31.4	19.6	33.3	15.7	7.8	7.8
男性_60歳代 n=55	32.7	16.4	20.0	7.3	10.9	1.8
男性_70歳以上 n=75	45.3	12.0	12.0	10.7	2.7	8.0
女性 n=758	35.4	18.6	18.9	19.9	13.1	7.8
女性_18・19歳 n=12	66.7	33.3	0.0	16.7	25.0	58.3
女性_20歳代 n=107	30.8	30.8	17.8	20.6	29.0	18.7
女性_30歳代 n=152	24.3	30.3	15.1	25.7	22.4	3.9
女性_40歳代 n=134	21.6	20.9	20.1	29.9	11.2	3.7
女性_50歳代 n=90	26.7	10.0	30.0	27.8	6.7	4.4
女性_60歳代 n=114	43.0	8.8	21.9	12.3	3.5	7.9
女性_70歳以上 n=147	58.5	6.8	15.0	6.1	4.1	5.4

**(14) 児童虐待を減らすための効果的な方法**

◇「市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が57.4%

**問 32 児童虐待を減らすためにはどのような方法が効果的だと思いますか。  
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

児童虐待を減らすための効果的な方法については、「市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が57.4%で最も高く、次いで「子育て世代の相談体制やサービスの充実」が46.4%、「児童相談所等の権限の強化」が43.6%、「虐待をしてしまう保護者への支援」が30.6%となっている。

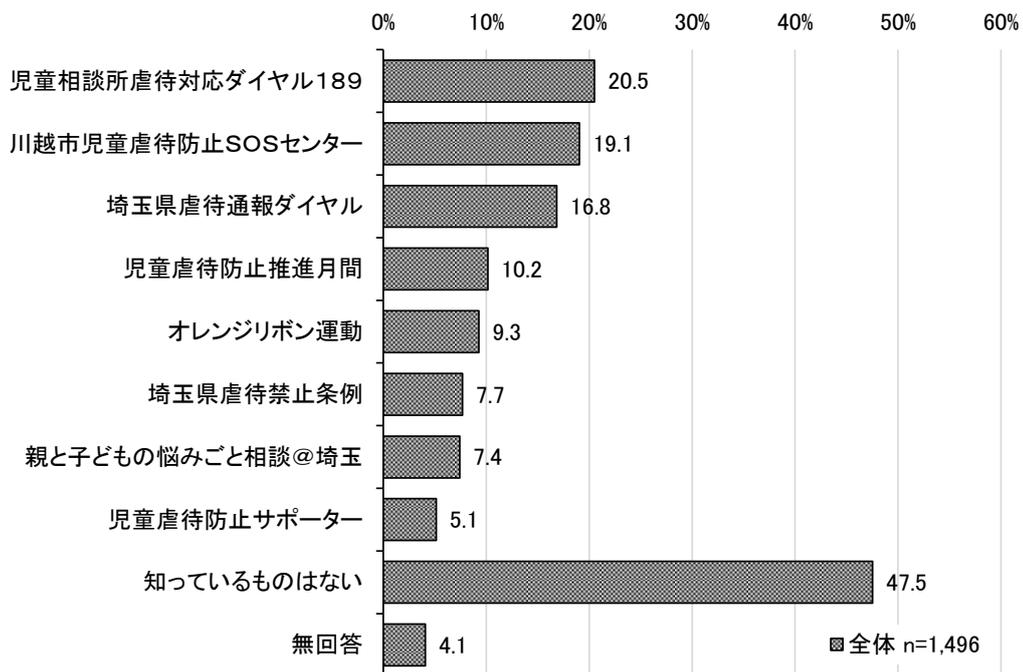


## (15) 児童虐待に関する国・県・市等の施策の認知状況

◇「児童相談所虐待対応ダイヤル189」が20.5%

## 問 33 児童虐待に関する国・県・市等の施策を知っていますか。(いくつでも)

児童虐待に関する国・県・市等の施策の認知状況については、「児童相談所虐待対応ダイヤル189」が20.5%で最も高く、次いで「川越市児童虐待防止SOSセンター」が19.1%、「埼玉県虐待通報ダイヤル」が16.8%、「児童虐待防止推進月間」が10.2%となっている。なお、「知っているものはない」は47.5%となっている。



## 5 環境について

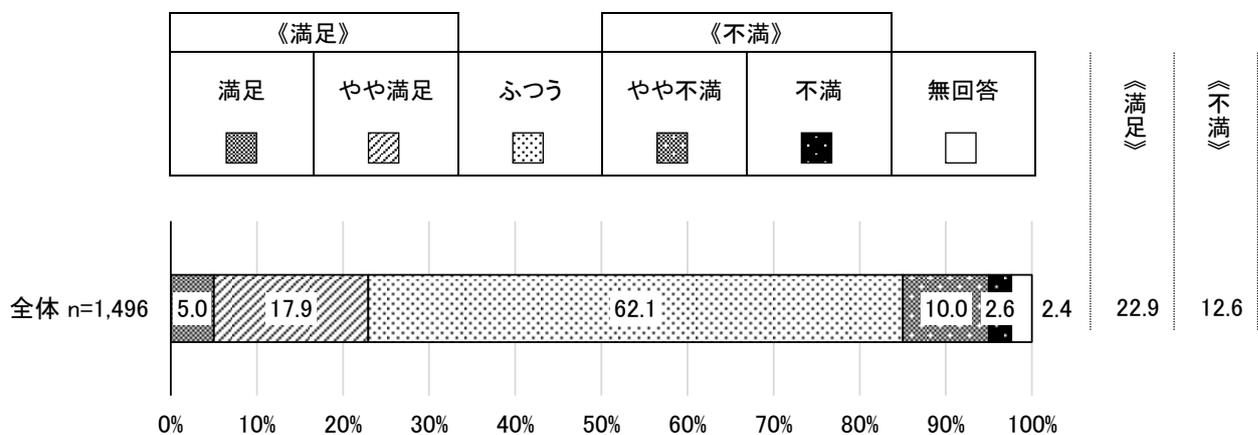
### (1) 川越市の環境への満足度

◇ 《満足》が22.9%

問 34 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。(1つのみ)

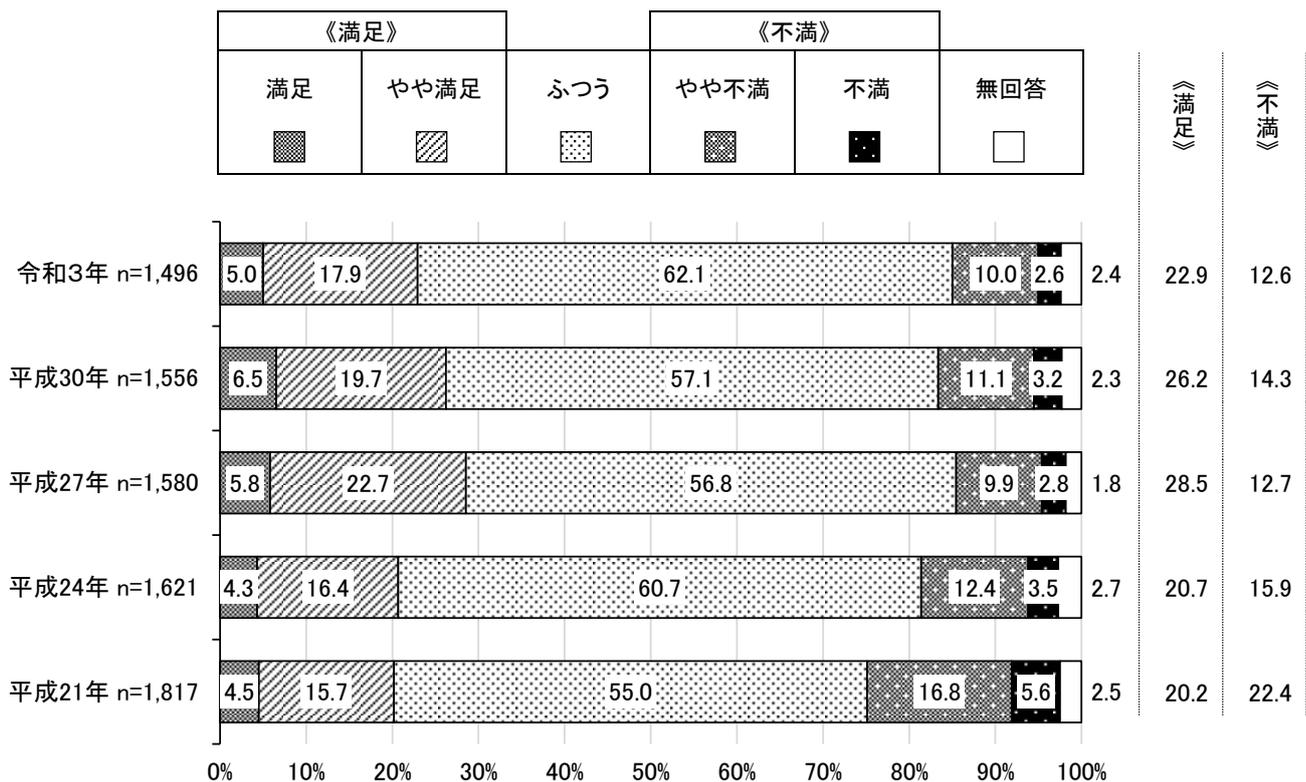
※「環境」とは、地球温暖化、廃棄物問題、生物の多様性、都市のみどりまで幅広く捉えた環境を想定しています。

川越市の環境への満足度については、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》が22.9%である一方、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は12.6%と、《満足》が10.3ポイント上回っている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《満足》は前回調査より3.3ポイント減少し、《ふつう》は5.0ポイント増加している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、《満足》は女性 20 歳代で約 3 割と高くなっている。一方で、《不満》は男性 70 歳以上で 2 割近くと高くなっている。

単位: %	《満足》			《不満》			《満足》 合計値	《不満》 合計値
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答		
全体 n=1,496	5.0	17.9	62.1	10.0	2.6	2.4	22.9	12.6
【性別・年代別】								
男性 n=593	5.4	18.2	63.2	8.3	2.2	2.7	23.6	10.5
男性 18・19歳 n=4	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性 20歳代 n=67	3.0	17.9	67.2	9.0	1.5	1.5	20.9	10.5
男性 30歳代 n=85	9.4	16.5	65.9	7.1	0.0	1.2	25.9	7.1
男性 40歳代 n=121	5.8	19.8	66.9	4.1	2.5	0.8	25.6	6.6
男性 50歳代 n=95	6.3	21.1	65.3	5.3	1.1	1.1	27.4	6.4
男性 60歳代 n=101	3.0	17.8	63.4	10.9	3.0	2.0	20.8	13.9
男性 70歳以上 n=118	4.2	16.1	53.4	13.6	4.2	8.5	20.3	17.8
女性 n=874	4.8	17.8	61.8	10.8	2.9	1.9	22.6	13.7
女性 18・19歳 n=13	0.0	23.1	69.2	7.7	0.0	0.0	23.1	7.7
女性 20歳代 n=109	7.3	22.0	63.3	5.5	0.9	0.9	29.3	6.4
女性 30歳代 n=160	5.0	18.1	60.6	11.9	4.4	0.0	23.1	16.3
女性 40歳代 n=171	4.1	18.7	60.8	10.5	2.9	2.9	22.8	13.4
女性 50歳代 n=110	6.4	15.5	63.6	10.9	1.8	1.8	21.9	12.7
女性 60歳代 n=137	3.6	13.9	64.2	13.1	2.2	2.9	17.5	15.3
女性 70歳以上 n=172	4.1	18.6	58.7	11.6	4.1	2.9	22.7	15.7

■ 居住地区別

居住地区別でみると、《満足》は『川鶴地区』が 36.0% で最も高く、次いで『大東地区』が 28.8%、『高階地区』が 26.5% となっている。一方で、《不満》は『山田地区』が 18.2% で最も高く、次いで『福原地区』が 18.0%、『芳野地区』が 17.1% となっている。

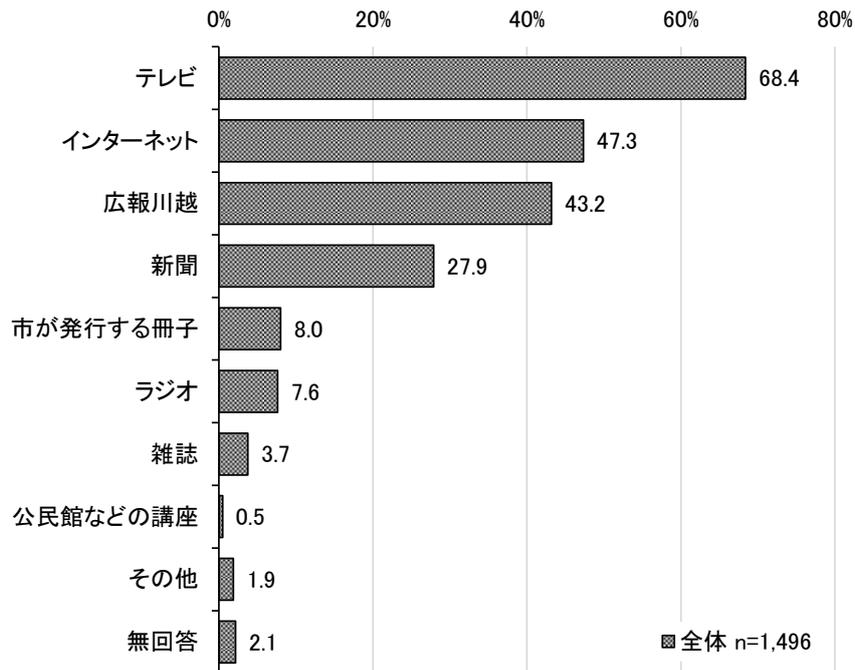
単位: %	《満足》			《不満》			《満足》 合計値	《不満》 合計値
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答		
全体 n=1,496	5.0	17.9	62.1	10.0	2.6	2.4	22.9	12.6
【居住地区別】								
本庁地区 n=316	4.1	18.4	62.3	10.8	2.8	1.6	22.5	13.6
芳野地区 n=41	2.4	17.1	61.0	12.2	4.9	2.4	19.5	17.1
古谷地区 n=58	6.9	10.3	65.5	10.3	1.7	5.2	17.2	12.0
南古谷地区 n=135	4.4	14.1	71.1	6.7	2.2	1.5	18.5	8.9
高階地区 n=189	6.9	19.6	56.1	12.7	2.1	2.6	26.5	14.8
福原地区 n=78	1.3	10.3	70.5	10.3	7.7	0.0	11.6	18.0
大東地区 n=139	7.9	20.9	60.4	7.2	2.2	1.4	28.8	9.4
霞ヶ関地区 n=175	4.0	17.1	69.1	5.7	2.3	1.7	21.1	8.0
川鶴地区 n=75	6.7	29.3	46.7	10.7	1.3	5.3	36.0	12.0
霞ヶ関北地区 n=48	6.3	16.7	60.4	10.4	4.2	2.1	23.0	14.6
名細地区 n=100	6.0	18.0	65.0	9.0	0.0	2.0	24.0	9.0
山田地区 n=77	3.9	20.8	54.5	18.2	0.0	2.6	24.7	18.2

## (2) 環境に関する情報の入手先

◇「テレビ」が68.4%

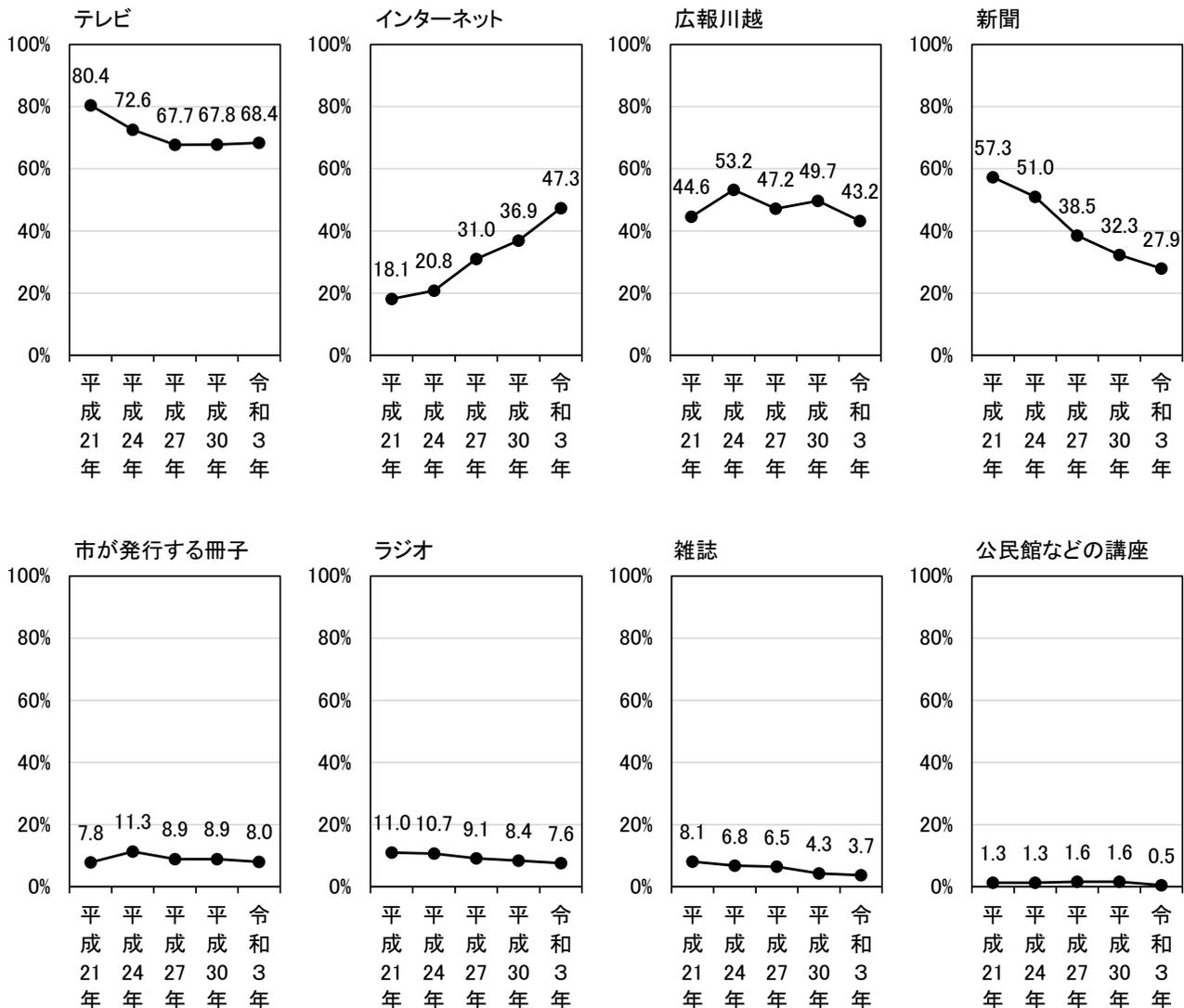
**問 35 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。  
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

環境に関する情報の入手先については、「テレビ」が68.4%で最も高く、次いで「インターネット」が47.3%、「広報川越」が43.2%、「新聞」が27.9%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、「インターネット」は増加傾向となっており、前回調査より 10.4 ポイント、平成 21 年と比べて 29.2 ポイント増加している。一方で、「新聞」は減少傾向となっており、前回調査より 4.4 ポイント、平成 21 年と比べて 29.4 ポイント減少している。また、「テレビ」は平成 27 年までは減少傾向であったものの、以降は横ばいで推移している。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「テレビ」は女性60歳代で8割を超えて高くなっている。「インターネット」は男性30歳代で8割近くと高くなっている。「広報川越」は女性70歳以上で7割近くと高くなっている。「新聞」は男性70歳以上で約6割と高くなっている。

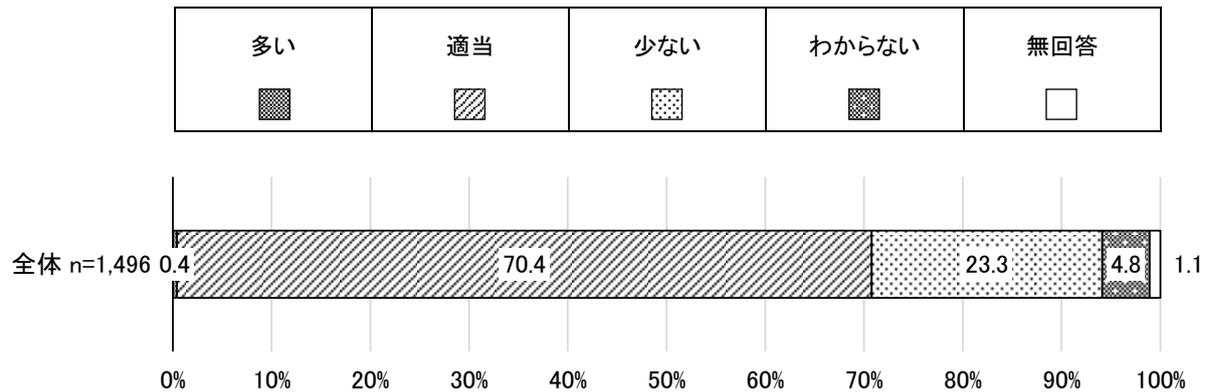
	テレビ	インターネット	広報川越	新聞	市が発行する冊子	ラジオ
単位: %						
全体 n=1,496	68.4	47.3	43.2	27.9	8.0	7.6
【性別・年代別】						
男性 n=593	65.6	53.3	37.1	30.5	8.6	9.6
男性_18・19歳 n=4	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	0.0
男性_20歳代 n=67	65.7	64.2	22.4	1.5	4.5	9.0
男性_30歳代 n=85	55.3	77.6	25.9	11.8	10.6	8.2
男性_40歳代 n=121	62.8	70.2	29.8	14.0	3.3	9.9
男性_50歳代 n=95	63.2	55.8	43.2	36.8	7.4	10.5
男性_60歳代 n=101	69.3	50.5	36.6	45.5	9.9	7.9
男性_70歳以上 n=118	75.4	11.9	57.6	59.3	14.4	11.9
女性 n=874	70.4	43.8	47.8	25.9	7.6	6.4
女性_18・19歳 n=13	53.8	69.2	7.7	0.0	7.7	0.0
女性_20歳代 n=109	66.1	60.6	24.8	9.2	4.6	2.8
女性_30歳代 n=160	58.8	57.5	37.5	8.8	6.3	3.1
女性_40歳代 n=171	72.5	61.4	50.9	12.3	7.0	6.4
女性_50歳代 n=110	72.7	50.9	50.0	21.8	5.5	6.4
女性_60歳代 n=137	82.5	21.9	50.4	43.1	9.5	12.4
女性_70歳以上 n=172	72.7	14.5	68.6	56.4	11.0	7.6

### (3) 資源ごみの収集回数への認識

◇「適当」が70.4%

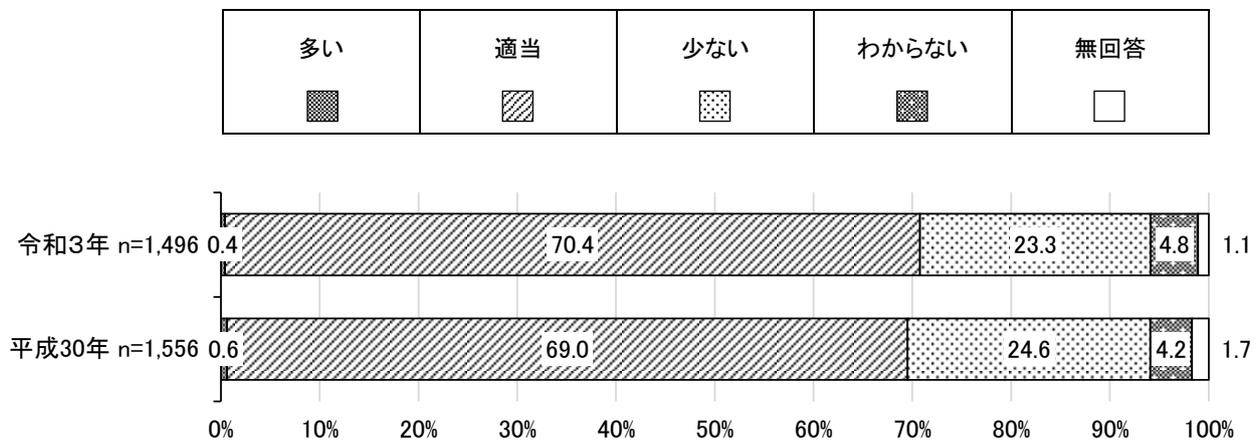
#### 問 36 収集回数は適当だと思いますか。(1つのみ)

資源ごみの収集回数への認識については、「適当」が70.4%で最も高く、次いで「少ない」が23.3%、「多い」が0.4%となっている。なお、「わからない」は4.8%となっている。



#### ■時系列での比較

時系列でみると、前回調査と大きな差はみられない。

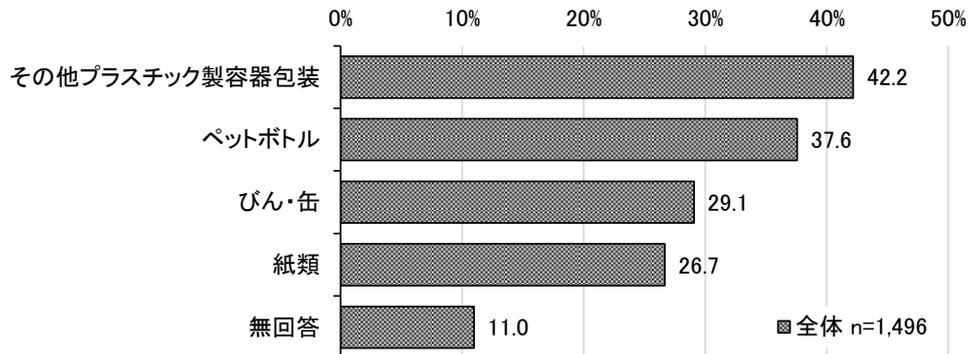


#### (4) 収集回数を増やす品目

◇「その他プラスチック製容器包装」が42.2%

##### 問 37 収集回数を更に増やすなら、品目は何が良いですか。(いくつでも)

収集回数を増やす品目については、「その他プラスチック製容器包装」が42.2%で最も高く、次いで「ペットボトル」が37.6%、「びん・缶」が29.1%、「紙類」が26.7%となっている。

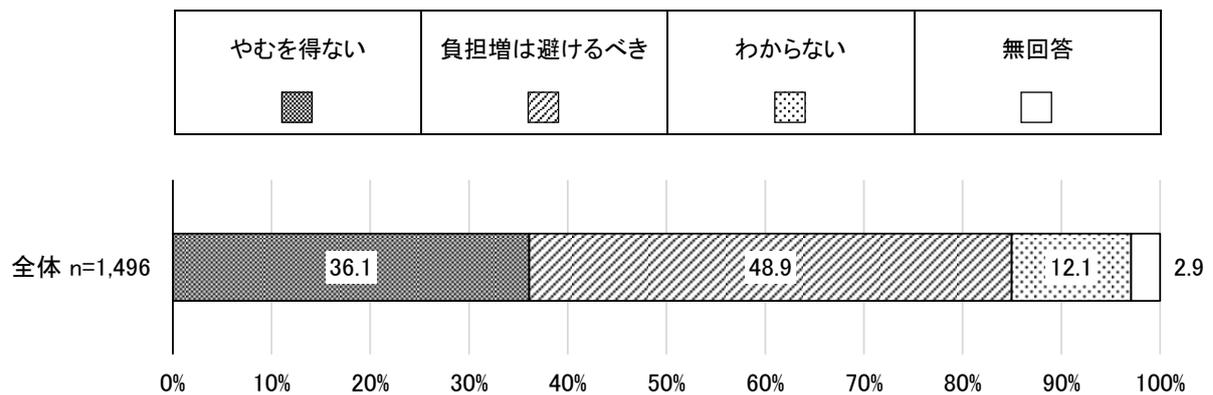


### (5) 収集回数を増やすための経費

◇「負担増は避けるべき」が48.9%

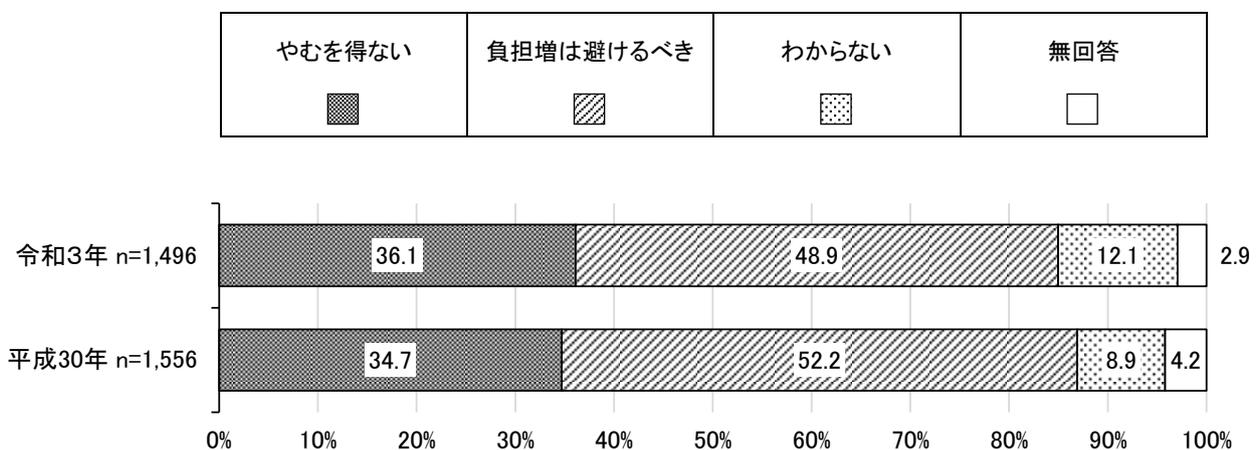
#### 問 38 収集回数を増やすため、経費が増えることについて、どのように思いますか。(1つのみ)

収集回数を増やすための経費については、「やむを得ない」が36.1%、「負担増は避けるべき」が48.9%と、「負担増は避けるべき」が12.8ポイント上回っている。



#### ■時系列での比較

時系列でみると、「負担増は避けるべき」は前回調査より3.3ポイント減少し、「やむを得ない」は1.4ポイント増加している。

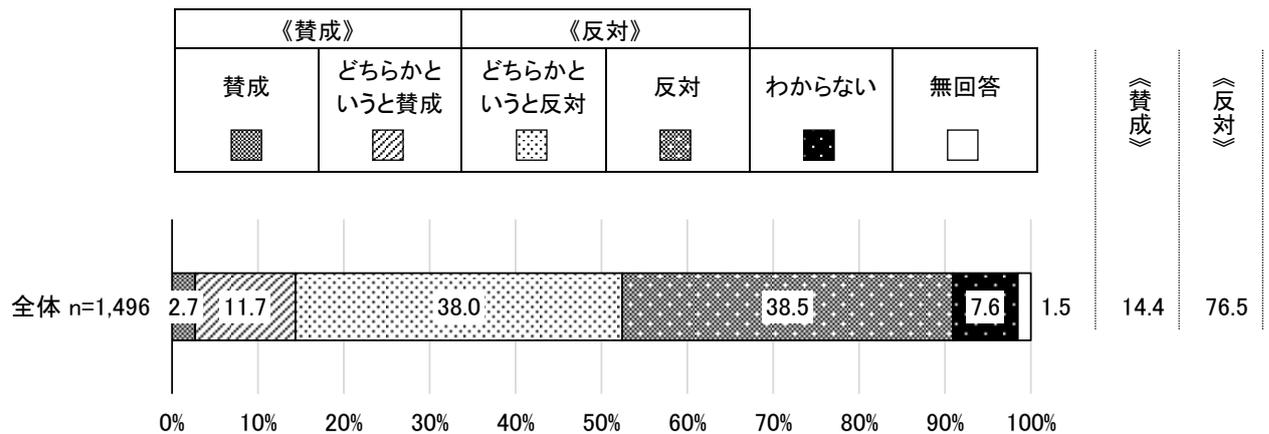


## (6) 家庭ごみ収集の有料化

◇ 《反対》が76.5%

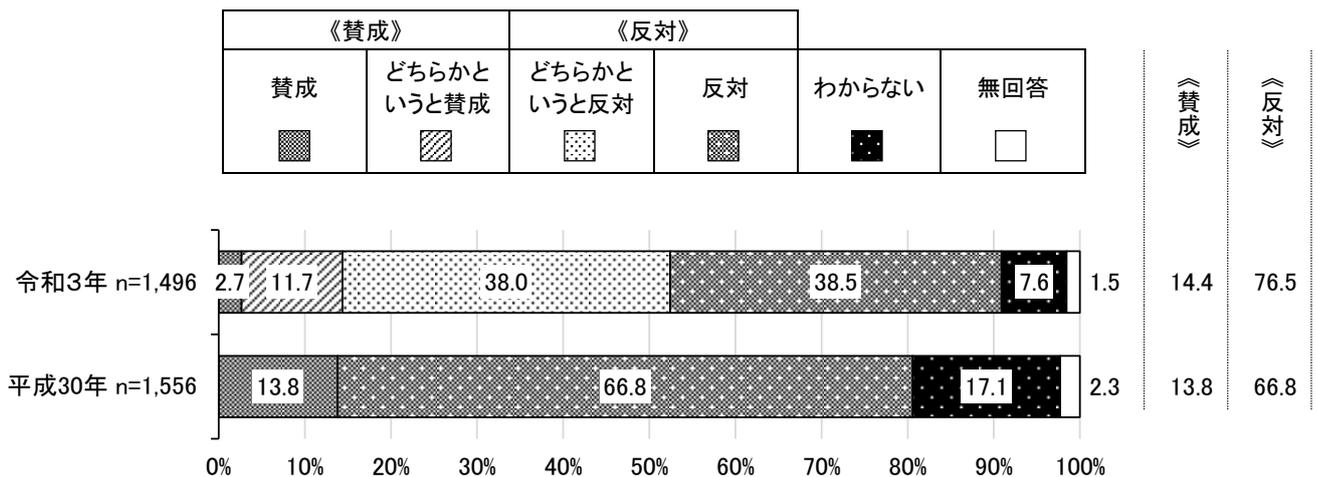
**問 39 ごみ処理費用負担の公平性の観点から、家庭ごみ収集を有料化することについて、どのように思いますか。(1つのみ)**

家庭ごみ収集の有料化については、「賛成」、「どちらかという賛成」の合計値《賛成》が14.4%である一方、「どちらかという反対」、「反対」の合計値《反対》は76.5%と、《反対》が62.1ポイント上回っている。



### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《賛成》は前回調査と大きな差はみられないものの、《わからない》は9.5ポイント減少し、《反対》が9.7ポイント増加している。



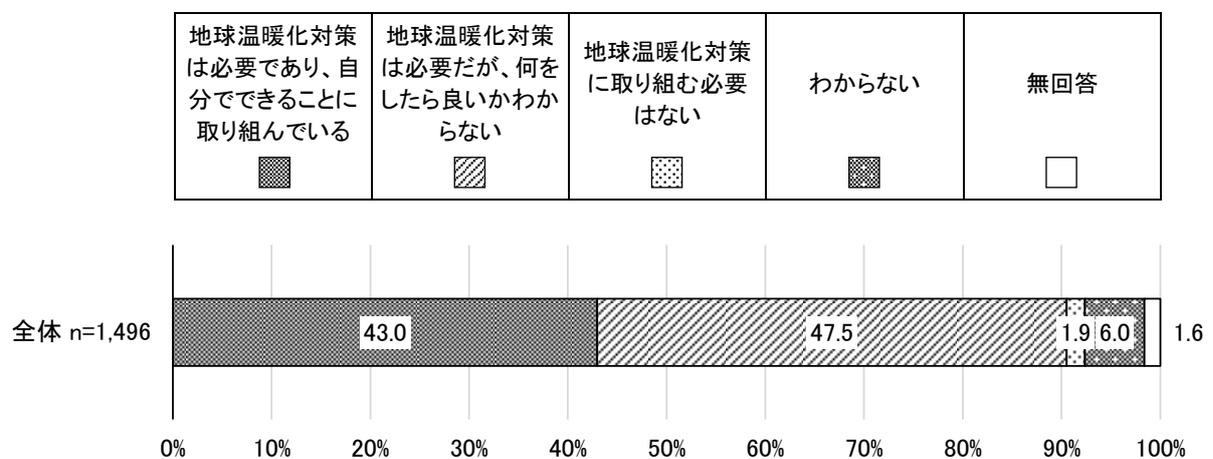
## (7) 地球温暖化対策への考え方

◇「地球温暖化対策は必要だが、何をしたら良いかわからない」が47.5%

**問 40 川越市は、「小江戸かわごえ脱炭素宣言」を表明し、2050年脱炭素社会の実現に向けて地球温暖化対策を推進します。**

**あなたは、地球温暖化対策について、どのように思いますか。(1つのみ)**

地球温暖化対策への考え方については、「地球温暖化対策は必要だが、何をしたら良いかわからない」が47.5%で最も高く、次いで「地球温暖化対策は必要であり、自分でできることに取り組んでいる」が43.0%、「地球温暖化対策に取り組む必要はない」が1.9%となっている。なお、「わからない」は6.0%となっている。



### (8) まちの緑化への活動内容

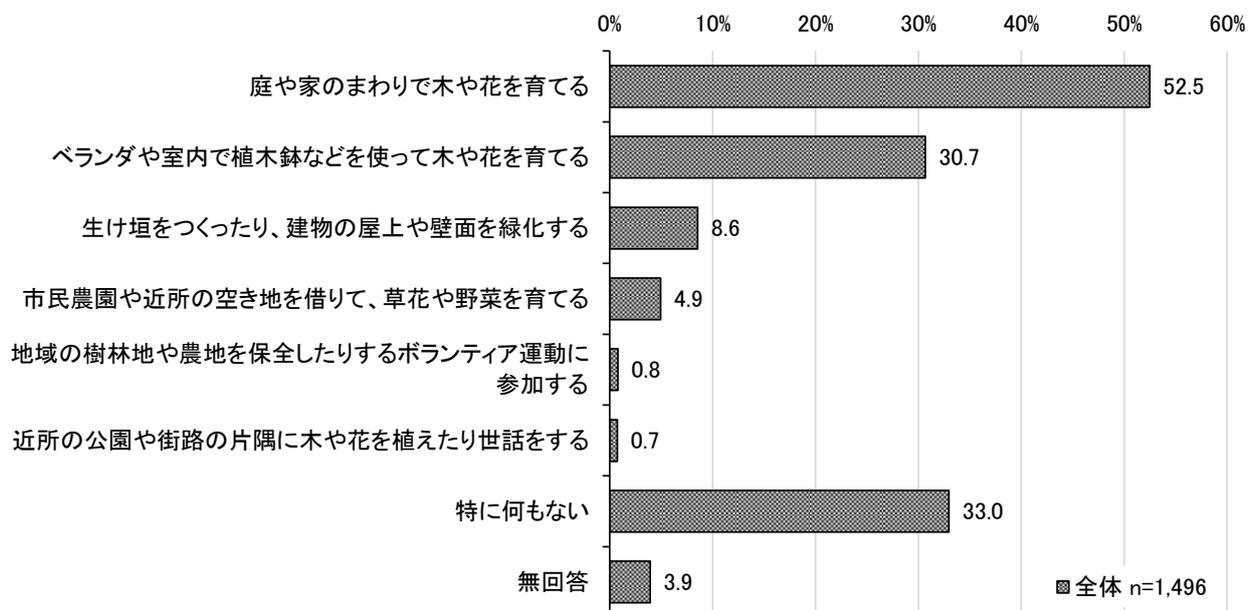
◇現在している活動：「庭や家のまわりで木や花を育てる」が52.5%  
 ◇今後したい活動：「庭や家のまわりで木や花を育てる」が17.4%

**問 41 あなたは、緑を増やすために、①現在どのようなことをしていますか。また、②今後どのようなことをしたいですか。**

※①、②のそれぞれに回答してください。(それぞれいくつでも)

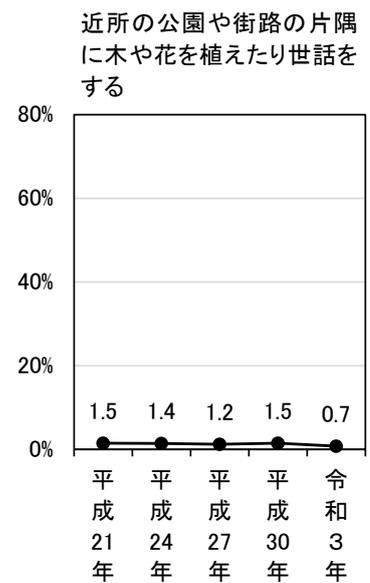
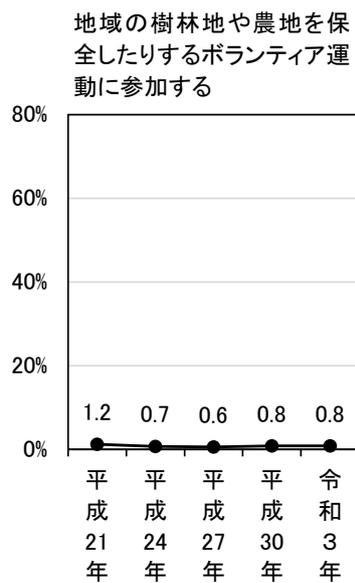
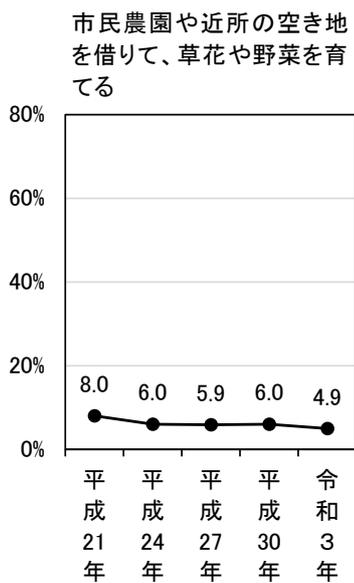
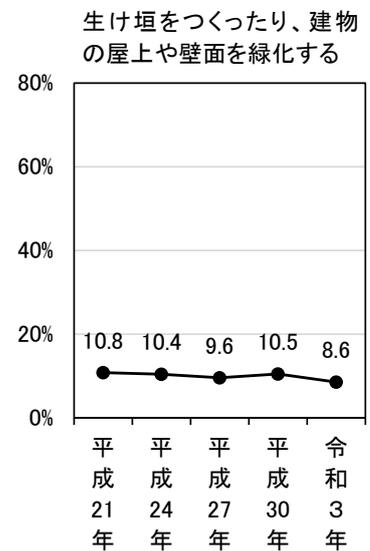
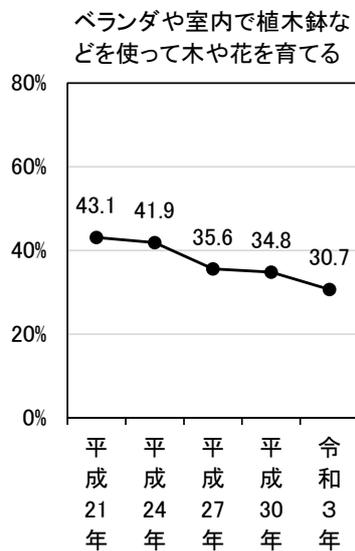
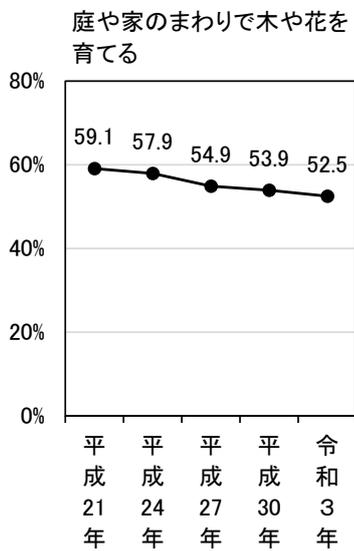
#### ■現在している活動

まちの緑化への活動内容（現在している活動）については、「庭や家のまわりで木や花を育てる」が52.5%で最も高く、次いで「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」が30.7%、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」が8.6%、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」が4.9%となっている。なお、「特に何も無い」は33.0%となっている。



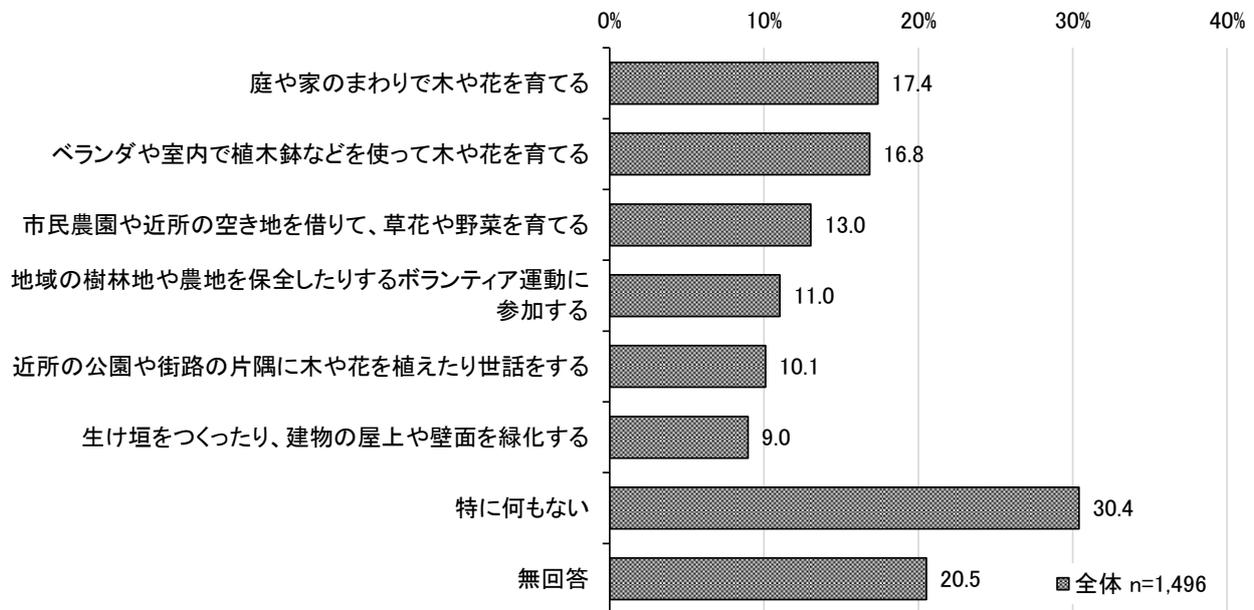
■時系列での比較

時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」は減少傾向となっている。



■ 今後したい活動

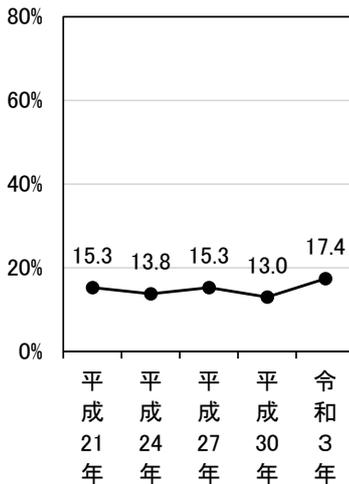
まちの緑化への活動内容（今後したい活動）については、「庭や家のまわりで木や花を育てる」が17.4%で最も高く、次いで「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」が16.8%、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」が13.0%、「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」が11.0%となっている。なお、「特に何も無い」は30.4%となっている。



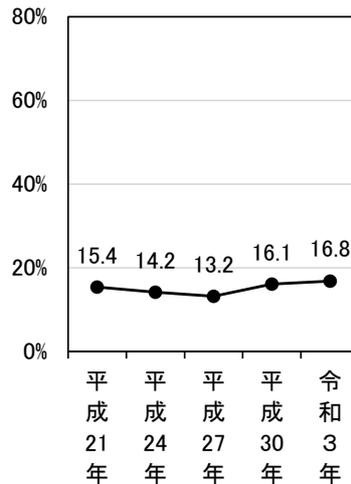
■時系列での比較

時系列でみると、「庭や家のまわりで木や花を育てる」、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」は概ね横ばいで推移している一方、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」、「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」、「近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする」、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」は減少傾向となっている。

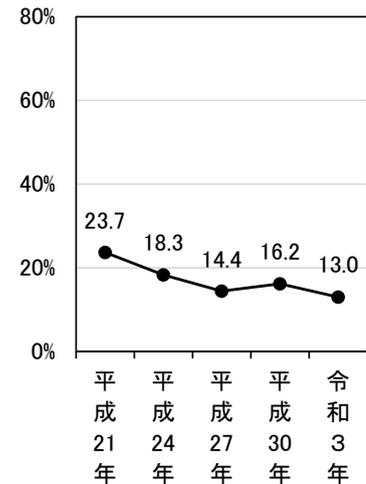
庭や家のまわりで木や花を育てる



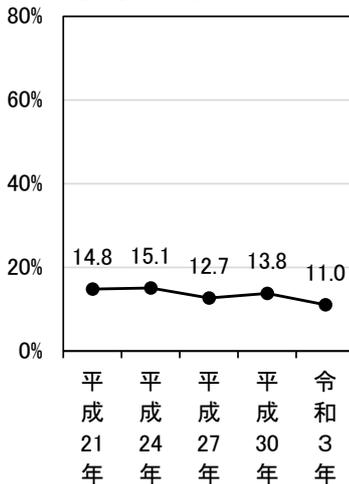
ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる



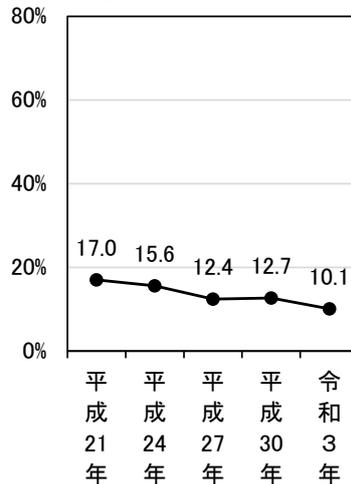
市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる



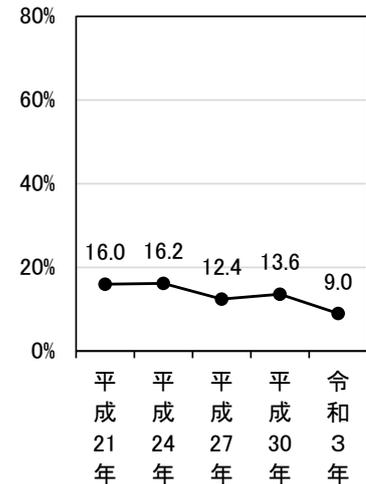
地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する



近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする



生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する

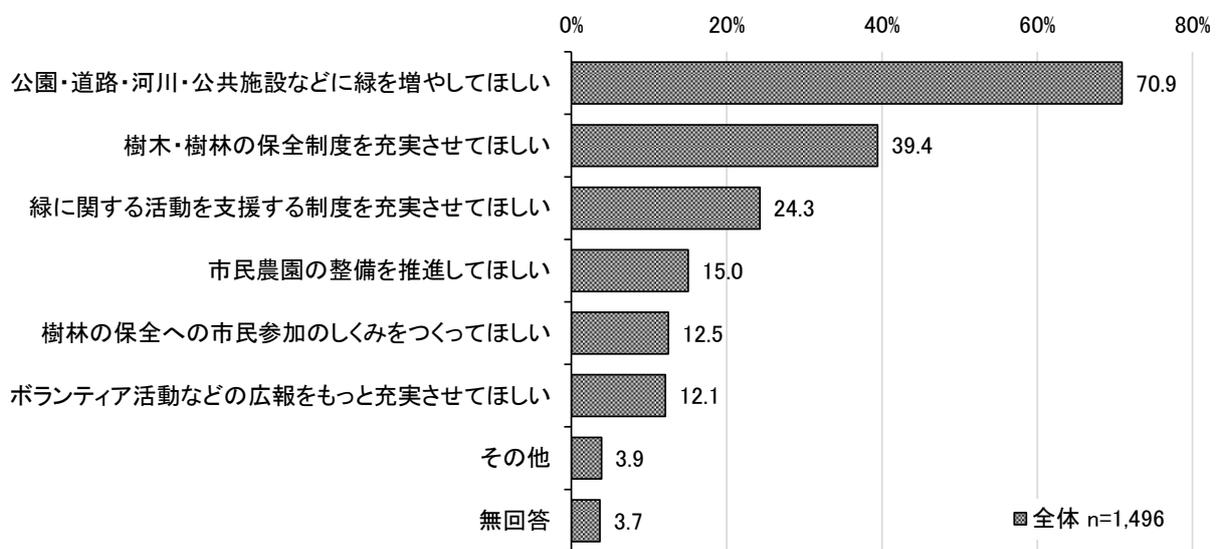


### (9) まちの緑化への施策

◇「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が70.9%

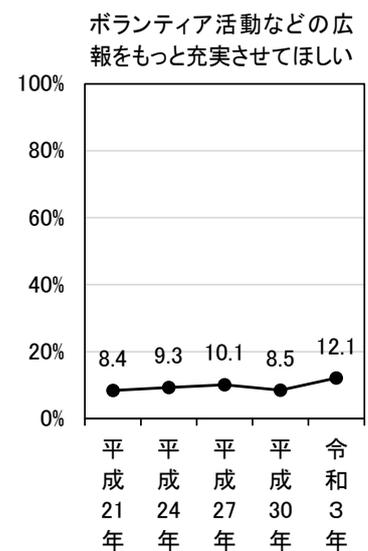
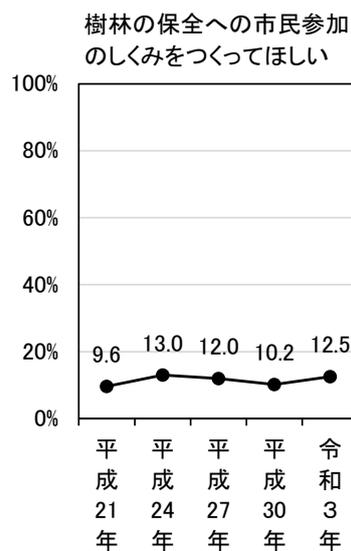
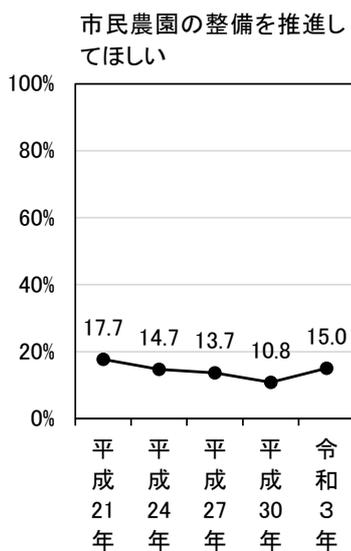
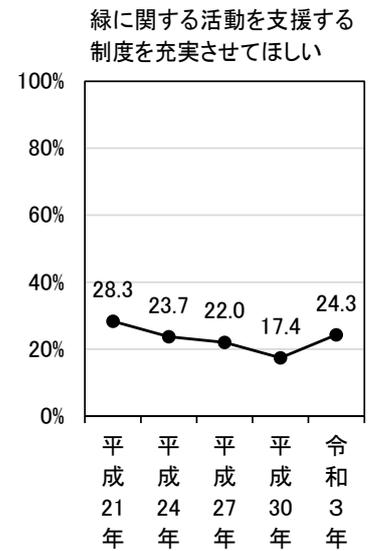
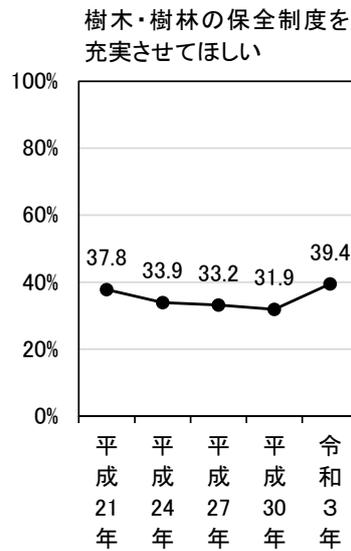
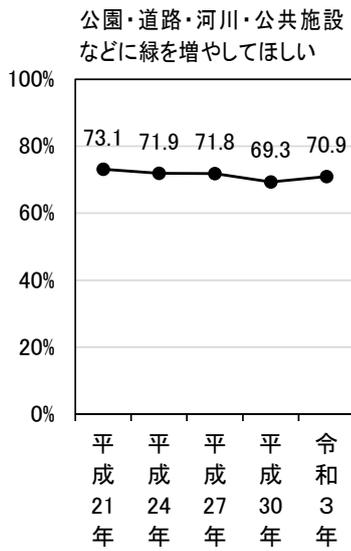
**問 42 あなたは、街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。  
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

まちの緑化への施策については、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が70.9%で最も高く、次いで「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」が39.4%、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」が24.3%、「市民農園の整備を推進してほしい」が15.0%となっている。



■時系列での比較

時系列で見ると、すべての項目で前回調査より増加している。



■年代別

年代別でみると、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」は30歳代で7割半ばと高くなっている。「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は70歳以上で3割半ばと高くなっている。

	公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい	樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい	緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい	市民農園の整備を推進してほしい	樹林の保全への市民参加のしくみをつくってほしい	ボランティア活動などの広報をもっと充実させてほしい
単位: %						
全体 n=1,496	70.9	39.4	24.3	15.0	12.5	12.1
【年代別】						
18・19歳 n=17	76.5	29.4	41.2	5.9	11.8	11.8
20歳代 n=176	72.7	34.7	17.0	15.3	6.3	15.3
30歳代 n=246	74.0	36.6	18.7	17.1	15.9	7.7
40歳代 n=297	69.7	38.4	19.5	16.2	11.8	11.4
50歳代 n=206	72.8	36.9	20.9	17.0	11.7	11.2
60歳代 n=240	71.3	43.8	32.1	9.2	15.0	10.0
70歳以上 n=291	68.4	45.0	34.4	16.5	13.7	17.2

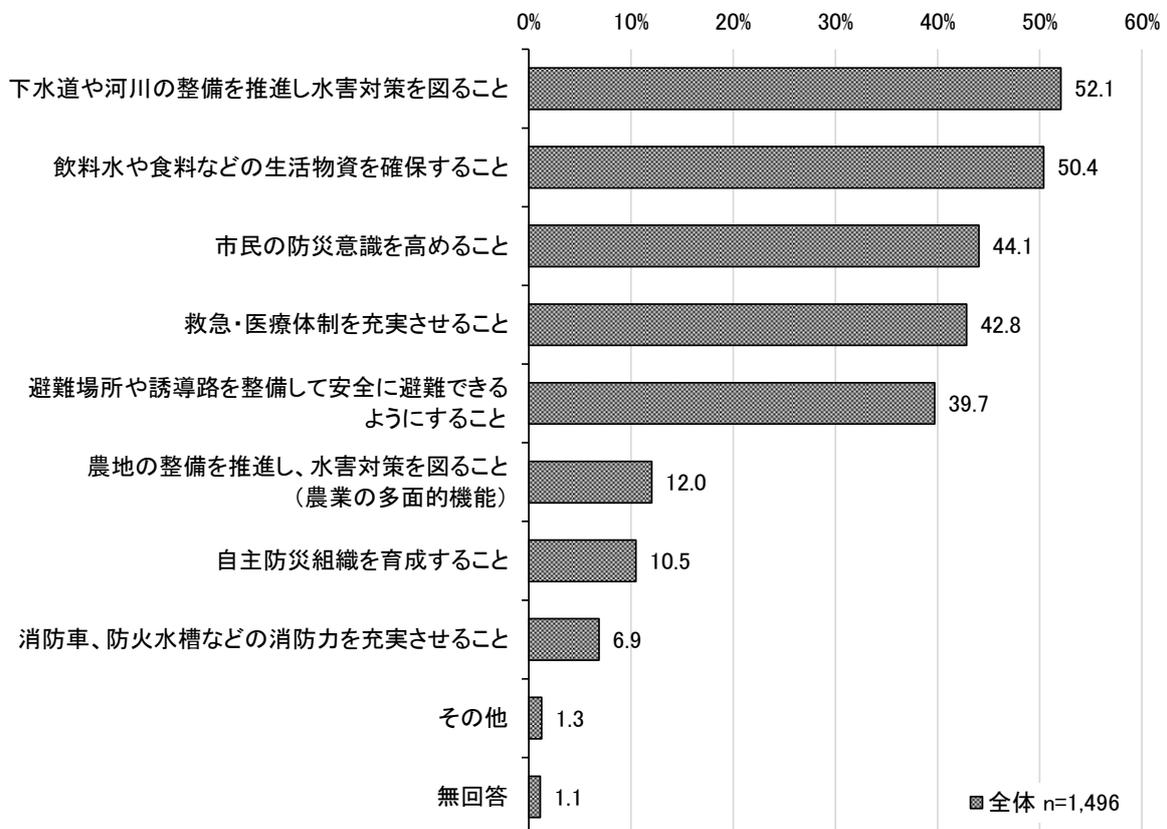
## 6 地域社会と市民生活について

### (1) 防災対策として必要な施策

◇「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」が52.1%

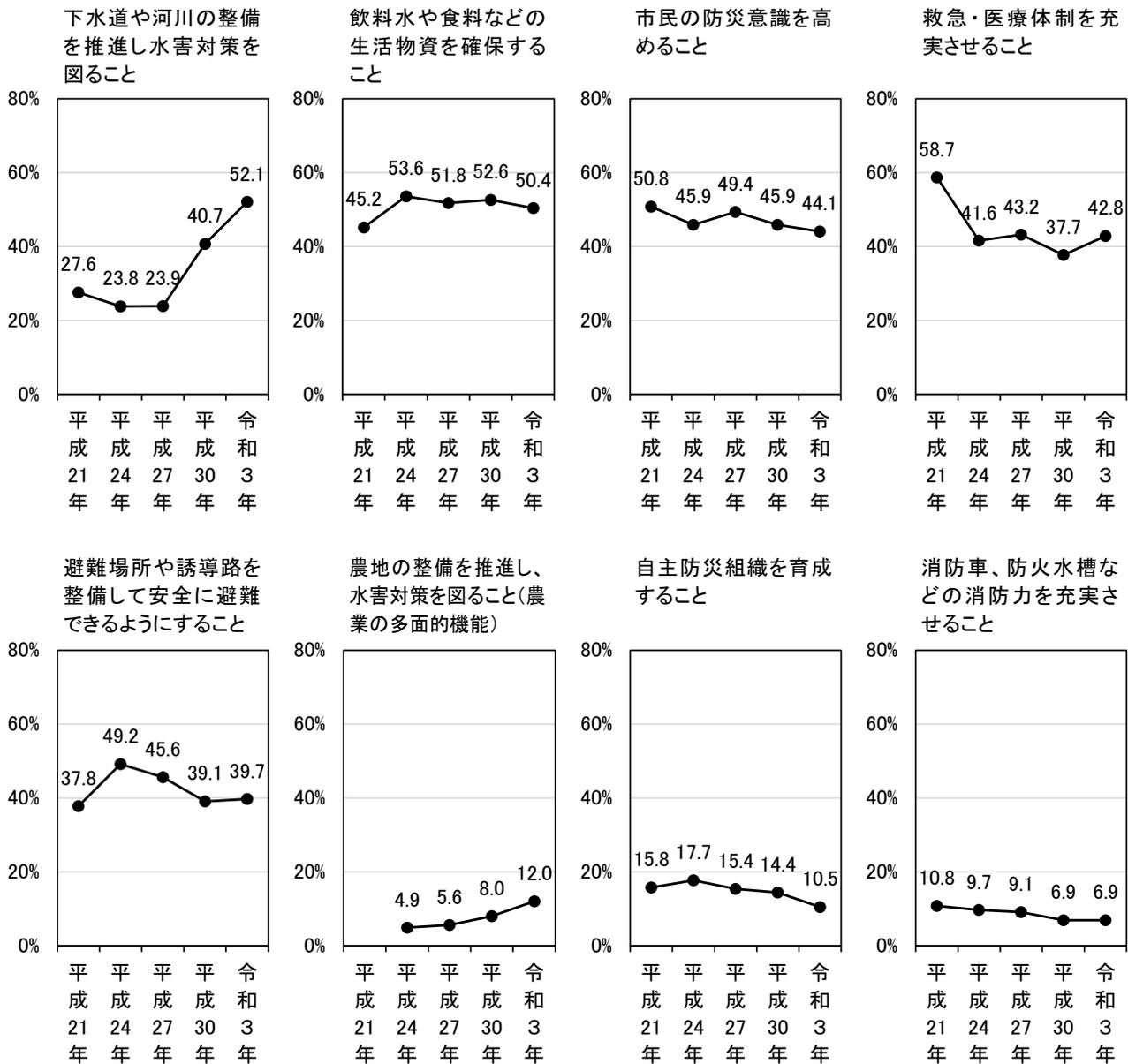
**問 43 あなたは、防災対策として、どのような施策が必要だと思いますか。  
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

防災対策として必要な施策については、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」が52.1%で最も高く、次いで「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」が50.4%、「市民の防災意識を高めること」が44.1%、「救急・医療体制を充実させること」が42.8%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」は増加傾向となっており、前回調査より 11.4 ポイント増加している。また、「農地の整備を推進し、水害対策を図ること（農業の多面的機能）」も増加傾向となっており、前回調査より 4.0 ポイント、平成 24 年と比べて 7.1 ポイント増加している。



※「農地の整備を推進し、水害対策を図ること（農業の多面的機能）」は、平成 24 年から追加された選択肢。

## ■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること」は女性50歳代で6割半ばと高くなっている。「飲料水や食料などの生活物資を確保すること」は女性20歳代で6割半ばと高くなっている。「市民の防災意識を高めること」は男性70歳以上で5割半ばと高くなっている。「救急・医療体制を充実させること」は女性60歳代で5割を超えて高くなっている。

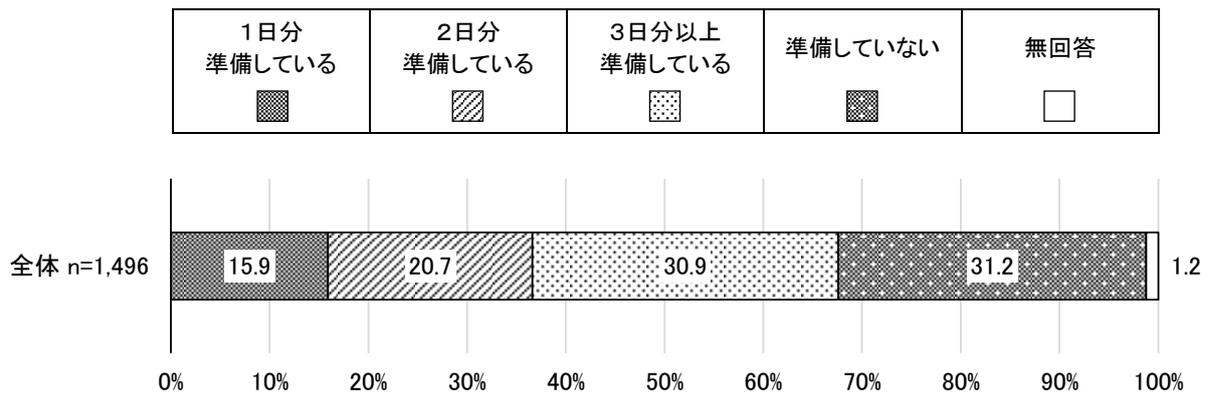
単位：%	下水道や河川の整備を推進し水害対策を図ること	飲料水や食料などの生活物資を確保すること	市民の防災意識を高めること	救急・医療体制を充実させること	避難場所や誘導路を整備して安全に避難できるようにすること	農地の整備を推進し、水害対策を図ること(農業の多面的機能)
全体 n=1,496	52.1	50.4	44.1	42.8	39.7	12.0
【性別・年代別】						
男性 n=593	52.6	46.0	45.9	43.0	37.8	14.8
男性 18・19歳 n=4	25.0	75.0	25.0	25.0	100.0	25.0
男性 20歳代 n=67	46.3	55.2	47.8	34.3	44.8	14.9
男性 30歳代 n=85	54.1	61.2	41.2	43.5	35.3	12.9
男性 40歳代 n=121	57.0	49.6	43.8	38.0	33.9	14.0
男性 50歳代 n=95	45.3	40.0	46.3	47.4	38.9	10.5
男性 60歳代 n=101	54.5	42.6	39.6	49.5	38.6	16.8
男性 70歳以上 n=118	56.8	33.9	55.9	43.2	36.4	18.6
女性 n=874	51.7	54.5	42.9	43.2	41.3	10.0
女性 18・19歳 n=13	30.8	84.6	38.5	46.2	30.8	7.7
女性 20歳代 n=109	43.1	66.1	42.2	41.3	41.3	6.4
女性 30歳代 n=160	51.3	59.4	41.9	42.5	40.6	13.1
女性 40歳代 n=171	52.0	57.3	43.3	46.2	38.0	11.7
女性 50歳代 n=110	64.5	40.9	40.9	41.8	43.6	10.9
女性 60歳代 n=137	58.4	50.4	42.3	53.3	40.9	5.1
女性 70歳以上 n=172	45.9	50.0	45.3	34.9	45.3	11.0

## (2) 水・食料の備蓄量

◇「3日分以上準備している」が30.9%

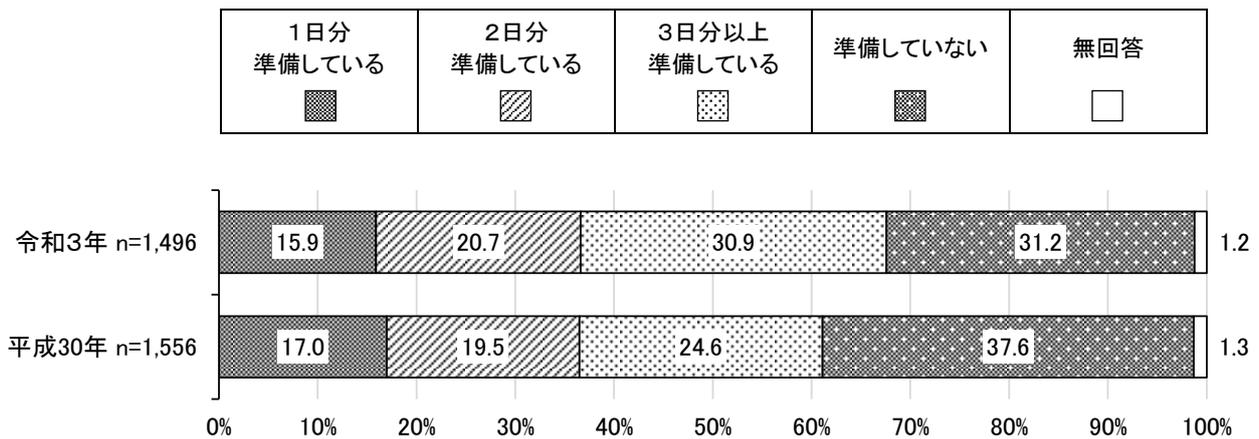
**問 44 東日本大震災以降、個人で3日分以上の水や食料の備蓄が必要といわれていますが、あなたは何日分準備していますか。(1つのみ)**

水・食料の備蓄量については、「3日分以上準備している」が30.9%で最も高く、次いで「2日分準備している」が20.7%、「1日分準備している」が15.9%となっている。なお、「準備していない」は31.2%となっている。



### ■時系列での比較

時系列でみると、「3日分以上準備している」は前回調査より6.3ポイント増加している。なお、「準備していない」は6.4ポイント減少している。



## ■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「3日分以上準備している」は男性40歳代、男性50歳代で4割と高くなっている。一方で、「準備していない」は女性20歳代で5割を超えて高くなっている。

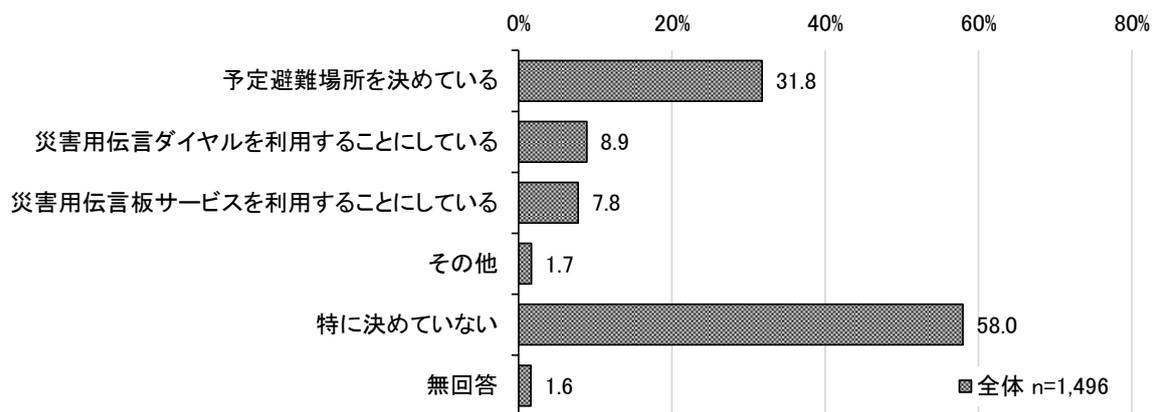
	1日分準備している	2日分準備している	3日分以上準備している	準備していない	無回答
単位：%					
全体 n=1,496	15.9	20.7	30.9	31.2	1.2
【性別・年代別】					
男性 n=593	14.7	17.0	34.6	32.7	1.0
男性_18・19歳 n=4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
男性_20歳代 n=67	13.4	11.9	26.9	47.8	0.0
男性_30歳代 n=85	20.0	15.3	25.9	37.6	1.2
男性_40歳代 n=121	13.2	16.5	39.7	30.6	0.0
男性_50歳代 n=95	13.7	12.6	40.0	33.7	0.0
男性_60歳代 n=101	19.8	20.8	34.7	22.8	2.0
男性_70歳以上 n=118	9.3	21.2	35.6	31.4	2.5
女性 n=874	17.2	23.2	28.6	30.1	0.9
女性_18・19歳 n=13	0.0	23.1	38.5	38.5	0.0
女性_20歳代 n=109	20.2	6.4	22.0	51.4	0.0
女性_30歳代 n=160	23.1	20.0	21.9	35.0	0.0
女性_40歳代 n=171	19.3	29.2	27.5	24.0	0.0
女性_50歳代 n=110	17.3	24.5	29.1	28.2	0.9
女性_60歳代 n=137	17.5	22.6	38.7	21.2	0.0
女性_70歳以上 n=172	8.7	30.2	31.4	25.6	4.1

### (3) 家族等との安否確認手段

◇「予定避難場所を決めている」が31.8%

#### 問 45 あなたは、災害が起きた際、家族等との安否確認手段を決めていますか。(いくつでも)

家族等との安否確認手段については、「予定避難場所を決めている」が31.8%で最も高く、次いで「災害用伝言ダイヤルを利用することになっている」が8.9%、「災害用伝言板サービスを利用することになっている」が7.8%となっている。なお、「特に決めていない」が58.0%となっている。



## ■性別・年代別

性別・年代別でみると、「予定避難場所を決めている」は女性30歳代、女性40歳代、女性70歳以上で4割近くと高くなっている。一方で、「特に決めていない」は男性20歳代で7割を超えて高くなっている。

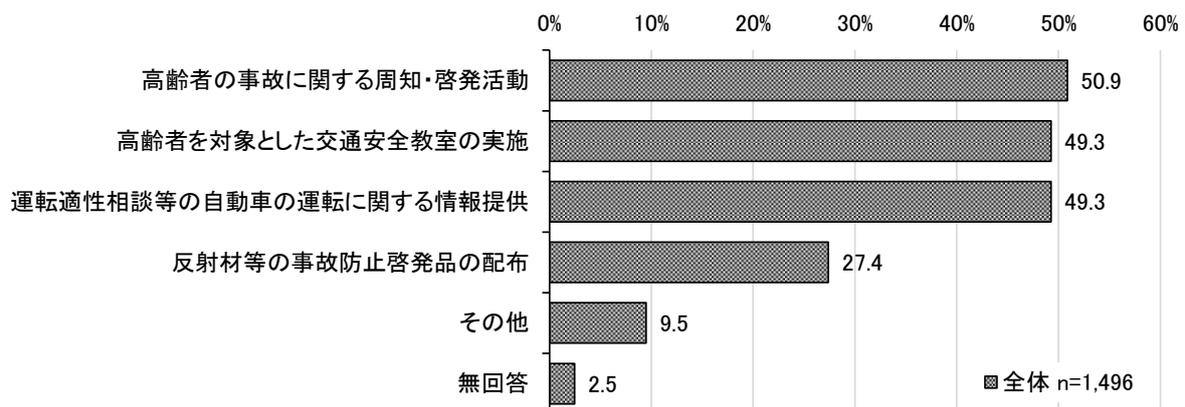
単位: %	予定避難場所を決めている	災害用伝言ダイヤルを利用している	災害用伝言板サービスを利用している	その他	特に決めていない	無回答
全体 n=1,496	31.8	8.9	7.8	1.7	58.0	1.6
【性別・年代別】						
男性 n=593	26.1	9.1	8.1	1.3	63.4	1.0
男性_18・19歳 n=4	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
男性_20歳代 n=67	19.4	1.5	6.0	0.0	73.1	0.0
男性_30歳代 n=85	30.6	4.7	5.9	1.2	62.4	0.0
男性_40歳代 n=121	24.0	6.6	8.3	0.8	66.9	0.8
男性_50歳代 n=95	24.2	11.6	13.7	3.2	60.0	0.0
男性_60歳代 n=101	26.7	13.9	9.9	2.0	60.4	1.0
男性_70歳以上 n=118	28.8	13.6	5.1	0.8	61.0	3.4
女性 n=874	35.7	8.7	7.3	1.7	54.6	1.7
女性_18・19歳 n=13	30.8	0.0	0.0	0.0	61.5	7.7
女性_20歳代 n=109	25.7	5.5	4.6	0.9	66.1	2.8
女性_30歳代 n=160	38.1	8.1	9.4	0.6	51.9	0.6
女性_40歳代 n=171	38.0	8.8	9.4	3.5	52.0	0.6
女性_50歳代 n=110	34.5	12.7	5.5	0.9	55.5	1.8
女性_60歳代 n=137	35.8	8.0	6.6	0.7	56.2	1.5
女性_70歳以上 n=172	38.4	9.9	7.6	2.9	50.0	2.9

#### (4) 高齢者の交通事故防止に必要なこと

◇「高齢者の事故に関する周知・啓発活動」が50.9%

##### 問 46 あなたは、高齢者の交通事故防止に何が重要だと思いますか。(いくつでも)

高齢者の交通事故防止に必要なことについては、「高齢者の事故に関する周知・啓発活動」が50.9%で最も高く、次いで「高齢者を対象とした交通安全教室の実施」、「運転適性相談等の自動車の運転に関する情報提供」がともに49.3%、「反射材等の事故防止啓発品の配布」が27.4%となっている。

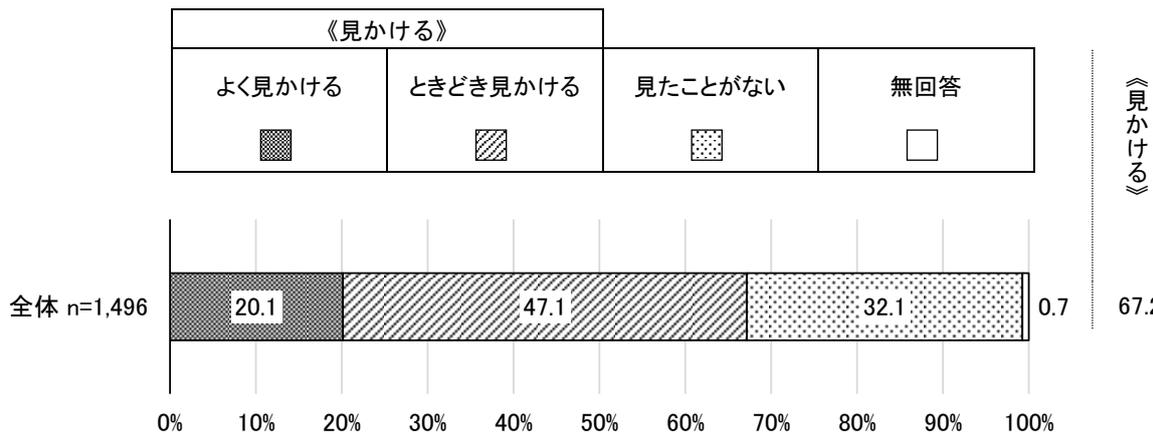


### (5) 歩きながらスマートフォンを操作している人の状況

◇ 《見かける》が67.2%

**問 47 あなたは、市内で歩きながらスマートフォンを操作している人が、危険な状況になったことを、実際に見たことがありますか。(1つのみ)**

歩きながらスマートフォンを操作している人の状況については、「よく見かける」、「ときどき見かける」の合計値《見かける》が67.2%である一方、「見たことがない」が32.1%と、《見かける》が35.1ポイント上回っている。



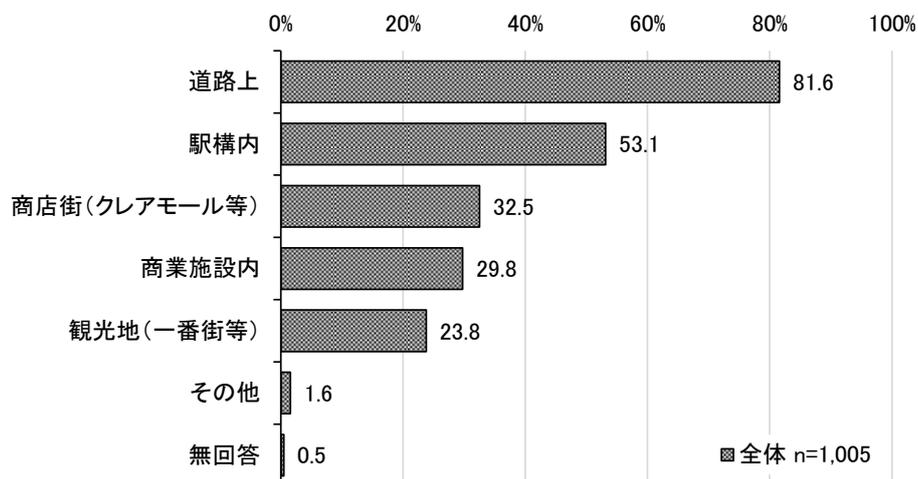
### (6) 歩きながらスマートフォンを操作している人を見かけた場所

◇ 「道路上」が81.6%

**【問 47 「よく見かける」「ときどき見かける」と回答した方におたずねします。】**

**問 47-1 どこで見かけたことがありますか。(いくつでも)**

歩きながらスマートフォンを操作している人を見かけた場所については、「道路上」が81.6%で最も高く、次いで「駅構内」が53.1%、「商店街(クリアモール等)」が32.5%、「商業施設内」が29.8%となっている。

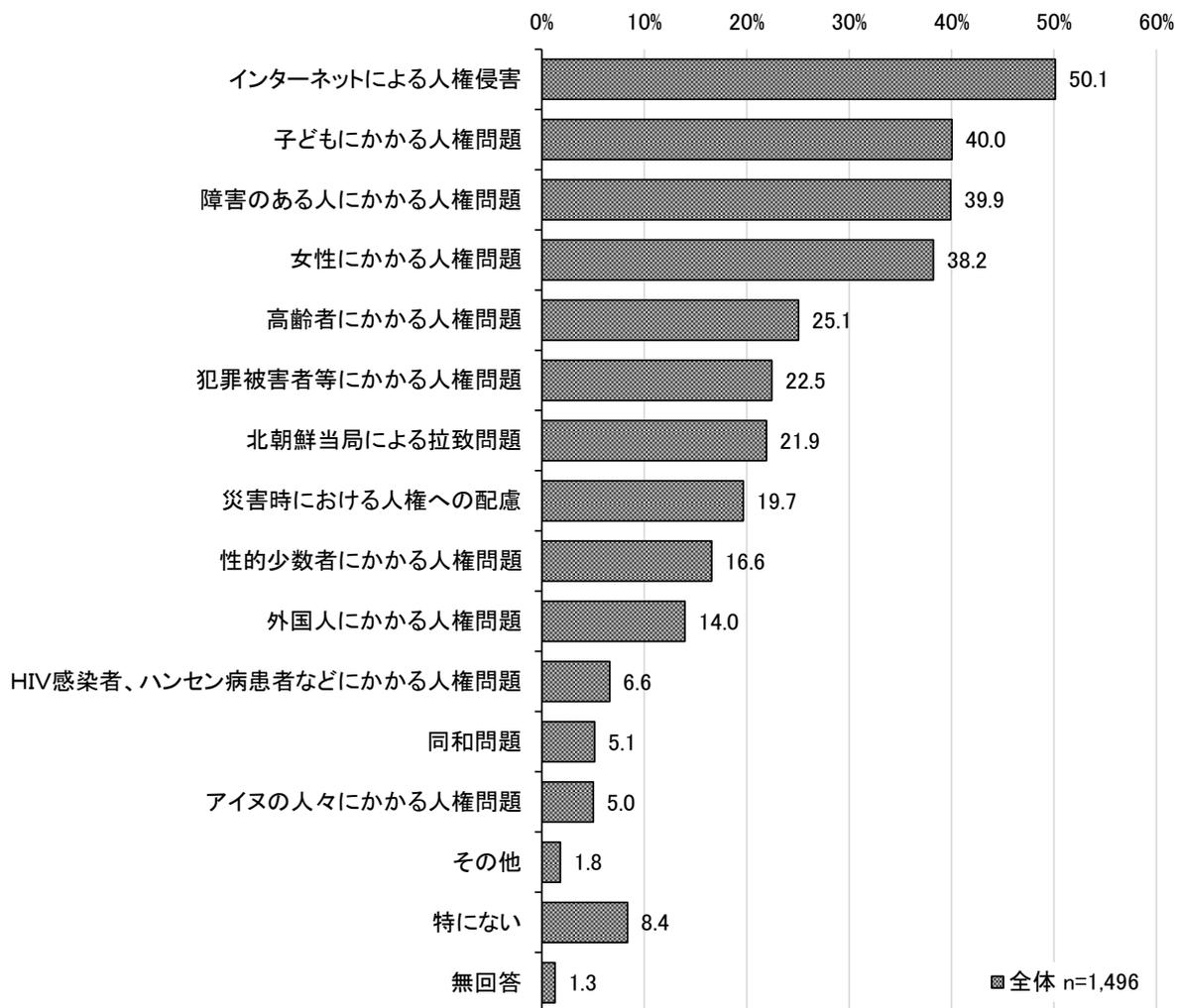


## (7) 関心のある人権問題

◇「インターネットによる人権侵害」が50.1%

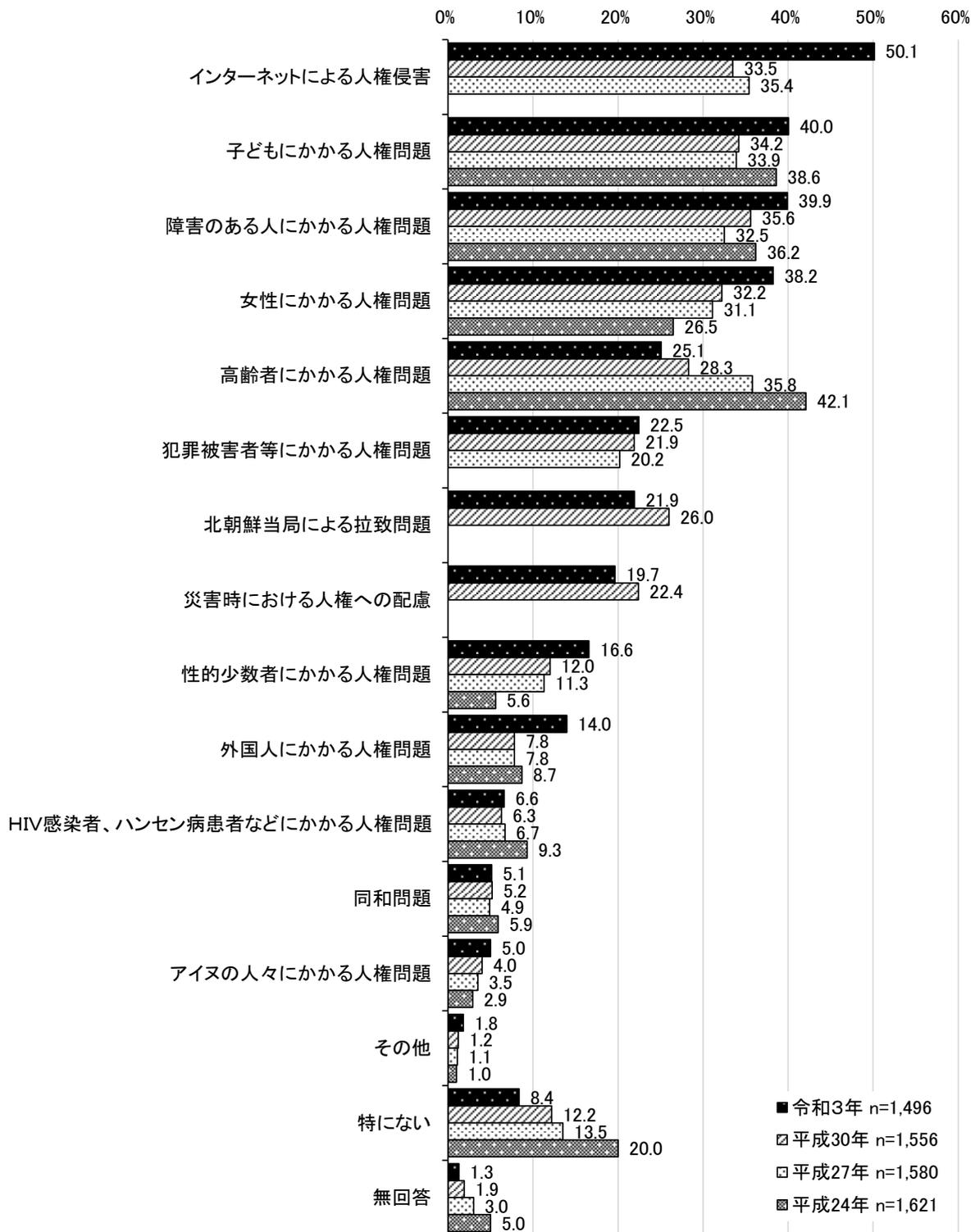
**問 48 現在、日本の社会には基本的人権に関わる問題がいくつかありますが、あなたが関心のあることは何ですか。(いくつでも)**

関心のある人権問題については、「インターネットによる人権侵害」が50.1%で最も高く、次いで「子どもにかかる人権問題」が40.0%、「障害のある人にかかる人権問題」が39.9%、「女性にかかる人権問題」が38.2%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、前回調査より著しく増加している項目は「インターネットによる人権侵害」で16.6ポイント増加している。一方で、「高齢者にかかる人権問題」は減少傾向となっており、前回調査より3.2ポイント、平成24と比べて17.0ポイント減少している。



※「インターネットによる人権侵害」、「犯罪被害者等にかかる人権問題」は、平成27年から追加された選択肢。

※「北朝鮮当局による拉致問題」、「災害時における人権への配慮」は、平成30年から追加された選択肢。

■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「インターネットによる人権侵害」は男性30歳代で6割近くと高くなっている。「子どもにかかる人権問題」は女性30歳代で5割を超えて高くなっている。「障害のある人にかかる人権問題」は男性60歳代、男性70歳以上で5割を超えて高くなっている。「女性にかかる人権問題」は女性の20歳代から40歳代で5割台と高くなっている。

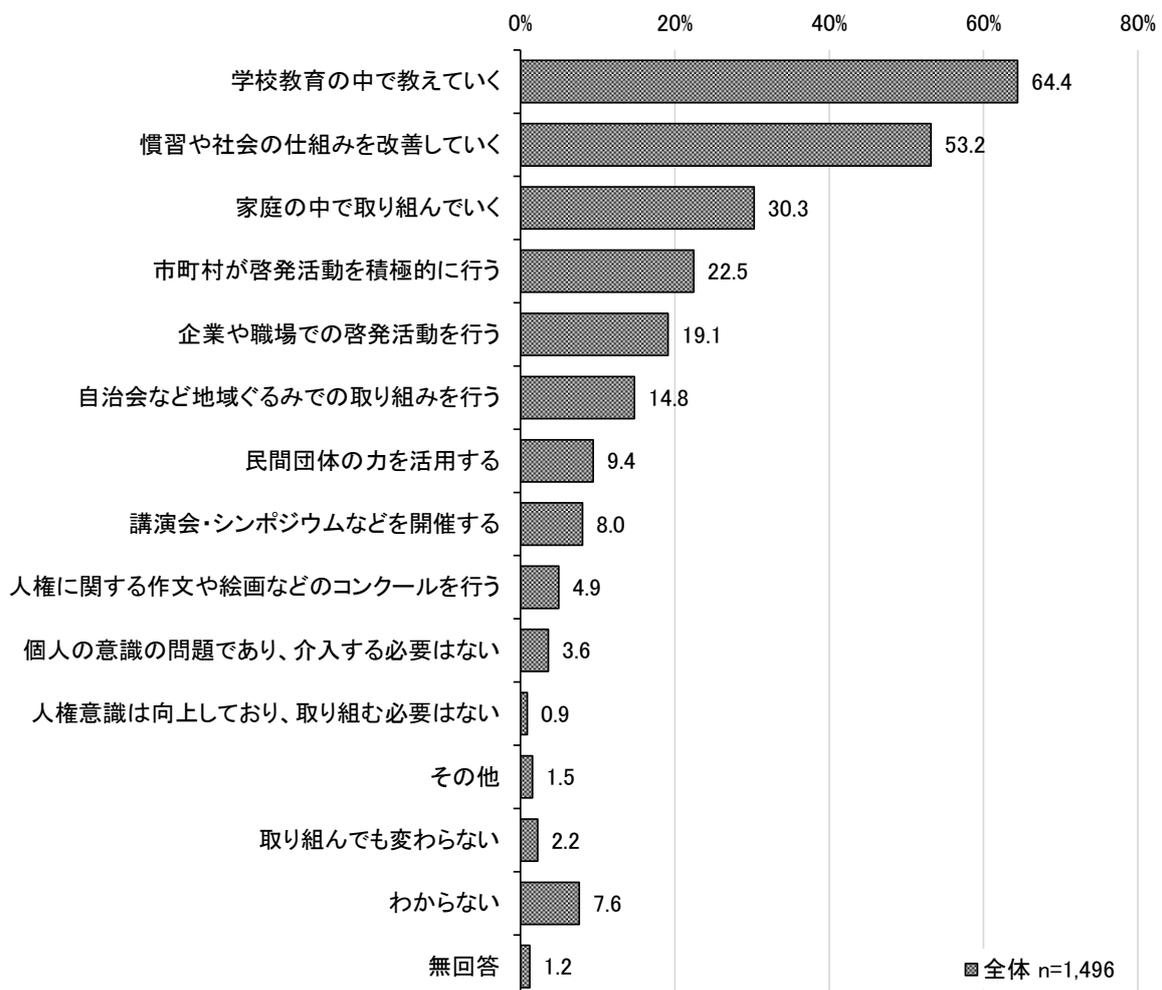
	インターネットによる人権侵害	子どもにかかる人権問題	障害のある人にかかる人権問題	女性にかかる人権問題	高齢者にかかる人権問題	犯罪被害者等にかかる人権問題
単位：%						
全体 n=1,496	50.1	40.0	39.9	38.2	25.1	22.5
【性別・年代別】						
男性 n=593	51.4	35.9	40.6	25.6	22.6	22.6
男性_18・19歳 n=4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性_20歳代 n=67	49.3	29.9	35.8	29.9	10.4	19.4
男性_30歳代 n=85	58.8	44.7	32.9	24.7	15.3	21.2
男性_40歳代 n=121	52.1	31.4	33.1	18.2	10.7	20.7
男性_50歳代 n=95	52.6	22.1	35.8	20.0	20.0	25.3
男性_60歳代 n=101	55.4	43.6	52.5	30.7	25.7	24.8
男性_70歳以上 n=118	43.2	42.4	51.7	33.1	46.6	24.6
女性 n=874	49.4	43.0	39.7	47.1	26.3	22.3
女性_18・19歳 n=13	53.8	38.5	38.5	30.8	23.1	30.8
女性_20歳代 n=109	48.6	45.0	40.4	59.6	13.8	16.5
女性_30歳代 n=160	52.5	53.1	35.0	58.8	12.5	20.6
女性_40歳代 n=171	53.2	46.2	41.5	52.0	19.3	26.9
女性_50歳代 n=110	49.1	37.3	41.8	46.4	29.1	26.4
女性_60歳代 n=137	49.6	41.6	40.9	38.0	35.0	23.4
女性_70歳以上 n=172	43.0	34.9	40.1	33.1	45.9	19.2

## (8) 人権意識を高めていくために必要な取組

◇「学校教育の中で教えていく」が64.4%

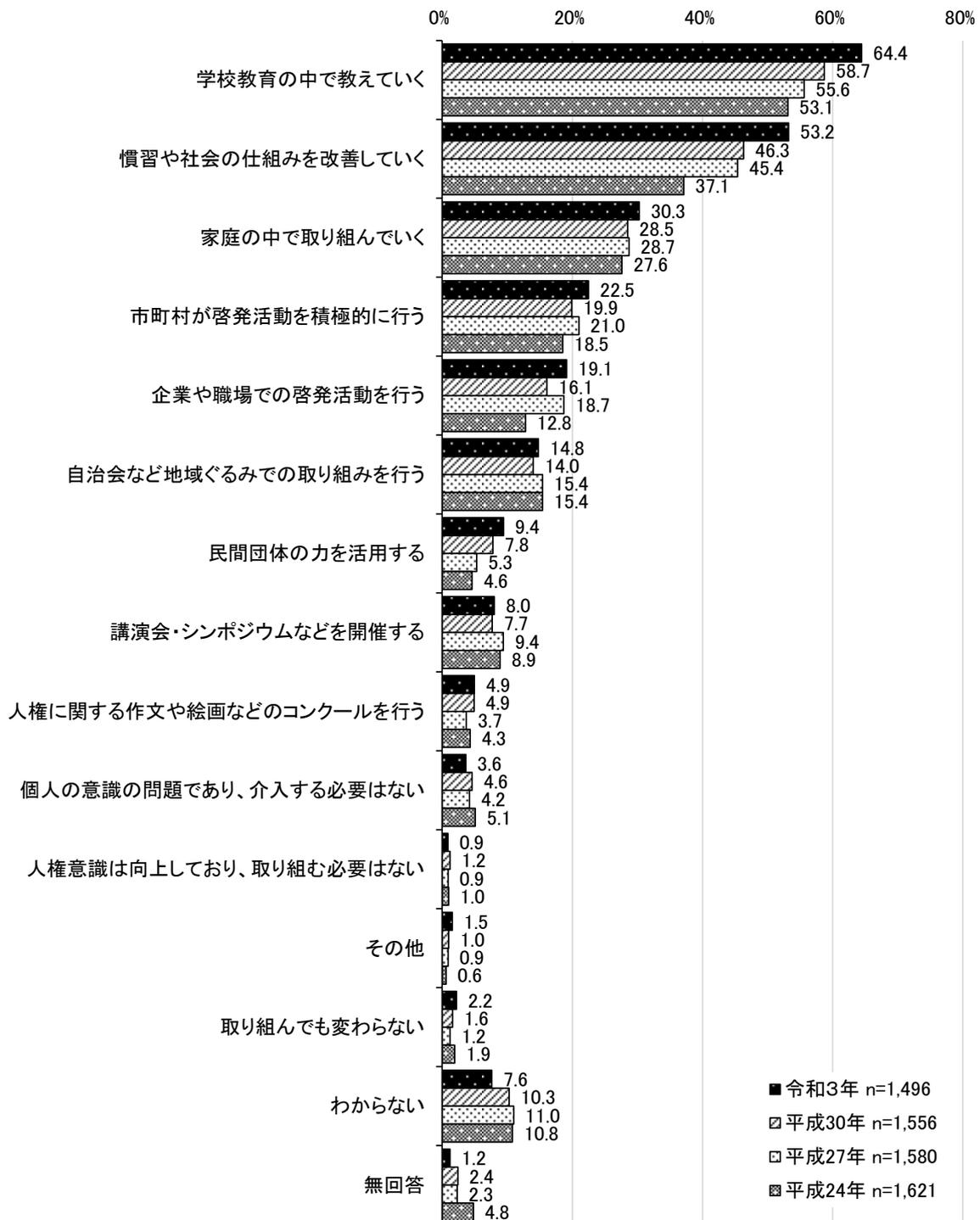
### 問 49 人権問題についての理解を深め、人権意識を高めていくためには、今後どのような取組が必要だとお考えですか。(いくつでも)

人権意識を高めていくために必要な取組については、「学校教育の中で教えていく」が64.4%で最も高く、次いで「慣習や社会の仕組みを改善していく」が53.2%、「家庭の中で取り組んでいく」が30.3%、「市町村が啓発活動を積極的に行う」が22.5%となっている。



■時系列での比較

時系列でみると、「学校教育の中で教えていく」は前回調査より 5.7 ポイント、平成 24 年と比べて 11.3 ポイント増加している。また、「慣習や社会の仕組みを改善していく」は前回調査より 6.9 ポイント、平成 24 年と比べて 16.1 ポイント増加している。



## ■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「学校教育の中で教えていく」は女性30歳代、女性40歳代で約7割と高くなっている。「慣習や社会の仕組みを改善していく」は男性20歳代、男性70歳以上で6割を超えて高くなっている。「家庭の中で取り組んでいく」は女性30歳代、女性40歳代で4割近くと高くなっている。

単位：%	学校教育の中で教えていく	慣習や社会の仕組みを改善していく	家庭の中で取り組んでいく	市町村が啓発活動を積極的に行う	企業や職場での啓発活動を行う	自治会など地域ぐるみでの取り組みを行う
全体 n=1,496	64.4	53.2	30.3	22.5	19.1	14.8
【性別・年代別】						
男性 n=593	63.9	55.8	24.8	22.8	18.5	14.0
男性_18・19歳 n=4	75.0	75.0	0.0	25.0	50.0	50.0
男性_20歳代 n=67	55.2	62.7	23.9	11.9	17.9	7.5
男性_30歳代 n=85	68.2	55.3	35.3	17.6	16.5	7.1
男性_40歳代 n=121	57.9	44.6	22.3	9.9	14.0	11.6
男性_50歳代 n=95	61.1	56.8	23.2	21.1	18.9	8.4
男性_60歳代 n=101	71.3	57.4	27.7	38.6	25.7	24.8
男性_70歳以上 n=118	67.8	61.0	20.3	33.1	17.8	19.5
女性 n=874	65.3	52.3	34.2	22.4	19.5	15.2
女性_18・19歳 n=13	84.6	38.5	15.4	15.4	30.8	7.7
女性_20歳代 n=109	66.1	50.5	34.9	17.4	23.9	11.0
女性_30歳代 n=160	69.4	54.4	38.8	15.0	20.6	10.6
女性_40歳代 n=171	69.0	57.3	37.4	21.6	22.8	15.2
女性_50歳代 n=110	61.8	58.2	34.5	24.5	17.3	11.8
女性_60歳代 n=137	62.0	53.3	32.1	30.7	20.4	18.2
女性_70歳以上 n=172	61.0	43.6	29.7	26.2	12.2	22.7

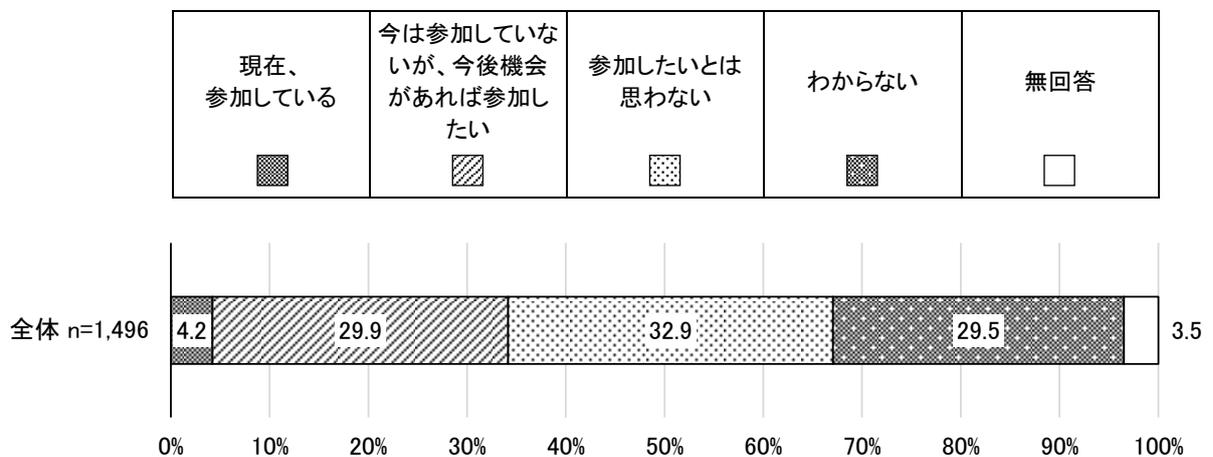
## (9) 市民活動への参加意向

◇「参加したいとは思わない」が32.9%

### 問 50 あなたは、市民活動に参加したいと思えますか。(1つのみ)

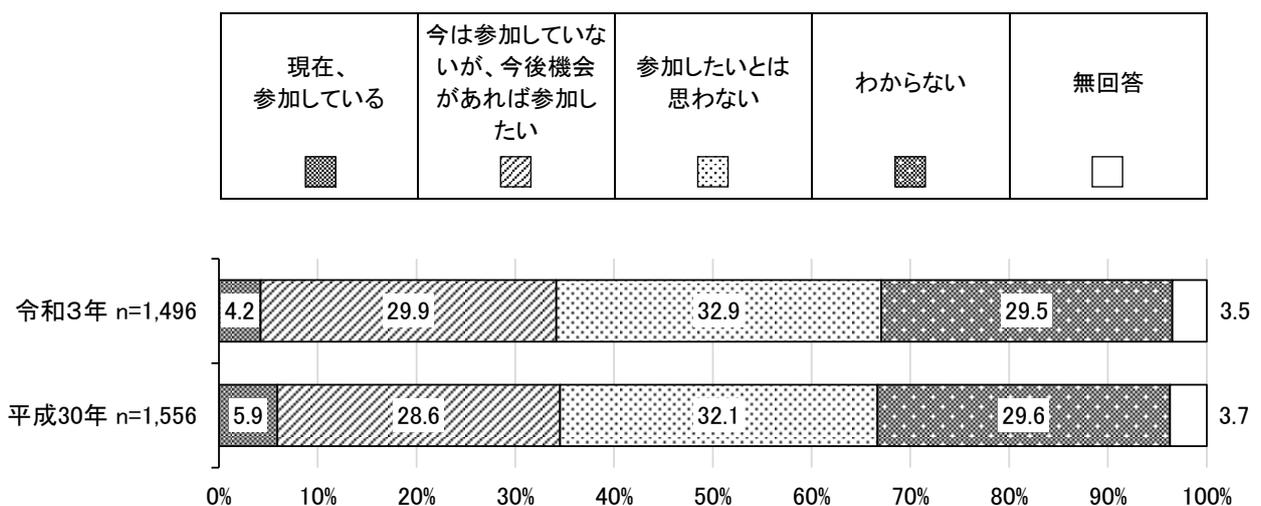
※「市民活動」とは、「営利を目的とせず、社会や地域の課題の解決に向けて自発的・自主的・継続的に行う活動（宗教活動や政治活動を主な目的とする活動は除く）」を想定しています。

市民活動への参加意向については、「参加したいとは思わない」が32.9%で最も高く、次いで「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が29.9%、「現在、参加している」が4.2%となっている。なお、「わからない」は29.5%となっている。



### ■時系列での比較

時系列でみると、「現在、参加している」は前回調査より1.7ポイント減少している。



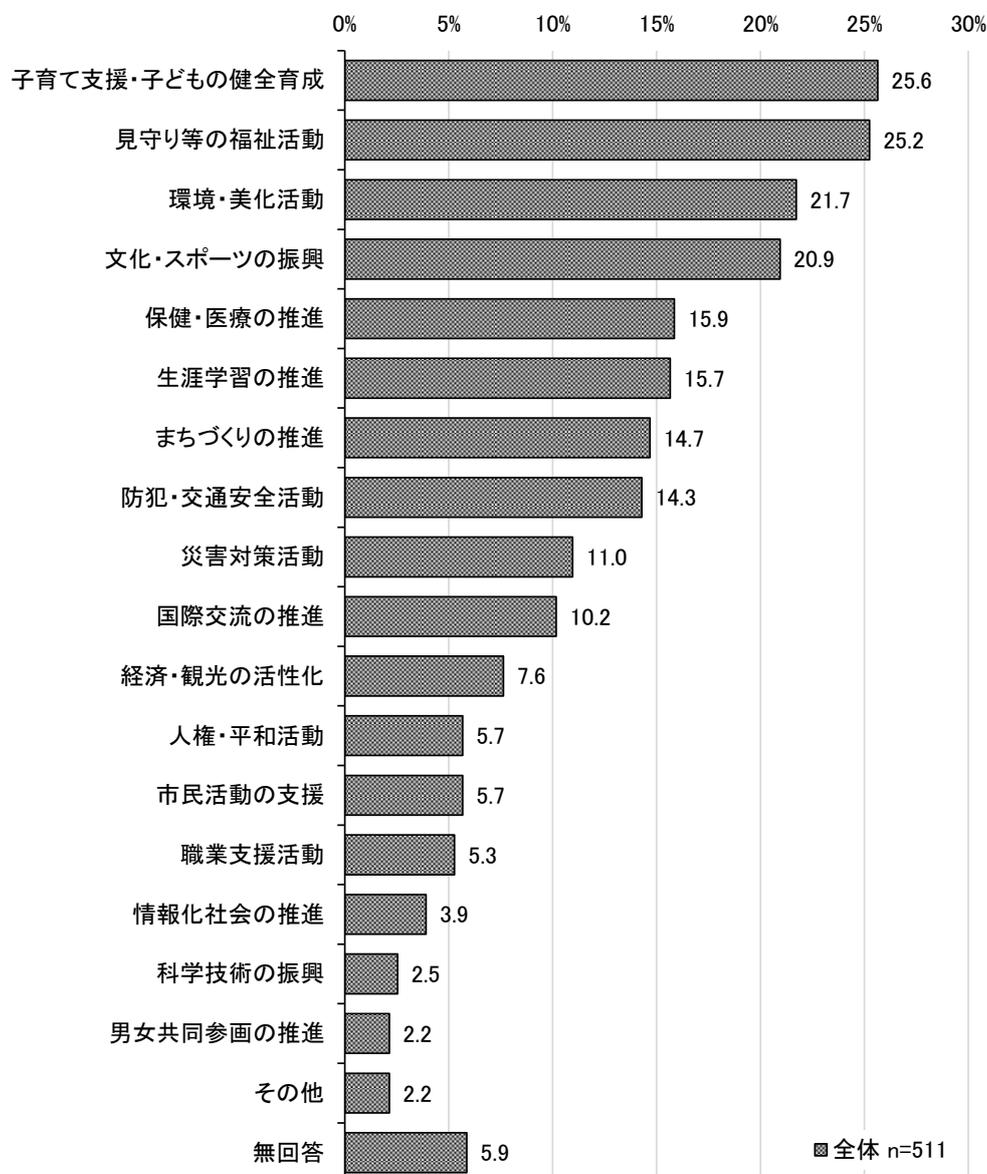
## (10) 参加したい市民活動の分野

◇「子育て支援・子どもの健全育成」が25.6%

【問50で「現在、参加している」「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」と回答した方におたずねします。】

問50-1 あなたが参加している、または参加したいと思う市民活動の分野は何ですか。  
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)

参加したい市民活動の分野については、「子育て支援・子どもの健全育成」が25.6%で最も高く、次いで「見守り等の福祉活動」が25.2%、「環境・美化活動」が21.7%、「文化・スポーツの振興」が20.9%となっている。



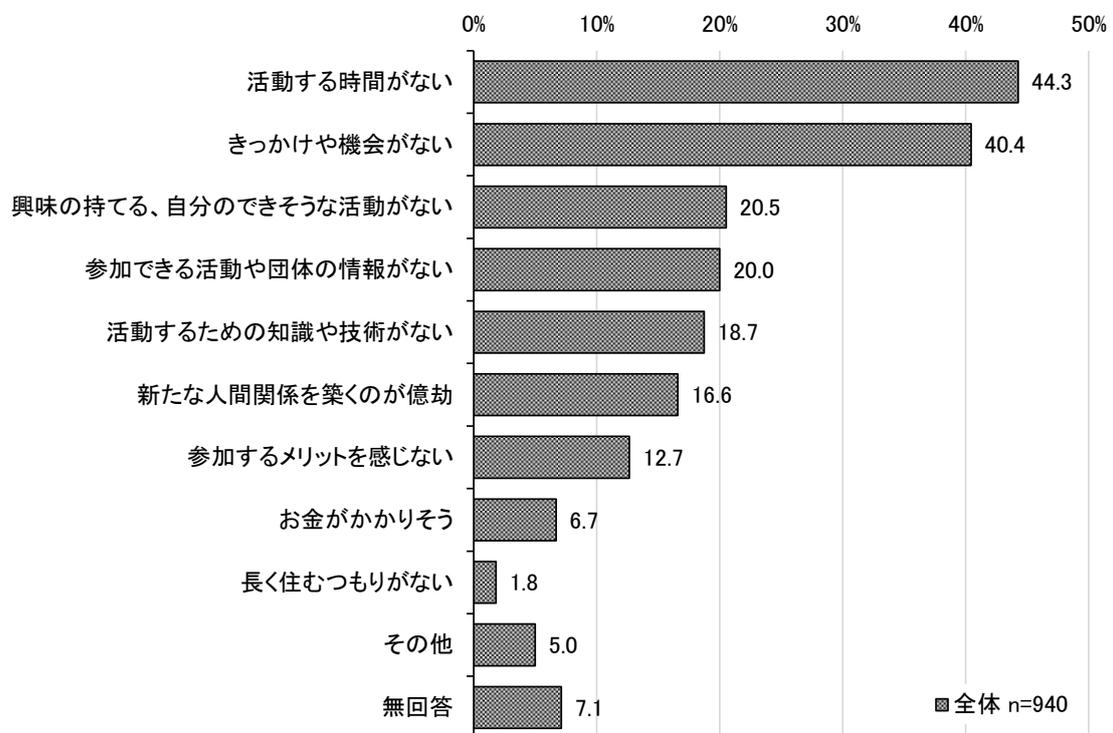
(11) 市民活動に参加していない、参加したいと思わない理由

◇「活動する時間がない」が44.3%

【問 50 で「今は参加していないが、今後機会があれば参加したい」「参加したいとは思わない」と回答した方におたずねします。】

**問 50-2 参加していない、または参加したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)**

市民活動に参加していない、参加したいと思わない理由については、「活動する時間がない」が44.3%で最も高く、次いで「きっかけや機会がない」が40.4%、「興味の持てる、自分のできそうな活動がない」が20.5%、「参加できる活動や団体の情報がない」が20.0%となっている。

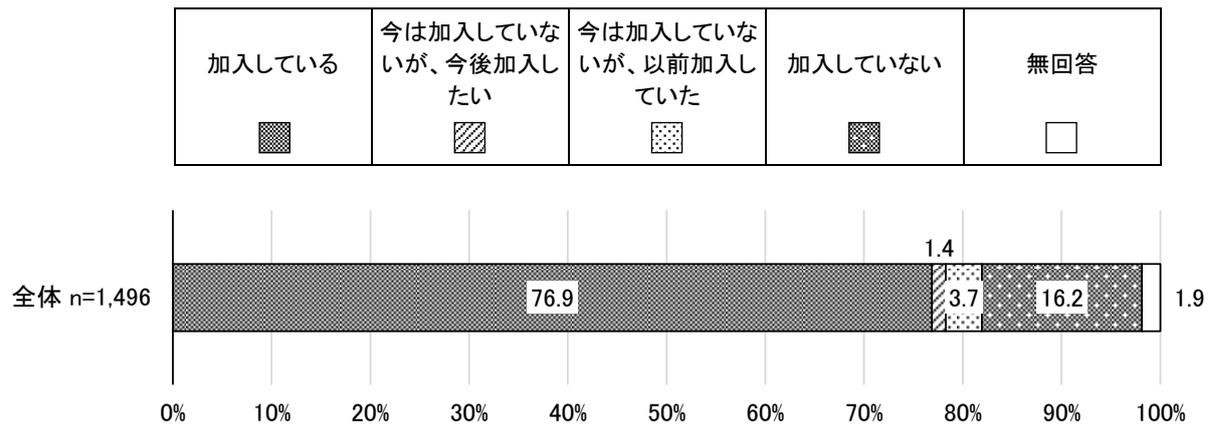


## (12) 自治会への加入状況

◇「加入している」が76.9%

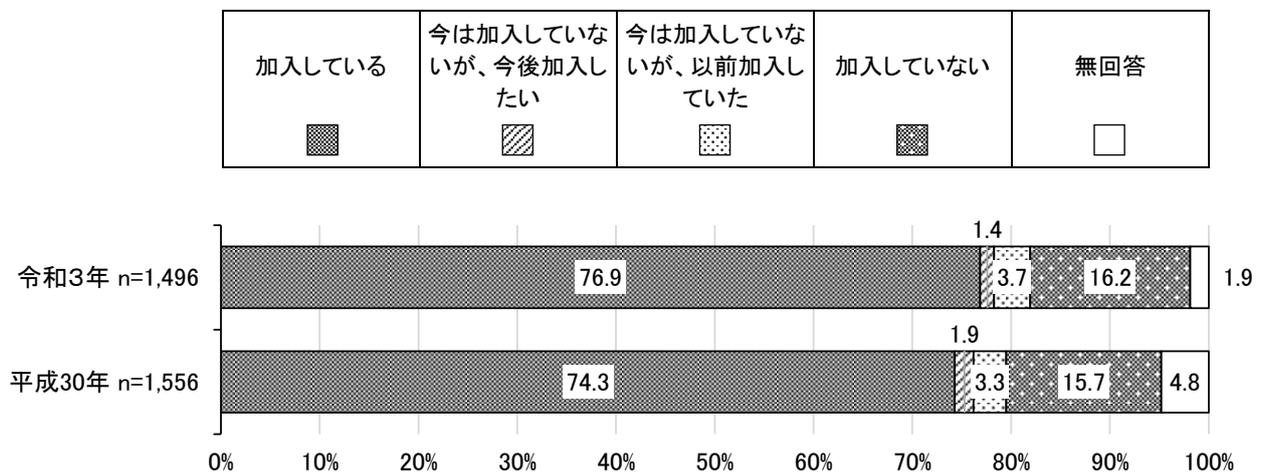
## 問 51 自治会への加入の有無について、教えてください。(1つのみ)

自治会への加入状況については、「加入している」が76.9%で最も高く、次いで「加入していない」が16.2%、「今は加入していないが、以前加入していた」が3.7%、「今は加入していないが、今後加入したい」が1.4%となっている。



## ■ 時系列での比較

時系列でみると、「加入している」は前回調査より2.6ポイント増加している。



■年代別

年代別でみると、「加入している」は70歳以上で約9割と高くなっている。一方で、「加入していない」は20歳代で4割と高くなっている。

単位:%	加入している	今は加入していないが、今後加入したい	今は加入していないが、以前加入していた	加入していない	無回答
全体 n=1,496	76.9	1.4	3.7	16.2	1.9
【年代別】					
18・19歳 n=17	64.7	0.0	0.0	35.3	0.0
20歳代 n=176	54.0	1.7	2.3	40.3	1.7
30歳代 n=246	62.2	2.4	2.8	30.5	2.0
40歳代 n=297	77.8	0.7	5.4	15.5	0.7
50歳代 n=206	82.5	1.5	4.4	10.7	1.0
60歳代 n=240	88.3	1.3	4.6	4.2	1.7
70歳以上 n=291	90.7	1.4	2.7	3.1	2.1

■居住地区別

居住地区別でみると、「加入している」は『芳野地区』、『南古谷地区』、『名細地区』、『山田地区』で8割台となっている。一方で、「加入していない」は『高階地区』が22.2%で最も高く、次いで『本庁地区』が17.4%、『大東地区』が15.8%となっている。

単位:%	加入している	今は加入していないが、今後加入したい	今は加入していないが、以前加入していた	加入していない	無回答
全体 n=1,496	76.9	1.4	3.7	16.2	1.9
【居住地区別】					
本庁地区 n=316	78.2	0.9	2.5	17.4	0.9
芳野地区 n=41	80.5	7.3	2.4	4.9	4.9
古谷地区 n=58	74.1	3.4	13.8	8.6	0.0
南古谷地区 n=135	82.2	0.0	3.0	10.4	4.4
高階地区 n=189	73.5	1.6	2.1	22.2	0.5
福原地区 n=78	74.4	1.3	5.1	15.4	3.8
大東地区 n=139	79.9	0.7	3.6	15.8	0.0
霞ヶ関地区 n=175	77.7	1.1	4.6	14.9	1.7
川鶴地区 n=75	78.7	1.3	6.7	12.0	1.3
霞ヶ関北地区 n=48	79.2	0.0	4.2	14.6	2.1
名細地区 n=100	83.0	0.0	4.0	13.0	0.0
山田地区 n=77	81.8	0.0	1.3	15.6	1.3

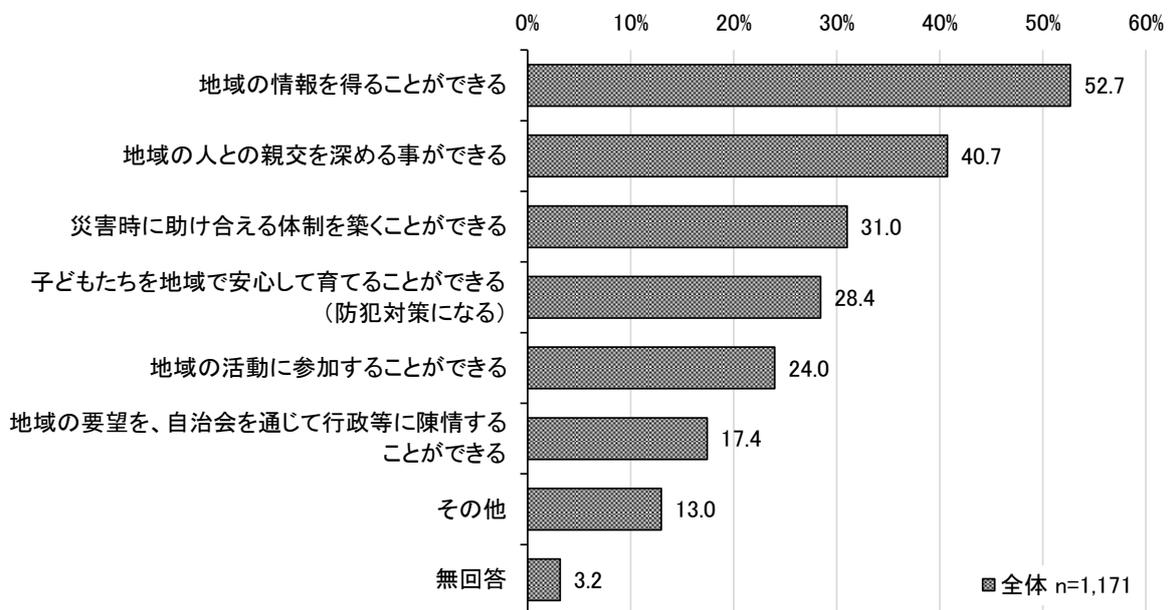
## (13) 自治会に加入していて良かった、加入したいと思う理由

◇「地域の情報を得ることができる」が52.7%

【問 51 で「加入している」「今は加入していないが、今後加入したい」と回答した方におたずねします。】

問 51-1 あなたが自治会に加入していて良かった、または加入したいと思う理由は何ですか。  
(いくつでも)

自治会に加入していて良かった、加入したいと思う理由については、「地域の情報を得ることができる」が52.7%で最も高く、次いで「地域の人との親交を深める事ができる」が40.7%、「災害時に助け合える体制を築くことができる」が31.0%、「子どもたちを地域で安心して育てることができる(防犯対策になる)」が28.4%となっている。



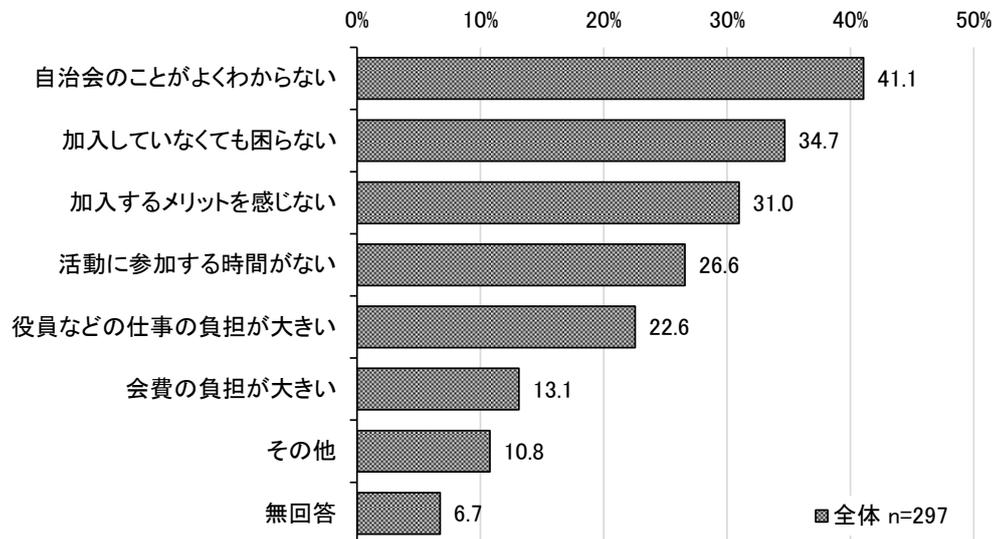
(14) 自治会に加入していない、加入したいと思わない理由

◇「自治会のことがよくわからない」が41.1%

【問 51 で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問 51-2 あなたが自治会に加入していない、または加入したいと思わない理由は何ですか。  
(いくつでも)

自治会に加入していない、加入したいと思わない理由については、「自治会のことがよくわからない」が41.1%で最も高く、次いで「加入していなくても困らない」が34.7%、「加入するメリットを感じない」が31.0%、「活動に参加する時間がない」が26.6%となっている。



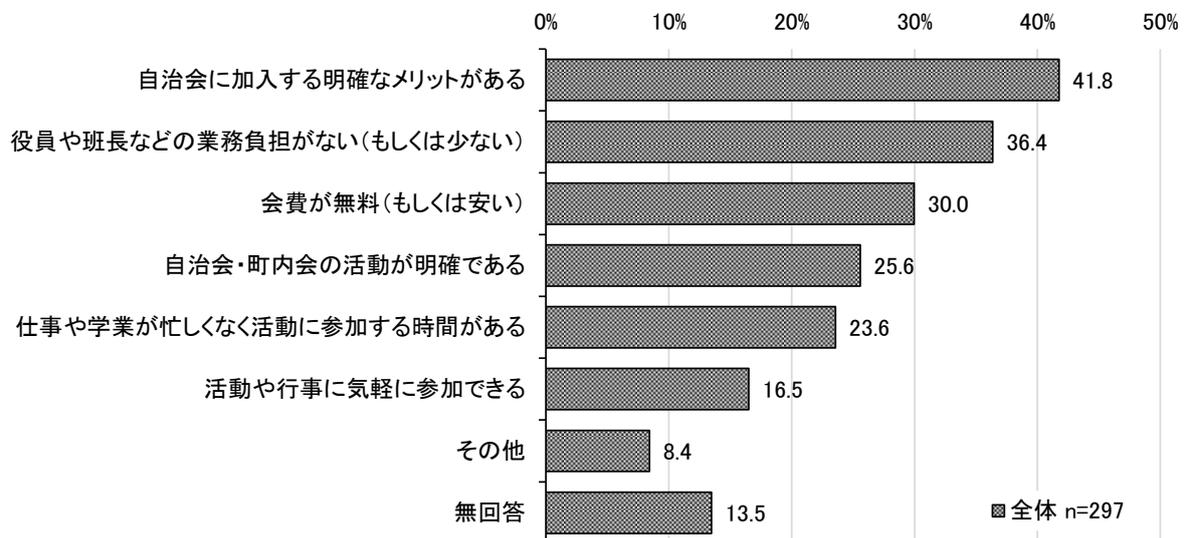
## (15) 自治会への加入を考えてもいい、加入したいと思える条件

◇「自治会に加入する明確なメリットがある」が41.8%

【問 51 で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

問 51-3 あなたが自治会への加入を考えてもいい、または加入したいと思える条件は何ですか。(いくつでも)

自治会への加入を考えてもいい、加入したいと思える条件については、「自治会に加入する明確なメリットがある」が41.8%で最も高く、次いで「役員や班長などの業務負担がない（もしくは少ない）」が36.4%、「会費が無料（もしくは安い）」が30.0%、「自治会・町内会の活動が明確である」が25.6%となっている。



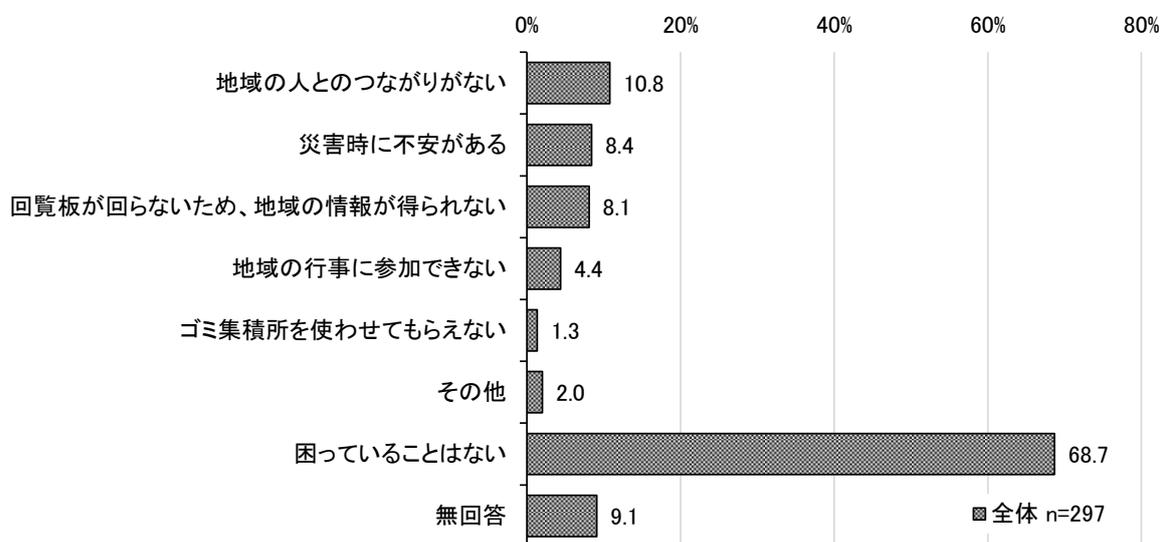
## (16) 自治会に加入していないことで困っていること

◇「地域の人とのつながりがない」が10.8%

【問 51 で「今は加入していないが、以前加入していた」「加入していない」と回答した方におたずねします。】

### 問 51-4 自治会に加入していないことで、困っていることは何ですか。(いくつでも)

自治会に加入していないことで困っていることについては、「地域の人とのつながりがない」が10.8%で最も高く、次いで「災害時に不安がある」が8.4%、「回覧板が回らないため、地域の情報が得られない」が8.1%、「地域の行事に参加できない」が4.4%となっている。なお、「困っていることはない」は68.7%となっている。

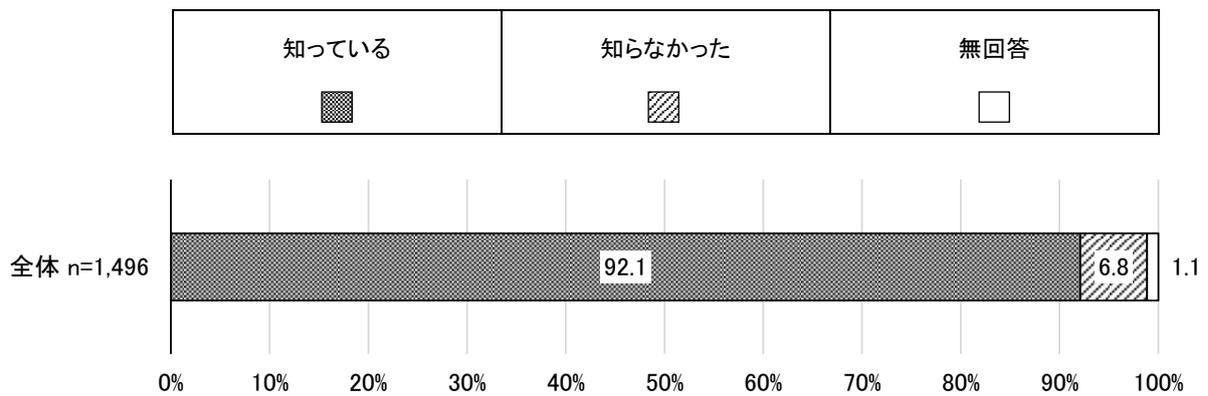


(17) 市民センター・連絡所での手続きの認知状況

◇「知っている」が92.1%

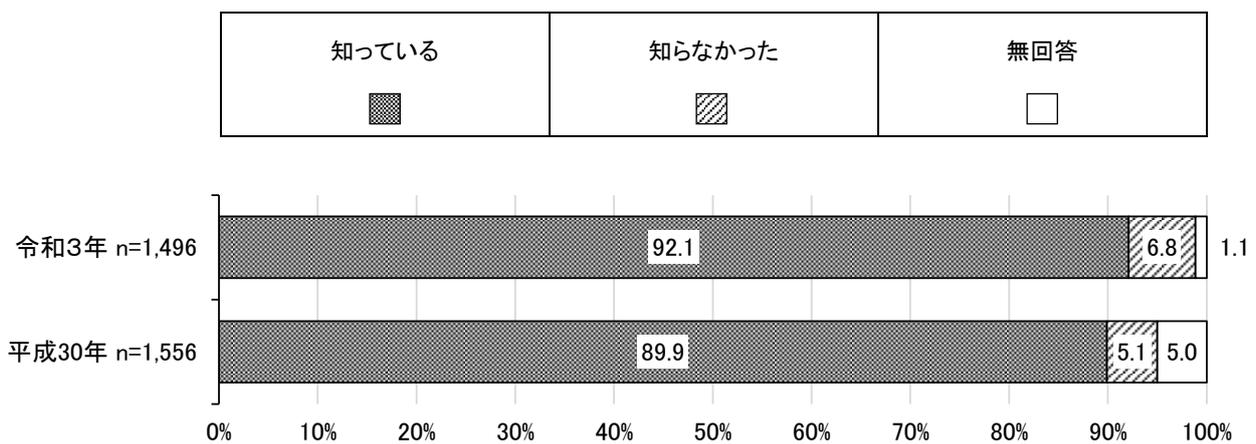
**問 52 住民票や戸籍などの証明書の取得、印鑑の登録、また住所変更（転入・転出など）や戸籍の届出（婚姻・出生など）は、市役所本庁舎以外にも、各市民センター（旧出張所）・川越駅西口連絡所（川越市民サービスステーション内）でも手続きができることをご存知ですか。（1つのみ）**

市民センター・連絡所での手続きの認知状況については、「知っている」が 92.1%、「知らなかった」が 6.8%と、「知っている」が 85.3 ポイント上回っている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「知っている」は前回調査より 2.2 ポイント増加している。

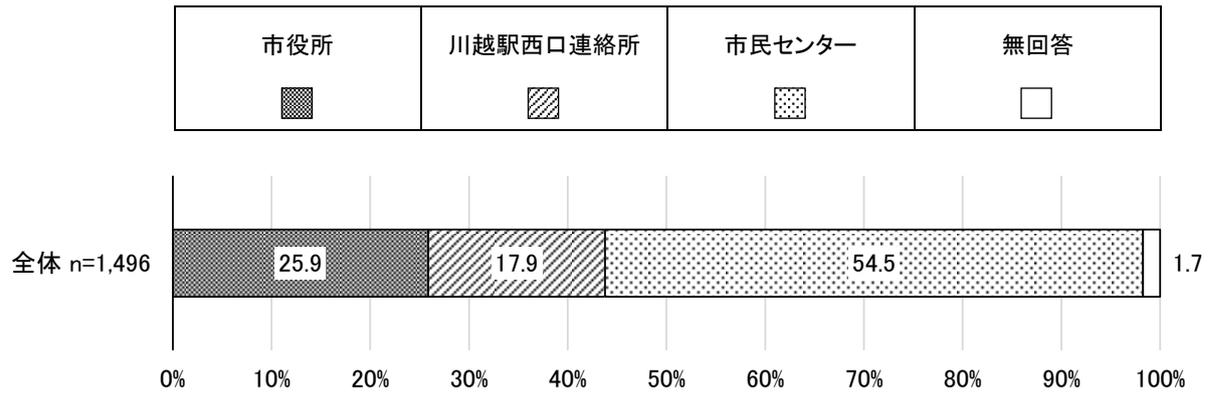


**(18) 住民票等の取得手続きで利用している施設**

◇「市民センター」が54.5%

**問 53 住民票や戸籍などの証明書の取得やお手続きをする場合、どこを利用されますか。  
(1つのみ)**

住民票等の取得手続きで利用している施設については、「市民センター」が54.5%で最も高く、次いで「市役所」が25.9%、「川越駅西口連絡所」が17.9%となっている。



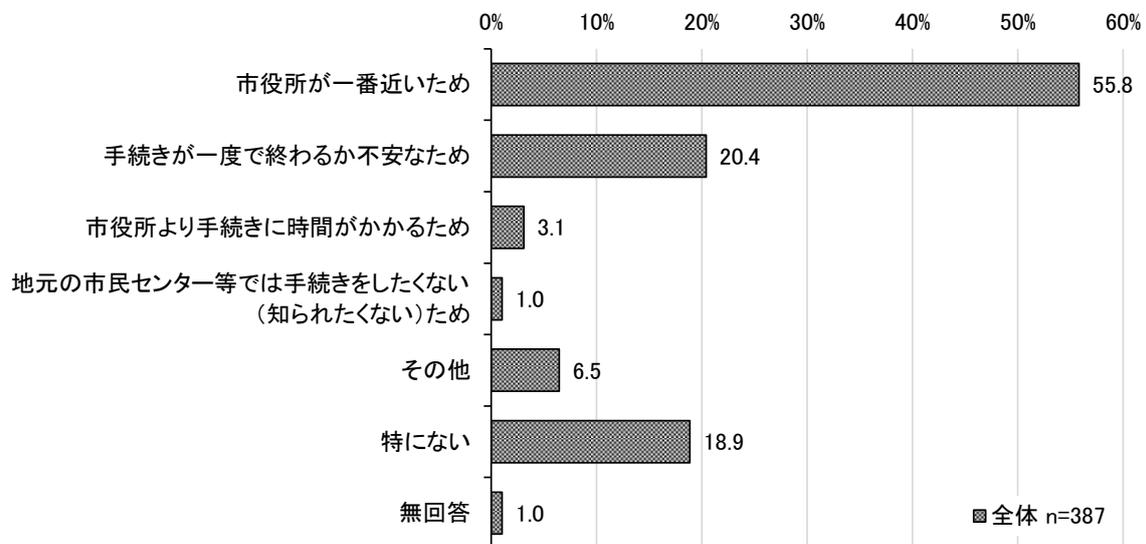
## (19) 川越駅西口連絡所、市民センターを利用しない理由

◇「市役所が一番近い」が55.8%

【問53で「市役所」と回答した方におたずねします。】

## 問53-1 川越駅西口連絡所、市民センターを利用しない理由は何ですか。(いくつでも)

川越駅西口連絡所、市民センターを利用しない理由については、「市役所が一番近い」が55.8%で最も高く、次いで「手続きが一度で終わるか不安なため」が20.4%、「市役所より手続きに時間がかかるため」が3.1%、「地元の市民センター等では手続きをしたくない（知られたくない）ため」が1.0%となっている。なお、「特にない」は18.9%となっている。



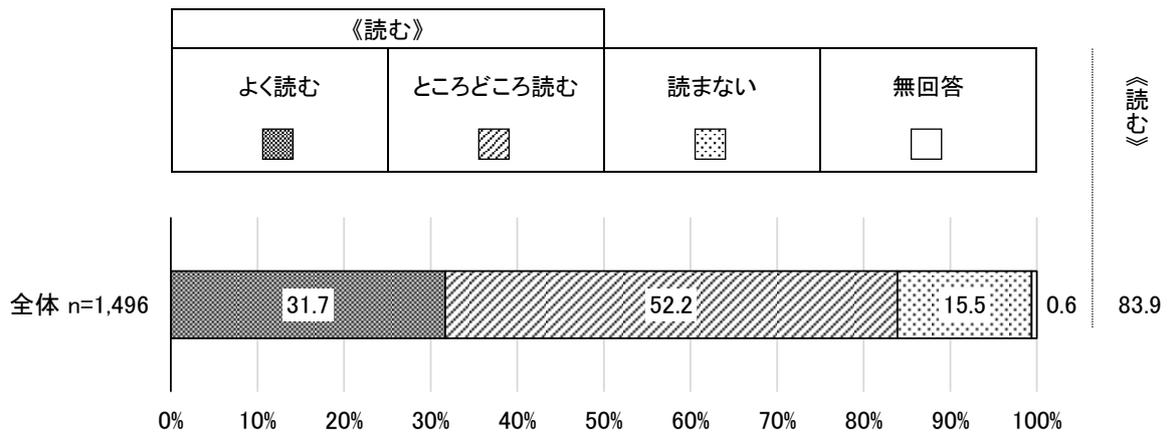
## 7 市政全般について

### (1) 「広報川越」の閲覧状況

◇ 《読む》が83.9%

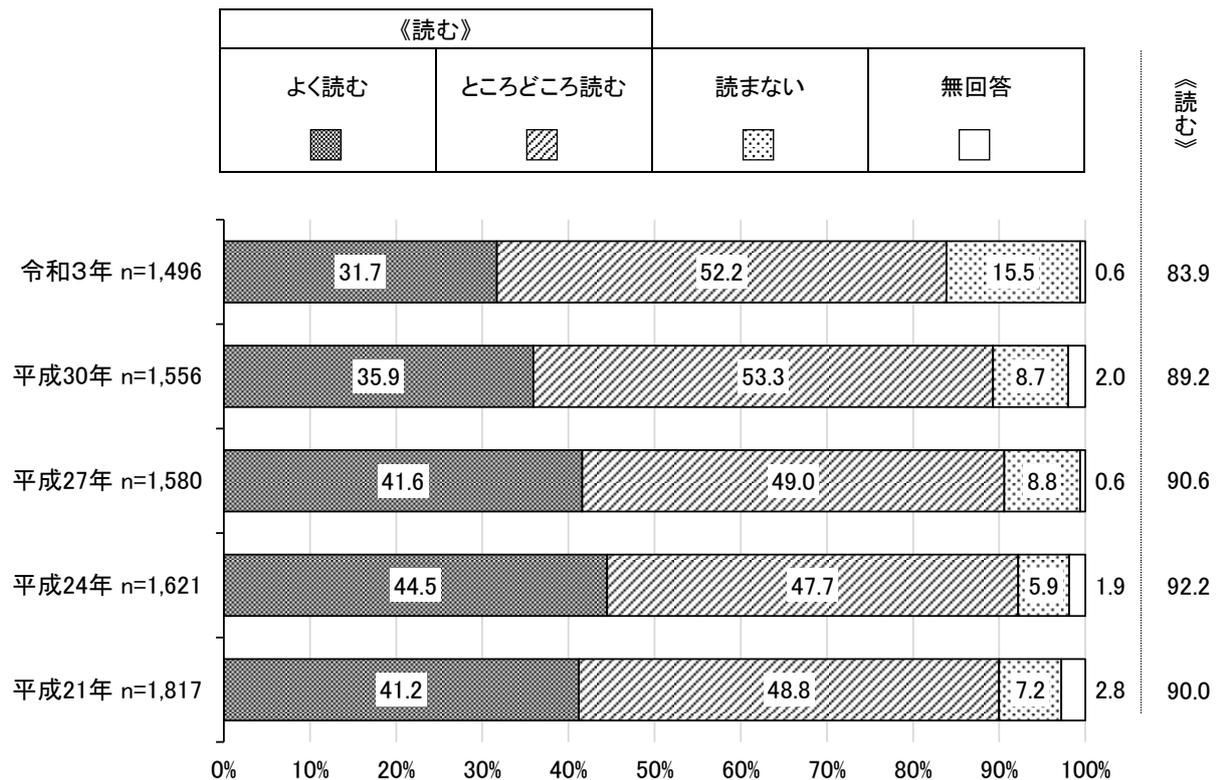
#### 問 54 あなたは、「広報川越」をご覧になりますか。(1つのみ)

「広報川越」の閲覧状況については、「よく読む」、「ところどころ読む」の合計値《読む》が83.9%である一方、「読まない」は15.5%と、《読む》が68.4ポイント上回っている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《読む》は前回調査より5.3ポイント減少し、「読まない」は6.8ポイント増加している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「読む」は男性 60 歳代、男性 70 歳以上、女性の 40 歳代から 70 歳以上で 9 割台と高くなっている。一方で、「読まない」は男性 20 歳代で約 5 割と高くなっている。

単位: %	《読む》		読まない	無回答	《読む》 合計値
	よく読む	ところどころ 読む			
全体 n=1,496	31.7	52.2	15.5	0.6	83.9
【性別・年代別】					
男性 n=593	29.0	51.9	18.7	0.3	80.9
男性_18・19歳 n=4	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0
男性_20歳代 n=67	9.0	41.8	49.3	0.0	50.8
男性_30歳代 n=85	17.6	58.8	23.5	0.0	76.4
男性_40歳代 n=121	16.5	57.9	25.6	0.0	74.4
男性_50歳代 n=95	29.5	55.8	14.7	0.0	85.3
男性_60歳代 n=101	38.6	52.5	7.9	1.0	91.1
男性_70歳以上 n=118	53.4	44.1	1.7	0.8	97.5
女性 n=874	33.6	52.4	13.6	0.3	86.0
女性_18・19歳 n=13	0.0	53.8	46.2	0.0	53.8
女性_20歳代 n=109	11.9	42.2	45.9	0.0	54.1
女性_30歳代 n=160	21.3	59.4	18.8	0.6	80.7
女性_40歳代 n=171	32.2	59.6	8.2	0.0	91.8
女性_50歳代 n=110	40.9	50.9	8.2	0.0	91.8
女性_60歳代 n=137	35.8	59.9	4.4	0.0	95.7
女性_70歳以上 n=172	56.4	40.1	2.3	1.2	96.5

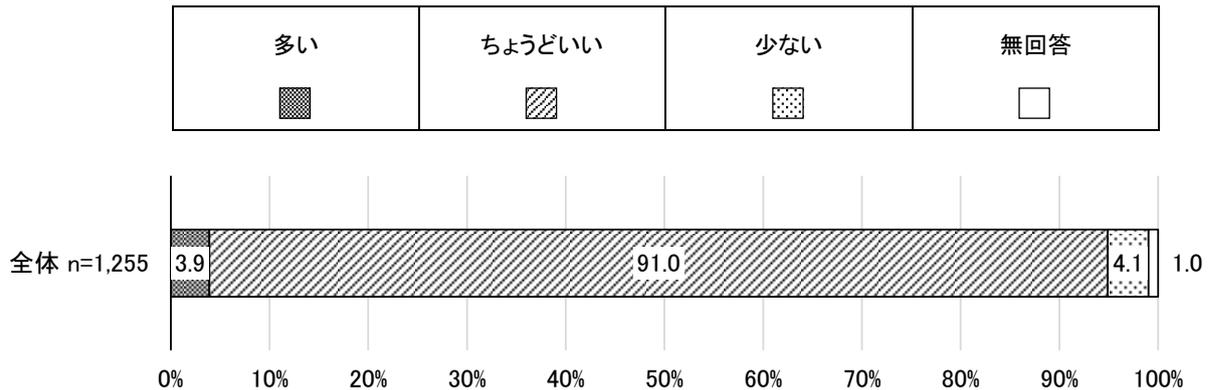
## (2) 「広報川越」の情報量

◇「ちょうどいい」が91.0%

【問 54 で「よく読む」「ところどころ読む」と回答した方におたずねします。】

**問 54-1 広報川越の情報量（文章量・ページ数）についてどのように思いますか。（1つのみ）**

「広報川越」の情報量については、「ちょうどいい」が91.0%で最も高く、次いで「少ない」が4.1%、「多い」が3.9%となっている。



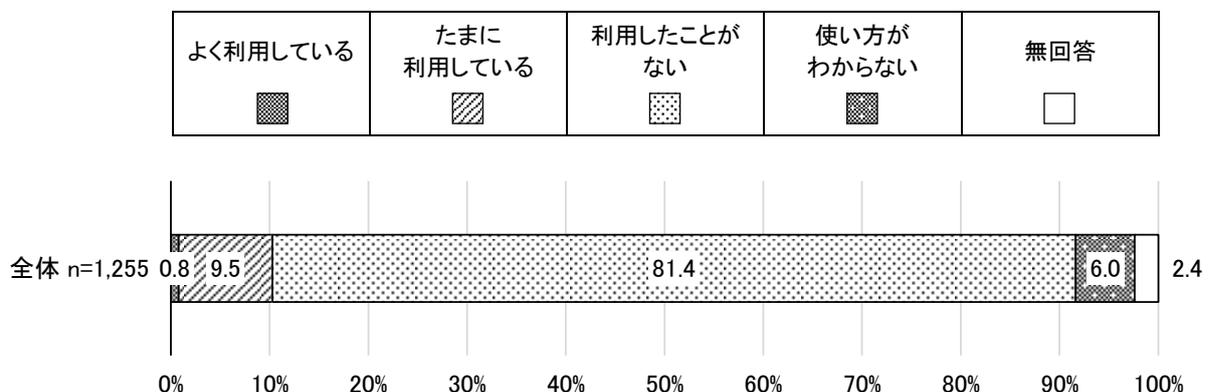
## (3) 広報川越に掲載されている2次元コードの利用状況

◇「利用したことがない」が81.4%

【問 54 で「よく読む」「ところどころ読む」と回答した方におたずねします。】

**問 54-2 広報川越には、詳細情報を市のホームページで確認できるよう、2次元コードを掲載していますが、利用したことはありますか。（1つのみ）**

広報川越に掲載されている2次元コードの利用状況については、「利用したことがない」が81.4%で最も高く、次いで「たまに利用している」が9.5%、「使い方がわからない」が6.0%、「よく利用している」が0.8%となっている。

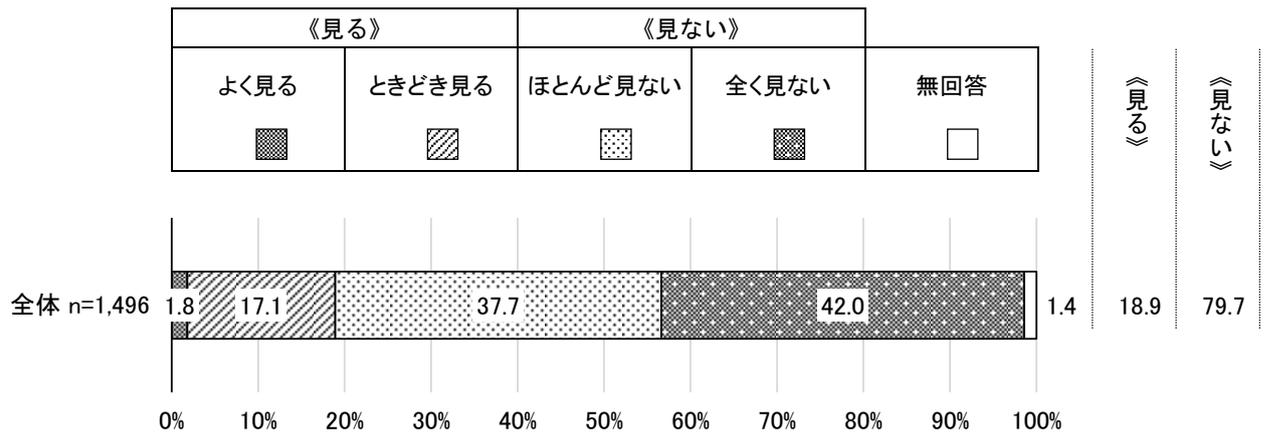


#### (4) 地域にある掲示板の閲覧状況

◇ 《見る》が18.9%

##### 問 55 あなたは、情報入手するため、掲示板をご覧になることがありますか。(1つのみ)

地域にある掲示板の閲覧状況については、「よく見る」、「ときどき見る」の合計値《見る》が18.9%である一方、「ほとんど見ない」、「全く見ない」の合計値《見ない》は79.7%と、《見ない》が60.8ポイント上回っている。

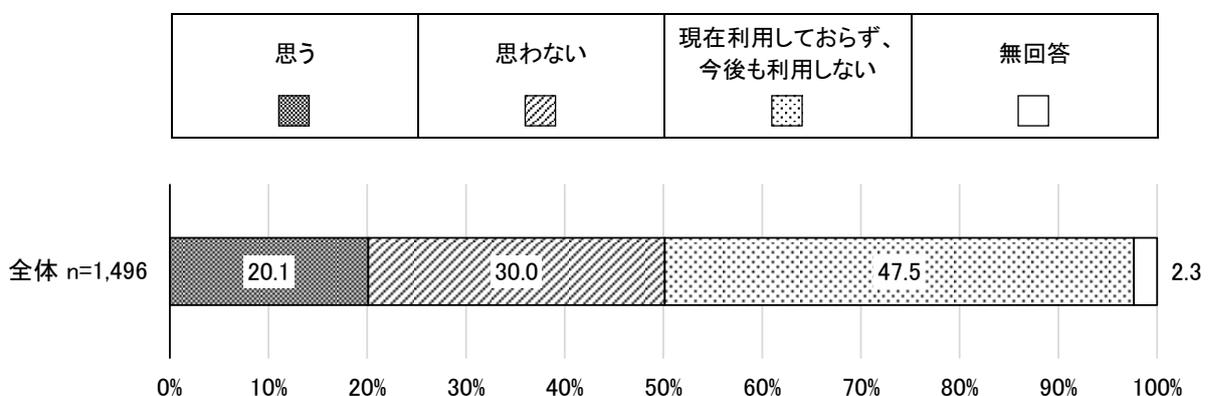


#### (5) 掲示板の利用意向

◇ 「現在利用しておらず、今後も利用しない」が47.5%

##### 問 56 あなたは、今後、掲示板を利用しようと思いますか。(1つのみ)

掲示板の利用意向については、「現在利用しておらず、今後も利用しない」が47.5%で最も高く、次いで「思わない」が30.0%、「思う」が20.1%となっている。

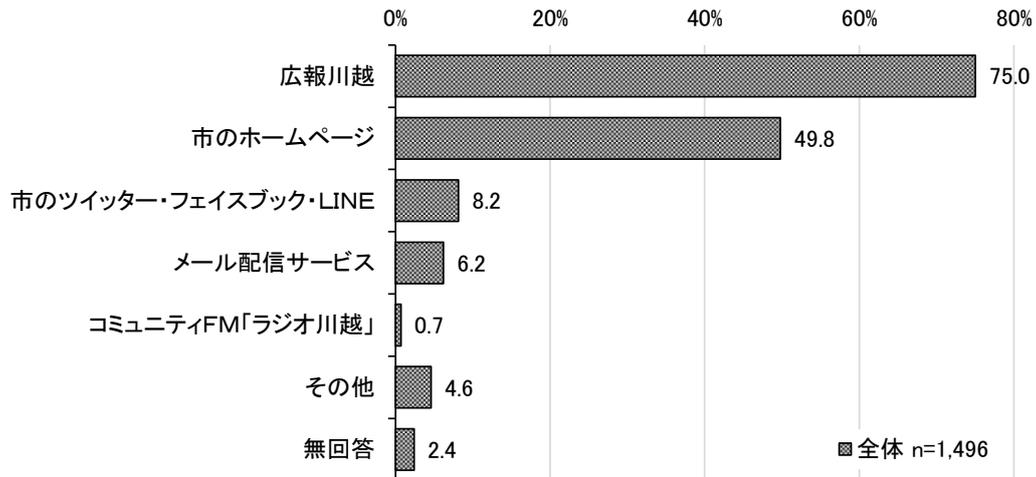


## (6) 市の情報の入手方法

◇「広報川越」が75.0%

### 問 57 あなたは、市の情報をどのような方法で取得していますか。(いくつでも)

市の情報の入手方法については、「広報川越」が75.0%で最も高く、次いで「市のホームページ」が49.8%、「市のツイッター・フェイスブック・LINE」が8.2%、「メール配信サービス」が6.2%となっている。



## ■性別・年代別

性別・年代別でみると、「広報川越」は男性、女性ともに年代が高くなるほど増加傾向となり、男性70歳以上、女性70歳以上で9割半ばとなっている。「市のホームページ」は男性、女性ともに30歳代、40歳代で6割台と高くなっている。「市のツイッター・フェイスブック・LINE」は女性20歳代で2割を超えて高くなっている。

	広報川越	市のホームページ	市のツイッター・フェイスブック・LINE	メール配信サービス	コミュニティFM「ラジオ川越」	その他
単位：%						
全体 n=1,496	75.0	49.8	8.2	6.2	0.7	4.6
【性別・年代別】						
男性 n=593	72.3	51.3	6.2	4.4	0.8	5.9
男性_18・19歳 n=4	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0
男性_20歳代 n=67	43.3	41.8	10.4	3.0	3.0	13.4
男性_30歳代 n=85	61.2	63.5	12.9	1.2	3.5	5.9
男性_40歳代 n=121	65.3	66.1	11.6	5.8	0.0	7.4
男性_50歳代 n=95	73.7	55.8	2.1	5.3	0.0	7.4
男性_60歳代 n=101	84.2	53.5	2.0	2.0	0.0	1.0
男性_70歳以上 n=118	94.9	27.1	0.0	5.9	0.0	2.5
女性 n=874	77.2	49.2	9.5	7.6	0.7	3.7
女性_18・19歳 n=13	23.1	84.6	7.7	7.7	0.0	7.7
女性_20歳代 n=109	48.6	54.1	21.1	2.8	0.9	6.4
女性_30歳代 n=160	66.3	64.4	13.1	8.8	0.6	5.0
女性_40歳代 n=171	83.6	62.6	14.0	15.8	0.0	2.3
女性_50歳代 n=110	77.3	55.5	10.9	10.0	0.0	4.5
女性_60歳代 n=137	88.3	38.7	0.7	5.1	0.7	2.9
女性_70歳以上 n=172	94.2	20.9	0.6	1.7	1.7	1.7

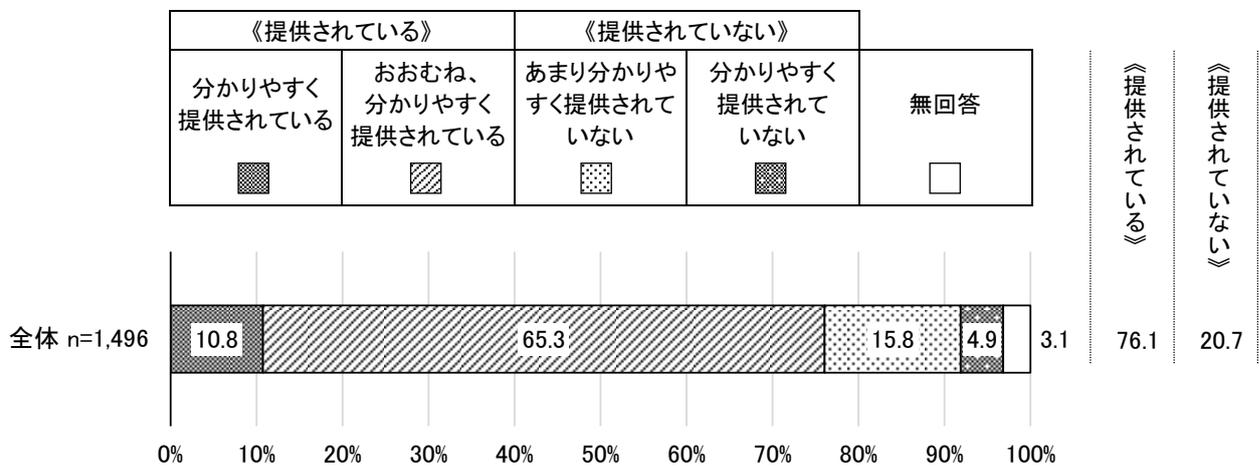
## (7) 市の情報提供に対する満足度

◇ 《提供されている》が76.1%

**問 58 あなたは、市の行政に関する情報提供について、分かりやすく提供されていると思いますか。  
(1つのみ)**

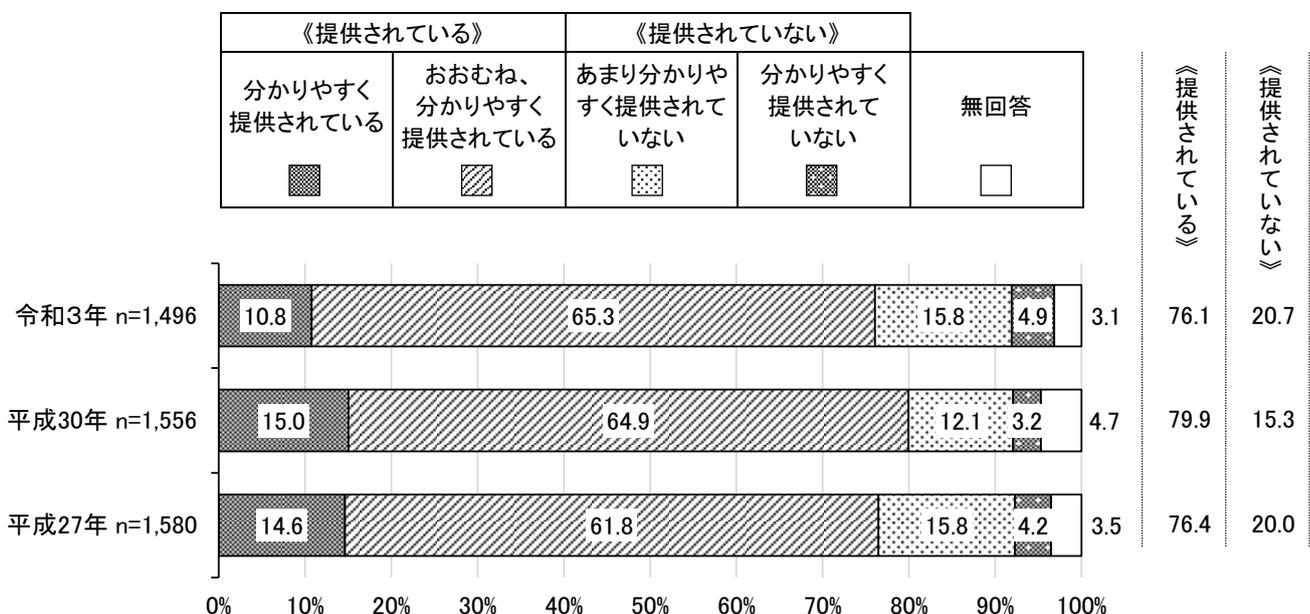
※「情報提供」とは、「広報川越」や市のホームページなどによるお知らせや情報公開制度による公文書の公開などを想定しています。

市の情報提供に対する満足度については、「分かりやすく提供されている」、「おおむね、分かりやすく提供されている」の合計値《提供されている》が76.1%である一方、「あまり分かりやすく提供されていない」、「分かりやすく提供されていない」の合計値《提供されていない》は20.7%と、《提供されている》が55.4ポイント上回っている。



### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《提供されている》は前回調査より3.8ポイント減少し、《提供されていない》は5.4ポイント増加している。



## ■性別・年代別

性別・年代別でみると、《提供されている》は女性の40歳代から70歳以上で8割台と高くなっている。一方で、《提供されていない》は男性20歳代で3割と高くなっている。

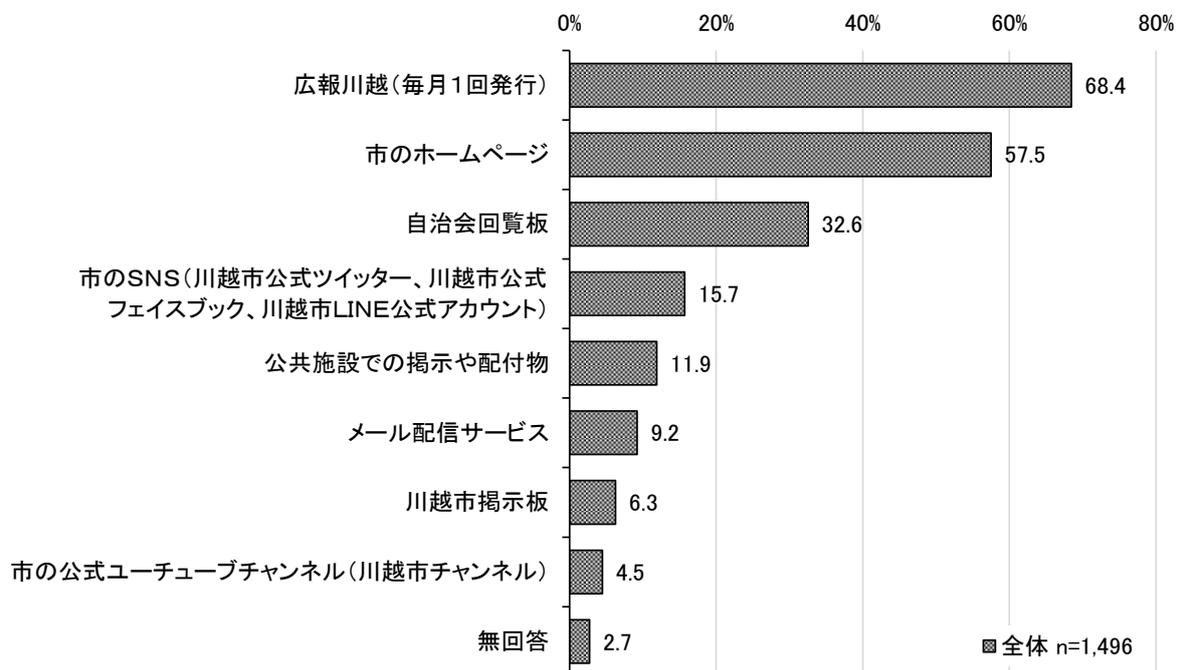
	《提供されている》		《提供されていない》		無回答	《提供されている》 合計値	《提供されていない》 合計値
	分かりやすく 提供されている	おおむね、分 かりやすく提 供されている	あまり分かり やすく提供さ れていない	分かりやすく 提供されてい ない			
単位：%							
全体 n=1,496	10.8	65.3	15.8	4.9	3.1	76.1	20.7
【性別・年代別】							
男性 n=593	9.3	63.1	18.5	6.2	2.9	72.4	24.7
男性_18・19歳 n=4	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	75.0	25.0
男性_20歳代 n=67	11.9	52.2	19.4	10.4	6.0	64.1	29.8
男性_30歳代 n=85	10.6	57.6	18.8	10.6	2.4	68.2	29.4
男性_40歳代 n=121	9.1	64.5	19.0	6.6	0.8	73.6	25.6
男性_50歳代 n=95	7.4	65.3	21.1	6.3	0.0	72.7	27.4
男性_60歳代 n=101	3.0	67.3	19.8	5.9	4.0	70.3	25.7
男性_70歳以上 n=118	14.4	65.3	15.3	0.0	5.1	79.7	15.3
女性 n=874	11.7	67.8	13.8	4.0	2.6	79.5	17.8
女性_18・19歳 n=13	30.8	61.5	7.7	0.0	0.0	92.3	7.7
女性_20歳代 n=109	9.2	66.1	19.3	3.7	1.8	75.3	23.0
女性_30歳代 n=160	6.9	66.3	20.6	5.0	1.3	73.2	25.6
女性_40歳代 n=171	11.1	69.6	11.1	4.7	3.5	80.7	15.8
女性_50歳代 n=110	16.4	70.0	7.3	2.7	3.6	86.4	10.0
女性_60歳代 n=137	8.8	72.3	12.4	4.4	2.2	81.1	16.8
女性_70歳以上 n=172	16.3	64.5	12.8	2.9	3.5	80.8	15.7

(8) 今後、利用したいと思う情報提供の媒体

◇「広報川越（毎月1回発行）」が68.4%

**問 59 市が情報を提供している方法のうち、あなたが今後利用したいと思う方法は何ですか。（いくつでも）**

今後、利用したいと思う情報提供の媒体については、「広報川越（毎月1回発行）」が68.4%で最も高く、次いで「市のホームページ」が57.5%、「自治会回覧板」が32.6%、「市のSNS（川越市公式ツイッター、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント）」が15.7%となっている。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「広報川越（毎月1回発行）」、「自治会回覧板」は、男性、女性ともに年代が高くなるほど増加傾向となっている。「市のホームページ」は男性40歳代、男性50歳代で7割を超えて高くなっている。「市のSNS（川越市公式ツイッター、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント）」は男性30歳代、女性20歳代で3割台と高くなっている。

	広報川越(毎月1回発行)	市のホームページ	自治会回覧板	市のSNS(川越市公式ツイッター、川越市公式フェイスブック、川越市LINE公式アカウント)	公共施設での掲示や配付物	メール配信サービス
単位: %						
全体 n=1,496	68.4	57.5	32.6	15.7	11.9	9.2

【性別・年代別】

男性 n=593	64.2	61.4	31.2	14.2	9.9	8.8
男性_18・19歳 n=4	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0
男性_20歳代 n=67	40.3	65.7	16.4	23.9	9.0	6.0
男性_30歳代 n=85	47.1	62.4	15.3	30.6	3.5	7.1
男性_40歳代 n=121	51.2	72.7	20.7	17.4	8.3	10.7
男性_50歳代 n=95	73.7	71.6	29.5	7.4	8.4	8.4
男性_60歳代 n=101	76.2	62.4	41.6	10.9	13.9	9.9
男性_70歳以上 n=118	87.3	37.3	54.2	0.8	14.4	8.5

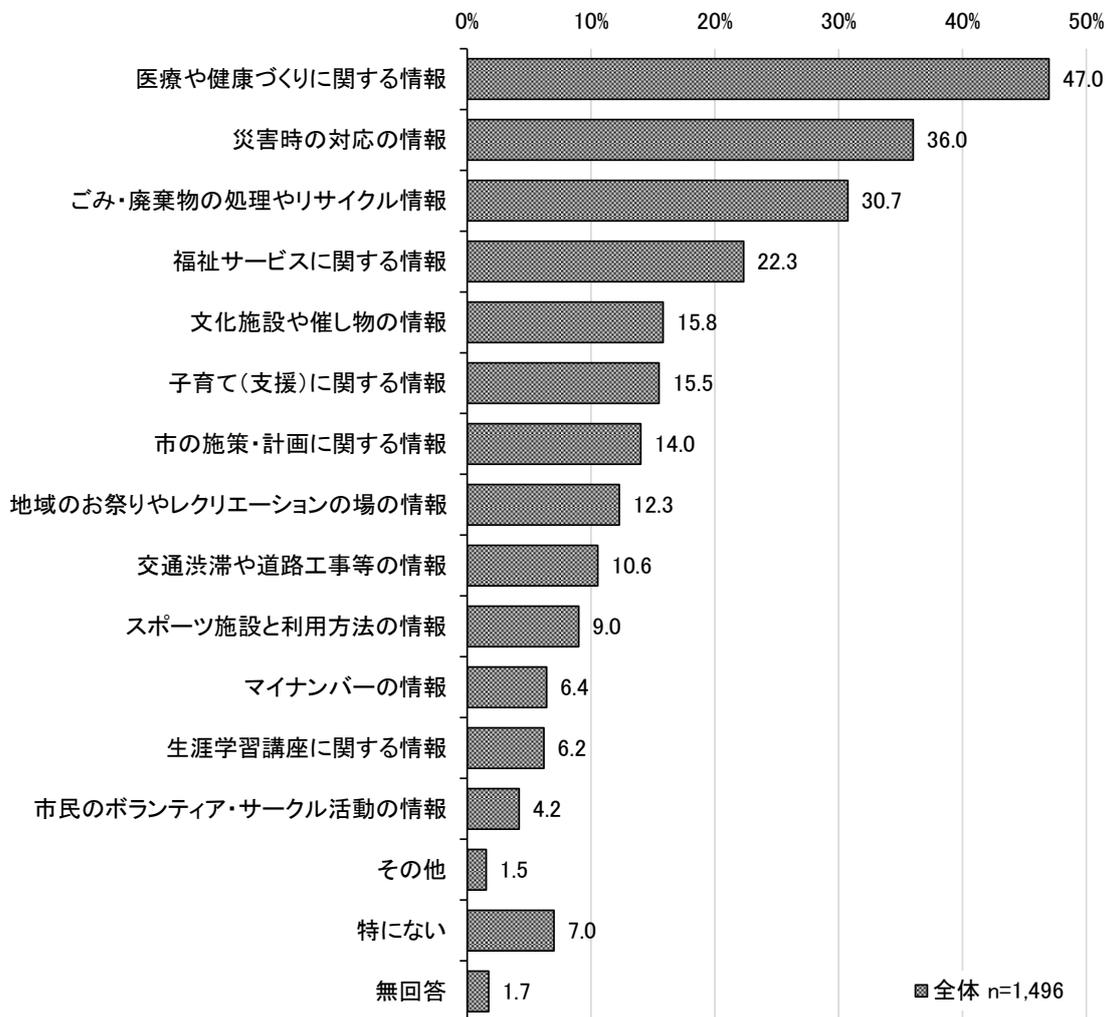
女性 n=874	71.6	55.1	33.8	17.0	13.2	9.6
女性_18・19歳 n=13	30.8	76.9	30.8	30.8	23.1	7.7
女性_20歳代 n=109	39.4	60.6	14.7	31.2	8.3	4.6
女性_30歳代 n=160	61.3	66.9	21.3	28.8	13.1	11.9
女性_40歳代 n=171	73.7	70.2	24.0	22.2	11.7	14.0
女性_50歳代 n=110	70.0	63.6	30.0	18.2	8.2	17.3
女性_60歳代 n=137	86.9	46.7	38.0	2.2	19.0	6.6
女性_70歳以上 n=172	91.3	25.6	65.7	2.3	15.1	4.1

### (9) 必要な市の行政情報

◇「医療や健康づくりに関する情報」が47.0%

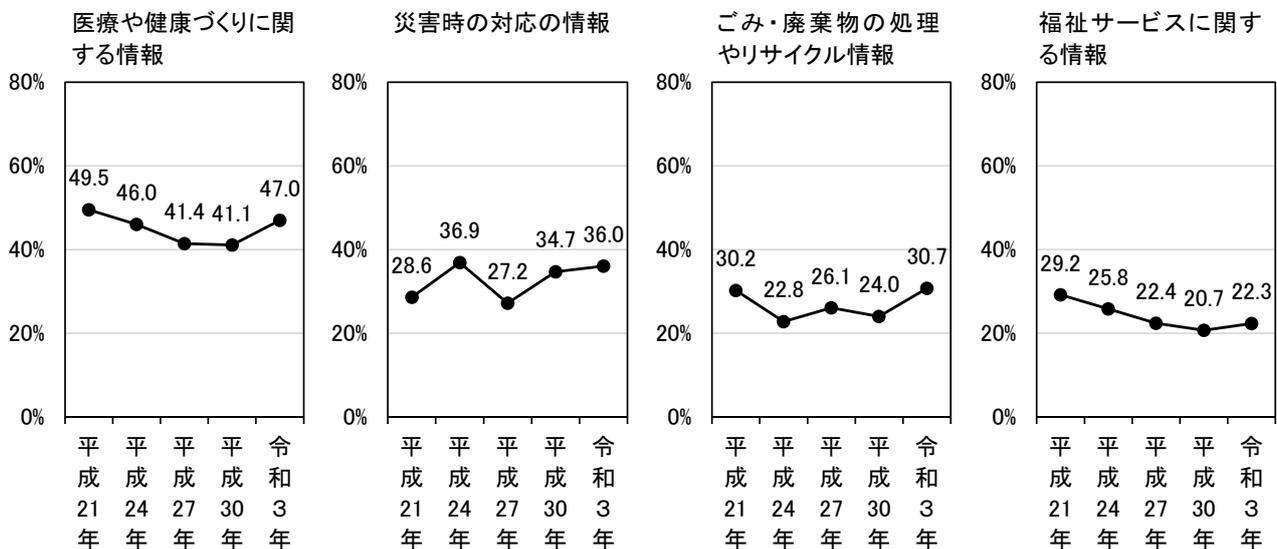
**問 60 あなたが今必要としている市からの情報は何か。  
次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

必要な市の行政情報については、「医療や健康づくりに関する情報」が47.0%で最も高く、次いで「災害時の対応の情報」が36.0%、「ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報」が30.7%、「福祉サービスに関する情報」が22.3%となっている。



### ■時系列での比較（上位4項目）

上位4項目を時系列でみると、「医療や健康づくりに関する情報」は平成30年まで減少傾向であったものの、令和3年には増加に転じ、前回調査より5.9ポイント増加している。



### ■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、「医療や健康づくりに関する情報」は女性70歳以上で6割と高くなっている。「災害時の対応の情報」は男性50歳代、女性の50歳代から70歳以上で4割を超えて高くなっている。「子育て（支援）に関する情報」は女性30歳代で5割を超えて高くなっている。

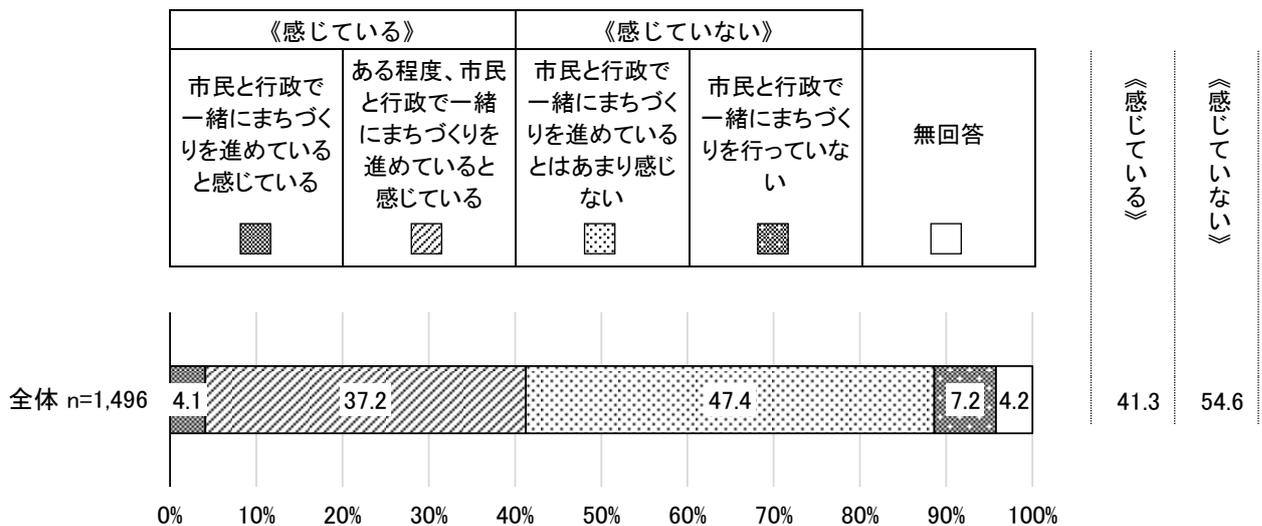
単位: %	医療や健康づくりに関する情報	災害時の対応の情報	ごみ・廃棄物の処理やリサイクル情報	福祉サービスに関する情報	文化施設や催し物の情報	子育て(支援)に関する情報
全体 n=1,496	47.0	36.0	30.7	22.3	15.8	15.5
【性別・年代別】						
男性 n=593	43.3	36.3	29.0	22.1	15.7	11.0
男性_18・19歳 n=4	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0
男性_20歳代 n=67	31.3	34.3	22.4	16.4	13.4	7.5
男性_30歳代 n=85	47.1	37.6	24.7	10.6	11.8	32.9
男性_40歳代 n=121	33.1	35.5	37.2	15.7	10.7	20.7
男性_50歳代 n=95	36.8	41.1	26.3	20.0	13.7	5.3
男性_60歳代 n=101	47.5	33.7	24.8	33.7	20.8	1.0
男性_70歳以上 n=118	58.5	34.7	33.9	33.1	22.0	0.8
女性 n=874	49.4	36.2	32.5	22.2	16.0	18.5
女性_18・19歳 n=13	46.2	46.2	23.1	0.0	15.4	7.7
女性_20歳代 n=109	41.3	26.6	22.0	6.4	12.8	21.1
女性_30歳代 n=160	36.3	33.1	35.0	10.0	13.8	51.3
女性_40歳代 n=171	46.8	30.4	30.4	20.5	17.5	28.1
女性_50歳代 n=110	57.3	41.8	42.7	26.4	14.5	3.6
女性_60歳代 n=137	55.5	42.3	31.4	32.8	16.8	1.5
女性_70歳以上 n=172	59.9	41.3	34.3	36.0	19.2	1.2

## (10) 市民・行政が協働したまちづくりの実態

◇ 《感じている》が41.3%

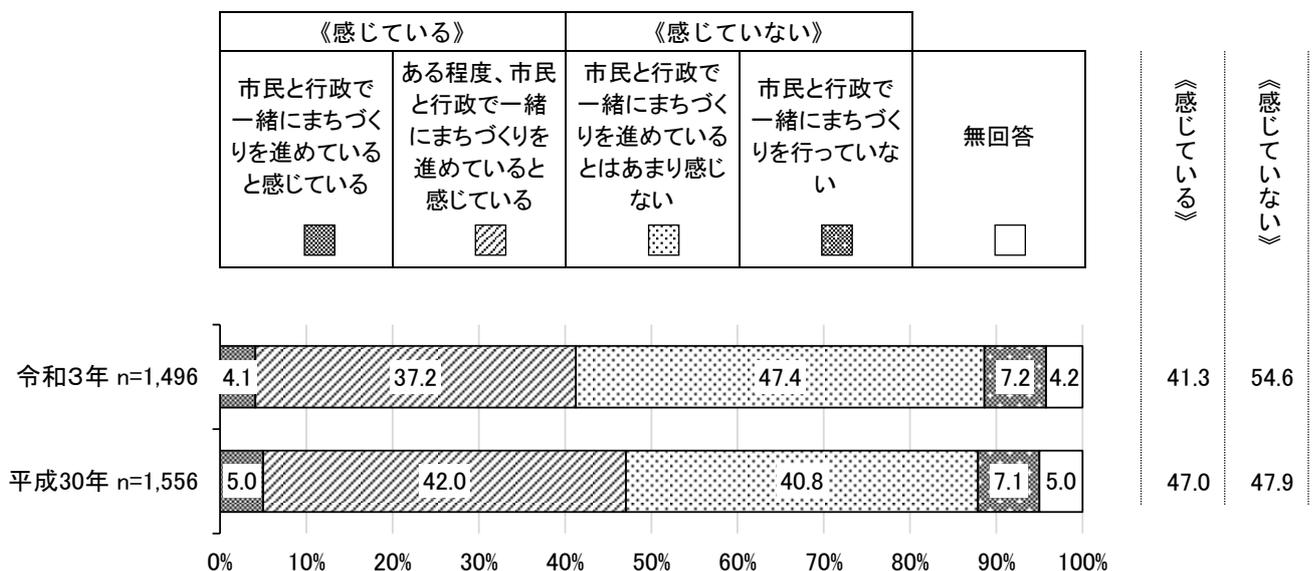
### 問 61 あなたは、市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じていますか。(1つのみ)

市民・行政が協働したまちづくりの実態については、「市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じている」、「ある程度、市民と行政と一緒にまちづくりを進めていると感じている」の合計値《感じている》が41.3%である一方、「市民と行政と一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない」、「市民と行政と一緒にまちづくりを行っていない」の合計値《感じていない》は54.6%と、《感じていない》が13.3ポイント上回っている。



### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《感じている》は前回調査より5.7ポイント減少し、《感じていない》は6.7ポイント増加している。



## ■居住地区別

居住地区別でみると、《感じている》は『山田地区』が49.4%で最も高く、次いで『芳野地区』が48.8%、『古谷地区』が46.6%となっている。一方で、《感じていない》は『霞ヶ関北地区』が66.7%で最も高く、次いで『川鶴地区』が61.3%、『高階地区』が59.3%となっている。

単位：%	《感じている》		《感じていない》		無回答	《感じている》 合計値	《感じていない》 合計値	
	市民と行政で一緒にまちづくりを進めていると感じている	ある程度、市民と行政と一緒にまちづくりを進めている	市民と行政で一緒にまちづくりを進めているとはあまり感じない	市民と行政で一緒にまちづくりを行っていない				
全体 n=1,496	4.1	37.2	47.4	7.2	4.2	41.3	54.6	
【居住地区別】								
本庁地区 n=316	4.4	37.7	50.6	5.1	2.2	42.1	55.7	
芳野地区 n=41	4.9	43.9	39.0	7.3	4.9	48.8	46.3	
古谷地区 n=58	5.2	41.4	43.1	5.2	5.2	46.6	48.3	
南古谷地区 n=135	3.0	40.0	47.4	7.4	2.2	43.0	54.8	
高階地区 n=189	4.8	33.9	51.9	7.4	2.1	38.7	59.3	
福原地区 n=78	3.8	35.9	41.0	12.8	6.4	39.7	53.8	
大東地区 n=139	5.0	36.7	45.3	8.6	4.3	41.7	53.9	
霞ヶ関地区 n=175	1.7	38.3	49.1	6.9	4.0	40.0	56.0	
川鶴地区 n=75	4.0	30.7	57.3	4.0	4.0	34.7	61.3	
霞ヶ関北地区 n=48	2.1	31.3	64.6	2.1	0.0	33.4	66.7	
名細地区 n=100	4.0	40.0	44.0	9.0	3.0	44.0	53.0	
山田地区 n=77	3.9	45.5	36.4	6.5	7.8	49.4	42.9	

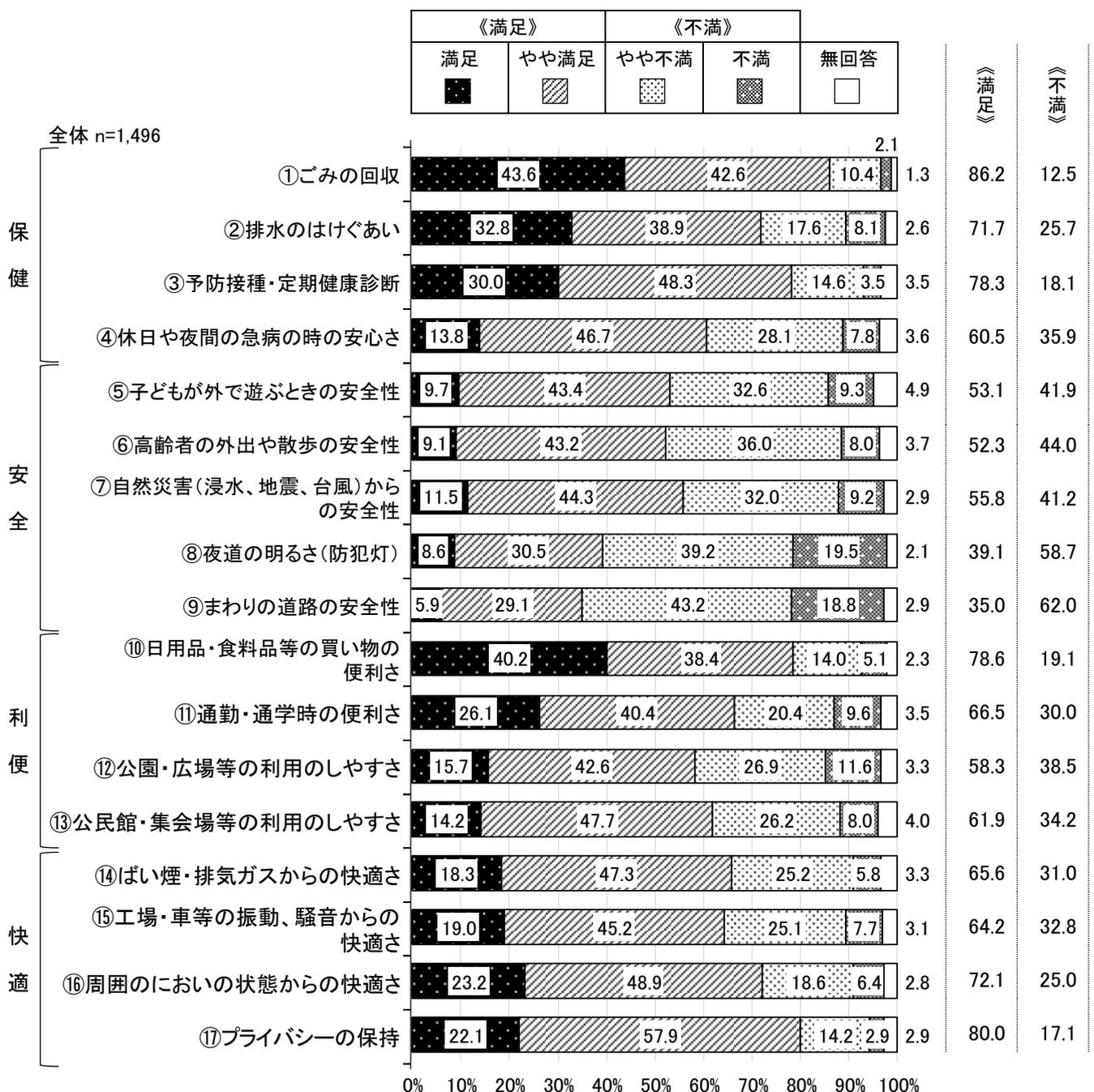
### (11) 地域の生活環境の満足度

◇17項目中15項目で《満足》が《不満》を上回っている

**問 62 あなたの住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。**

※①から⑰のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

地域の生活環境の満足度について、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》は、“保健の分野”では『ごみの回収』が86.2%、“安全の分野”では『⑦自然災害（浸水、地震、台風）からの安全性』が55.8%、“利便の分野”では『⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ』が78.6%、“快適の分野”では『⑰プライバシーの保持』が80.0%で最も高くなっている。一方で、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は、“安全の分野”の『⑨まわりの道路の安全性』が62.0%で最も高く、次いで同じく“安全の分野”の『⑧夜道の明るさ（防犯灯）』が58.7%となっており、この2項目のみ《不満》が《満足》を上回っている。



### ■居住地区別 地域の生活環境の満足度（評価点）

この質問では、項目間の比較を簡単にするため、下式のように5段階評価を与えて、各項目の評価点を算出した。

$$\text{評価点} = \frac{(\text{「満足」の回答者数} \times 2 \text{点}) + (\text{「やや満足」} \times 1 \text{点}) + (\text{「やや不満」} \times (-1 \text{点})) + (\text{「不満」} \times (-2 \text{点}))}{\text{回答者数} - \text{無回答}}$$

この算出方法では、評価点は-2.00点～+2.00点の間に分布し、0.00点が中間点であり、+2.00点に近いほど評価が良く、逆に-2.00点に近いほど評価が悪いことになる。

評価点を居住地区別にみると、“保健の分野”では、各項目ともすべての居住地区で評価点が0.00以上となっている。

“安全の分野”では、『⑧夜道の明るさ（防犯灯）』の評価点が0.00以上は本庁地区、川鶴地区となっている。特に古谷地区の評価点が低く-0.84となっている。

『⑨まわりの道路の安全性』の評価点が0.00以上は川鶴地区のみとなっている。特に古谷地区の評価点が低く-0.74となっている。

“利便の分野”では、『⑩日用品・食料品等の買物の便利さ』、『⑪通勤・通学時の便利さ』は芳野地区、古谷地区を除く10地区で評価点が0.00以上となっている。なお、評価点の最高と最低の差をみると、『⑩日用品・食料品等の買物の便利さ』が1.82、『⑪通勤・通学時の便利さ』が2.14と、他の項目と比べて差が大きくなっている。

『⑫公園の広場等の利用のしやすさ』は福原地区、山田地区を除く10地区で評価点が0.00以上となっている。

『⑬公民館・集会場等の利用のしやすさ』はすべての居住地区で評価点が0.00以上となっている。

“快適の分野”では、各項目ともすべての居住地区で評価点が0.00以上となっている。

①から⑰までの評価点の平均値である総合評価点で、すべての地区で評価点が0.00以上となっており、最も評価点が高いのは川鶴地区で0.77、最も評価点が高いのは古谷地区で0.08となっている。

Ⅲ 調査結果の分析

項目	地区														評価点の 最高と最低の 差
	市全体	本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区	山田地区		
保健	①ごみの回収	1.17	1.23	1.15	1.11	1.05	1.12	1.06	1.26	1.39	1.26	1.00	1.14	1.13	0.39
	②排水のはけぐあい	0.73	1.10	0.67	0.51	0.39	0.56	0.38	0.74	0.71	1.00	0.60	1.01	0.23	0.87
	③予防接種・定期健康診断	0.90	1.01	1.13	0.55	0.85	0.70	0.73	0.92	1.01	1.15	0.77	1.00	0.82	0.60
	④休日や夜間の急病の時の安心さ	0.32	0.46	0.79	0.25	0.42	0.30	0.31	0.14	0.20	0.34	0.11	0.16	0.36	0.69
安全	⑤子どもが外で遊ぶときの安全性	0.12	-0.04	0.36	0.22	0.22	-0.06	0.05	0.08	0.36	0.60	0.25	0.20	-0.09	0.69
	⑥高齢者の外出や散歩の安全性	0.10	0.04	0.33	0.02	0.19	-0.09	-0.21	0.12	0.21	0.52	0.33	0.19	-0.09	0.73
	⑦自然災害(浸水、地震、台風)からの安全性	0.17	0.42	0.23	-0.46	-0.30	0.03	0.16	0.39	0.36	0.73	0.17	0.15	-0.34	1.20
	⑧夜道の明るさ(防犯灯)	-0.31	0.00	-0.58	-0.84	-0.63	-0.33	-0.47	-0.55	-0.27	0.10	-0.02	-0.16	-0.51	0.94
	⑨まわりの道路の安全性	-0.41	-0.24	-0.56	-0.74	-0.50	-0.59	-0.65	-0.61	-0.25	0.03	-0.11	-0.26	-0.68	0.77
利便	⑩日用品・食料品等の買い物の便利さ	0.97	1.49	-0.33	-0.04	1.11	0.91	0.74	0.87	1.01	1.21	1.35	0.50	0.67	1.82
	⑪通勤・通学時の便利さ	0.55	1.20	-0.95	-0.55	0.33	0.64	0.03	0.47	0.54	0.63	0.89	0.41	0.04	2.14
	⑫公園・広場等の利用のしやすさ	0.25	0.25	0.18	0.15	0.18	0.20	-0.29	0.31	0.44	0.86	0.38	0.34	-0.30	1.16
	⑬公民館・集会場等の利用のしやすさ	0.35	0.36	0.45	0.16	0.32	0.33	0.17	0.38	0.45	0.77	0.24	0.37	0.20	0.61
快適	⑭ばい煙・排気ガスからの快適さ	0.49	0.38	0.38	0.20	0.55	0.58	0.55	0.39	0.51	1.00	0.65	0.62	0.20	0.80
	⑮工場・車等の振動、騒音からの快適さ	0.44	0.41	0.28	0.09	0.51	0.65	0.47	0.20	0.49	0.83	0.44	0.65	0.12	0.75
	⑯周囲のにおいの状態からの快適さ	0.66	0.79	0.15	0.25	0.65	0.85	0.46	0.55	0.68	1.00	0.72	0.71	0.22	0.85
	⑰プライバシーの保持	0.85	0.84	0.93	0.52	0.85	0.81	0.81	0.85	0.92	1.10	0.93	0.99	0.62	0.58
総合評価点		0.43	0.57	0.27	0.08	0.36	0.39	0.25	0.38	0.52	0.77	0.51	0.47	0.15	0.69

※  は、評価点の最高値、 は、評価点の最低値。

※総合評価点は各項目の評価点の平均値。

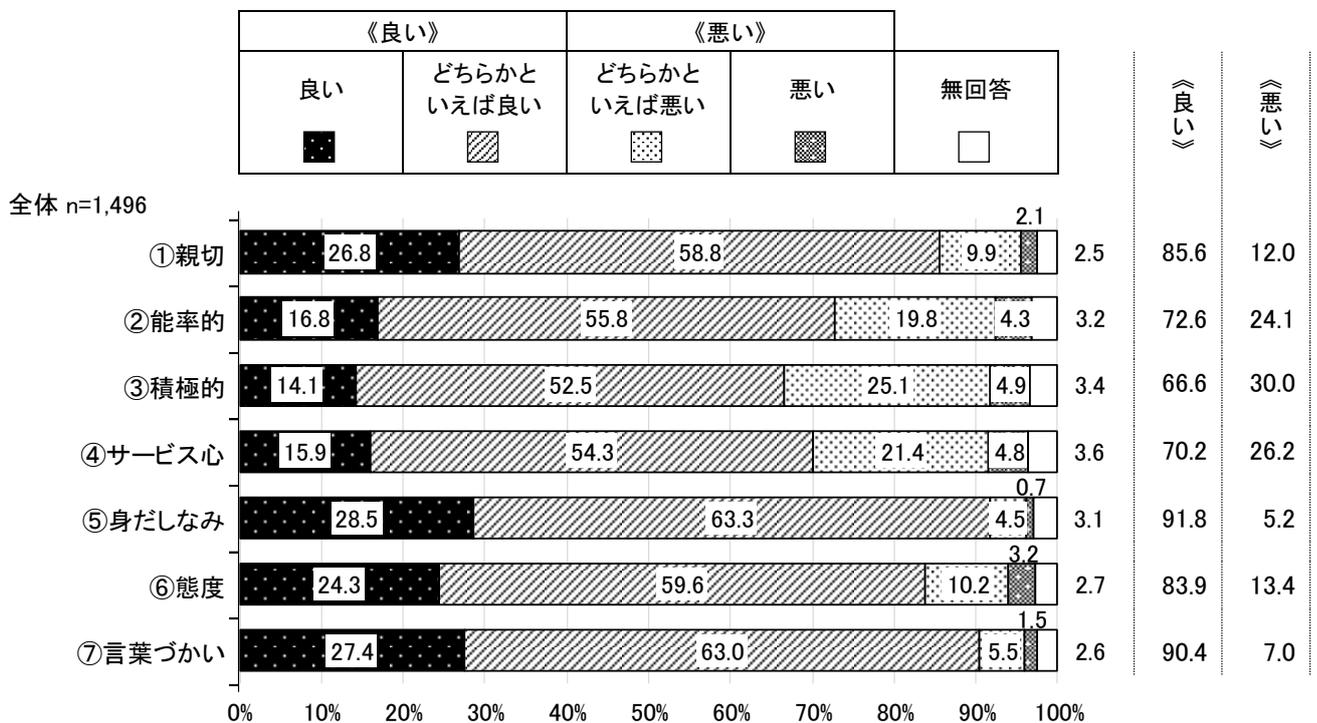
(12) 市職員へのイメージ

◇ 《良い》:「身だしなみ」が91.8%

問 63 市役所職員のイメージについてどう思いますか。それぞれのイメージについて評価してください。

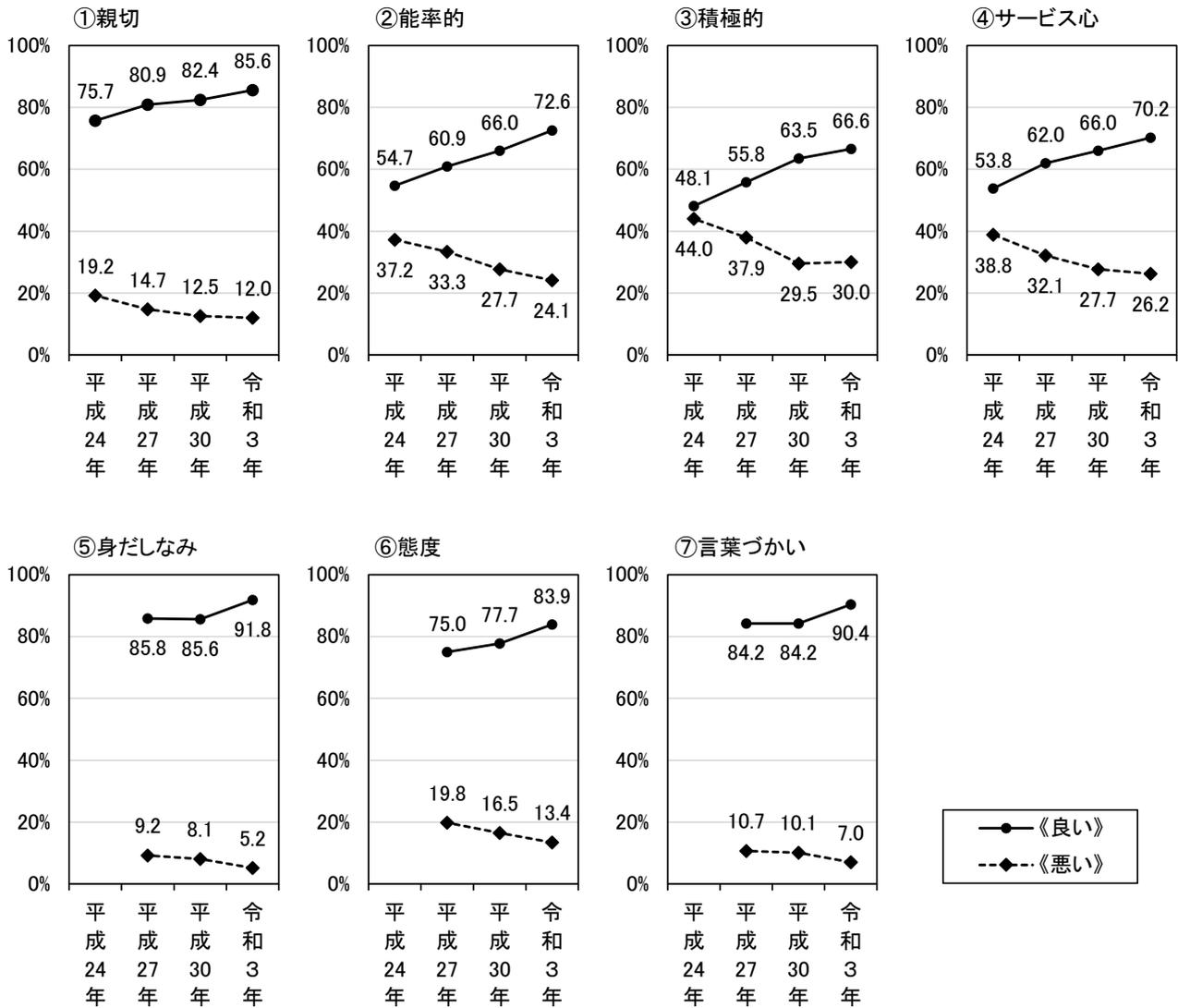
※①から⑦のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

市職員へのイメージについて、「良い」、「どちらかといえば良い」の合計値《良い》は、『⑤身だしなみ』が91.8%で最も高く、次いで『⑦言葉づかい』が90.4%、『①親切』が85.6%となっている。一方で、「どちらかといえば悪い」、「悪い」の合計値《悪い》は、『③積極的』が30.0%で最も高く、次いで『④サービス心』が26.2%、『②能率的』が24.1%となっている。



■時系列での比較

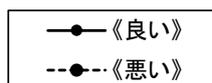
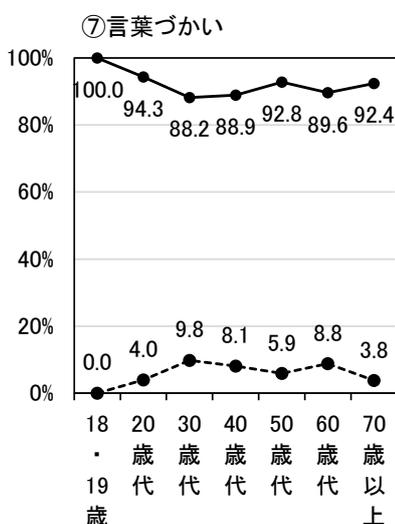
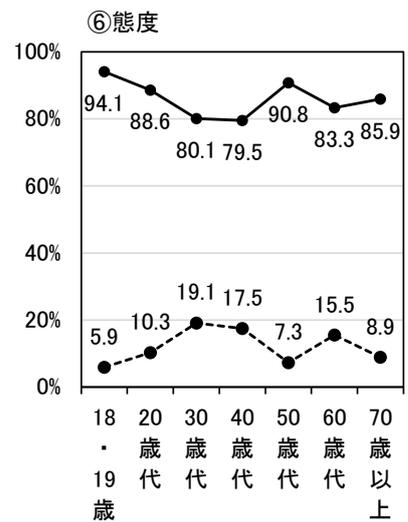
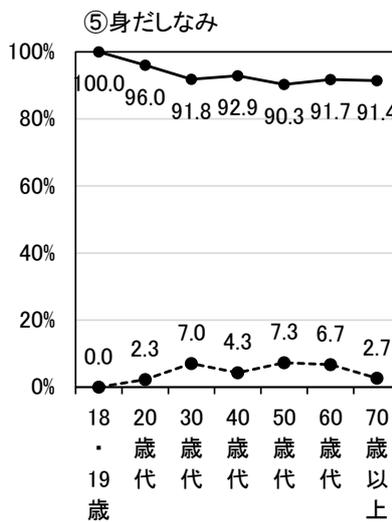
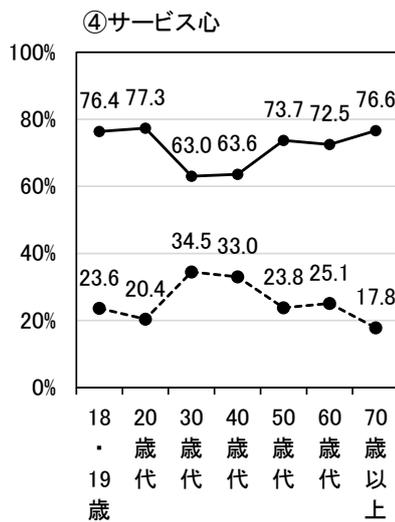
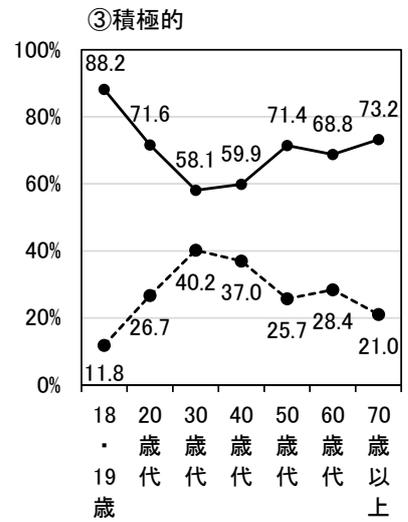
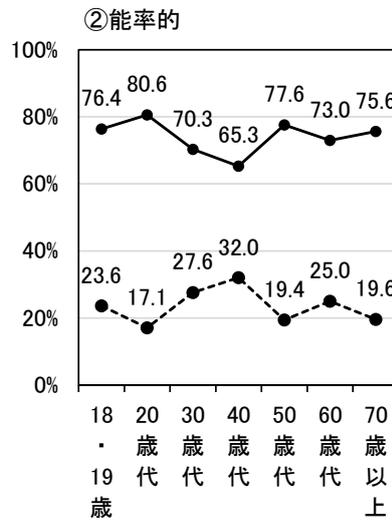
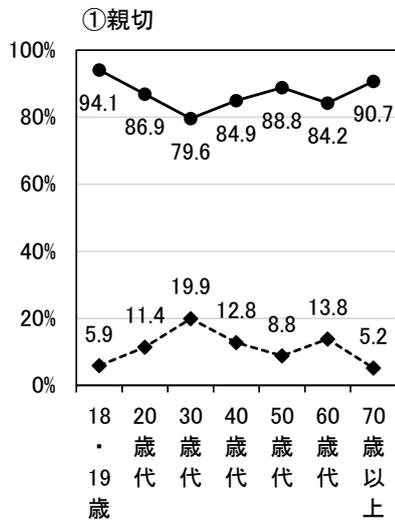
時系列で《良い》をみると、すべての項目で前回調査より増加している。



※「⑤身だしなみ」、「⑥態度」、「⑦言葉づかい」は、平成27年から追加された選択肢。

■年代別

年代別で《良い》をみると、『⑤身だしなみ』はすべての年代で9割台となっている。

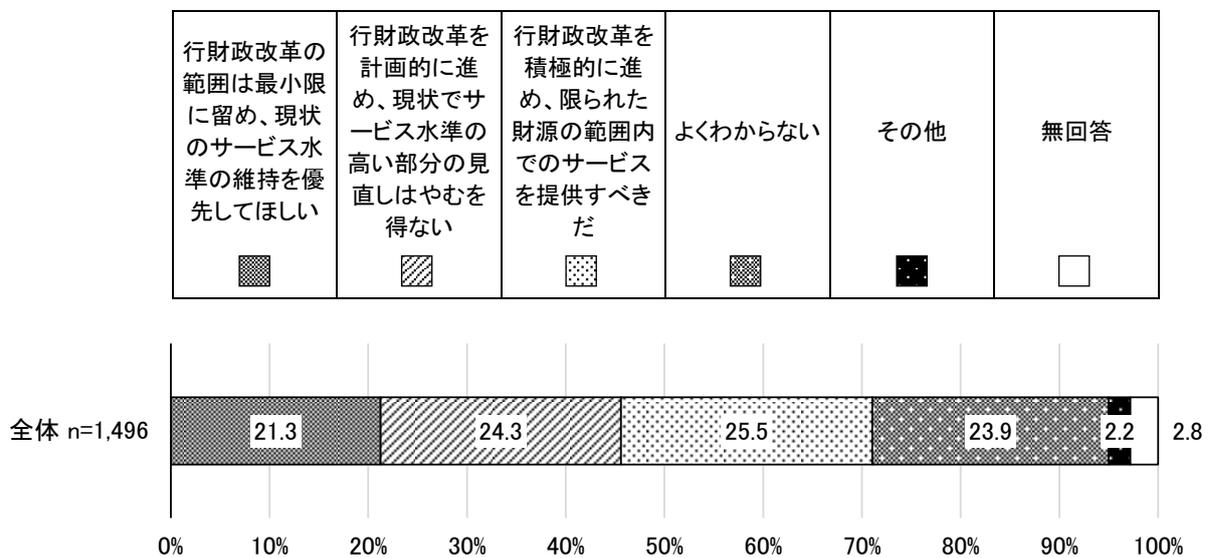


### (13) 行財政改革と行政サービスのあり方

◇「行財政改革を積極的に進め、限られた財源の範囲内のサービスを提供すべきだ」が 25.5%

#### 問 64 持続可能な行財政運営を行うため、行財政改革と行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。(1つのみ)

行財政改革と行政サービスのあり方については、「行財政改革を積極的に進め、限られた財源の範囲内のサービスを提供すべきだ」が 25.5%で最も高く、次いで「行財政改革を計画的に進め、現状でサービス水準の高い部分の見直しはやむを得ない」が 24.3%、「行財政改革の範囲は最小限に留め、現状のサービス水準の維持を優先してほしい」が 21.3%となっている。なお、「よくわからない」は 23.9%となっている。

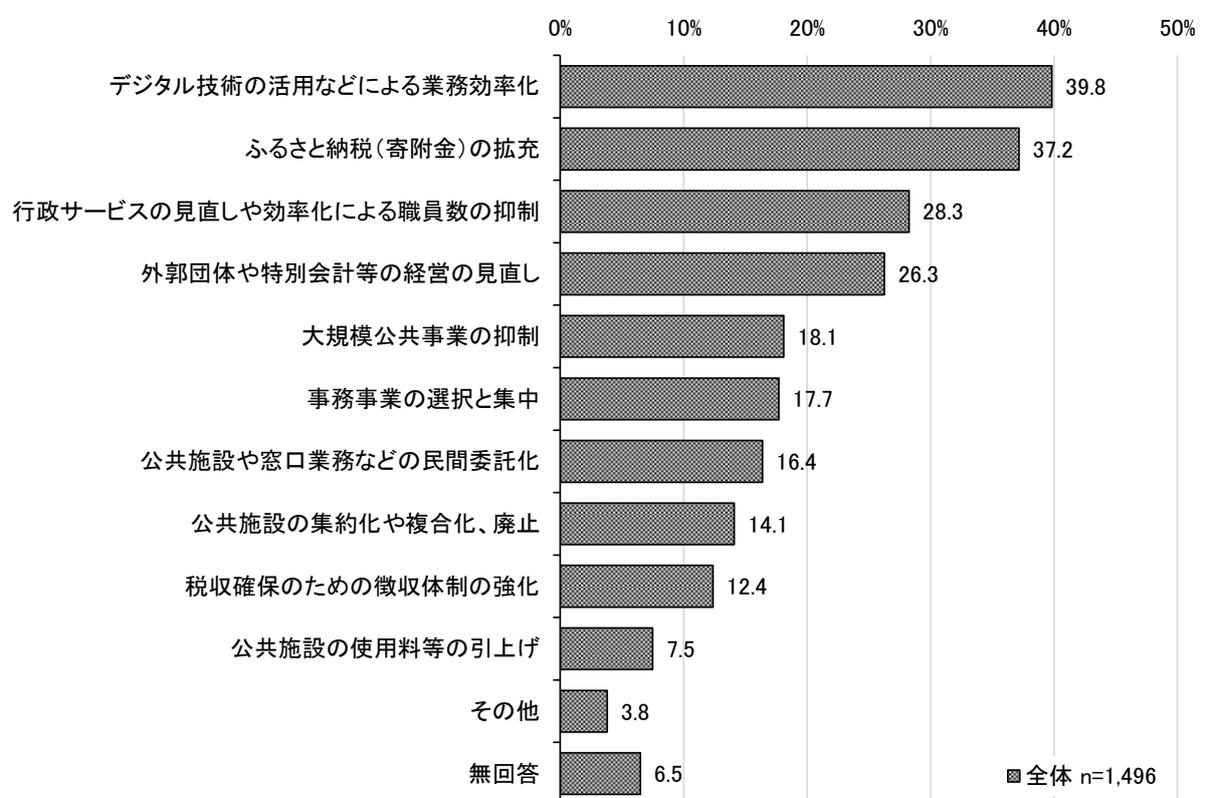


## (14) 行財政改革の推進のために必要な取組

◇「デジタル技術の活用などによる業務効率化」が39.8%

**問 65 川越市が行財政改革を推進する上で、あなたが重点的に取り組む必要があると思うものは何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

行財政改革の推進のために必要な取組については、「デジタル技術の活用などによる業務効率化」が39.8%で最も高く、次いで「ふるさと納税（寄附金）の拡充」が37.2%、「行政サービスの見直しや効率化による職員数の抑制」が28.3%、「外郭団体や特別会計等の経営の見直し」が26.3%となっている。



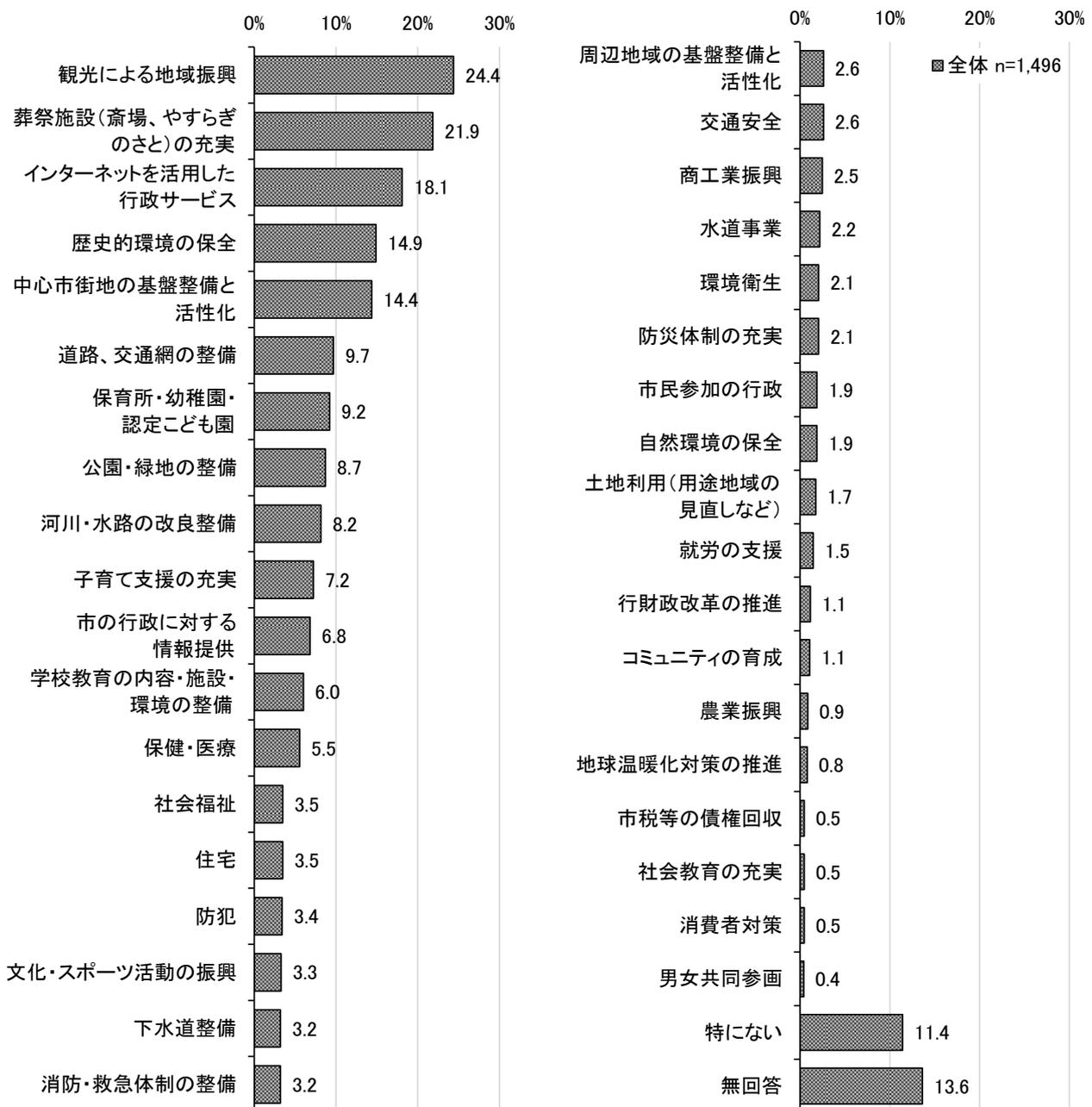
(15) よくなってきた市の施策／力を入れるべき市の施策

◇よくなってきた市の施策：「観光による地域振興」が24.4%  
 ◇力を入れるべき市の施策：「道路、交通網の整備」が20.3%

問 66 市政全般について、「よくなってきた施策」、また、「力を入れるべき施策」をそれぞれ3つずつ選んで回答欄に番号を記入してください。

■ よくなってきた施策

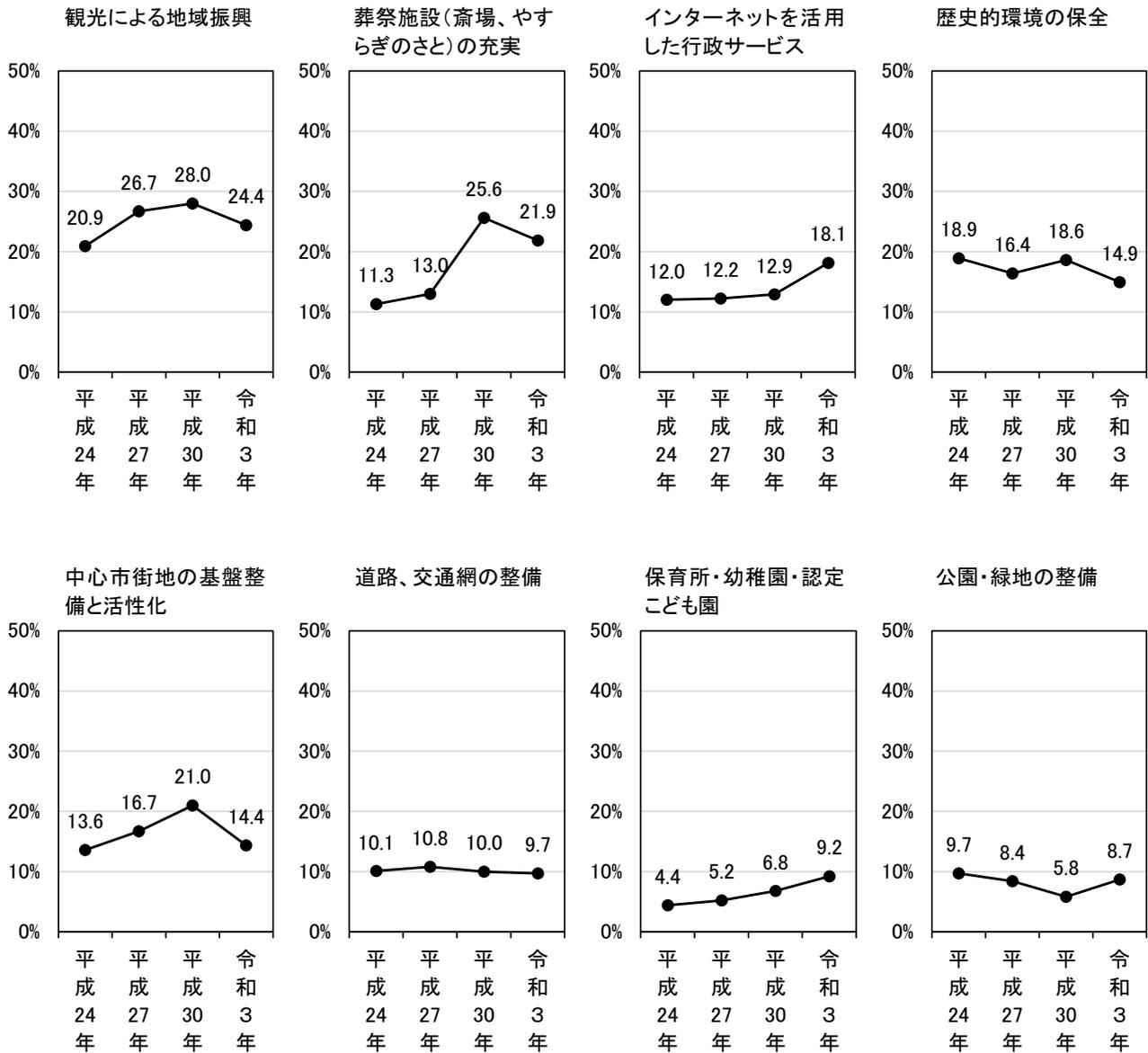
よくなってきた市の施策については、「観光による地域振興」が24.4%で最も高く、次いで「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」が21.9%、「インターネットを活用した行政サービス」が18.1%、「歴史的環境の保全」が14.9%となっている。



■時系列での比較（上位8項目）

上位8項目を時系列でみると、「インターネットを活用した行政サービス」、「保育所・幼稚園・認定こども園」は増加傾向となっている。

「観光による地域振興」、「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」、「中心市街地の基盤整備と活性化」は平成30年まで増加傾向であったものの、令和3年には減少傾向に転じている。



■居住地区別（上位5位）

居住地区別に上位5位の項目をみると、「観光による地域振興」が1位となっている居住地区が多く、『本庁地区』、『大東地区』、『霞ヶ関地区』、『川鶴地区』、『霞ヶ関北地区』、『名細地区』、『山田地区』の7地区で1位となっている。

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,496		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	中心市街地の基盤整備と活性化
		24.4%	21.9%	18.1%	14.9%	14.4%
【居住地区別】						
本庁地区 n=316		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	歴史的環境の保全	インターネットを活用した行政サービス／中心市街地の基盤整備と活性化	
		32.3%	26.9%	24.4%	20.3%	
芳野地区 n=41		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	歴史的環境の保全	観光による地域振興	中心市街地の基盤整備と活性化	インターネットを活用した行政サービス／保育所・幼稚園・認定こども園／公園・緑地の整備
		29.3%	22.0%	19.5%	14.6%	12.2%
古谷地区 n=58		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	観光による地域振興／中心市街地の基盤整備と活性化		歴史的環境の保全／保育所・幼稚園・認定こども園	
		31.0%	20.7%		15.5%	
南古谷地区 n=135		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス	観光による地域振興	保育所・幼稚園・認定こども園	道路、交通網の整備
		27.4%	23.0%	20.0%	17.0%	12.6%
高階地区 n=189		インターネットを活用した行政サービス	観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	歴史的環境の保全／中心市街地の基盤整備と活性化／河川・水路の改良整備	
		20.6%	18.5%	18.0%	12.7%	
福原地区 n=78		葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	観光による地域振興／河川・水路の改良整備		インターネットを活用した行政サービス	市の行政に対する情報提供
		17.9%	15.4%		12.8%	11.5%
大東地区 n=139		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全	公園・緑地の整備
		25.9%	18.0%	15.8%	12.2%	11.5%
霞ヶ関地区 n=175		観光による地域振興	インターネットを活用した行政サービス	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	歴史的環境の保全	中心市街地の基盤整備と活性化
		21.7%	20.0%	19.4%	13.1%	12.0%
川鶴地区 n=75		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	中心市街地の基盤整備と活性化	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全
		22.7%	20.0%	17.3%	16.0%	13.3%
霞ヶ関北地区 n=48		観光による地域振興	中心市街地の基盤整備と活性化	インターネットを活用した行政サービス	河川・水路の改良整備	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実
		33.3%	20.8%	18.8%	16.7%	14.6%
名細地区 n=100		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス／中心市街地の基盤整備と活性化		歴史的環境の保全
		33.0%	20.0%	19.0%		14.0%
山田地区 n=77		観光による地域振興	葬祭施設(斎場、やすらぎのさと)の充実	インターネットを活用した行政サービス	歴史的環境の保全／中心市街地の基盤整備と活性化／道路、交通網の整備	
		29.9%	24.7%	22.1%	14.3%	

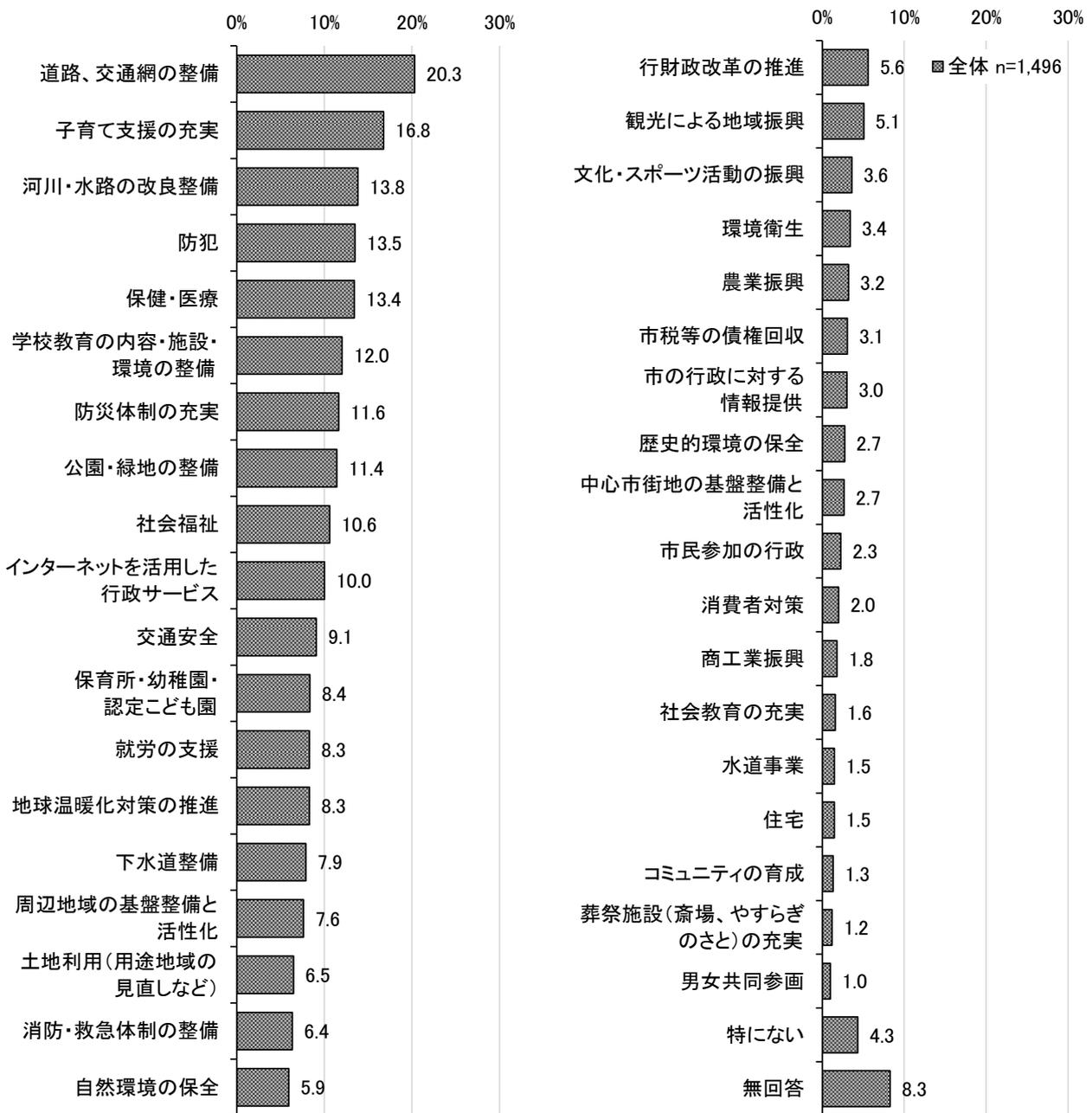
## ■性別・年代別（上位5位）

性別・年代別に上位5位の項目をみると、男性20歳代、男性40歳代、男性50歳代、女性の20歳代から40歳代では「観光による地域振興」が1位となっている。一方で、年代が高くなると、男性60歳代、男性70歳以上、女性の50歳代から70歳以上では「葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実」が1位となっている。

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,496		観光による地域振興 24.4%	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 21.9%	インターネットを活用した行政サービス 18.1%	歴史的環境の保全 14.9%	中心市街地の基盤整備と活性化 14.4%
【性別・年代別】						
男性 n=593		観光による地域振興 25.0%	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 21.4%	インターネットを活用した行政サービス ／歴史的環境の保全 17.5%	中心市街地の基盤整備と活性化 15.0%	
男性_18・19歳 n=4		観光による地域振興 50.0%	インターネットを活用した行政サービス／歴史的環境の保全／中心市街地の基盤整備と活性化／保育所・幼稚園・認定こども園 25.0%			
男性_20歳代 n=67		観光による地域振興 26.9%	インターネットを活用した行政サービス 23.9%	歴史的環境の保全／中心市街地の基盤整備と活性化／道路、交通網の整備 14.9%		
男性_30歳代 n=85		インターネットを活用した行政サービス 21.2%	観光による地域振興 20.0%	歴史的環境の保全 17.6%	保育所・幼稚園・認定こども園 15.3%	中心市街地の基盤整備と活性化／道路、交通網の整備 12.9%
男性_40歳代 n=121		観光による地域振興 30.6%	インターネットを活用した行政サービス 19.8%	歴史的環境の保全／道路、交通網の整備 19.0%		葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 16.5%
男性_50歳代 n=95		観光による地域振興 23.2%	歴史的環境の保全 21.1%	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 20.0%	中心市街地の基盤整備と活性化 17.9%	インターネットを活用した行政サービス 15.8%
男性_60歳代 n=101		葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 29.7%	観光による地域振興 25.7%	インターネットを活用した行政サービス 19.8%	中心市街地の基盤整備と活性化 16.8%	歴史的環境の保全 14.9%
男性_70歳以上 n=118		葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 33.9%	観光による地域振興 21.2%	歴史的環境の保全／中心市街地の基盤整備と活性化 16.1%		市の行政に対する情報提供 14.4%
女性 n=874		観光による地域振興 24.5%	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 22.4%	インターネットを活用した行政サービス 18.9%	中心市街地の基盤整備と活性化 14.3%	歴史的環境の保全 13.4%
女性_18・19歳 n=13		インターネットを活用した行政サービス 38.5%	観光による地域振興／歴史的環境の保全／道路、交通網の整備 30.8%	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実／中心市街地の基盤整備と活性化／学校教育の内容・施設・環境の整備 15.4%		
女性_20歳代 n=109		観光による地域振興 28.4%	インターネットを活用した行政サービス 22.9%	中心市街地の基盤整備と活性化 17.4%	歴史的環境の保全 13.8%	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 9.2%
女性_30歳代 n=160		観光による地域振興 28.8%	インターネットを活用した行政サービス 19.4%	保育所・幼稚園・認定こども園 16.3%	葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 12.5%	歴史的環境の保全 11.9%
女性_40歳代 n=171		観光による地域振興／葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 24.6%		インターネットを活用した行政サービス 23.4%	保育所・幼稚園・認定こども園 15.8%	中心市街地の基盤整備と活性化 14.6%
女性_50歳代 n=110		葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 29.1%	観光による地域振興 26.4%	インターネットを活用した行政サービス 25.5%	歴史的環境の保全／中心市街地の基盤整備と活性化 17.3%	
女性_60歳代 n=137		葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 28.5%	観光による地域振興 22.6%	中心市街地の基盤整備と活性化 18.2%	インターネットを活用した行政サービス 14.6%	歴史的環境の保全 11.7%
女性_70歳以上 n=172		葬祭施設（斎場、やすらぎのさと）の充実 29.7%	観光による地域振興 18.0%	歴史的環境の保全 13.4%	中心市街地の基盤整備と活性化／河川・水路の改良整備／市の行政に対する情報提供 10.5%	

■力を入れるべき施策

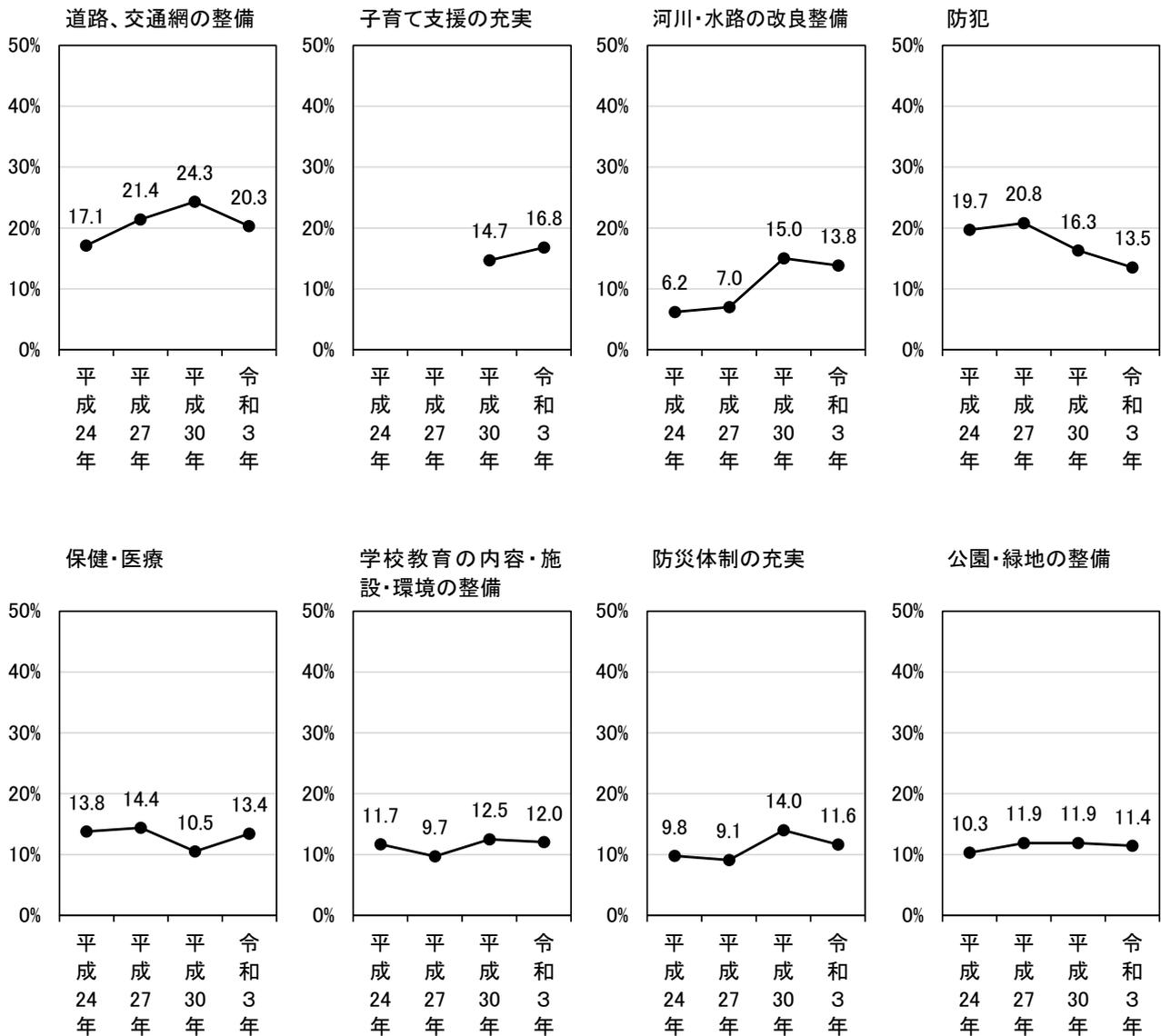
力を入れるべき施策については、「道路、交通網の整備」が20.3%で最も高く、次いで「子育て支援の充実」が16.8%、「河川・水路の改良整備」が13.8%、「防犯」が13.5%となっている。



■時系列での比較（上位8項目）

上位8項目を時系列で見ると、「子育て支援の充実」は増加傾向である一方、「防犯」は減少傾向となっている。

「道路、交通網の整備」は平成30年まで増加傾向であったものの、令和3年には減少傾向に転じている。



※「子育て支援の充実」は、平成30年から追加された選択肢。

■居住地区別（上位5位）

居住地区別に上位5位の項目をみると、「道路、交通網の整備」が1位となっている居住地区が多く、『芳野地区』、『南古谷地区』、『高階地区』、『福原地区』、『霞ヶ関地区』、『霞ヶ関北地区』の6地区で1位となっている。

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,496		道路、交通網の整備	子育て支援の充実	河川・水路の改良整備	防犯	保健・医療
		20.3%	16.8%	13.8%	13.5%	13.4%
【居住地区別】						
本庁地区 n=316		子育て支援の充実	道路、交通網の整備	防犯／保健・医療		インターネットを活用した行政サービス
		18.4%	16.8%	15.8%		13.9%
芳野地区 n=41		道路、交通網の整備／防犯		交通安全／就労の支援		保育所・幼稚園・認定こども園／周辺地域の基盤整備と活性化／農業振興
		24.4%		14.6%		12.2%
古谷地区 n=58		河川・水路の改良整備	保健・医療	道路、交通網の整備／周辺地域の基盤整備と活性化		防災体制の充実
		22.4%	20.7%	17.2%		13.8%
南古谷地区 n=135		道路、交通網の整備	河川・水路の改良整備	保健・医療	公園・緑地の整備	防犯／防災体制の充実
		23.0%	22.2%	16.3%	14.8%	12.6%
高階地区 n=189		道路、交通網の整備	河川・水路の改良整備	子育て支援の充実／防犯		公園・緑地の整備
		24.3%	17.5%	14.8%		11.6%
福原地区 n=78		道路、交通網の整備	子育て支援の充実	学校教育の内容・施設・環境の整備	保健・医療	公園・緑地の整備／保育所・幼稚園・認定こども園
		25.6%	24.4%	19.2%	17.9%	15.4%
大東地区 n=139		子育て支援の充実	道路、交通網の整備	防犯／公園・緑地の整備		学校教育の内容・施設・環境の整備
		21.6%	18.0%	15.8%		12.9%
霞ヶ関地区 n=175		道路、交通網の整備	子育て支援の充実	社会福祉	防犯	保健・医療
		23.4%	18.9%	15.4%	12.6%	11.4%
川鶴地区 n=75		子育て支援の充実	社会福祉	道路、交通網の整備	保健・医療／防災体制の充実／地球温暖化対策の推進	
		25.3%	14.7%	13.3%	12.0%	
霞ヶ関北地区 n=48		道路、交通網の整備	インターネットを活用した行政サービス	防災体制の充実	保健・医療／就労の支援／消防・救急体制の整備	
		25.0%	20.8%	16.7%	14.6%	
名細地区 n=100		河川・水路の改良整備	子育て支援の充実	防災体制の充実	道路、交通網の整備／学校教育の内容・施設・環境の整備	
		18.0%	17.0%	16.0%	15.0%	
山田地区 n=77		河川・水路の改良整備	道路、交通網の整備	学校教育の内容・施設・環境の整備	防災体制の充実	防犯／交通安全
		28.6%	27.3%	20.8%	18.2%	14.3%

■性別・年代別（上位5位）

性別・年代別に上位5位の項目をみると、「道路、交通網の整備」が1位となっている年代が多く、男性20歳代、男性50歳代、男性60歳代、女性の50歳代から70歳以上で1位となっている。また、「子育て支援の充実」では、男性30歳代、男性40歳代、女性20歳代、女性30歳代で1位となっている。

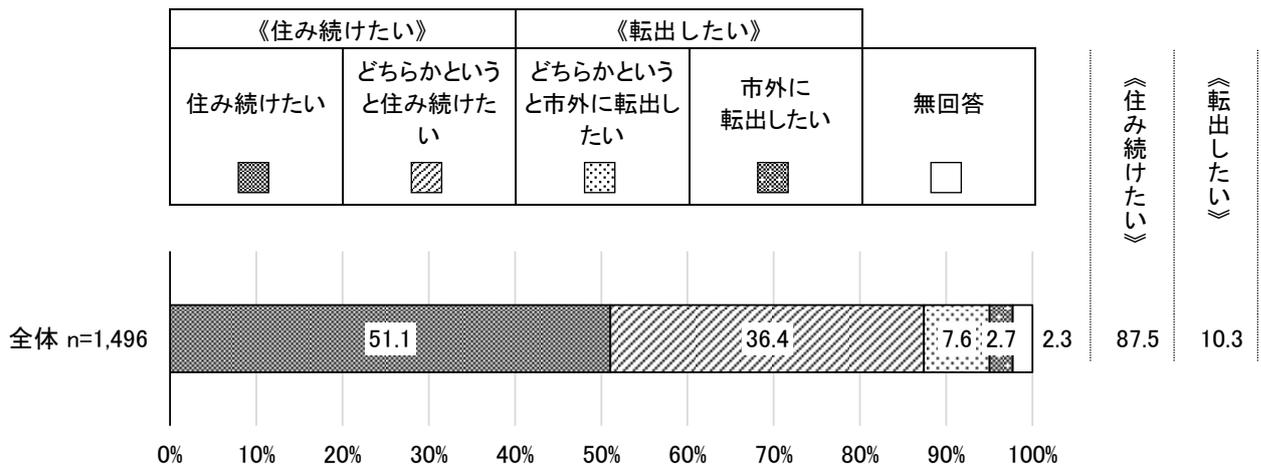
属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 n=1,496		道路、交通網の整備 20.3%	子育て支援の充実 16.8%	河川・水路の改良整備 13.8%	防犯 13.5%	保健・医療 13.4%
【性別・年代別】						
男性 n=593		道路、交通網の整備 20.1%	子育て支援の充実 16.4%	河川・水路の改良整備 16.2%	インターネットを活用した行政サービス 14.0%	保健・医療 12.8%
男性_18・19歳 n=4		道路、交通網の整備／学校教育の内容・施設・環境の整備／防災体制の充実／社会福祉／交通安全／土地利用（用途地域の見直しなど）／観光による地域振興／市の行政に対する情報提供／中心市街地の基盤整備と活性化 25.0%				
男性_20歳代 n=67		道路、交通網の整備 29.9%	インターネットを活用した行政サービス 19.4%	就労の支援 17.9%	子育て支援の充実／防犯 16.4%	
男性_30歳代 n=85		子育て支援の充実 36.5%	道路、交通網の整備 17.6%	河川・水路の改良整備 16.5%	インターネットを活用した行政サービス／保育所・幼稚園・認定こども園 15.3%	
男性_40歳代 n=121		子育て支援の充実 21.5%	インターネットを活用した行政サービス 18.2%	河川・水路の改良整備 17.4%	道路、交通網の整備 15.7%	保健・医療 14.0%
男性_50歳代 n=95		道路、交通網の整備 24.2%	防犯 17.9%	インターネットを活用した行政サービス 13.7%	河川・水路の改良整備／行財政改革の推進 12.6%	
男性_60歳代 n=101		道路、交通網の整備 19.8%	周辺地域の基盤整備と活性化 16.8%	社会福祉 15.8%	防災体制の充実／公園・緑地の整備 14.9%	
男性_70歳以上 n=118		河川・水路の改良整備 22.9%	道路、交通網の整備 17.8%	保健・医療／防災体制の充実／地球温暖化対策の推進 15.3%		
女性 n=874		道路、交通網の整備 20.5%	子育て支援の充実 17.4%	防犯／学校教育の内容・施設・環境の整備 14.5%	保健・医療 13.8%	
女性_18・19歳 n=13		学校教育の内容・施設・環境の整備／防災体制の充実 23.1%			保健・医療／公園・緑地の整備／社会福祉／就労の支援／地球温暖化対策の推進／下水道整備／周辺地域の基盤整備と活性化／自然環境の保全／文化・スポーツ活動の振興／社会教育の充実 15.4%	
女性_20歳代 n=109		子育て支援の充実 26.6%	防犯 21.1%	道路、交通網の整備／保育所・幼稚園・認定こども園 16.5%		保健・医療 13.8%
女性_30歳代 n=160		子育て支援の充実 35.0%	道路、交通網の整備 25.0%	学校教育の内容・施設・環境の整備 19.4%	保育所・幼稚園・認定こども園 16.9%	保健・医療 15.0%
女性_40歳代 n=171		学校教育の内容・施設・環境の整備 24.6%	道路、交通網の整備 19.3%	子育て支援の充実 18.7%	防犯 15.8%	河川・水路の改良整備／公園・緑地の整備 14.0%
女性_50歳代 n=110		道路、交通網の整備 23.6%	保健・医療 20.0%	防犯 18.2%	社会福祉 16.4%	地球温暖化対策の推進 12.7%
女性_60歳代 n=137		道路、交通網の整備 19.0%	河川・水路の改良整備／保健・医療 14.6%		公園・緑地の整備 13.4%	地球温暖化対策の推進 12.2%
女性_70歳以上 n=172		道路、交通網の整備 20.9%	河川・水路の改良整備／防災体制の充実 15.7%		公園・緑地の整備 13.4%	地球温暖化対策の推進 12.2%

### (16) 川越市への定住意向

◇ 《住み続けたい》が87.5%

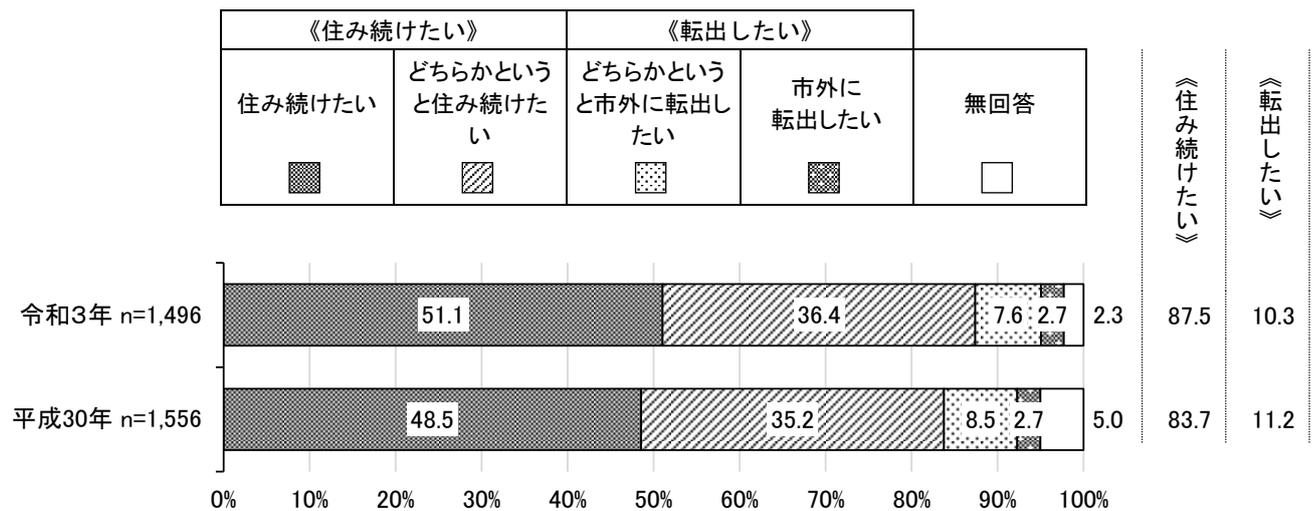
**問 67 あなたは、これからもずっと川越市に住み続けたいと思いますか。それともよそに移りたいと思いますか。(1つのみ)**

川越市への定住意向については、「住み続けたい」、「どちらかというに住み続けたい」の合計値《住み続けたい》が87.5%である一方、「どちらかというに市外に転出したい」、「市外に転出したい」の合計値《転出したい》は10.3%と、《住み続けたい》が77.2ポイント上回っている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《住み続けたい》は前回調査より3.8ポイント増加し、《転出したい》は0.9ポイント減少している。



## ■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、《住み続けたい》は女性70歳以上で9割半ばと高くなっている。一方で、《転出したい》は女性20歳代で2割を超えて高くなっている。

単位:%	《住み続けたい》		《転出したい》		無回答	《住み続けたい》 合計値	《転出したい》 合計値
	住み続けたい	どちらかという と住み続けたい	どちらかという と市外に転出したい	市外に転出したい			
全体 n=1,496	51.1	36.4	7.6	2.7	2.3	87.5	10.3
【性別・年代別】							
男性 n=593	53.5	37.1	6.1	2.2	1.2	90.6	8.3
男性_18・19歳 n=4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0
男性_20歳代 n=67	40.3	44.8	7.5	7.5	0.0	85.1	15.0
男性_30歳代 n=85	43.5	42.4	10.6	3.5	0.0	85.9	14.1
男性_40歳代 n=121	47.9	45.5	6.6	0.0	0.0	93.4	6.6
男性_50歳代 n=95	65.3	26.3	6.3	1.1	1.1	91.6	7.4
男性_60歳代 n=101	58.4	32.7	5.0	1.0	3.0	91.1	6.0
男性_70歳以上 n=118	61.0	32.2	1.7	2.5	2.5	93.2	4.2
女性 n=874	49.8	36.3	8.7	3.1	2.2	86.1	11.8
女性_18・19歳 n=13	69.2	23.1	7.7	0.0	0.0	92.3	7.7
女性_20歳代 n=109	29.4	47.7	14.7	7.3	0.9	77.1	22.0
女性_30歳代 n=160	35.0	46.9	13.8	3.1	1.3	81.9	16.9
女性_40歳代 n=171	46.8	38.6	9.9	2.3	2.3	85.4	12.2
女性_50歳代 n=110	48.2	34.5	9.1	5.5	2.7	82.7	14.6
女性_60歳代 n=137	60.6	30.7	5.1	0.7	2.9	91.3	5.8
女性_70歳以上 n=172	70.3	23.8	1.7	1.7	2.3	94.1	3.4

■ 居住地区別

居住地区別でみると、《住み続けたい》は『霞ヶ関北地区』が91.7%で最も高く、次いで『名細地区』が91.0%、『本庁地区』が90.5%となっている。一方で、《転出したい》は『古谷地区』が17.2%で最も高く、次いで『福原地区』が12.9%、『大東地区』が11.5%となっている。

単位：%	《住み続けたい》		《転出したい》		無回答	《住み続けたい》 合計値	《転出したい》 合計値
	住み続けたい	どちらかという と住み続けたい	どちらかという と市外に転出したい	市外に転出したい			
全体 n=1,496	51.1	36.4	7.6	2.7	2.3	87.5	10.3
【居住地区別】							
本庁地区 n=316	58.9	31.6	6.0	2.2	1.3	90.5	8.2
芳野地区 n=41	46.3	43.9	7.3	2.4	0.0	90.2	9.7
古谷地区 n=58	48.3	32.8	10.3	6.9	1.7	81.1	17.2
南古谷地区 n=135	48.9	37.8	6.7	3.7	3.0	86.7	10.4
高階地区 n=189	45.5	42.9	7.4	2.6	1.6	88.4	10.0
福原地区 n=78	51.3	34.6	10.3	2.6	1.3	85.9	12.9
大東地区 n=139	50.4	36.7	7.9	3.6	1.4	87.1	11.5
霞ヶ関地区 n=175	52.0	33.7	9.7	1.1	3.4	85.7	10.8
川鶴地区 n=75	54.7	34.7	6.7	4.0	0.0	89.4	10.7
霞ヶ関北地区 n=48	52.1	39.6	4.2	2.1	2.1	91.7	6.3
名細地区 n=100	48.0	43.0	8.0	1.0	0.0	91.0	9.0
山田地区 n=77	53.2	33.8	7.8	2.6	2.6	87.0	10.4

## (17) 住み続けたいと思う理由

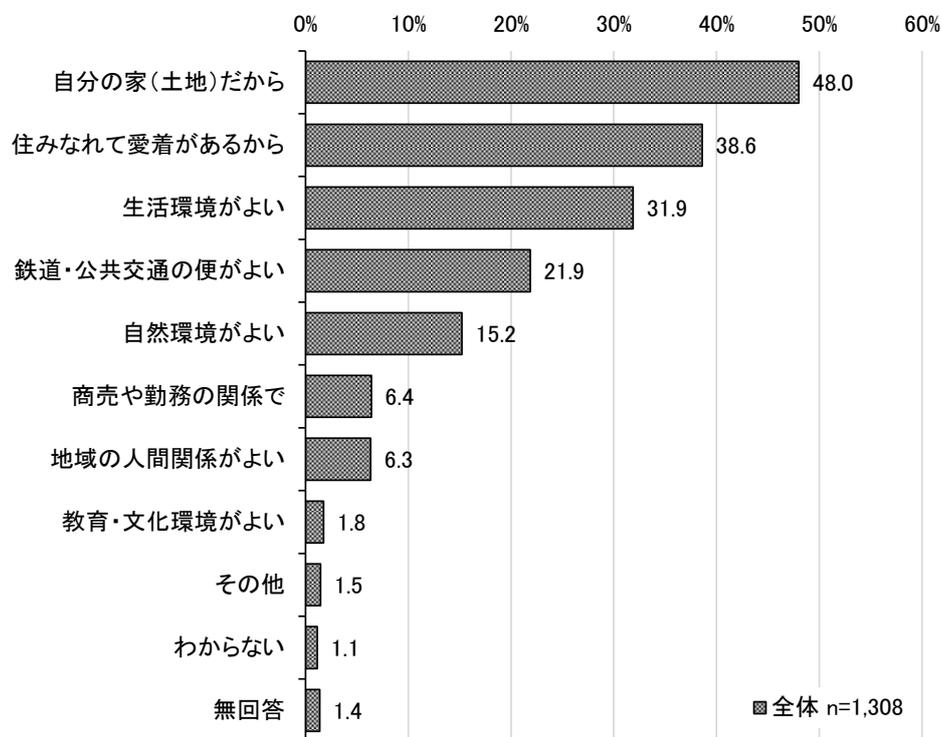
◇「自分の家（土地）だから」が48.0%

【問 67 で「住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と回答した方におたずねします。】

問 67-1 川越市に住み続けたいというのは、特にどのような理由からですか。

次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで）

住み続けたいと思う理由については、「自分の家（土地）だから」が48.0%で最も高く、次いで「住みなれて愛着があるから」が38.6%、「生活環境がよい」が31.9%、「鉄道・公共交通の便がよい」が21.9%となっている。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、「自分の家（土地）だから」は男性60歳代で6割半ばと高くなっている。「住みなれて愛着があるから」は男性20歳代で約5割と高くなっている。

	自分の家(土地)だから	住みなれて愛着があるから	生活環境がよい	鉄道・公共交通の便がよい	自然環境がよい	商売や勤務の関係で
単位: %						
全体 n=1,308	48.0	38.6	31.9	21.9	15.2	6.4
【性別・年代別】						
男性 n=537	53.4	38.4	33.3	22.0	14.3	7.1
男性 18・19歳 n=3	66.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
男性 20歳代 n=57	24.6	49.1	36.8	31.6	12.3	3.5
男性 30歳代 n=73	50.7	34.2	31.5	20.5	8.2	15.1
男性 40歳代 n=113	55.8	44.2	34.5	15.9	4.4	11.5
男性 50歳代 n=87	55.2	31.0	33.3	24.1	20.7	10.3
男性 60歳代 n=92	64.1	33.7	34.8	21.7	18.5	1.1
男性 70歳以上 n=110	56.4	39.1	31.8	21.8	21.8	1.8
女性 n=752	44.4	39.2	31.4	22.2	16.1	6.1
女性 18・19歳 n=12	0.0	50.0	25.0	41.7	33.3	8.3
女性 20歳代 n=84	23.8	44.0	36.9	28.6	9.5	8.3
女性 30歳代 n=131	36.6	32.8	35.1	26.7	13.0	10.7
女性 40歳代 n=146	45.9	39.0	30.1	17.1	11.0	11.0
女性 50歳代 n=91	44.0	39.6	33.0	20.9	17.6	3.3
女性 60歳代 n=125	54.4	36.8	34.4	20.0	17.6	0.8
女性 70歳以上 n=162	55.6	43.2	24.1	21.0	23.5	2.5

■居住地区別（上位6項目）

上位6項目を居住地区別でみると、「自分の家（土地）だから」では、『霞ヶ関北地区』が61.4%で最も高く、次いで『南古谷地区』が59.8%、『古谷地区』が59.6%となっている。「生活環境が良い」では、『霞ヶ関北地区』が43.2%で最も高く、次いで『本庁地区』が41.3%、『川鶴地区』が38.8%となっている。

	自分の家(土地)だから	住みなれて愛着があるから	生活環境がよい	鉄道・公共交通の便がよい	自然環境がよい	商売や勤務の関係で
単位: %						
全体 n=1,308	48.0	38.6	31.9	21.9	15.2	6.4
【居住地区別】						
本庁地区 n=286	39.2	36.4	41.3	40.2	8.7	5.9
芳野地区 n=37	54.1	51.4	8.1	2.7	16.2	8.1
古谷地区 n=47	59.6	40.4	14.9	6.4	29.8	4.3
南古谷地区 n=117	59.8	34.2	31.6	12.8	24.8	4.3
高階地区 n=167	40.7	41.3	35.3	20.4	13.8	7.8
福原地区 n=67	53.7	47.8	22.4	16.4	17.9	6.0
大東地区 n=121	57.0	33.9	24.8	19.8	14.9	9.1
霞ヶ関地区 n=150	43.3	46.7	37.3	22.0	15.3	8.0
川鶴地区 n=67	52.2	31.3	38.8	11.9	23.9	3.0
霞ヶ関北地区 n=44	61.4	34.1	43.2	11.4	11.4	0.0
名細地区 n=91	58.2	39.6	23.1	18.7	14.3	3.3
山田地区 n=67	47.8	46.3	20.9	17.9	11.9	11.9

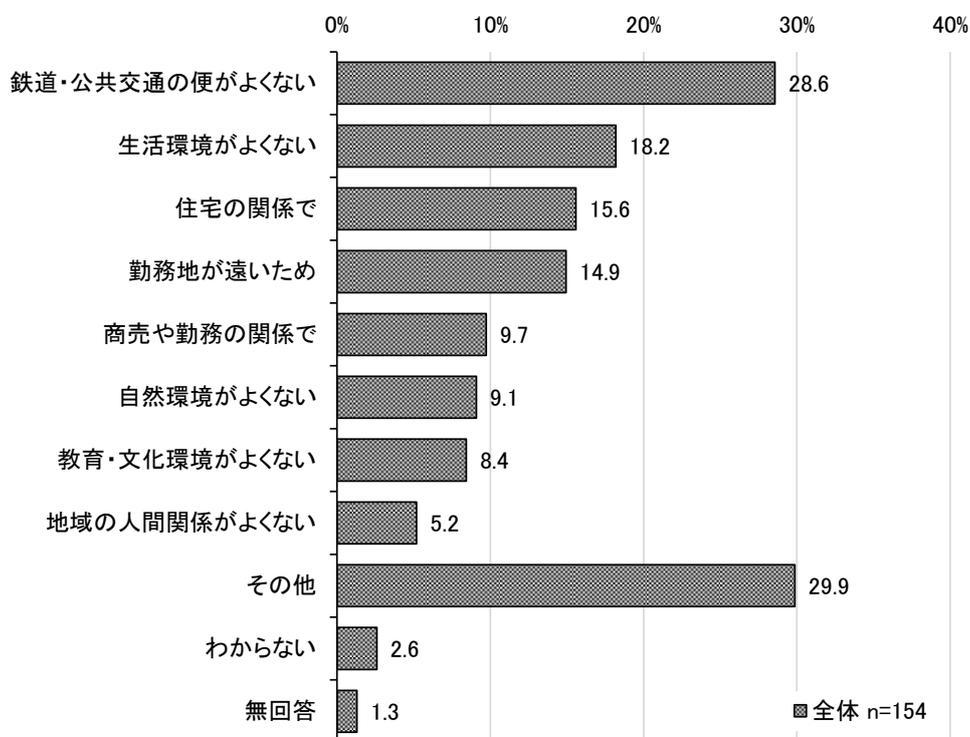
## (18) 転居したいと思う理由

◇「鉄道・公共交通の便がよくない」が28.6%

【問 67 で「どちらかというとし外に転出したい」「市外に転出したい」と回答した方におたずねします。】

**問 67-2 市外へ移りたいというのは、特にどのような理由からですか。  
次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで)**

転居したいと思う理由については、「鉄道・公共交通の便がよくない」が28.6%で最も高く、次いで「生活環境がよくない」が18.2%、「住宅の関係で」が15.6%、「勤務地が遠いため」が14.9%となっている。

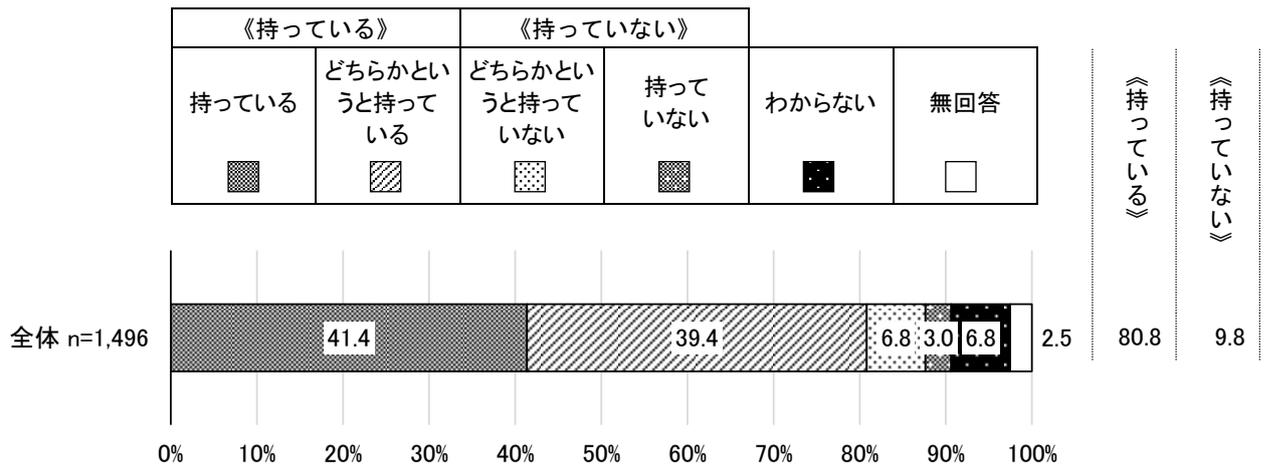


### (19) 川越市への愛着

◇ 《持っている》が80.8%

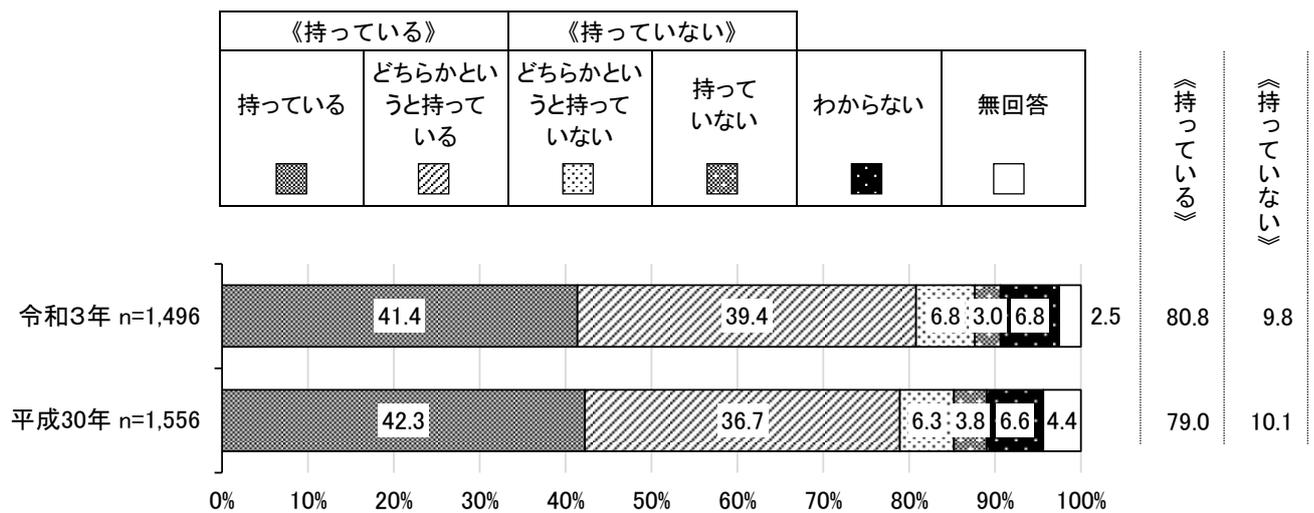
**問 68 あなたは、川越市に愛着をお持ちですか。(1つのみ)**

川越市への愛着については、「持っている」、「どちらかというを持っている」の合計値《持っている》は80.8%である一方、「どちらかというと持っていない」、「持っていない」の合計値《持っていない》は9.8%と、《持っている》が71.0ポイント上回っている。



#### ■ 時系列での比較

時系列でみると、《持っている》は前回調査より1.8ポイント増加し、《持っていない》は0.3ポイント減少している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、《持っている》は男性 70 歳以上、女性 70 歳以上で 9 割台と高くなっている。一方で、《持っていない》は女性 30 歳代で 2 割と高くなっている。

単位: %	《持っている》		《持っていない》		わからない	無回答	《持っている》 合計値	《持っていない》 合計値
	持っている	どちらかという と持っている	どちらかという と持っていない	持っていない				
全体 n=1,496	41.4	39.4	6.8	3.0	6.8	2.5	80.8	9.8
【性別・年代別】								
男性 n=593	43.8	40.0	6.7	2.0	6.4	1.0	83.8	8.7
男性 18・19歳 n=4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
男性 20歳代 n=67	32.8	46.3	9.0	4.5	7.5	0.0	79.1	13.5
男性 30歳代 n=85	35.3	47.1	7.1	2.4	5.9	2.4	82.4	9.5
男性 40歳代 n=121	43.8	33.1	11.6	4.1	5.8	1.7	76.9	15.7
男性 50歳代 n=95	42.1	44.2	4.2	1.1	7.4	1.1	86.3	5.3
男性 60歳代 n=101	40.6	44.6	5.9	1.0	7.9	0.0	85.2	6.9
男性 70歳以上 n=118	61.9	28.8	3.4	0.0	5.1	0.8	90.7	3.4
女性 n=874	40.6	39.6	7.1	3.8	7.2	1.7	80.2	10.9
女性 18・19歳 n=13	69.2	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
女性 20歳代 n=109	32.1	46.8	7.3	4.6	5.5	3.7	78.9	11.9
女性 30歳代 n=160	28.8	38.8	14.4	5.6	11.3	1.3	67.6	20.0
女性 40歳代 n=171	35.1	45.6	7.6	2.9	8.2	0.6	80.7	10.5
女性 50歳代 n=110	44.5	34.5	5.5	6.4	7.3	1.8	79.0	11.9
女性 60歳代 n=137	40.1	40.1	4.4	3.6	8.0	3.6	80.2	8.0
女性 70歳以上 n=172	58.1	33.1	3.5	1.2	3.5	0.6	91.2	4.7

■ 居住地区別

居住地区別でみると、《持っている》は『南古谷地区』が 85.9%で最も高く、次いで『本庁地区』が 85.5%、『川鶴地区』が 85.3%となっている。一方で、《持っていない》は『古谷地区』、『名細地区』がともに 12.0%で最も高く、次いで『山田地区』が 11.7%、『高階地区』が 11.6%となっている。

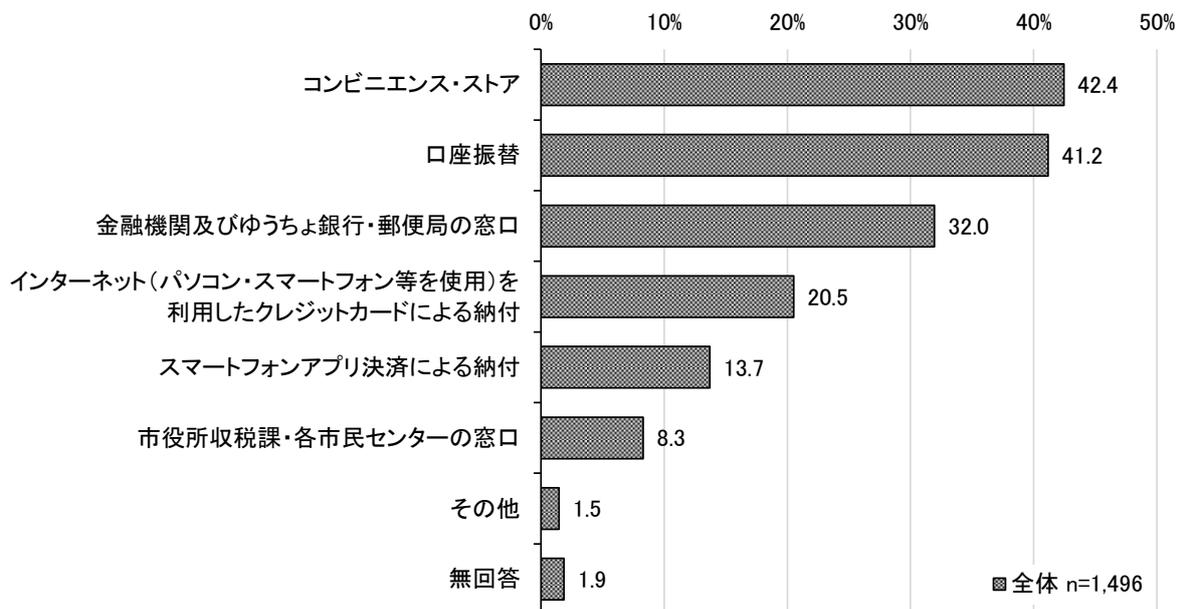
単位: %	《持っている》		《持っていない》		わからない	無回答	《持っている》 合計値	《持っていない》 合計値
	持っている	どちらかという と持っている	どちらかという と持っていない	持っていない				
全体 n=1,496	41.4	39.4	6.8	3.0	6.8	2.5	80.8	9.8
【居住地区別】								
本庁地区 n=316	49.7	35.8	7.3	2.5	3.8	0.9	85.5	9.8
芳野地区 n=41	39.0	43.9	2.4	0.0	12.2	2.4	82.9	2.4
古谷地区 n=58	43.1	39.7	3.4	8.6	3.4	1.7	82.8	12.0
南古谷地区 n=135	37.8	48.1	3.0	2.2	7.4	1.5	85.9	5.2
高階地区 n=189	37.6	41.8	9.5	2.1	6.9	2.1	79.4	11.6
福原地区 n=78	39.7	34.6	7.7	3.8	14.1	0.0	74.3	11.5
大東地区 n=139	35.3	43.9	8.6	2.2	8.6	1.4	79.2	10.8
霞ヶ関地区 n=175	42.9	41.7	6.9	4.0	3.4	1.1	84.6	10.9
川鶴地区 n=75	52.0	33.3	5.3	1.3	6.7	1.3	85.3	6.6
霞ヶ関北地区 n=48	33.3	45.8	4.2	0.0	10.4	6.3	79.1	4.2
名細地区 n=100	41.0	39.0	9.0	3.0	8.0	0.0	80.0	12.0
山田地区 n=77	44.2	33.8	6.5	5.2	5.2	5.2	78.0	11.7

## (20) 希望する市税納付方法

◇「コンビニエンス・ストア」が42.4%

**問 69 あなたが市税(国民健康保険税を含む)を納める方法として希望するのは次のどれですか。次の中から2つ以内で選んでください。(2つまで)**

希望する市税納付方法については、「コンビニエンス・ストア」が42.4%で最も高く、次いで「口座振替」が41.2%、「金融機関及びゆうちょ銀行・郵便局の窓口」が32.0%、「インターネット(パソコン・スマートフォン等を使用)を利用したクレジットカードによる納付」が20.5%となっている。



## 8 市政運営に対する意見・まちづくりへの要望

最後に、市に対するご意見やこれからのまちづくりについてのご希望がありましたら、ご自由にお書きください。

「市政運営に対する意見・まちづくりへの要望」欄には、504人(33.7%)の方からの記入があった。その中で、具体的な要望やアイデアを記入していただいたものについて、地区別にその内容を分類し、表にした。

また、複数の記入はそれぞれ1件に数えてあるので、意見要望は合計で788件となっている。

なお、記入していただいた多くの意見の中から、各カテゴリー別にいくつかの内容を掲載している。

項目	地区名													合計	比率
	本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区	山田地区	地区不明		
全体合計	145	18	29	74	114	44	80	83	56	26	60	41	18	788	100.0%
1. 都市基盤・生活基盤	56	9	12	25	39	23	35	26	14	9	18	13	5	284	36.0%
道路の整備・バリアフリー	9	2	1	2	9	4	9	3	1	1	2	3	0	46	
道路交通の整備	9	0	0	2	7	4	5	4	2	1	3	2	1	40	
公園・緑地の整備	7	2	0	2	4	2	2	4	5	0	1	3	1	33	
街路灯の整備	6	0	2	3	3	2	3	2	0	0	2	1	0	24	
歩道の整備	6	1	0	4	3	2	2	1	0	1	2	1	0	23	
道路の拡幅	4	0	0	0	5	1	3	1	1	0	1	1	2	19	
鉄道関係について	2	0	1	4	0	0	3	3	1	2	0	0	1	17	
駅前・周辺の整備	6	0	1	3	0	0	2	3	0	0	1	0	0	16	
排水路、下水道の整備	1	0	1	1	2	4	2	1	0	1	2	0	0	15	
市内交通網の充実	1	3	1	1	0	2	1	0	2	2	0	0	0	13	
バス路線の便の増加、路線の変更	1	1	2	1	3	0	1	1	0	0	1	0	0	11	
中心部以外の市街地の開発	0	0	1	2	1	2	1	1	1	1	1	0	0	11	
河川の整備	3	0	1	0	1	0	0	2	1	0	1	2	0	11	
その他	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	5	
2. 産業・観光	18	1	2	4	10	3	7	5	2	3	5	7	0	67	8.5%
観光行政	13	0	0	3	3	1	6	1	2	2	1	4	0	36	
産業全般	4	0	1	0	5	2	1	2	0	1	3	2	0	21	
イベント・お祭り関連	1	1	1	1	2	0	0	2	0	0	1	1	0	10	
3. 教育・文化・スポーツ	11	0	2	6	10	3	3	2	5	2	5	2	0	51	6.5%
学校教育	3	0	0	2	4	1	1	1	2	1	4	1	0	20	
スポーツ関連	2	0	2	1	3	1	0	1	0	0	0	0	0	10	
図書館関連	2	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	6	
幼児教育	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	6	
公民館関連	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	
その他	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
4. 保健・医療・福祉・子ども	11	2	2	12	16	5	10	12	7	3	7	2	2	91	11.5%
児童・母子(父子)福祉	6	1	0	2	3	1	5	8	3	0	2	0	1	32	
医療関連	0	0	2	3	5	1	2	0	0	1	1	2	0	17	
新型コロナウイルスのワクチン接種に関して	3	1	0	4	2	0	2	0	0	2	0	0	0	14	
高齢者福祉	2	0	0	2	0	1	0	2	1	0	1	0	1	10	
健診(検診)	0	0	0	1	1	1	0	1	1	0	2	0	0	7	
福祉全般	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	5	
働く女性への支援	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
その他	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	4	

Ⅲ 調査結果の分析

項目	地区名													合計	比率
	本庁地区	芳野地区	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	川鶴地区	霞ヶ関北地区	名細地区	山田地区	地区不明		
<b>5. 環境</b>	6	0	1	2	5	2	4	1	2	0	3	0	1	27	3.4%
ごみ収集	3	0	1	0	3	2	1	1	1	0	3	0	0	15	
環境保全	2	0	0	2	1	0	2	0	1	0	0	0	0	8	
たばこ関連	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
騒音対策	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
<b>6. 地域社会と市民生活</b>	7	0	1	3	6	0	3	1	2	1	2	5	0	31	3.9%
防災関連	6	0	0	3	2	0	1	1	1	0	2	3	0	19	
防犯関連	1	0	0	0	4	0	0	0	1	1	0	2	0	9	
駐車場・駐輪場について	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	
<b>7. 市政全般</b>	36	6	9	22	28	8	18	36	24	8	20	12	10	237	30.1%
今回のアンケート調査に関して	6	0	2	4	7	3	1	5	4	2	4	1	2	41	
行政運営に関して	7	1	2	2	3	0	2	5	3	2	0	1	1	29	
行政サービスについて	1	0	1	3	0	0	2	4	3	0	4	2	0	20	
計画的・効果的な税制運営に関して	3	1	0	0	2	1	2	5	2	0	2	1	0	19	
生活環境に関して	1	0	2	2	2	0	1	2	2	2	1	2	0	17	
市長、市職員に対して	2	1	0	4	1	1	0	3	2	0	1	0	2	17	
地域社会に関して	2	2	0	2	5	0	0	1	0	1	1	0	0	14	
市職員の態度	1	0	0	2	2	1	0	1	3	0	1	0	2	13	
広報関連	3	0	0	2	1	0	1	4	0	1	0	1	0	13	
市内の地域間格差の是正に関して	0	0	0	0	3	2	1	1	0	0	2	1	0	10	
税金関連	4	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	9	
公共施設関連	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	4	
議員・政治・選挙に関して	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	
市民のマナー、モラルに関して	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
市役所に関して	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
その他	4	1	1	1	1	0	4	3	4	0	3	1	2	25	

## 1. 都市基盤・生活基盤

### <道路の整備・バリアフリー>

- 高齢者や子どもが安心して歩けるよう、公道の整備、学校の通学路になっている交差点へ、信号機を設置していただきたいと思います。これから、特に高齢者が増えるので、車、自転車、歩行者が別々に通れる市道の整備が重要だと思います。【男性／50～59歳／大東地区】
- 自転車や歩きでの通行時、路肩のゆがみや側溝の蓋の不揃いがあり、歩きにくさを感じます。また、家の生け垣や、育ち過ぎた植木が側溝の上にせり出し危険な所があります。車での移動時には気が付かない事でした。【女性／75歳以上／山田地区】
- 住宅の建て替えに伴い、拡幅された市道が未整備で砂利のまま（砂利も泥はねを防ぐため個人で購入して撒いたもの）。見通しの悪い道路にはミラーも無く、自動車での通行が危険だが、勝手にミラーの設置もできず困っている。メインの街並みからそれると、一向に環境が改善されないことが不満。【男性／65～69歳／本庁地区】

### <道路交通の整備>

- 川越市駅の周辺道路が歩行者天国化しています。学生、サラリーマンが道をふさいで歩いていきます。全然改善されていないので、早急に対策をとってもらいたい。そのうち事故が起きてしまうと思います。【男性／30～39歳／本庁地区】
- 商業施設が近くにあるため、車の往来が多く、また、運転者の運転も荒いので、子どもが1人で道路を渡ったり、通ったりするには危険な道が多い。歩道や手押し信号の整備などしていただきたい。【女性／40～49歳／南古谷地区】
- 全体的に道路幅が狭いのは、歴史的には仕方がない部分はあるかもしれませんが、その狭い道路でスピードを落とさずに走る車の多さに不安を感じます。スクールゾーンでは、平気で抜け道のように使う人もいます。すぐに道路幅を広げるのは難しいとは思いますが、警察と連携して取り締まるなど、できることをしてほしいです。【女性／30～39歳／名細地区】

### <公園・緑地の整備>

- 近所は高齢者の方が多く、子どもの声でトラブルなどもあり、子どもが遊ぶ公園は遊具もないので、もう少し子どもがのびのび遊べるようなまちづくりをしてほしい。【女性／40～49歳／南古谷地区】
- 子どもの遊べる大きい公園が少ない。市内だと水上公園や伊佐沼公園などしかないため、結局市外の公園に連れて行っている。財政は厳しいと思うが、川越市内の駅に近い場所に比較的大きめの公園をつくってほしい。【女性／30～39歳／高階地区】
- 道路脇や公園内の雑草が多く、子どもが遊ぶときに虫などに注意が必要となるため、草をどうにかしてほしい。【男性／30～39歳／芳野地区】

### <街路灯の整備>

- 家の周りは畑なのですが、街灯がほとんどなく真っ暗です。小さい子どもも地域にはいますので、街灯をもっと増やして頂ければ、安全なまちづくりの第一歩となると思っています。【女性／20～29歳／大東地区】

○午後3時～午後8時まで仕事のため、どうしても帰宅時間が暗い夜道になります。南古谷駅より住宅までの道のりが暗いため、危ないと思いつながらも車通りの激しい道を選び歩いています。

【女性／75歳以上／南古谷地区】

#### <歩道の整備>

○子どもの安全性を考えて歩道をつくってほしい。犬の散歩も、車がギリギリを通りヒヤヒヤする場面が多く、これから先とても不安。街灯も少なく、子育てにはあまり向いていないまちだと思う。

以前、住んでいたところは歩道が広く安心して外を歩けた。【女性／20～29歳／山田地区】

○歩道が少なく、車がスピードを出して、すぐそばを通るのでとても怖い。歩道もデコボコしている所があり、非常に歩きにくい。歩道や自転車の道を整備してください。

【女性／50～59歳／南古谷地区】

#### <道路の拡幅>

○道路が狭くて運転時にも危ないので改善してほしい。【女性／30～39歳／無回答】

○街中だけでなく、道路待機してすれ違うのが困って不自由を感じています。【不明／不明／不明】

#### <鉄道関係について>

○JR川越線の電車の本数を増やしてほしい。JR的場駅が古いので、改装してほしい。

【女性／30～39歳／霞ヶ関地区】

○JR川越線の複線化は、引き続き要望をお願いします。【男性／50～59歳／大東地区】

#### <駅前・周辺の整備>

○川越駅東口から川越駅入口（東）交差点間の道路は、路上駐車があると歩行者が車にはねられそうになる。一方通行にする等、何らかの形で歩行者の安全を確保する対策をお願いします。

【女性／20～29歳／本庁地区】

○財源が厳しくなくなったら、蔵づくりの町並みを、一番街辺りのみではなく、川越駅、本川越駅の方にも雰囲気だけでも延ばして頂けるといい気がします。あの一区間だけが「小江戸川越」という感じで物足りない、子どもの頃から思っていました。【女性／40～49歳／名細地区】

#### <排水路、下水道の整備>

○少し多めの雨が降ると、自宅周辺の道路がくるぶし程度まで浸水します。排水溝も無いため、梅雨時や台風ではより水かさが増し、外に脱出することも一苦勞です。また、近所の高校生が通学路として利用しているため、毎度、足を浸して歩く姿を目にします。このまちに生まれてから、ずっと付き合ってきた問題です。排水について、対応をお願いいたします。【男性／20～29歳／霞ヶ関地区】

○川越市全体で下水道整備を行ってほしい。いずれ浄化槽は無くしてほしいと思います。

【女性／40～49歳／福原地区】

#### <市内交通網の充実>

○自宅付近に公共交通機関がないので、バス停を設置していただきたいです。最寄り駅までも自転車で40分程かかるので不便を感じています。【女性／20～29歳／芳野地区】

- 通院等の手段。免許を返納した後、平日子どもたちを頼らないで、無理なく行けるようにしたい。利用しやすい交通手段があると有難い。【女性／75歳以上／霞ヶ関北地区】

### ＜バス路線の便の増加、路線の変更＞

- シャトルバスの本数を増やしてほしい。【女性／50～59歳／名細地区】
- 生活のすべてにおいて、西武の線路バスを利用しているのですが、終バスの時間が繰り上がり困っています。23時台のバスを再度運行していただけるように、市からも働きかけをお願いします。【女性／30～39歳／古谷地区】

### ＜中心部以外の市街地の開発＞

- JR南古谷駅近辺には歩行者専用道路が少なく危険（特に踏切近く）。また、夜は暗く、トラックも多くて危険。南古谷駅の再開発に時間がかかっている。【女性／50～59歳／南古谷地区】
- 店舗、観光収入が多い旧川越市中心部の整備、公共事業の投資が集中するのは致し方ないが、周辺の地区にも目配りをお願いしたい。高階地区は人口5万人を超え、人口規模は1つの市として独立可能な規模であるが、商業、工業による収入もなく、都市化の整備もない。住宅がほとんどであり、川越市に頼らざるを得ない。過去に計画のあった高規格道路の整備、区画整理など、将来性のある街並みの計画を期待したい。【男性／60～64歳／高階地区】

### ＜河川の整備＞

- 入間川や荒川が自宅から近いので、土手を高くする等、水害対策をもっとしてほしい。【男性／30～39歳／古谷地区】
- 学校近辺の川や水路が、台風や大雨ですぐに氾濫してしまうので整備をしてほしい。子どもたちもぬかるんだ道を大変そうに登校しています。助けてあげてください。【女性／60～64歳／山田地区】

## 2. 産業・観光

### ＜観光行政＞

- 川越市に残る歴史的所産を活用して経済活性化を目指す割に、地元川越に還元されているか疑問を感じる事が多い。市の予算を使って環境整備をしておきながら、出店している事業者からの税収は成り行き任せで、お人好しにも程があります。観光地に出店する業種も、川越とは関係がない店ばかりで、これでは近い将来飽きられるだろうし、頑張っている他所に負けるようになります。【女性／50～59歳／本庁地区】
- 蔵づくりの町並みという貴重な資源を生かすためにも、積極的な施策を行っていただきたいです。以前にもあった一方通行やトラムなどの交通対策も含めて、住民と話し合いつつ、アグレッシブなまちづくりをしていただきたいと思います。【女性／40～49歳／名細地区】
- 歴史的財産が多い中で、それを最大限利用した市外へのアピールができていないと感じています。川越に日帰り旅行で満足する内容ではなく、数日間楽しめるような施設や、幅広い世代から興味を持ってもらえるような人気コンテンツとのコラボに、もっと力を入れていけば、より一層、川越市が潤っていくのではないのでしょうか。【女性／50～59歳／大東地区】

### ＜産業全般＞

- 地場の農産物を大切にすべき。JAに頼るだけでなく、道の駅的に産直販売、お風呂、プチレジャー施設等、人を集めて売り上げを狙う。川越ブランド食品が弱い。豚、サツマイモも大事にして、川越の名物にしてほしい。【不明／50～59 歳／高階地区】
- 都心に近くありながら、農地が広がる川越を生かすために、安全な食べ物の自給率を上げて、子どもたちの給食へ。若い方の就農への援助、耕作放棄地を再生させて緑豊かな田園と、新しい参加型観光客誘致など。レストラン、カフェでも、川越の有機米、野菜の提供がされれば、未来に向けて若い人への住みたい場所にもなるのかと。【女性／65～69 歳／本庁地区】

### ＜イベント・お祭り関連＞

- 私は川越市のまちづくりや文化、まつりが大好きです。しかし、近年はコロナの影響でまつりを開催することができていません。家族でも「本当なら川越まつりだね」という会話をするくらい物悲しさを感じています。これからコロナがだんだんと収束してきたら、何らかの形で、また川越まつり感を感じられるようなイベント、または、街中の装飾に力を入れてほしいと思います。【女性／20～29 歳／本庁地区】

## 3. 教育・文化・スポーツ

### ＜学校教育＞

- 小中学校の教育内容、教師のレベルアップが必要と感じている。アクティブラーニングの充実や、自発的に発表、発言ができるような授業への変化。教育へもっと力を入れてほしい。【女性／30～39 歳／名細地区】
- 住んでいる場所は、小学校の学区分けのちょうど境目で、どこの小学校にも歩いて 30 分以上かかります。指定されている学校は、国道 16 号を越えて通わなければならない、危険な通学路なのではないかと危惧しています。小学校まで遠いのは仕方ないにしても、同じく遠いなら、より安全な道を通って通える学校を選んで通わせたいのですが、学区の境目に住んでいる子どもは、どこの小学校に通うか、各家庭で選べるようにご配慮いただけないでしょうか。【女性／40～49 歳／本庁地区】

### ＜スポーツ関連＞

- 川越市が文化振興に力を入れていることは承知の上ですが、スポーツ施設への配慮がとても薄いと感じます。私は、子どものスポーツに携わっているので、その環境の悪さを憂慮しています。隣接する他市町村と比べても見劣りする部分も多く、スポーツ人口や利用者数に見合った施設数や環境整備、最低限の維持のために、予算も含めた見直しを強く望みます。現場を見て頂ければよくわかると思います。子どもたちが使用するのに危険を感じる場所もあります。川越市からたくさんのプロスポーツ選手、そして、オリンピック出場選手もいますので、もう少しスポーツ振興に力を注いで頂きますよう強く求めます。【男性／40～49 歳／福原地区】

### ＜図書館関連＞

- 大きい図書館をつかってほしい。川越には大きい図書館が 1 つしかない上に、自宅から遠い。【女性／50～59 歳／本庁地区】

**<幼児教育>**

○教育が行き届いていない。幼稚園でプレ保育をしている園が少ない。【女性／30～39歳／大東地区】

**<公民館関連>**

○児童館が少なく、他市の児童館をいつも利用しているのでつくってほしい。

【女性／30～39歳／川鶴地区】

**4. 保健・医療・福祉・子ども****<児童・母子（父子）福祉>**

○3歳の女の子と男の子の双子を育てております。私、主人ともに実家が離れており、身寄りのない環境で育てています。双子用ベビーカーが乗れるバスや、タクシー、多胎児に向けたサービスがあると大変助かります。また、自分からは中々電話等がしにくいので、定期的に（月1回とか）保健センターや子育て支援センターの方などが「最近はどうですか。」など、気軽にお電話頂けると、話すことによってリフレッシュができると思います。ご参考までに、よろしくお願ひします。

【女性／30～39歳／大東地区】

○子育て世代への支援を手厚くしてほしい。保育園、一時預かりのリフレッシュ利用、月1回だと精神的にきついことが多く辛かった。週1回の利用に引き上げてほしい。

【女性／30～39歳／本庁地区】

○地元では、子どもが1歳になるまで、おむつ無料サービスがあったり、高校生まで医療費がかからないというサービスがあったので（来年、出産予定ということもありますが）、そういうサービスがあれば嬉しいし、子どもが大きくなるまで、もしくはずっと、住み続けたいと思います。

【男性／20～29歳／川鶴地区】

**<医療関連>**

○埼玉県は全国に比べて病院の数や、医者の数がワースト3位に入ると聞いています。川越市は人口も増え、観光的にも発展していますが、人口増加や高齢化、今後の新型コロナウイルス感染症に対して、医療体制の危機感を感じています。今後は、地元根付いた強固な医療体制の構築を強く望みます。【女性／65～69歳／大東地区】

○救急医療体制の充実、拡充をしてほしい。大小に関わらず、病院は多いのに、不便を感じる。拡充だけでなく、救急医療を行いやすいよう財政の補助も必要だと思います。

【男性／30～39歳／山田地区】

**<新型コロナウイルスのワクチン接種に関して>**

○ワクチン接種の日程が、埼玉県内でも遅い方だったと思います。若年層への接種日程がどんどん遅れることに、とても違和感がありました。行政と民間医療機関との連携が不十分と感じました。今後は同様のことが起きないように、対策をしてほしいです。【男性／30～39歳／霞ヶ関北地区】

○ワクチン接種の妊婦優先を他市ではしてくれていたのに、川越市はしてくれなかったのは残念です。

【女性／30～39歳／芳野地区】

#### <高齢者福祉>

○高齢化を見据え、高齢者が孤立しないように、自治会等の働きかけを強化してほしい。

【女性／30～39 歳／本庁地区】

#### <健診（検診）>

○がん検診の対象年齢を引き下げしてほしい。せめて 30～35 歳ぐらいから対象にしてほしい。

【女性／30～39 歳／名細地区】

#### <福祉全般>

○高齢化が進んでいる中で、高齢者、子ども、障害者など、弱者にとって住みやすく、生活しやすいまちづくりをお願いします。そのためには、経済の発展が必要です。福祉と経済両輪として、よりよい市政をお願いします。【女性／65～69 歳／福原地区】

#### <働く女性への支援>

○現在、3 人の子育てをしています。保育園に入園でき、保育園事情は改善されていると思います。幼稚園については、まだフルタイムで働けるほど延長保育が充実していないのが不満です。

【女性／30～39 歳／高階地区】

### 5. 環境

#### <ごみ収集>

○高齢者が多いのに、ごみの集積場所まで遠すぎます。一輪車に乗せて、重たそうに道路を渡って運んでいます（信号機のない道路、朝の通勤ラッシュの時間帯で危ない）。新築が建ち、家の目の前に新たな集積場所ができているのに、わざわざ遠くへ捨てに行っています。改善してください。

【女性／40～49 歳／福原地区】

○自治会が負担で辞めたいと思うが、ごみ回収のことがあり辞めることができない。ごみ回収は市の仕事であり、自治会に加入していないとごみが出せない仕組みを変えてほしい。ごみ袋に記名させられているが、今の時代にそぐわないので、市から広報などを通じて案内を出してほしい。

【男性／40～49 歳／名細地区】

#### <環境保全>

○今ある自然を壊さず、もっと緑が多く、動植物と共存できるまちにしてほしい。

【女性／18・19 歳／本庁地区】

#### <たばこ関連>

○南大塚駅周辺は、歩きたばこやたばこのポイ捨てが多く不快。条例等で禁止してほしい。

【男性／30～39 歳／大東地区】

#### <騒音対策>

○川越駅前、深夜の爆音車に困ることがあります。その取り締まりをしてほしい。

【男性／40～49 歳／本庁地区】

## 6. 地域社会と市民生活

### <防災関連>

- 学校など、避難場所になっている所の安全性を強化してほしいです。川越市は人が多くなっているのに避難する所が少ない。何かあってからでは遅すぎる。【女性／40～49歳／山田地区】
- 台風19号の際、避難所の運営に問題があった。職員の訓練やシミュレーションを行い、いざという時に効率的な対応ができるような体制づくりを望みます。【男性／65～69歳／本庁地区】

### <防犯関連>

- 防犯情報のエリアが広すぎて注意のしようがない。【女性／50～59歳／霞ヶ関北地区】

### <駐車場・駐輪場について>

- シェアリング自転車のポートを南大塚駅にも設置してほしい。【男性／30～39歳／大東地区】

## 7. 市政全般

### <今回のアンケート調査に関して>

- こちらのアンケート内容が多すぎて、とても時間がかかりました。任意で依頼する量ではないと思います。【女性／40～49歳／大東地区】
- このような調査こそWEBにすべきではないのか。【男性／40～49歳／本庁地区】
- 今回の市民意識調査だが、“市政全般に関する調査であることから、質問が多岐にわたっている”との前置きはあるが、あまりにも質問項目が多すぎる上、質問によっては内容がわかりづらいものがあり、回答者に対する配慮が感じられない。せっかく時間とお金をかけてこのようなアンケートを作成したところで、回答者が回答しなければ、何の成果も得られないのだから、もう少し質問内容を精査し、項目を減らす、もしくは市のHPやSNS上での調査にするなどして、回答者の回答へのハードルを下げるべきだと思う。【女性／20～29歳／川鶴地区】

### <行政運営に関して>

- 「川越市」は何を目指すのか、目指しているのかをはっきりと示すことが大事だと感じます。「川越市」の魅力、特徴を活かしたまちづくりを希望します。特に歴史を活かしてほしいと思います。日本国内に冠たる「川越市」を目指してほしいです。日本一、世界一のまち。そのために、この意識調査を本気で活用してほしいです。【男性／60～64歳／霞ヶ関北地区】
- 観光だけでなく、市民へ目を向けてほしいと思う点があるので、そういった施策も考えてほしいです。【女性／20～29歳／古谷地区】
- コロナ禍で、我々は改めて、人は最低限の「必要」だけで生きているわけではないことを認識しました。我々は「必要なもの」と「不要なもの」の間に、実は「大事なもの」があることを知った。信頼できる人間関係、安心できる場所、地域の生活空間、なじみの店、医療や介護の体制、公共交通、大切な着物や音楽、安心できる街路、四季の風景、澄んだ空気、大切な思い出。これらを大切に守って頂ける行政であることを祈ります。【男性／65～69歳／芳野地区】

### <行政サービスについて>

- 市の窓口、電話を含め、平日5時までのため難しい。土・日・祝日もできると有難い。行こうと思う時には仕事を休むしかない。【女性／65～69歳／霞ヶ関地区】
- 市役所に用事がある際、行くまでに混雑していて時間がかかり困っていましたが、名細市民センターが出来てから市役所まで行かずにセンターにて用が足ります。今後もセンターが継続して設置されることを心から希望します。【女性／40～49歳／名細地区】
- マイナンバーカードを使用し、全国のコンビニ等で取得出来る証明書の種類を増やしてほしい（例：課税証明書）。決まった事しかやらない「お役所仕事」ではなく、住民の事情やニーズに合わせて柔軟な対応をお願いしたい。前例が無いからできない、書類は出せないではなく、どうやればできるのか、例をつくる努力や姿勢が、行政サービスの向上につながると思料する。  
【男性／40～49歳／大東地区】

### <計画的・効果的な税制運営に関して>

- 市財政の悪化が進む中、少子高齢化対策における上乗せ、横出しを見直し、道路、学校、公園、防災等、行政でしか担えない分野の支出を維持させるべきである。中学生が部活動でケガをした治療費は保護者が負担すればよい。道路や学校の維持は市役所しかできない。  
【男性／60～64歳／名細地区】
- コロナ禍における金銭支援、また生活保護等の不正受給をする人を目の当たりにしています。本当、多いです。何故もっと調査をして支給し、判断しないのか、怒りを感じます。未来の改革は必要と思いますが、現状をもっと調査する意識も必要と感じます。【女性／50～59歳／大東地区】

### <生活環境に関して>

- 孤独に感じる事が多々あります。身内と職場の人しか話しません。何かコミュニティがあると嬉しい。【女性／30～39歳／名細地区】
- 農家の野焼きが迷惑です。住宅街にある畑では全面禁止にしてください。臭いだけでなく、健康被害や火事などの発生の恐れがあるのに、周りが我慢しなくてはいけないのはおかしいです。農家の方が持ち寄り、一括で処分する場を設けたり、その他被害が出ない策を講じてください。  
【男性／40～49歳／本庁地区】

### <市長、市職員に対して>

- 新型コロナウイルスに関しては、以前住んでいた千葉県では、市長さんがメール配信をまめにしてくださいました。やはり市長さんから情報が入ると市民は安心感があると感じました。  
【女性／65～69歳／南古谷地区】
- 4月に、職員の昇進等の発表を課長から口頭で、しかも窓口受付中に行う必要は無いと思います。全職員が真剣に傾聴し、仕事の手が止まり、窓口に来た市民の方も異様な状況に話しづらそうでした。メールか文書で回覧した方がよしいと考えます。異動の時、市役所内での荷物の引っ越しも同様です。本人のみならず、他の職員もぞろぞろ列を成し、ふざけ合いながら荷物持ちをしていました。また、あいさつなら付き添いも一人で十分でしょう。他にも企業ではありえない対応が目につき、市役所職員に嫌悪感が生まれました。【女性／30～39歳／本庁地区】

### ＜地域社会に関して＞

- 自分たちも含めて、若年層の子どもを持たない家庭は、地域への関心が少ないように周りを見て思います。結婚をしない人たちが増えている中で、独身の人は地域と関わりがなくても困ることがほとんどないと思うので、そういう人たちに地域への興味を持ってもらうことが、今後大事だと思います。【女性／30～39 歳／高階地区】
- やや古いまちに居るため、子育て中は昔ながらの子ども会が盛んでした。良い点があるのも承知していますが、その地域での人間関係に息苦しさを感じたり、半強制的に、地域、地区の行事へ参加しなければならない時間にストレスを感じました。コロナ禍を通して、人間関係も良い距離感で暮らせるようになったと思います。子どもも減少しているので、無理に地域で何かをやるのではなく“川越市が主体となる行事に、各自が自由に、やりたい行事に参加する”という形に変えていった方が、これからの子育て世代の方々がまちづくりに参加しやすいし、良い方向に行くような気がします。【女性／40～49 歳／本庁地区】

### ＜市職員の態度＞

- 以前住んでいた所の市役所職員は、話し方がやわらかく、役所も明るく手際も良かったが、川越市役所職員は、お役所感がすごくて話しかけづらい。説明もたくさんの方になっているからだろうか、何でわからないのか、知らないのかというような口調の時や、こういうものなので等、少々冷たい印象を受ける。【女性／30～39 歳／福原地区】
- 人件費を削減してください。働いていない人がいる。窓口対応が冷たい。接客という概念がない。上から目線での対応しか受けたことがない。窓口にお客さんが来ているのに、見て見ぬふりをする人を何人も見えています。早急に改善すべき。【男性／40～49 歳／本庁地区】

### ＜広報関連＞

- 川越市で行われる施策がどのようなものなのか、あまり知らないため、何を見ればわかるのか教えてほしい。【男性／30～39 歳／本庁地区】
- 私は生まれてからこの 20 年間川越市に住んでいますが、川越の魅力を 100%知れていないと思います。魅力を知る、つまり、情報を得る機会が多いのは Twitter や YouTube だと思います。これらのアプリを有効活用していけば、よりよいまちづくりになると考えます。  
【男性／20～29 歳／本庁地区】

### ＜市内の地域間格差の是正に関して＞

- 川越というまちは、暮らしやすさ、便利さという点で、中心市街地とそこから離れた所ではあまりに差がありすぎるように感じます。今後は、交通でも環境でも、この地域格差、不平等を感じさせない川越市づくりを、是非お願いしたいと思います。【男性／70～74 歳／山田地区】
- 中心部と西部のサービス格差を是正してほしいです。【女性／40～49 歳／霞ヶ関地区】

### ＜税金関連＞

- 広報にも記載はありますが、もっと具体的に見てわかるよう税金の使い道を示してほしい。税金は払っていますが、これならこの金額は妥当だと感じたい。【男性／65～69 歳／本庁地区】

**<公共施設関連>**

○コロナ禍で、子連れで遊べる広場、施設がほとんどないことに気付きました。今まで、市外の広場、施設を利用していました。子育てを安心して行える川越市であってほしいです。

【男性／40～49 歳／大東地区】

**<議員・政治・選挙に関して>**

○今後、高齢化が進む社会の中で、活力を生むのは、女性、高齢者、子ども、外国人の社会参加と、安心して住める多様性のある社会だと思います。まず、市議、県議、国会議員の定数の 50%を女性とする法案を策定してほしいと思います。【男性／40～49 歳／本庁地区】

**<市民のマナー、モラルに関して>**

○国道 16 号を横断する時、子どもが怖がる。車にゆずる気持ちがない。隙があればギリギリで右左折する車が多い。厳しく取り締まってほしい。【女性／40～49 歳／本庁地区】

**<市役所に関して>**

○市役所の建て替え(市の顔となる市役所が昭和 40 年代に建てられたものと恥ずかしい時がある)。

【男性／40～49 歳／大東地区】

# 第 14 回川越市市民意識調査 報告書

令和 4 年 2 月

発 行 : 川越市市民部広聴課

〒350-8601

埼玉県川越市元町 1 丁目 3 番地 1

電 話: 049-224-8811 (代表)